

□平成 18 年度 研究活動報告□

大谷藤郎総長

著書

- ・松本馨追悼講演会の記録（分担執筆），松本馨追悼講演会，4-26，37-48，ハンセン病図書館友の会，2006.11

所属学会・学会認定資格・学会役員等

重症心身障害者学会（名誉会長），日本公衆衛生学会（名誉会員），日本栄養改善学会（名誉会員），日本ハンセン病学会

保健学部（看護学科）

著書

- ・中西睦子：看護管理学習テキスト全8巻のうち，1，2，5，6，7，8，別巻（日本看護協会出版会，2003）を改版
- ・藤本幸三：看護における人的資源活用論，クリニカルリーダー，75-80，日本看護協会出版会，2006
- ・松澤和正（分担執筆）：ナラティブと医療，精神科看護のための物語 臨床民族誌的思考と記憶，186-201，金剛出版，2006.12
- ・長田 泉，野中淳子（分担執筆）：改訂 子どもの看護技術，子どもの呼吸を楽にする援助，35-45，へるす出版，2007
- ・長田 泉，野中淳子（分担執筆）：改訂 子どもの看護技術，子どもの体の清潔を保つことへの援助，139-152，へるす出版，2007
- ・長田 泉，野中淳子（分担執筆）：改訂 子どもの看護技術，子どもの眠ることへの援助，153-158，へるす出版，2007
- ・田尻后子（分担執筆），城ヶ端初子（監修）：実践に生かす看護理論19，パトリアベナー 臨床での看護実践における卓越性とパワー，209-226，医学芸術社，（2005.3.10）
- ・田尻后子（分担執筆），城ヶ端初子（編著）：看護理論と私Part 1，パトリアベナーの看護理論と私，90-101，久美出版，2006.11.28
- ・田尻后子（分担執筆），城ヶ端初子（編著）：やさしい看護理論② ケアとケアリング，ベナーの臨床における看護実践の卓越性とパワー，90-102，メディカ出版，2007.3.25
- ・村松由紀（分担執筆）：がん看護BOOKS がん化学療法看護，白血病患者の看護のポイント，303-306，南江堂，2007
- ・村松由紀（分担執筆）：がん看護BOOKS がん化学療法看護，悪性リンパ腫患者の看護のポイント，311-313，南江堂，2007

原著論文

- ・川崎佳代子，曾我部美恵子，早川祐子，他6名：栃木県における母乳育児支援の実態－産科医・小児科医の母乳育児に関する支援の状況と考え方－，母性衛生，47(1)，107-116，2006

総説

- ・ 藤本幸三：病棟師長・主任教育と能力開発・評価の進め方，ナースマネジャー，6(7)，6-13，2006
- ・ 藤本幸三：看護系学会等社会保健連合の役割に期待する，主任&中堅，16(1)，70-71，2006
- ・ 藤本幸三：専門職のポートフォリオ活用，主任&中堅，16(2)，70-71，2006
- ・ 藤本幸三：「看護資源」の需要と供給，主任&中堅，16(3)，70-71，2006
- ・ 藤本幸三：看護組織と目標管理，主任&中堅，16(4)，70-71，2006
- ・ 糸井裕子：看護過程ガイダンス ウイルス性肝炎，ナーシングカレッジ，11(2)，23-40，2007
- ・ 豊田省子，村松由紀：清拭によるヘモグロビン濃度変化，日本看護学教育学会第16回学術集会講演集，156，2006.8

研究報告

- ・ 川崎佳代子，成田 伸，曽我部美恵子，佐藤郁夫，松原茂樹：栃木県における母乳育児支援体制の構築システムに関する研究，文部科学省平成15年度～平成17年度科学研究費補助金（基盤研究（C）研究成果報告書），1-53，2006.4
- ・ 竹尾恵子（主任研究者）：新人看護職員研修の推進に関する研究，厚生労働省科学研究費，総括・総合報告書，2007.3
- ・ 豊嶋三枝子，須佐公子，城ヶ端初子，金 升子：看護学生の主観的健康観と予防的保健行動に関する研究，日本看護福祉学会誌，11(2)，21-29，（2006.3）
- ・ 金 升子：臨地における模擬患者体験クリティカルケア実習での学生の学び，第26回関東甲信越地区看護研究学会
- ・ 豊嶋三枝子，小口多美子，金 升子：看護職の定年退職に対する思いと老後生活設計に関する研究，日本看護福祉学会誌，12(2)，55
- ・ 豊嶋三枝子，小口多美子，金 升子：看護職の定年退職に関するアンケート調査，第37回看護管理学会

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 中西睦子：フォーラム“Japanese Session” フォラミスト，第9回国際看護情報学会，韓国ソウル，2006.6.19
- ・ 中西睦子（座長）：会長講演 看護師の労働環境の国際比較，第9回国際看護情報学会，韓国ソウル，2006.6.19
- ・ 中西睦子：職場で育つもの育たないもの，新潟県立看護大学，看護研究交流センター，2006.9.29
- ・ 中西睦子：看護組織概論，栃木県看護協会，2006.10.27
- ・ 中西睦子（シンポジスト）：看護情報のIT化に向けての課題と展望，医療情報学会，看護学シンポジウム，2006.11.3
- ・ 中西睦子：医療のしくみと看護管理，本学福岡サテライトキャンパス（一般人対象），2006.11.5
- ・ 中西睦子：看護教育のターニングポイント，神戸市看護大学，2006.11.11
- ・ 中西睦子：これからの看護管理，沖縄県看護協会，2006.11.16
- ・ 中西睦子：これからの看護管理，全国公私立病院連盟，2006.11.28
- ・ 竹尾恵子：教育講演 政策医療看護学の創造と課題，第4回国立病院看護研究学会学術集会，国際会議場，福岡，2006.11.25
- ・ 竹尾恵子：教育講演 基礎看護教育の課題—専門職として社会のニーズに応えるために—，新潟県看護学校協議会，新潟市，2006.8
- ・ 藤本幸三：診療報酬と看護管理，CONFEDERATION OF MATANITY NURSING，千葉大学看護学部，千葉市，2006.10.28
- ・ 金 升子：看護・介護研究の指導講評，城医医療振興研究財団看護研究センター，都道府県会館千代田区平河町，2006.11
- ・ 金 升子，後藤光代：看護研究指導と講評，函館市民病院看護部研究会，函館市民病院，函館市，2006.8

- ・ 金 升子：看護研究指導と講評，自治医大病院看護部研究会，自治医大病院研修センター，栃木県薬師寺，(2006.2)
- ・ 金 升子：看護研究指導と講評，国立病院機構宇都宮病院看護部看護研究会，国立病院機構宇都宮病院内，栃木県下岡本，2006.6
- ・ 金 升子：研究活動過程と論文検索，栃木県看護協会セカンドレベル，栃木県看護協会研修会館，栃木県江曽島，2006.9
- ・ 豊田省子，村松由紀：清拭によるヘモグロビン濃度変化，日本看護学教育学会，名古屋国際会議場，愛知県名古屋市，2006.8.6

学会発表

- ・ 中西睦子：看護基礎教育期間の問題を考える，日本管理学会，2006.8.25
- ・ 中西睦子：医療制度改革と看護サービスの提供形態，日本看護科学学会，2006.12.2
- ・ 臼井淳美，山口順子，川崎佳代子：入院を体験した妊婦の胎児及び乳児に対する愛着に関する研究，第47回日本母性衛生学会，名古屋国際会議場，名古屋市，2006.11.10
- ・ 小倉由紀子，伊藤 進，戸谷誠之（発表者），小池通夫，川崎佳代子（シンポジウム座長）：母乳を取り巻く諸問題，第21回日本母乳哺育学会，諏訪文化センター，長野県諏訪市，2006.9.23
- ・ 遠藤恵子，西脇美春，山川祐美子，小松良子，榎きよみ，堀 美和，三澤寿美，川崎佳代子：マタニティブルーズの出現と関連する要因，第29回山形県母性衛生学会，山形県立保健医療大学，山形市，2006.10.18
- ・ 竹尾恵子（司会）：医療と福祉の接点，第32回日本看護研究学会，大分，2006.8.25
- ・ 川島珠実，藤本幸三：看護師の職業的同一性の形成過程に及ぼす看護基礎教育の影響，第26回看護科学学会，神戸国際展示場，兵庫県神戸市，2006.12.2
- ・ 金 升子：論文の査読，看護研究，第26回関東甲信越地区看護研究学会，宇都宮市文化会館，栃木県宇都宮市
- ・ 田尻后子，曾我部美恵子，田村一代：妊産褥婦の尿失禁に関わる要因の検討，第3回理学療法学会国際学術大会，中国リハビリテーション研究センター，中国北京，2007.3.17
- ・ 松澤和正（座長）：一般演題，第16回日本精神保健福祉政策学会学術大会，東京医科歯科大学，東京都，2007.2.4
- ・ 堤かおり，糸井裕子：臨地実習における学生カンファレンスの実態（その1）カンファレンスで感じる困難と終了後の満足感，日本看護学教育学会，名古屋国際会議場，愛知県，2006.8.6
- ・ 糸井裕子，堤かおり：臨地実習における学生カンファレンスの実態（その2）カンファレンス終了後の課題やメンバーに対する困難と満足，日本看護学教育学会，名古屋国際会議場，愛知県，2006.8.6
- ・ 堤かおり，糸井裕子：臨地実習における学生カンファレンスの実態（その3）教員によるグループダイナミックスの観察，日本看護学教育学会，名古屋国際会議場，愛知県，2006.8.6
- ・ 堤かおり，糸井裕子，樺澤一之：臨地実習における学生カンファレンスに影響する要因についての検討，日本看護科学学会，神戸国際展示場・神戸国際会議場，兵庫県，2006.12.2
- ・ 糸井裕子：在日カンボディア人の文化変容とストレス，日本看護科学学会，神戸国際展示場・神戸国際会議場，兵庫県，2006.12.2
- ・ 糸井裕子，小川悦代：衣服の袖の上からの血圧測定の妥当性の検証（その1），日本看護科学学会，神戸国際展示場・神戸国際会議場，兵庫県，2006.12.3
- ・ 糸井裕子，小川悦代：衣服の袖の上からの血圧測定の妥当性の検証（その2），日本看護科学学会，神戸国際展示場・神戸国際会議場，兵庫県，2006.12.3
- ・ 野中淳子，高橋 泉，長田 泉，米山雅子：臨地実習における小児看護技術体験の実態と課題，日本小児看護学会，

パシフィコ横浜，神奈川県横浜市，2006.7

- ・ 渡辺孝子，重久加代子：がん患者のケアを担う看護師の精神的疲労と影響要因，第19回日本サイコオンコロジー学会総会，ぱ・る・るプラザ京都，京都，2006.6.8
- ・ 重久加代子，渡辺孝子：がん患者のケアを担う看護師のケアリング行動を測定する質問紙作成の試み，第11回日本緩和医療学会総会，神戸国際展示場，神戸，2006.6.23
- ・ 渡辺孝子，重久加代子 他：看護師のストレスと業務の専門性との関連，第37回日本看護学会（看護管理），大宮ソニックシティ，埼玉，2006.10.26
- ・ 重久加代子，渡辺孝子：がん患者のケアを担う看護師のケアリング行動を促進する要因，第26回日本看護科学学会学術集会，神戸国際会議場，神戸，2006.12.2
- ・ 重久加代子，渡辺孝子：がん患者のケアを担う看護師のケアリング行動に影響する要因の探索的研究，第21回日本がん看護学会学術集会，東京国際フォーラム，東京，2007.2.10
- ・ 田尻后子，曾我部美恵子，田村一代：妊産褥婦における尿失禁に関わる要因の検討，3rd International Meeting of Physical Therapy Science Meeting（第3回理学療法科学学会国際大会），中国リハビリテーションセンター，北京，2007.3.17
- ・ 新野峰子（実行委員）：日本精神保健看護学会 第16回学術集会，自治医科大学，栃木県，2006.6.17-18

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 水流聡子，中西睦子 他：保健・医療・福祉領域の安全と質保障に貢献する看護マスターの総合的質管理システムと高度看護実践を支援するシステム開発研究，平成18年度厚生労働省科学研究費，医療技術評価総合研究事業
- ・ 竹尾恵子，小澤三枝子，佐藤エキ子，広瀬千也子，高屋尚子，水野正之：新人看護職員研修の推進に関する研究，厚生労働科学研究補助金，平成16-18年

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 中西睦子：日本看護科学学会（理事），日本保健医療行動科学会（評議員），日本健康科学学会（評議員），日本生命倫理学会（評議員），日本看護管理学会（理事）
- ・ 川崎佳代子：日本母子看護学会（理事），日本母乳哺育学会（理事）
- ・ 竹尾恵子：日本看護科学学会，日本看護研究学会（理事，評議員），日本看護管理学会，国立病院看護研究学会
- ・ 藤本幸三：日本看護系大学協議会（看護管理コース教育検討委員会委員），日本看護管理学会（看護適性評価に関する委員会委員），日本看護学会（論文集選考委員），日本私立看護系大学協会（企画委員）
- ・ 金 升子：日本集中治療医学学会，日本集中治療学会関東甲信越地区，日本看護科学学会，日本看護医療学会，日本看護福祉学会，日本看護管理学会
- ・ 郷間悦子：日本看護学会（地域看護）（論文集選考委員），日本在宅ケア学会（学会誌査読委員），日本健康教育学会（実践健康教育士），日本看護科学学会，日本看護研究学会，日本地域看護学会，日本公衆衛生学会，日本看護管理学会
- ・ 曾我部美恵子：日本看護科学学会，日本生命倫理学会，日本女性心身医学学会，日本母性看護学会，日本母乳育児学会
- ・ 松澤和正：日本精神保健福祉政策学会（常任理事），多文化間精神医学会，日本生命倫理学会，日本看護管理学会，日本看護科学学会，
- ・ 糸井裕子：日本看護学教育学会，日本看護科学学会，日本看護管理学会，日本保健福祉学会，日本看護医療学会
- ・ 大塚きく子：日本看護科学学会，日本老年看護学会，老年社会科学学会，日本生命倫理学会
- ・ 重久加代子：日本サイコオンコロジー学会，日本緩和医療学会，日本看護協会，日本看護科学学会，日本がん看護学会

- ・ 田尻后子：日本看護研究学会，日本母性看護学会，日本助産学会，日本母性衛生学会
- ・ 新野峰子：日本看護管理学会，日本看護学教育学会，日本精神保健看護学会，日本デイケア学会，日本看護研究学会，日本看護科学学会
- ・ 村松由紀：日本がん看護学会，日本看護管理学会，日本看護科学学会，日本死の臨床研究会，日本看護学教育学会，日本小児科学学会
- ・ 上原和代：日本新生児看護学会，性と健康を考える女性専門家の会
- ・ 江口裕美子：日本手術看護学会，日本看護研究学会
- ・ 遠藤順子：日本教育心理学会（学校心理士），日本教育カウンセラー学会（初級学校カウンセラー）
- ・ 大木恵美子：日本看護学教育学会，日本看護研究学会

保健学部（理学療法学科）

著書

- ・ 丸山仁司（編集）：ザ・体力，アイペック，2006.6.15
- ・ 丸山仁司（編集）：症例報告の書き方，アイペック，2006.9.1
- ・ 丸山仁司（編集）：評価から治療手技の選択「中枢神経疾患編」，文光堂，2006.10.7
- ・ 潮見泰蔵：QOLと理学療法，今またなぜQOLを測定するのか－アウトカムからみたQOL，17-23，三輪書店，2006.5
- ・ 秋山純和（執筆）：内部障害理学療法学概論ノート，アイペック，2006.4
- ・ 秋山純和（分担執筆）：ザ・体力，臓器と体力 私の体力向上テクニック，38-41，275-281，アイペック，2006.6
- ・ 秋山純和（監修，分担執筆）：地域理学療法学ノート，1-57，94-107，アイペック，2006.4
- ・ 石井博之（分担執筆）：地域理学療法学，実践!!CBR（地域に根ざしたりハビリテーション）の理想，アイペック
- ・ 石井博之（分担執筆）：運動器系理学療法，肘中症，アイペック
- ・ 石井博之（分担執筆）：Maitland's Vertebral Manipulation, Lumber, エルゼビア・ジャパン
- ・ 石井博之（分担執筆）：ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験 共通問題と詳解，神経筋疾患，廣川書店
- ・ 金子純一郎：ザ・体力，理学療法科学学会（監修），脳血管障害と体力，125-130，アイペック，2006.6.15
- ・ 金子純一郎：ザ・体力，理学療法科学学会（監修），脊髄損傷と体力，147-152，アイペック，2006.6.15
- ・ 黒澤 一，佐野裕子（監修，分担執筆）：呼吸リハビリテーション－基礎概念と呼吸介助手技－DVD付き，第2章呼吸理学療法，33-63，学習研究社，2006
- ・ 藤井菜穂子（共著）：理学療法国家試験・問題と詳解，2006年度版，広川書店
- ・ 藤井菜穂子（共著）：理学療法・作業療法国家試験 共通問題と詳解，2006年度版，広川書店
- ・ 倉本アフジャ亜美（分担執筆），赤坂清和 他：Maitland's Vertebral Manipulation訳書，ムーブメントダイアグラム論とムーブメントダイアグラムの作成，エルゼビア・ジャパン（株），2007
- ・ 倉本アフジャ亜美（分担執筆），西田祐介 他：地域理学療法学，小児地域理学療法，アイペック，2007
- ・ 齋藤里果，丸山仁司（編集）：ザ・ROM，ROMの評価と注意点，IPEC，2007.3
- ・ 下井俊典（分担執筆），丸山仁司（編集）：理学療法科学シリーズ応用編 ザ・体力，スポーツ選手の体力，運動療法実践（評価とプログラム），76-81，305-313，アイペック，2006.6
- ・ 霍 明：脳卒中的機能障害と康復，固有受容器神経筋促通法，257-271，中国科学技術文献，2006.4
- ・ 霍 明：ザ・体力，体力と環境，92-96，アイペック，2006.6

- ・ 霍 明：康復治療技術－神経筋肉促通法，康復治療技術－神経筋肉促通法，1-91，人民軍医出版社，2007.3

原著論文

- ・ Mieko Kurosawa, Orié Watanabe, Hitoshi Maruyama, Bian Budgetell : Responses of dorsal spinal cord blood flow to innocuous cutaneous stimulation in anesthetized rats, *Autonomic Neuroscience; Basic and clinical*, 2006
- ・ 水戸川彩, 霍 明, 丸山仁司：反応時間からみた超音波療法の効果, *理学療法科学*, 21(2), 121-123, 2006
- ・ 佐藤 仁, 丸山仁司, 上肢PNFパターンの等尺性抵抗運動域の違いが反対側下肢筋力におよぼす影響, *理学療法科学*, 21(3), 233-237, 2006
- ・ 金子秀雄, 佐藤広徳, 丸山仁司：姿勢が側腹筋厚に及ぼす影響, *理学療法科学*, 21(3), 255-259, 2006
- ・ Dorothy Tan Morala, Taizo Shiomi, Hitoshi Maruyama : Factors associated with the functional status of community-dwelling elderly, *J. Geriatric Phys. Ther*, 29(3), 100-105, 2006
- ・ Ming Huo, Hitoshi Maruyama, Huilin Liu : Optimal pedaling rate in bicycle ergometer exercise determined by probe reaction time, *Perc Mot Skill*, 103, 703-708, 2006
- ・ Kera T, Maruyama H : The effect of posture on respiratory activity of the abdominal muscles, *J Physiol Anthropol Appl Human Sci*, 24(4), 259-265, (2005)
- ・ Ming Huo, Hitoshi Maruyama : The effectiveness of a simple approach to the assessment of the risk of falls in the elderly, *J. Phys Ther Sci*, 18, 181-185, 2006
- ・ Hiroshi Nobori, Hitoshi Maruyama, Naoko Takahashi : The effect of a Toe-Heel pedal exercise machine, *J Phys Ther Sci*, 18, 143-148, 2006
- ・ Yukinobu Hiiragi, Hitoshi Maruyama : Easy motion analysis using compact sensors, *J Phys Ther Sci*, 18, 175-180, 2006
- ・ 森沢知之, 金子純一郎, 鈴木あかね, 村山史雄, 樋渡正夫, 丸山仁司：肺切除術後早期から肺機能回復過程と運動耐容能の変化, *理学療法科学*, 21(4), 381-386, 2006
- ・ Hideo Kaneko, Hironori Sato, Hitoshi Maruyama : Evaluation of lateral abdominal muscle activity during expiratory threshold loading by ultrasonography, *J Phys Ther Sci*, 18, 187-191, 2006
- ・ 藤田康孝, 上地瑞恵, 二宮秀樹, 渡辺重人, 勝平純司, 藤沢しげ子 他：ヒールの高さが妊婦の歩行に与える影響と妊婦歩行の特徴, *理学療法科学*, 21(3), 287-292, 2006
- ・ 武田 要, 藤沢しげ子：理学療法科学学生の実習成績と情意特性－ストレスコーピングと性格特性に注目して－, *理学療法科学*, 21(2), 131-135, 2006
- ・ 山野 薫, 太平高正, 薬師寺里恵, 都甲 純, 井上博文, 秋山純和：急性期病院理学療法部門におけるリスクマネジメント改善の取り組み, *理学療法科学*, 21(4), 405-410, 2006.11
- ・ 上村さと美, 秋山純和：介護保健施設における集団実施時のモニタリングの現状, *理学療法科学*, 22(5), 55-59, 2007.1
- ・ 上村さと美, 秋山純和：Zarit介護負担尺度日本語版（J-ZBI）を用いた家族介護者の介護負担感評価, *理学療法科学*, 22(5), 61-65, 2007.1
- ・ 上村さと美, 秋山純和：在宅介護者の性差による介護負担感の違い－Zarit介護負担尺度日本語版を用いた介護負担感の比較, *理学療法－技術と研究－*, 35, 41-45, 2007.2
- ・ 石坂正大, 大好崇史, 秋山純和：足趾圧迫練習が内側縦アーチに及ぼす影響, *理学療法科学*, 22(1), 139-143, 2007.2
- ・ 山野 薫, 太平高正, 薬師寺里江, 都甲 純, 井上博文, 秋山純和：急性期理学療法における血圧脈波検査装置を用いたリスク管理の試み, *全国自治体病院協議会雑誌*, 46(3), 384-387, 2007.3
- ・ 齋藤里果, 秋山純和：音楽家の身体症状とその対処法－音楽家へのアンケート結果より, *理学療法科学*, 21(4), 447-

451, 2006.11

- ・ 石井博之 : Development of simple motion measurement and analysis system, Journal of Physical Therapy Science, 18(1), 2006.6
- ・ 勝平純司, 谷口敬道, 杉原素子, 下井俊典, 霍 明, 齋藤里果 他 : 介護予防トレーニング前後における歩行能力の比較, 理学療法科学, 21(3), 215-220, 2006
- ・ 金田由美子, 成 命奇, 勝平純司 他 : 平行棒を使用した立ち上がり動作時の関節モーメントの分析, 理学療法科学, 21(3), 227-232, 2006
- ・ 藤田康孝, 勝平純司, 藤沢しげ子 他 : ヒールの高さが妊婦の歩行に与える影響と妊婦歩行の特徴, 理学療法科学, 21(3), 287-292, 2006
- ・ 山口勝彦, 勝平純司, 藤井菜穂子 他 : 単・共・編 階段昇降動作における健常者とACL損傷者との比較, 理学療法科学, 22(1), 49-54, 2006
- ・ 倉本アブジャ亜美 : Functional Therapyの概要, 理学療法科学, 22(1), 2007
- ・ 下井俊典, 谷 浩明 : 遅発性筋痛測定における4種類の疼痛測定法の信頼性, 理学療法科学, 22(1), 125-131, 2007.3
- ・ 水戸川彩, 霍 明, 丸山仁司 : 反応時間からみた超音波療法の効果, 理学療法科学, 21(2), 121-123, 2006
- ・ Huo M, Maruyama H : The effectiveness of a simple evaluation approach to falls risk assessment in elderly - Probe reaction time and the dispersion of the time for a single step during marking time-, J Phys Ther Sci., 18(2) , 181-185, 2006
- ・ 常 冬梅, 霍 明, 丸山仁司 : 腰部と中殿筋サポーターの装着における安静立位及び側方運動に対する影響, 理学療法科学, 22(1), 157-161, 2007

総説

- ・ 丸山仁司 : 生活習慣病予防に対する日本理学療法士協会の今後の取り組み方, 理学療法, 23(5), 788-791, 2006
- ・ 潮見泰藏 : Motor Relearning program, Clinical Rehabilitation, 15(5), 454-457, 2006.5
- ・ 潮見泰藏 : 脳卒中の理学療法の発展と課題, 理学療法ジャーナル, 40(3), 1206-1207, 2006.12
- ・ 潮見泰藏 : 日本理学療法士協会が推進する卒前教育のあり方, 理学療法ジャーナル, 41(2), 157-163, 2007.2
- ・ 西村 敦, 潮見泰藏 : 臨床教育はいかにあるべきか, 理学療法学, 33(8), 467-470, 2006.12
- ・ 佐野裕子 : 理想と現実の中の呼吸理学療法—GOLDと保険診療報酬改定の狭間で—, COPD—Frontier, 5(3), 35-39, 2006
- ・ 佐野裕子 : ポイント解説呼吸理学療法の教え方—徒手の呼吸介助手技, 呼吸器ケア, 5(3), 68-72, 2007

研究報告

- ・ 藤沢しげ子, 石井博之, 秋山純和, 潮見泰藏, 丸山仁司 : JICA中国リハビリテーション専門職養成プロジェクト終了報告, 国際医療福祉大学紀要, 11(2), 29-36, 2006
- ・ 金子純一郎 : 基本的臨床技能に関する実践教育の現状, 理学療法科学学会40回学術大会誌, 36, 2007.1
- ・ 金子純一郎, 潮見泰藏, 丸山仁司 他 : 起き上がり動作における運動パターンへの影響 体幹への制限による比較, 理学療法学, 33(Suppl.2), 330, 2006.4
- ・ 齋藤里果, 秋山純和 : 音楽家の身体症状とその対処法, 理学療法科学, 21(4), 447-451, 2006
- ・ 勝平純司, 谷口敬道, 下井俊典, 霍 明, 齋藤里果, 杉原素子 : 介護予防トレーニング前後における歩行能力の比較, 理学療法科学, 21(3), 215-220, 2006
- ・ 齋藤里果 : 音楽療法の紹介, 理学療法科学, 21(4), 453-457, 2006

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 丸山仁司：理学療法におけるエビデンスに基づく実践への取り組み，日本保健科学学会シンポジウム，首都大学東京，東京，2006.9.2
- ・ 丸山仁司：呼吸器系理学療法に必要な解剖と運動学，乃木坂スクール，乃木坂ホール，東京，2006.10.11
- ・ 丸山仁司：運動学，第2回基礎講習会，水道橋，東京，2006.12.26
- ・ 丸山仁司：医療系教育の現状と今後，第1回理学療法教育FD研究会，国際医療福祉大学小田原保健医療学部，小田原，2007.1.13
- ・ 潮見泰藏：臨床実習の位置づけ，日本理学療法士協会，サンシップ富山，富山，2006.7.30
- ・ 潮見泰藏：大規模クラスにおけるOSCEの取り組みの実際，群馬大学医学部公開講座，群馬大学医学部，群馬，2006.9.2
- ・ 潮見泰藏：教育ガイドラインについて，日本理学療法士協会，教育研究会，佐世保，2006.10.6
- ・ 潮見泰藏：脳卒中患者に対する課題指向型介入の理論と実際，日本理学療法士協会，第450回現職者講習会，国際医療福祉大学，栃木，2006.12.2
- ・ 潮見泰藏：脳傷害後の機能回復と運動学習，理学療法科学学会，中国リハビリテーション研究センター，北京，2007.3.17
- ・ 秋山純和 他：神経筋促通治療法，日本理学療法士協会現職者講習会，国際医療福祉大学，大田原市，2006.7.16
- ・ 秋山純和 他：神経筋促通治療法，日本理学療法士協会現職者講習会，健康科学大学，山梨，2006.8.15
- ・ 秋山純和 他：PNF（初級B），日本PNF学会，藍野大学，高槻市，2006.10.17
- ・ 秋山純和 他：神経筋促通治療法，日本理学療法士協会現職者講習会，聖隷クリストファー大学，静岡，2006.9.3
- ・ 秋山純和：高齢者に対するリスク管理，栃木県理学療法士会，鹿沼市民センター，鹿沼市，2006.10.22
- ・ 秋山純和：世界の中の理学療法，栃木県理学療法士会，鹿沼市民センター，鹿沼市，2006.10.22
- ・ 秋山純和，霍明：第1回国際交流（神経筋促通治療法），理学療法科学学会，中国リハビリ研究センター，北京，2006.11.24
- ・ 秋山純和：循環器系理学療法の紹介，JICAカンボジア医療従事者養成プロジェクト，TMCA，プノンペン，2006.3.26
- ・ 石井博之：世界の理学療法，秋田大学，秋田県，2006.11.13
- ・ 石井博之：世界の中の理学療法，神奈川県理学療法士会，神奈川県立医療福祉大学，神奈川県，2006.12.3
- ・ 金子純一郎：介護保険における福祉用具の選定の判断基準，宇都宮市市居宅介護支援事業者連絡協議会，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2006.7.18
- ・ 金子純一郎：介護保険施設における臨床実習について，上尾中央医科グループリハビリテーション研修会，介護保険施設一心館，埼玉県伊奈町，2007.1.12
- ・ 佐野裕子：呼吸器疾患のリハビリテーションー評価と理学療法ー，同友会平成18年度第1回卒業後研修会，中部リハビリテーション専門学校，名古屋，2006.4.15
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションの概念及び肺理学療法手技の実際，平成18年度現任教看護実践，宮城県看護協会，仙台，2006.4.22
- ・ 佐野裕子：麻痺のある対象の移動・移送・歩行，東京医科大学看護学校老年看護学校内実習，東京医科大学看護学校，東京，2006.6.16
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションの理論と実技，東京都ナースプラザ，東京，2006.7.5
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションー基礎概念と急性期呼吸理学療法を中心にー，鹿児島県言語聴覚療法士協会，鹿児島県文化センター，鹿児島，2006.7.9
- ・ 佐野裕子：おいしく安全に食べるためにー摂食嚥下機能向上に役立つ呼吸リハビリテーションー，茨城県保険医協会

「医と食を考えるワーキンググループ」第1弾，霞ヶ浦研修センター，茨城，2006.7.16

- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションの理論と実際，平成18年度宮城県言語臨床研究会，東北厚生年金病院，仙台，2006.7.22
- ・ 佐野裕子：理学所見の取り方，第6回兵庫医科大学呼吸リハビリテーションセミナー，兵庫医科大学，西宮，2006.9.17
- ・ 佐野裕子：呼吸理学療法の生理学，大阪府理学療法士会生涯学習部研修会，天満研修センター，大阪，2006.10.1
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションの理論と実技，東京都ナースプラザ，東京，2006.10.5
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションの概念及び肺理学療法手技の実際，平成18年度現任教育看護実践，宮城県看護協会，仙台，2006.10.7
- ・ 佐野裕子：摂食嚥下に対する呼吸リハビリテーション，東京都リハビリテーション病院研修会，東京都リハビリテーション病院，東京，2006.10.10
- ・ 佐野裕子：急性期の呼吸管理と呼吸理学療法，メディカ出版呼吸リハビリテーションセミナー，京都市サーチパーク，京都，2006.10.14
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションー概論と実践ー，看護部研修会，東京医科大学病院，東京，2006.11.11
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーション，茨城県理学療法士協会学術研修会，茨城県立医療大学，茨城，2006.11.26
- ・ 佐野裕子：甲状腺術後のリハビリテーション，院内研修会，伊藤病院，東京，2006.11.29
- ・ 佐野裕子：急性期の呼吸管理と呼吸理学療法，メディカ出版呼吸リハビリテーションセミナー，関内新井ビル，横浜，2006.12.9
- ・ 佐野裕子：呼吸理学療法ー呼吸・排痰・姿勢保持 実施上の留意点，北里大学リハビリテーション学科言語聴覚療法学講義，北里大学，相模大野，2006.12.11
- ・ 佐野裕子：口すばめ呼吸の生理学的研究と呼吸リハビリテーションの臨床経験，第8回呼吸調節フォーラムin仙台，仙台ホテル，仙台，2007.2.9
- ・ 佐野裕子：急性期における呼吸理学療法 呼吸理学療法実技，第4回那須呼吸リハビリテーション研究会，大島フォーラム，栃木，2007.2.17-18
- ・ 佐野裕子：呼吸リハビリテーションの理論と実技，東京都ナースプラザ，東京，2007.2.21
- ・ 佐野裕子：ナースのための呼吸介助教室，第21回東北呼吸器フォーラム，仙台国際センター，仙台，2007.3.10
- ・ 佐野裕子：安全に食べるためにー呼吸リハビリテーションの必要性ー，第15回茨城県歯科医学会，水戸プラザホテル，水戸，2007.3.11

学会発表

- ・ 霍 明，丸山仁司，橋本奈織：高齢者の転倒に関する簡易評価法の開発とその有効性，第41回日本理学療法学術大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋，2006.5.25-27
- ・ 終 幸伸，佐藤 仁，丸山仁司：小型センサによる局所的動作分析手法の研究，第41回日本理学療法学術大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋，2006.5.25-27
- ・ 田中愛理，国島美佐，鈴木千勢，畠しのぶ，佐野裕子，丸山仁司：介助者と乗車者の車椅子速度の感覚の相違，第41回日本理学療法学術大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋，2006.5.25-27
- ・ 金子純一郎，潮見泰藏，石戸裕亮，田中裕輔，藤川雄志，丸山仁司：起き上がり動作における運動パターンへの影響，第41回日本理学療法学術大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋，2006.5.25-27
- ・ 金子秀雄，佐藤広徳，丸山仁司：超音波画像装置による呼吸閾値負荷時の側腹筋活動評価，第41回日本理学療法学術大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋，2006.5.25-27

- ・ 下井俊典, 杉原素子, 谷口敬道, 丸山仁司, 勝平純司, 齋藤里果: 介護予防事業を想定した運動療法8ヶ月後の心身機能の改善・持続効果, 第41回日本理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋, 2006.5.25-27
- ・ 今井覚志, 岩本直也, 長谷公隆, 東海林淳一, 松本秀男, 里宇明元, 大谷俊郎, 竹田 毅, 小川清久, 丸山仁司: ボクシングストレートパンチの動作解析 (1) 経験者と非経験者の違い, 第32回日本整形外科学会スポーツ医学会, 沖縄, 2006.6.8-9
- ・ 岩本直也, 今井覚志, 長谷公隆, 東海林淳一, 松本秀男, 里宇明元, 大谷俊郎, 竹田 毅, 小川清久, 丸山仁司: ボクシングストレートパンチの動作解析 (2) 基本教示による効果, 第32回日本整形外科学会スポーツ医学会, 沖縄, 2006.6.8-9
- ・ 斉藤琴子, 菅原憲一, 福井由美子, 山本真秀, 安彦鉄彦, 福村憲司, 富田 豊, 丸山仁司: 鏡を用いた随意促進の即時的運動効果, 第25回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 神奈川, 2006.9.10
- ・ 勝平純司, 丸山仁司, 新美英里, 桑原正彦: 移乗介護動作時の腰部負担に与える因子—計測手法の確立—, 第28回臨床歩行分析研究会定例会, 新潟, 2006.11.12.
- ・ 齋藤里果, 倉本アブジャ亜美, 丸山仁司: 授業における学生自己評価シートの導入, 第1回理学療法教育FD研究会, 小田原, 2007.1.13
- ・ 東村幸枝, 下重里江, 丸山仁司, 黒澤美枝子: ストレプトゾチン糖尿病モデルラットのインスリン感受性に与える鍼通電刺激の影響—体性求心性神経の関与の検討, 第84回日本生理学会大会, 大阪, 2007.3.22
- ・ 大久保真人 (座長): 第30回日本リンパ学会総会, 東邦大学 (大森病院), 東京都大田区, 2006.6.3
- ・ 潮見泰藏 (司会): 臨床教育はいかに行うべきか?, 日本理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋, 2006.5.25
- ・ 今井 樹, 潮見泰藏, 谷口敬道: Mirror therapyによる大脳皮質の賦活効果 (錯覚現象) に関する検討, 日本理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋, 2006.5.25
- ・ 荒尾雅文, 角谷一徳, 安藤達也, 渡辺要一, 潮見泰藏: 脳卒中片麻痺者を対象とした認識誤差の測定 4方向 Functional reach testを用いて, 日本理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋, 2006.5.25
- ・ 武井圭一, 杉本 諭, 桑原慶太, 恩幣伸子, 潮見泰藏: 脳卒中患者の移乗動作自立度に対する機能障害および構成要素動作要因との関係, 日本理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋, 2006.5.25
- ・ 上村さと美, 秋山純和: 男性, 女性在宅介護者の介護負担度の違い—Zarit介護負担感評価尺度を用いた性差による比較—, 第41回日本理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋市, 2006.5.25
- ・ 秋山純和 (座長): 第7回日本PNF学会, アルカスSASEBO, 佐世保市, 2006.10.7
- ・ 上村さと美, 秋山純和: 介護老人保健施設における反復起立運動を用いた心肺機能評価, 第39回理学療法科学学会, 国際医療福祉大学, 大田原市, 2006.11.14
- ・ 秋山純和 (座長): 第39回理学療法科学学会, 国際医療福祉大学, 大田原市, 2006.11.14
- ・ 山野 薫, 薬師寺里恵, 太平高正, 都甲 純, 井上博文, 秋山純和: 理学療法施行対象者に対する状態変化カードの試作, 第28回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 佐賀市文化会館, 佐賀市, 2006.11.18
- ・ 山野 薫, 太平高正, 薬師寺里恵, 都甲 純, 井上博文, 秋山純和: 急性期病院理学療法部門におけるリスクマネジメント改善の取り組み, 第45回全国自治体病院学会, 鹿児島県文化センター, 鹿児島市, 2006.10.19
- ・ 山野 薫, 太平高正, 薬師寺里恵, 都甲 純, 井上博文, 秋山純和: 急性期理学療法における血圧脈波検査装置を用いたリスク管理の試み, 医療の質・安全学会第1回学術集会, 東京国際展示場, 東京都, 2006.11.23
- ・ 上村さと美, 秋山純和, 霍 明: 臨床経験年数の違いが臨床教育者としての責務の認識に与える影響, 第1回理学療法科学学会FD研究会, 国際医療福祉大学, 小田原市, 2007.1.16
- ・ 上村さと美, 秋山純和: 車いすタイヤ空気圧の違いが生理的運動強度に及ぼす影響, 第40回理学療法科学学会, 国際

医療福祉大学, 小田原市, 2007.1.14

- ・ 秋山純和 : 音楽用編集ソフトを利用した聴診法 (心音) の試み, 第40回理学療法科学学会, 国際医療福祉大学, 小田原, 2007.1.14
- ・ 秋山純和 : 運動負荷による心電図P波の変化, 第17回病態生理学会, 沖縄テンプス館, 那覇市, (2006.1.27)
- ・ 野口 薫 (共同演者), 石井博之 : 杖選択時の判断基準となる指標への一考察, 第3回日中理学療法科学学会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2007.3.17
- ・ 金子純一郎, 潮見泰藏, 丸山仁司 他 : 起き上がり動作における運動パターンへの影響 体幹への制限による比較, 第41回日本理学療法学会学術大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋市, 2006.5.27
- ・ Sano Y, Kurosawa H, Matsumoto K 他5名 : Effects of pursed-lip breathing on the respiratory system impedance in patients with COPD, ATS2006, San Diego ConventionCenter, San Diego, 2006.5.24
- ・ 鈴木千勢, 佐野裕子 他3名 : 介助者と乗車者の車椅子速度の感覚の相違, 第41回日本理学療法学会学術大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋, 2006.5.26
- ・ 佐野裕子, 黒澤 一, 松本香好美 他4名 : COPDにおける口すぼめ呼吸の生理的効果の検証, 第46回呼吸器学会学術講演会, 有楽町国際フォーラム, 東京, 2006.6.3
- ・ 佐野裕子, 黒澤 一, 田作 豊 他4名 : 口すぼめ呼吸に由来する末梢気道内腔圧の推定, 第16回日本呼吸管理学会学術集会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.7.29
- ・ Sano Y, Kurosawa H, Matsumoto K 他5名 : Respiratory system impedance during Pursed-lip breathing in patients with COPD and healthy subjects, ERS2006, Munich Convention Center, Munich, 2006.9.4
- ・ Sano Y, Kurosawa H, Matsumoto K 他5名 : Estimation of intra-luminal pressure in peripheral airways during pursed-lip breathing, APSR2006, 京都国際会議場, 京都, 2006.11.21
- ・ 佐野裕子, 黒澤 一, 松本香好美 他5名 : 口すぼめ呼吸の生理学的検証, 第3回White Conference, 慶応大学医学部赤倉山荘, 新潟, 2007.1.19
- ・ 藤井菜穂子 : 健常成人における足部変形の特徴と歩行に関する検討, 日本理学療法士協会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋, 2006.5.27
- ・ 藤井菜穂子 (座長) : 日本理学療法士協会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋, 2006.5.28
- ・ 簾藤麻木, 勝平純司, 山本澄子 他 : ベッド周り空間の違いによる介護移乗動作と腰部負荷—加齢対応住宅における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究—その4, 日本建築学会大会学術講演会, 神奈川大学, 神奈川県横浜市, 2006.8.29-31
- ・ 大河内重敬, 勝平純司, 山本澄子 他 : 高齢者の筋力維持を目的とした日常生活における動作負荷の評価に関する研究—その5—加齢対応住宅における腰部負担軽減を目的とした動作寸法体系の研究, 日本建築学会大会学術講演会, 神奈川大学, 神奈川県横浜市, 2006.8.29-31
- ・ 松井加代子, 長澤夏子, 勝平純司 : 腰部負荷と筋活動からみた腰に負担のかからない調理カウンタの研究, 第27回バイオメカニズム学術講演会, 神戸学院大学, 兵庫県神戸市, 2006.10.28-29
- ・ 勝平純司, 新美英里, 桑原正彦 他 : 移乗介護動作時の腰部負担に影響を与える因子, 第28回臨床歩行分析研究会定例会, 新潟医療福祉大学, 新潟県新潟市, 2006.11.11-12
- ・ 糸数昌史, 勝平純司 : 脳性麻痺者の歩行分析—ロフトランド杖の有効性検討—, 第28回臨床歩行分析研究会定例会, 新潟医療福祉大学, 新潟県新潟市, 2006.11.11-12
- ・ 勝平純司, 成 命奇, 武田 要, 藤沢しげ子 : 立ち上がり動作における上肢, 下肢, 腰部関節モーメント計測手法の開発, 第3回理学療法科学学会 国際学術大会, 中国リハビリテーション研究センター, 中国北京市, 2007.3.17
- ・ 下井俊典, 杉原素子, 谷口敬道 他 : 介護予防事業を想定した運動療法8ヶ月後の心身機能の改善・持続効果, 第41

回日本理学療法学会大会，群馬，2006.5.25-27

- ・ 下井俊典，藤川義久，小金丸祐紀恵：在宅サービスから病院への利用者情報フィードバック機能を兼ねた通所リハビリテーション報告書の検討，第25回関東甲信越ブロック理学療法士学会，パシフィコ横浜，神奈川県，2006.9.9-10
- ・ Toshinori SHIMOJI，Kazuma UEDA，Takafumi KATO et al.：A comparison of gait cycle and muscle activity during tandem and normal gait with electromyographic study，The 8th International Congress of Physiological Anthropology，Kamakura Kanagawa，2006.10.9-14
- ・ 下井俊典：講義前後の地域リハビリテーションのイメージの変化，第17回全国介護老人保健施設熊本大会，熊本，2006.11.8-10
- ・ 下井俊典，鈴木理恵子，矢野弥生他：地域在住高齢女性における継ぎ足歩行テストの年齢階層別標準値の作成，The 3rd International Meeting of Physical Therapy Science in Beijing，Beijing China，2007.3.17
- ・ 常 冬梅，霍 明，丸山仁司：腰部と中殿筋サポーターの装着による立位及び側方運動に対する影響，第39回理学療法科学学会学術大会，国際医療福祉大学，栃木県大田原，2006.11
- ・ Huo M，Maruyama H，Chang D：Research on the Assessment of Falls in the Elderly -Probe Reaction Time during Marking Time-，3rd International Meeting of Physical Therapy Science，China Rehabilitation Research Center，BeiJing，2007.3.17
- ・ Chen L，Huo M，Maruyama H：Research on the Assessment of Falls in Young Semi-Paralytics Caused by Cerebral Infarction and Hemorrhage from Probe Reaction Time，3rd International Meeting of Physical Therapy Science，China Rehabilitation Research Center，BeiJing，2007.3.17
- ・ Chang D，Huo M，Maruyama H：Relationships between Falls and the Ability of Cognition among the Elderly，3rd International Meeting of Physical Therapy Science，China Rehabilitation Research Center，BeiJing，2007.3.17
- ・ Liu H，Huo M，Maruyama H：Study on the Occurrence of Falls and Probe Reaction Time among PTs，3rd International Meeting of Physical Therapy Science，China Rehabilitation Research Center，BeiJing，2007.3.17

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 加藤宏之，潮見泰藏，金子純一郎，他4名：発達および障害回復期における神経回路の再編成機構，チーム型研究（CREST），科学技術振興機構，継続
- ・ 金子純一郎：脳機能画像診断法による脳卒中後の運動機能回復機序に関する研究，科学研究費補助金，若手研究B，18700466，採択

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 石井博之：博士号，中国で普及可能な短下肢装具の研究，2007.3.9
- ・ 佐野裕子：第16回日本呼吸管理学会学術集会優秀演題賞，口すぼめ呼吸に由来する末梢気道内腔圧の推定，2006.7.29
- ・ 下井俊典：保健学博士，「改変版日本語Talag scale」の作成による遅発性筋痛の評価方法と研究デザインの検討，2007.3

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 丸山仁司：東京保健科学学会（理事，評議員），理学療法科学学会（会長），日本義肢装具学会，日本理学療法士協会（副会長），バイオメカニズム学会，日本人間工学会（評議員），日本体力医学会，日本老年医学会，ヒトと動物の関係学会，日本エム・イー学会，日本リハビリテーション医学会，運動療法研究会，人類動態学会，日本生理学会，日本私立医科大学理学療法研究会，臨床歩行分析懇談会，運動障害研究会，日本運動生理学会，日本生理人類学会，日本病院管理学会，馬と健康社会研究会

- ・ 大久保真人：日本解剖学会（評議員），日本リンパ学会（理事）
- ・ 潮見泰藏：理学療法科学学会（副会長，理事，評議員）
- ・ 藤沢しげ子：日本理学療法士協会（専門理学療法士（神経系）），理学療法科学学会（編集委員長，評議員）
- ・ 秋山純和：日本理学療法士協会（専門理学療法士（理学療法基系，内部障害系，神経系，骨・関節系，生活環境支援系，教育・管理系），理学療法学編集協力，倫理委員会委員），理学療法科学学会（評議員，研究倫理委員長，理学療法科学編集協力），日本PNF学会（シニアインストラクター，理事，PNFリサーチ編集協力），呼吸器系理学療法研究会（運営委員），日本老年医学会，日本呼吸器学会，日本福祉学会，日本生理人類学会，日本病態生理学会，肺理学療法研究会
- ・ 金子純一郎：日本理学療法士協会，日本老年医学会
- ・ 佐野裕子：日本理学療法士協会（ニュース編集部長），日本呼吸管理学会，日本呼吸器学会，日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，臨床運動療法学会
- ・ 藤井菜穂子：日本理学療法士協会，理学療法科学学会（査読委員），小児保健協会，日本老年医学会，生理人類学会
- ・ 勝平純司：バイオメカニズム学会（学会誌編集委員），日本人間工学会，日本建築学会，日本義肢装具学会
- ・ 倉本アフジャ亜美：日本リハビリテーション心理研究会
- ・ 齋藤里果：理学療法科学学会，日本生理人類学会
- ・ 下井俊典：日本理学療法士協会（認定理学療法士（介護予防））
- ・ 霍 明：日本理学療法士協会，理学療法科学学会，日本PNF学会

保健学部（作業療法学科）

著書

- ・ 吉川武彦，寺谷隆子，荻原喜茂（分担執筆）：改訂 精神障害者の生活支援Q&A，地域生活支援をめぐるシステム，75-98，社会福祉法人全国社会福祉協議会，2006.10.31
- ・ 前田真治（分担執筆）：NEW MOOK整形外科No.20 特集／リハビリテーション（越智隆弘，菊地臣一編集），関節リウマチ・膠原病，286-297，金原出版株式会社，2007
- ・ 前田真治（分担執筆）：臨床判断学入門（内山 靖，前田真治，小林 武編集），リハビリテーションにおける臨床判断学（臨床判断過程）の社会的意義，9-13，協同医書出版社，2006
- ・ 前田真治（分担執筆）：臨床判断学入門（内山 靖，前田真治，小林 武編集），リハビリテーションにおける臨床判断学（臨床判断過程）を形づくる視点 リハビリテーション科医師による視点の特徴，15-17，協同医書出版社，2006
- ・ 前田真治（分担執筆）：臨床判断学入門（内山 靖，前田真治，小林 武編集），職場復帰に必要な運転が鍵となる外来通院の脳血管障害患者，136-139，協同医書出版社，2006
- ・ 内山 靖，前田真治，小林 武（編集）：臨床判断学入門，全196ページ，協同医書出版社，2006
- ・ 前田真治（分担執筆）：考える理学療法 評価から治療手技の選択 中枢神経疾患編，脳の中を覗いてみようーX線CT，MRI-CTによる画像診断，32-42，文光堂，2006
- ・ 前田真治（分担執筆），椿原彰夫，高岡 徹，永田雅章，山口昌夫，渡邊 修：リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン，リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン，2-17，医歯薬出版，2006

- ・ 前田真治, 椿原彰夫, 高岡 徹, 永田雅章, 山口昌夫, 渡邊 修: リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン, リハビリテーション医療におけるリスクマネジメントの考え方と安全管理マニュアルの作成に向けての提言, 26-40, 医歯薬出版, 2006
- ・ 前田真治, 椿原彰夫, 高岡 徹, 永田雅章, 山口昌夫, 渡邊 修: リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン, リハビリテーション医療におけるリスクマネジメントの文献的考察, 41-46, 医歯薬出版, 2006
- ・ 前田真治 (分担執筆): 脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル (長澤 弘編), 脳卒中片麻痺の疫学, 12-13, 文光堂, 2007
- ・ 前田真治 (分担執筆): 脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル (長澤 弘編), 脳卒中片麻痺の診断学, 14-22, 文光堂, 2007
- ・ 前田真治 (分担執筆): 脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル (長澤 弘編), 脳卒中片麻痺の内科学・外科学的治療, 23-33, 文光堂, 2007
- ・ 前田真治 (分担執筆): 脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル (長澤 弘編), CT.MRIのみかた, 396-402, 文光堂, 2007
- ・ 前田真治 (分担執筆): 脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル (長澤 弘編), 主な薬物と副作用, 408-409, 文光堂, 2007
- ・ 前田真治 (分担執筆): 炭酸泉で健康になる, 温熱療法をより確実に効果的に行える人工炭酸泉, 82-101, 現代書林, 2007
- ・ 前田真治 (分担執筆): 温泉—歴史と未来— (日本温泉協会編), 温泉の入浴法, 53-57, エントリー, 2007
- ・ 前田真治 (分担執筆): 温泉—歴史と未来— (日本温泉協会編), 温泉地の気候学, 57-59, エントリー, 2007
- ・ 前田真治 (分担執筆): 温泉—歴史と未来— (日本温泉協会編), 温泉の適応症・禁忌症, 59-61, エントリー, 2007
- ・ 下田信明 (共著): ケアマネジャー受験講座2006, リハビリテーション, 270-281, 株式会社医療福祉総合研究所, 2006.5
- ・ 下田信明 (共著): 介護福祉士受験講座2007, リハビリテーション論, 60-73, 株式会社医療福祉総合研究所, 2006.5
- ・ 藤井清美 (分担執筆): 臨床判断学入門, 外来通所中の学童期脳性麻痺児の事例, 114-119, 協同医書出版社, 2006.5.22

原著論文

- ・ 勝平純司, 谷口敬道, 下井俊典, 霍 明, 齋藤里果, 杉原素子: 介護予防トレーニング前後における歩行能力の比較, 理学療法科学, 21(3), 215-220, 2006
- ・ 高橋幸加, 杉原素子: 通常の学級の教員と保健医療専門職との連携システムの構築関係—地域独自の取り組みについて—, 日本保健科学学会誌, 9(3), 185-193, 2006
- ・ 西田征治, 杉原素子: C6Aレベルで車の運転が可能な系髄損傷1症例のハンドル操作時の代償運動, 人間と科学・県立広島大学保健福祉学部誌, 7(1), 125-132, 2007
- ・ Maeda M, Sugita J, Saito M, Hagihara M, Ikemoto T: Effects of Bath Product named as Sake Concentrate Preparation, J.J.A.Phys.M.Baln.Clim. (日本温泉気候物理医学雑誌), 69(2), 179-186, 2006
- ・ 上出直人, 清水 忍, 前田真治, 石井麻美子: 不安定床面での立位およびステップングが生体の運動に及ぼす影響, 運動・物理療法, 17(1), 46-53, 2006
- ・ 前田真治, 齋藤雅人, 萩原摩里: ソルトレイクミネラル入浴剤の効果について, 日本温泉気候物理医学雑誌, 70(1), 157-163, 2007

- ・武田湖太郎, 下田信明, 加藤宏之 他2名: 慢性期脳卒中患者の麻痺手運動時における同側大脳半球の活性化—近赤外分光法による検討—, 脳科学とリハビリテーション, 7, 15-20, 2007.3

総説

- ・杉原素子: 協会が中期的に対応すべき重点事項, 作業療法, 25(6), 466-471, 2006
- ・河崎 茂, 杉原素子: 対談 人生は楽しい闘い 三, 藤原印刷K・K, 2007.3
- ・杉原素子: 面接取材による記事 制度改正の中 PT・OT・STの需給を探る, 病院経営 (産労総合研究所), 16(352), 6-20, 2006.10.20
- ・荻原喜茂: 心身機能の維持・向上に向けた介護支援, 高齢者ケア, 10(2), 34-40, 2006
- ・荻原喜茂: 利用者の障害特性に応じた作業療法士の支援の視点, 月刊福祉, 6, 38-39, 2006
- ・前田真治: 温泉療法と皮膚疾患, 総合臨床, 55, 346-348, 2006
- ・前田真治: 関節リウマチの生活援助, 臨床リハ
- ・延永 正, 前田真治, 大塚吉則, 白倉卓夫: 高齢者日常診療に温泉療法を役立てるために, 老年医学, 44, 567-579, 2006
- ・前田真治: 高齢者の温泉療法 末梢循環障害, 老年医学, 44, 499-502, 2006
- ・前田真治: 高齢者の温泉療法 温泉の含有成分による特異的効果はあるか? あるとすれば人工入浴剤で代用はできるのか?, 老年医学, 44, 547-552, 2006
- ・前田真治: 高次脳機能障害と生活障害(2) 失語症と生活障害, 精神認知とOT, 3, 132-136, 2006
- ・菅原光晴, 前田真治: 絵がうまく描けない人の評価と生活—視覚失認, 構成障害を中心に—, OTジャーナル, 40(7), 659-663, 2006
- ・前田真治: ペナンブラとは, 理学療法ジャーナル
- ・前田真治: リスク管理, 理療
- ・前田真治: 寒い冬こそ“ぬるめ”の炭酸泉でじっくり, 炭酸泉ニュースレター, 12, 1-4, 2006

研究報告

- ・杉原素子 他: 要支援者及び軽度要介護者の介護サービスの計画及び標準化に関する研究, 厚生労働省老健局総務課, 総括報告書, 総合研究報告書, 2007.3
- ・杉原素子: 急性期心臓リハビリテーションと脳リハビリテーションにおける作業療法適応例のデータ・ベース作成, 国立循環器病センター運営局長 (主任研究員: 国立循環器センター中谷 敏), 平成18年度総括報告書, 2007.3
- ・遠藤昌史, 野口美樹, 郡司祐一, 荻原喜茂: NPO活動と企業の連携における精神障害者の就労支援, 第14回職業リハビリテーション研究発表会発表論文集, 170-173, 2006.12
- ・前田真治, 上月正博, 椿原彰夫, 山口昌夫, 高岡 徹, 永田雅章, 渡邊 修, 田中尚文, 渡部一郎: リハビリテーション診療に求められる臨床心理業務担当者に関するアンケート調査結果, リハ医学, 43, 808-813, 2006
- ・前田真治: 環境省業務報告書 平成17年度温泉利用に関する医学的文献収集等検討調査 2006年 (研究代表者 日本温泉気候物理医学会理事長 伊藤幸治) 第2章 ラドン泉についての調査 1.本邦におけるラドン泉の分布について, 環境省, 107-146, 2006
- ・前田真治: 環境省業務報告書 平成17年度温泉利用に関する医学的文献収集等検討調査 2006年 (研究代表者 日本温泉気候物理医学会理事長 伊藤幸治) 第2章 ラドン泉についての調査 2.ラドン泉に関する医学的文献 1) 国際文献, 環境省, 150-158, 2006
- ・前田真治: 環境省業務報告書 平成17年度温泉利用に関する医学的文献収集等検討調査 2006年 (研究代表者 日本

- 温泉気候物理医学会理事長 伊藤幸治) 第2章 ラドン泉についての調査 4.増富温泉における現地調査, 環境省, 177-182, 2006
- ・ 前田真治, 里宇明元: リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン (1) 作成過程と概要, 厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業, 医療の質及び医療安全体制の確保に関する研究-医療事故を防止するための対策の効果的な実施および評価に関する研究15151501-平成17年度総括研究報告書 (主任研究者: 千野直一), 8-9, 2006
 - ・ 前田真治, 住田幹男, 高岡 徹, 永田雅章, 山口昌夫, 渡邊 修, 里宇明元, 遠藤 敏, 北代直美, 東 祐二, 藤田郁代, 栗山明彦: リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン (2) ガイドライン最終版, 厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業, 医療の質及び医療安全体制の確保に関する研究-医療事故を防止するための対策の効果的な実施および評価に関する研究15151501-平成17年度総括研究報告書 (主任研究者: 千野直一), 10-19, 2006
 - ・ 石川理夫, 今橋正征, 岡部昭典, 岡村興太郎, 甘路寺泰雄, 菊池邦雄, 竹村節子, 前田真治, 村田 彰: 環境省 温泉行政の諸課題に関する懇談会報告書, 2006
 - ・ 上田 茂 (研究協力者), 澁井 実 他: 普及啓発の組織的・戦略的推進に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 障害保健福祉総合研究事業, 平成18年度
 - ・ 上田 茂 (研究協力者: 河野 眞, 澁井 実, 奥村隆彦 他): 精神保健福祉に関する普及啓発の組織的・戦略的推進に関する研究, 平成18年度厚生労働科学分担研究報告書, (2006.3.31)

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 杉原素子: その人らしさを支える, アゼリア・職員研修会, アゼリアホーム, 栃木県矢板市, 2006.8.31
- ・ 杉原素子: 音楽療法と作業療法, 埼玉県音楽療法士会・愛音, 朝霞産業文化センター, 埼玉県朝霞市, 2006.11.25
- ・ 杉原素子: 発達障害者支援や特別支援教育に専門家がどう関わっていくか, 日本発達障害ネットワーク, 成蹊大学, 東京都武蔵野市, 2006.12.10
- ・ 杉原素子: ライフサイクル, 家族, 社会背景から観る障害像, 栃木県作業療法士会・現職者研修, 国際医療福祉大学, 栃木県大田原市, 2007.1.27
- ・ 杉原素子: 東京都に勤務する作業療法士の役割, 東京都PT/OT自主研究会, 東京都墨東病院, 東京都墨田区, 2007.1.30
- ・ 杉原素子: これからの作業療法, 第1回山梨県作業療法学会, 常盤ホテル, 山梨県甲府市, 2007.2.4
- ・ 杉原素子: 地域作業療法の理論と技術, 第12回全国地域作業療法研究大会, 大分県大分市, 2007.3.18
- ・ 荻原喜茂: 精神科リハビリテーションの概念と実際, (社) 全国訪問看護事業協会平成18年度精神科訪問看護研修会 (集中講座), (社) 全国訪問看護事業協会, 東京, 2006.7.4
- ・ 荻原喜茂: 生活の捉え方-アクティビティの理解と実践を中心に-, 平成18年度第2回認知症介護指導者研修, 認知症介護研究・研修仙台センター, 仙台, 2006.8.29
- ・ 荻原喜茂: 認知症高齢者・精神疾患, 平成18年度福島県介護支援専門員専門研修 I・II (福島県社会福祉協議会), 卸町総合センター・卸商会館, 福島, 2006.11.7
- ・ 荻原喜茂: 生活の捉え方-アクティビティの理解と実践を中心に-, 平成18年度第3回認知症介護指導者研修, 認知症介護研究・研修仙台センター, 仙台, 2006.11.21
- ・ 荻原喜茂: 障害者の社会参加と就労について, 障害者の社会参加と就労を考える集い, ゆめプラザ・那須, 那須町, 2007.1.27
- ・ 荻原喜茂: 精神障害者の地域生活支援を進めるために, 精神障害者の地域生活支援を進める実践研究会, (社) 全国

社会福祉協議会，東京，2007.1.30-31

- ・ 荻原喜茂：精神科リハビリテーションの概念と実際，（社）日本精神科看護協会平成18年度精神科訪問看護研修会，専門編，（社）日本精神科看護協会，東京，2007.2.19
- ・ 前田真治：リハビリテーション診療と温熱学，第23回日本サーモロジー学会，青森県立保健科学大学，青森，2006.6.23-24
- ・ 前田真治：リウマチ患者のための家庭で無理なくできるリハビリ運動，日本リウマチ友の会埼玉支部講演会，さいたま市，2006.4.16
- ・ 前田真治：運動器のリハビリテーションーリウマチのリハビリテーションー，日本リハビリテーション医学会研修会，砂防会館，東京，2006.5.6
- ・ 前田真治：人工入浴剤，第27回温泉療法医教育研修会，日本温泉気候物理医学会，札幌，2006.5.27-28
- ・ 前田真治：水治療法各論，厚生労働省主催温泉療法指導者講習会，東京，2006.6.30
- ・ 前田真治：リハビリテーション関連専門職の質の向上・人材育成，東京都PT・OT研修会，墨東病院，東京，2006.7.7
- ・ 前田真治：温泉医学，厚生労働省主催平成18年度第2回「温泉入浴指導員養成講習会」，東京，2006.9.2
- ・ 前田真治：脳卒中の急性期リハビリテーションとリスク管理 一般医家に役立つ脳卒中リハビリテーション研修会，日本リハビリテーション医学会主催，日本脳卒中学会共催 脳血管障害のリハビリテーション，東京コンファレンスセンター，品川，2006.9.23
- ・ 前田真治：寒い冬こそ“ぬるめ”の炭酸泉にじっくりCO₂が冷えに大きな効果ー肌から浸透し，血流を大きく改善ー，炭酸泉インフォメーションセンター，第2回プレスセミナー，東京，2006.10.3
- ・ 下田信明：上肢・手の機能へのアプローチ，栃木県作業療法士会 現職者研修会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2007.1.27
- ・ 谷口敬道：自主シンポジウム42 脳画像にもとづく教育支援の方法と実践 重症心身障害児・者への療育的介入方法をNIRS検査から検討する試みについて，日本特殊教育学会第44回大会，群馬大学教育学部，群馬県前橋市，2006.9.18
- ・ 谷口敬道：生活の中の脳教育シンポジウム 生活の中の脳リハビリテーション，脳の学校創立記念ー公開研究シンポジウムー，株式会社島津製作所東京支社，東京都千代田区，2006.12.9
- ・ 小賀野操：身体障害領域の作業療法理論とモデル，栃木県作業療法士会 現職者研修会，国際医療福祉大学，大田原市，2007.1.27
- ・ 小賀野操（シンポジスト）：シンポジウム 連携，栃木県理学療法士会，パルティとちぎ男女共同参画センター，宇都宮市，2007.3.11
- ・ 澁井 実：科学 その性格と研究方法，栃木県作業療法士会新人研修会，とちぎ福祉プラザ，宇都宮市，2006.11.19
- ・ 河野 眞，吉川ひろみ，石本 馨，春原るみ：日本の作業療法士よ，世界を目指せ!!!，第40回日本作業療法学会，国立京都国際会館，京都府京都市，2006.6.30
- ・ 河野 眞：世界の作業療法，栃木県作業療法士協会 新人教育プログラム，栃木県，2006.9.24
- ・ 高橋きのみ：大田原市における介護予防の取り組み，茨城県老人保健施設協会，茨城県総合福祉会館，茨城県水戸市，2007.3.10
- ・ 林由美子：ベトナムにおける地域リハビリテーション及び障害当事者エンパワメントを通じた身体障害者支援事業，JICAベトナム事務所 ベトナム南部におけるJICA草の根技術協力事業の紹介，ベトナム日本人材協力センター，ベトナムホーチミン市，2006.10.21
- ・ 渡邊清美：作業療法ってなに？，発達支援センターくれよんクラブ親の会，那須烏山市社会福祉協議会，那須烏山市，2006.6.10

学会発表

- ・ 杉原素子 (座長) : 日本作業療法士協会40周年記念講演, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30
- ・ 西村晃典, 杉原素子, 谷口敬道 他: 利き手・非利き手における課題遂行とその習練に伴う左右一次感覚運動野の活性と変化について, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30
- ・ 平野大輔, 杉原素子, 谷口敬道, 下泉秀夫 他: COE (脳酸素交換機能マッピング) を用いた重症心身障害児への作業療法介入の1考察, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30
- ・ 島津久美, 杉原素子 他: 養護学校教員支援を目的とした重症心身障害児の食事マニュアルの試作, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30
- ・ 穴澤理絵, 杉原素子 他: 身体障害者療護施設から自宅復帰した事例, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30
- ・ 五味幸寛, 杉原素子 他: 単純動作と目的動作時の大脳皮質運動関連領域の酸素交換機能の違いについて, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30
- ・ 高橋幸加, 杉原素子: 身近な地域における特別支援教育の試みー通常の学級担任を支援する取り組みについてー, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.7.1
- ・ 野口美樹, 荻原喜茂: 精神障害者地域生活支援センターの活動を通して, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.7.1
- ・ 前田真治, 齋藤雅人, 萩原摩里: ソルトレイクミネラル入浴剤の効果について, 第71回日本温泉気候物理医学会総会, 札幌, 2006.5.26-27
- ・ 前田真治, 伊藤要子: 高濃度人工炭酸温浴におけるHSP70の変化, 第71回日本温泉気候物理医学会総会, 札幌, 2006.5.26-27
- ・ Maeda M, Shimizu S, Kamide N, Sumida S, Nagumo H, Sugawara M, Ichikawa M, Miura Y, Nagasawa H: Changes in HSP70 (Heat Shock Protein 70) due to CO₂ warm water bathing, 35th Congress of the international society of medical hydrology & Climatology (35th ISMH), Military Museum & Cultural Center, Istanbul Turkey, 2006.6.5-10
- ・ Maeda M, Sugita J, Saito M, Hagihara M, Ikemoto T, Shimizu S, Kamide N, Sumida S, Nagumo H, Sugawara M, Ichikawa M, Miura Y: Effects of Bath Product named as Sake Concentrate Preparation (SCP), 35th Congress of the international society of medical hydrology & Climatology (35th ISMH), Military Museum & Cultural Center, Istanbul Turkey, 2006.6.5-10
- ・ 前田真治, 小関順久, 上出直人, 横山美佐子, 南雲浩隆, 菅原光晴, 市川 勝, 三浦慈子: ハイヒール型短下肢装具の作製とその歩行分析, 第22回日本義肢装具学会学術集会, 熊本, 2006.10.21-22
- ・ 前田真治, 藪内敦志, 南雲浩隆, 菅原光晴, 市川 勝, 三浦慈子: 炭酸温水による爪床血管の変化, 第11回人工炭酸泉研究会学術集会, 東京都市ヶ谷, 2006.11.22
- ・ 前田真治, 南雲浩隆, 菅原光晴, 市川 勝, 三浦慈子: 炭酸温水の保温効果について, 第11回人工炭酸泉研究会学術集会, 東京都市ヶ谷, 2006.11.22
- ・ 南雲浩隆, 田中勇次郎, 小林康子, 前田真治, 村木久仁子: ALS療養者の社会参加とリクライニング車椅子活用について, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都, 2006.6.30-7.2
- ・ Shimizu S, Maeda M, Ikeda Y: Characteristic of visual attention among Different visuospatial positions in stroke patients with experience of fall, 15th European Stroke Conference, Brussels Exhibition center, Brussels Belgium, 2006.5.16-21
- ・ 塩澤信良, 上岡洋晴, 齋藤雅人, 前田真治: 人工芒硝泉による足浴が心拍変動, 空腹感に及ぼす影響について, 第71回日本温泉気候物理医学会総会, 札幌, 2006.5.26-27

- ・市川 勝, 前田真治, 菅原光春, 南雲浩隆, 三浦慈子: 右大脳半球損傷患者の談話の分析—SLTA「まんがの説明」を用いて—, 日本高次脳機能障害学会, 福岡, 2006.11.16-17
- ・工藤摂子, 宮崎朋美, 小森規代, 河野健一, 前田真治: 急性期病院リハビリチームによる高次脳機能障害者の復職支援—医学的リハから職場復帰への円滑な支援をめざして—, 第14回職業リハビリテーション研究会, 千葉県職業リハビリテーションセンター, 千葉, 2006.12.5-6
- ・前田真治 (座長): 温浴・人工入浴剤, 第71回日本温泉気候物理医学会総会, 札幌, 2006.5.26
- ・前田真治 (座長): 運動療法, 第43回日本リハビリテーション医学会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京, 2006.6.2
- ・前田真治 (座長): 視空間認知障害, 第30回日本高次脳機能障害学会, アクロス福岡, 福岡, 2006.11.17
- ・藤田和美, 宮崎朋美, 下田信明 他2名: 進行性神経難病患者の作業療法への満足感および作業療法へ望む事—アンケート調査より—, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30
- ・菊地教継, 国府田弘子, 下田信明 他2名: 介護老人保健施設入所者の生活満足度, 楽しみ, コミュニケーション行動に関する調査, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30
- ・藤田和美, 下田信明, 樋渡正夫 他1名: 継続した作業・言語療法により復職に至った重度高次脳機能障害患者の1例, 第30回日本高次脳機能障害学会, アクロス福岡, 福岡県福岡市, 2006.11.17
- ・K Takeda, N Shimoda, H Kato 他3名: Shift of activation areas induced by hand movement during recovery from post-stroke hemiparesis: An NIRS study, The 29th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.7.19-21
- ・K Takeda, N Shimoda, H Kato 他3名: An involvement of secondary motor areas during recovery from mild hemiparetic stroke: An NIRS study, Society for Neuroscience, Atlanta U.S.A., 2006.10.14-18
- ・N Shimoda, K Takeda, H Kato: 他4名: Comparison of local cerebral hemodynamic response in frontal and parietal cortices during a mental rotation task between normal left- and right-handed subjects: a NIRS study, Society for Neuroscience, Atlanta U.S.A., 2006.10.14-18
- ・武田湖太郎, 下田信明, 加藤宏之 他2名: NIRS計測による脳卒中片麻痺の回復過程における手指運動時の脳活動領域変化, 第9回日本ヒト脳機能マッピング学会大会, 秋田ビューホテル, 秋田県秋田市, 2007.3.16
- ・下田信明, 武田湖太郎, 加藤宏之 他5名: 健常左手利き者と右手利き者の空間認知課題における局所脳血流量変化の比較—NIRSによる検討— (第2報), 第9回日本ヒト脳機能マッピング学会大会, 秋田ビューホテル, 秋田県秋田市, 2007.3.16
- ・M Kono, N Shimoda 他: Development of community mental health service system in Siem Reap Cambodia, 14th international congress of the World Federation of Occupational Therapists, Sydney Convention and Exhibition Centre, Sydney Australia, 2006.7.23-28
- ・下田信明 (座長): 第11回日本在宅ケア学会学術集会, 埼玉県立大学, 埼玉県越谷市, 2007.3.4
- ・五味幸寛, 武田湖太郎, 谷口敬道 他2名: 単純動作と目的動作時の大脳皮質運動関連領域の酸素交換機能の違いについて—近赤外分光法による検討—, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.29
- ・平野大輔, 谷口敬道, 武田湖太郎 他3名: 重症心身障害児・者に関するNIRS-imagingを用いた療育的測定プロトコルの開発, 第32回日本重症心身障害学会学術集会, くまもと県民交流館パレア, 熊本県熊本市, 2006.9.28
- ・平野大輔, 谷口敬道, 武田湖太郎, 岩崎博之 他2名: 重症心身障害児・者への療育的介入法方法をNIRS検査から検討する試み, 第36回日本臨床神経生理学会学術大会サテライトシンポジウム 第17回小児誘発脳波談話会 (小児脳機能研究会), パシフィコ横浜アネックス, 神奈川県横浜市, 2006.11.29
- ・金山和弘, 谷口敬道, 平野大輔 他2名: Fist-Edge-Palm課題を用いた運動実施時と運動イメージ時の局所脳血流動態

の比較について—近赤外分光法による検討—, 第12回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 昭和大学保健医療学部, 神奈川県横浜市, 2007.3.11

- ・平野大輔, 谷口敬道, 武田湖太郎 他3名: NIRSを用いた重症心身障害児・者の刺激—応答の様相の客観化, 第9回日本ヒト脳機能マッピング学会大会, 秋田ビューホテル, 秋田県秋田市, 2007.3.17
- ・河野 眞, 長谷川豊, 安田章子, 桐本 光: カンボジア王国シェムリアップ州における精神疾患患者の受療行動の特徴について, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30
- ・Makoto Kono, Akiko Yasuda, Sachika Takahashi, Nobuaki Shimoda: Development of community mental health service in Siem Reap, Cambodia, WFOT Congress 2006, Sydney Australia, 2006.7.25
- ・大塚敬義, 高橋きのみ, 長谷川高志 他1名: 作業療法士の学生を対象とした電子カルテ実習授業, 第7回日本医療情報学会学術大会, 札幌コンベンションセンター, 北海道札幌市, 2006.11.1-3
- ・渡邊清美, 北構由佳, 谷口敬道: 小児の終末期における作業療法の取り組み—脳腫瘍の5歳児とその家族との関わりを通して—, 第40回日本作業療法士学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.6.30-7.2

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・杉原素子（主任） 他作業療法学科全教員: 要支援者および軽度要介護者の介護サービスの計画及び標準化に関する研究, 厚生労働科学研究研究費補助金, 継続
- ・杉原素子（分担）: 急性期心臓リハビリテーションと脳リハビリテーションにおける作業療法適応例のデータ・ベース作成, 循環器病研究委託費, 採択
- ・前田真治: ラドン泉に関する研究, 環境省業務 平成17年度温泉利用に関する医学的文献収集等検討調査（研究代表者 伊藤幸治（日本温泉気候物理医学会理事長））
- ・前田真治, 里宇明元: リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン, 厚生労働科学研究費補助金, 医療技術評価総合研究事業, 医療の質及び医療安全体制の確保に関する研究—医療事故を防止するための対策の効果的な実施および評価に関する研究—平成17年度総括研究報告書（主任研究者: 千野直一）, 15151501
- ・前田真治: 企業からの研究寄付金2件, ①カネボウ株式会社, ②MRCホームプロダクツ
- ・林由美子（プロジェクトマネジャー）, 河野 眞（国内調整員） 他: ベトナムにおける地域リハビリテーション及び障害当事者エンパワメントを通じた身体障害者支援事業, JICA草の根技術協力事業（パートナー型）, 継続

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・奥村隆彦: 保健医療学修士, 統合失調症患者が自分自身を生き生きと語れるようになったのはなぜか—3名の患者における生活体験とその意味, 2007.3.9

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・杉原素子: 日本リハビリテーション医学会（評議員）, 日本病院管理学会, 日本保健科学学会（理事）, 世界作業療法士連盟（学術団体）, 米国作業療法士協会（学術団体）, 日本作業療法士協会（学術団体）（会長）
- ・荻原喜茂: 精神障害リハビリテーション学会
- ・前田真治: 日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション専門医 [第157号]）, リハビリテーション指導責任者 [第90429号]（評議員, 関連専門職委員会委員長, 安全管理ガイドライン策定委員会委員長）, 日本脳卒中学会（脳卒中専門医 [第20030091号]）（評議員, 雑誌査読委員）, 日本温泉気候物理医学会（温泉療法専門医）（理事（総務, 会計担当, 日本医学会連絡委員, 専門医認定委員会委員, 内保連リハビリテーション部門委員（日本温泉気候物理医学会代表））, 評議員）, 日本リウマチ学会（リウマチ専門医 [第449号]）, 日本内科学会（認定内科

- 医〔第71696号〕), 日本高次脳機能障害学会(評議員), 日本神経心理学会, 日本義肢装具学会, 日本リウマチのリハビリテーションケア研究会, 国際リハビリテーション医学会(ISPRM), 国際水治療法学会(ISMH)
- ・ 下田信明: 日本作業行動研究会, 医療マネジメント学会栃木地方会, 日本リハビリテーション連携科学学会, 日本ヒト脳機能マッピング学会, 日本老年社会科学学会, 日本神経心理学会, 日本在宅ケア学会
 - ・ 谷口敬道: 日本作業療法学会(認定作業療法士), 栃木県作業療法士会(副会長), 日本重症心身障害学会, 光脳機能イメージング研究会
 - ・ 澁井 実: 日本精神科リハビリテーション学会, 日本保健科学学会
 - ・ 高橋さのみ: ハンドセラピー学会
 - ・ 高橋幸加: 日本保健科学学会
 - ・ 藤田和美: 日本高次脳機能障害学会

保健学部(言語聴覚学科)

著書

- ・ 城間将江(監修), 廣田栄子, 小湊千絵, 武智司尾子: 聴覚障害学I・II演習テキスト, 国際医療福祉大学, 2006.4
- ・ 畦上恭彦(分担翻訳): 福祉が人を弄んだときー知的障害をもつジョンの人生史, 施設「収容」「断種」「脱施設化」それらはいったいなんだったか, 102-118, ミネルヴァ書房, 2006.4
- ・ 田中裕美子(分担執筆): 発達期言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論, 第3章 特異的言語発達障害とその周辺, 医学書院, 2007
- ・ 森田秋子(分担執筆): 日本リハビリテーション病院施設協会編集 脳卒中の急性期治療と早期リハビリテーション, 評価5.失語・構音障害のスクリーニングと標準的なテスト法, 南江堂, 2006.4
- ・ 森田秋子(分担執筆): 考える理学療法 評価から治療手技の選択, コミュニケーション障害, 文光堂, 2006.6

原著論文

- ・ Masaki Nishio, Seiji Niimi: Comparison of Speaking Rate, Articulation Rate and Alternating Motion Rate in Dysarthric Speakers, *Folia Phoniatrica et Logopedica*, 58(3), 114-131, 2006
- ・ Hideto Saigusa, Kumiko Tanuma, Kazuo Yamashita, Makoto Saigusa, Seiji Niimi: Nerve Fiber analysis for the lingual nerve of the human adult subjects, *Surg Radiol Anat*, 28(2), 59-65, 2006
- ・ Takayuki Kokawa, Hideto Saigusa, Seiji Niimi: Physiological Studies of Retrusive Movements of the Human Tongue, *Journal of Voice*, 20(3), 414-422, 2006
- ・ Hideto Saigusa, Makoto Saigusa, Ichiro Aino, Lishu Li, Seiji Niimi: M-Mode Color Doppler Ultrasonic Imaging of Vertical Tongue Movement During Articulatory Movement, *Journal of Voice*, 20(1), 38-45, 2006
- ・ 中村 毅, 三枝英人, 新美成二: 一側声帯麻痺をきたしたKennedy-Alter-Sung 症候群の1症例とその筋電図所見, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 78(11), 887-890, 2006
- ・ 田中裕美子, 兵頭明和, 大石敬子, B. Wise, L. Snyder: 読み書きの習得や障害と音韻処理能力との関係についての検討, *LD研究*, 15(3), 319-329, 2006.11
- ・ C. Obuchi, M. Shiroma, H. Matsumoto, T. Taniguchi, K. Kumakawa: Non-invasive assessment of language processing in cortex on young cochlear implant children, *The 5th Asia pacific symposium on cochlear implants and related sciences*

International Proceedings, 27-32, 2006.4

- ・ 小淵千絵, 原島恒夫: 聞き取りと学習に困難を有する軽度発達障害児への中枢聴覚処理検査の適用, 特殊教育学研究, 44, 115-125, 2006.7
- ・ 小淵千絵, 廣田栄子: 聴覚障害児の韻律識別力と聴覚活用に関する検討, Audiology Japan, 49, 276-283, 2006.5

総説

- ・ 藤田郁代: 失語症の概念と分類, Clinical Neuroscience, 24(7), 746-748, 2006
- ・ 川岸 恵, 板倉登志子, 藤田郁代 他7名: 運動障害性構音障害の現状, 言語聴覚研究, 3(2), 85-88, 2006
- ・ 新美成二: 職業歌手と嗄声, JOHNS, 22(4), 527-530, 2006
- ・ 磯貝 豊: 音声障害に対する内視鏡的アプローチ—診断から治療まで—, 日本音声言語医学会, 2006.10.26
- ・ 磯貝 豊: 特集拡大処置・手術 喉頭内視鏡取り扱いのコツ, JOHNS, 22(5), 695-698, 2006
- ・ 磯貝 豊: 特集嗄声と失声 全身麻酔と嗄声と失声, JOHNS, 22(4), 591-594, 2006
- ・ 田中裕美子: 発達障害児の言語プロフィールが示唆するもの—大伴論文へのコメント—, 心理学評論, 49(1), 153-157, 2006
- ・ 森田秋子: 標準失語症検査, CLINICAL NEUROSCIENCE, 24(7), 755-757, 2006.7

研究報告

- ・ 比企静雄, 城間将江: 人工内耳を通しての声の高さの弁別閾値の向上, 日本音響学会, 聴覚研究会資料集, 36(1), 137-147, (2006.3)
- ・ 比企静雄, 城間将江: 人工内耳を通しての声の高さの弁別閾値の向上, 電子情報通信学会技術研究報告, 106(686), 11-16, (2006.3)
- ・ 新美成二: 喫煙時の鼻咽腔動態に関する生理学的研究, 喫煙科学財団研究年報, 平成17年度, 362-367, 2006
- ・ 畦上恭彦: 学生指導について 現状・問題点・工夫・課題, 日本言語聴覚士養成校教員連絡協議会会報, 2, 21-31, 2007.3
- ・ 田中裕美子 (代表者): 学習障害児早期発見スクリーニング法開発のための縦断研究, 文部科学省科学研究補助金実績報告書, 2006.4
- ・ 前新直志: 「上手に話したい」と感じている子どもたちができること—吃音と発話コントロール訓練の実際, ことば・きこえ・あしあと, 31, 26-29, 2007.3
- ・ 小淵千絵: 聴覚障害児の読解力と関連要因に関する検討, 文部科学研究費補助研究(B)H18年度研究成果報告書, 2007.3

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 藤田郁代: 失語症の評価と訓練, 新潟神経言語学セミナー, 岩船広域教育情報センター, 新潟県村上市, 2006.8.5
- ・ 藤田郁代: 失語症における構文機能の障害 認知神経心理学的アプローチ, 九州大学人文科学研究院社会連携推進委員会, 福岡医療福祉学院, 福岡県福岡市, 2006.9.2
- ・ 藤田郁代: 言語聴覚士教育の展開, 言語聴覚士養成校連絡協議会, 市谷会館, 東京都新宿区, 2006.9.16
- ・ 藤田郁代: 失語症のリハビリテーション 実用的コミュニケーション訓練を中心に, 言語聴覚士九州合同学術集会, 別府市合同文化センター, 大分県別府市, 2006.10.29
- ・ 藤田郁代: 構文機能の評価と訓練, 国立病院言語聴覚士会, 国立病院機構東京病院, 東京都清瀬市, 2006.11.3
- ・ 城間将江: マッピングについて, 人工内耳友の会, 中野サンプラザ, 東京都, 2006.9.9

- ・城間将江：学童期の難聴児の指導，札幌医科大学，札幌医大記念ホール，札幌市，2006.10.13
- ・城間将江：人工内耳小児のハビリテーション，和歌山医科大学耳鼻科，和歌山医科大学，和歌山，2006.8.21
- ・城間将江：新生児聴覚スクリーニング，言語聴覚士和歌山県士会，和歌山医科大学，和歌山，2006.8.20
- ・城間将江：難聴児の言語発達，長崎聴覚障害研究会，長崎大学，長崎，2006.8.26
- ・城間将江：難聴児との関わり方，千葉県難聴児親の会，千葉市療育センター，千葉市，2006.11.18
- ・Shiroma Masae：Current States of Japanese Speech, Language, and Hearing Association, Nazarene University, Nazarene University, Korea, 2006.11.3
- ・城間将江：東京大学，東京，2007.1.27
- ・新美成二：構音・嚥下障害への耳鼻咽喉科的関与，日本ALS協会・コミュニケーションワークショップ，パシフィコ横浜，横浜市，2006.11.29
- ・新美成二：言語聴覚士の役割と医師の役割，言語聴覚セミナー，北海道医療大学札幌サテライトキャンパス，札幌市，2006.11.19
- ・新美成二：研音究の輝かしい展開を求めて－医学からの提言，日本音声学会・創立80周年記念式典，順天堂大学有山記念講堂，東京都，2006.9.30
- ・新美成二：音声障害の診断と治療，30回富山耳鼻咽喉科臨床研究会，ホテルニューオータニ高岡，高岡市，2006.7.20
- ・新美成二：音声言語医学の未来と言語聴覚士の役割，栃木県言語聴覚士会総会記念講演，とちぎりハビリテーションセンター大会議室，宇都宮市，2006.5.14
- ・新美成二：健康な声のために，日本発声指導者協会・春季国際声楽アカデミー，神戸大学発達科学部，神戸市，2007.3.24
- ・畦上恭彦：コミュニケーションとリハビリテーション－INREALからの視座－，全国私立リハビリテーション学校連絡協議会，ホテルメトロポリタン盛岡，岩手県盛岡市，2006.8.24
- ・畦上恭彦：学生指導について 現状・問題点・工夫・課題，ST養成校連絡協議会研修会教員研修会，アルカディア市ヶ谷，東京都，2006.9.19
- ・畦上恭彦：人が学ぶためのよりよい学習環境を考える，本学臨床実習指導者連絡会議，那須アスリーナオーブ，栃木県大田原市，2007.1.10
- ・畦上恭彦：人が学ぶためのよりよい学習環境を考える，本学臨床実習指導者連絡会議，那須アスリーナオーブ，栃木県大田原市，2007.1.10
- ・磯貝 豊：音声障害に対する内視鏡的アプローチ診断から治療まで－，第51回日本音声言語医学会教育講演，京都リサーチパーク，京都府京都市，2006.10.26
- ・森田秋子：どうする，これからの日本のリハビリテーション，日本リハビリテーション病院・施設協会，笹川会館，東京都品川区，2006.4.22
- ・森田秋子：生涯学習基礎講座 職種間連携論，日本言語聴覚士協会 栃木県言語聴覚士会，とちぎりハビリテーションセンター，栃木県宇都宮市，2006.9.30
- ・森田秋子：高次脳機能障害を持つ方々への支援，目黒区社会福祉課，目黒区社会福祉協議会あいアイ館，東京都目黒区，2006.11.14
- ・森田秋子：ことばを話す仕組み，日本音楽療法士協会，日本音楽療法士協会事務所，東京都小金井市，2006.12.25
- ・前新直志：吃音と発話コントロール訓練，下越地区公立学校言語・難聴教育研究協議会，鏡淵小学校，新潟県新潟市，2006.5.25
- ・前新直志：言語障害の理解と援助，埼玉県教育委員会，埼玉県教育センター，埼玉県さいたま市，2006.7.29
- ・前新直志：吃音のある子どもに対する発話コントロール訓練の実際，中越地区公立学校言語・難聴教育研究会，長岡

市立図書館，新潟県長岡市，2006.8.1

- ・ 小淵千絵：APDの定義とその特徴について，第44回日本特殊教育学会学術大会 自主シンポジウム，群馬大学，群馬県前橋市，2006.9.16
- ・ 谷合信一：高齢者の障害予防とリハビリテーション，群馬県看護協会職能研修，群馬県看護教育センター，群馬県前橋市，2006.8.9

学会発表

- ・ 藤田郁代（座長等）：第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県金沢市，2006.5.20-21
- ・ 藤田郁代（座長等）：第30回日本高次脳機能障害学会，アクロス福岡，福岡県福岡市，2006.11.16-17
- ・ 藤田郁代（座長等）：第30回日本神経心理学会，名古屋国際会議場，愛知県名古屋市，2006.9.20-21
- ・ 内海景子，藤田郁代：深層失読から音韻失読へと変化したBroca失語の仮名文字能力の回復過程の分析，第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県金沢市，2006.5.20
- ・ 森田秋子，藤田郁代，伊藤智彰 他4名：両側前頭前野の損傷により書字と図形描画に乖離を認めた1例，第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県金沢市，2006.5.20
- ・ 菅野倫子，藤田郁代：失語症の文産生における動詞提示の効果－非流暢失語例と流暢失語例の比較，第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県金沢市，2006.5.21
- ・ 石川幸伸，藤田郁代：言語性保続の発現条件－刺激語の意味要因，音韻要因，提示間隔が及ぼす影響，第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県金沢市，2006.5.21
- ・ 相馬有里，藤田郁代：非流暢失語例の会話能力の語用論的分析－役割交替に関する機能の経時的変化，第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県金沢市，2006.5.21
- ・ 伊藤智彰，藤田郁代，柳沢明日美，森田秋子，山本瑞穂，小田部夏子：通所リハビリテーション利用者における非言語性認知能力の検討，第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県金沢市，2006.5.21
- ・ 小島真奈美，藤田郁代：アラビア数字の書き取りに障害を呈した失語症例における障害構造の検討，第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県金沢市，2006.5.21
- ・ 川島広明，村田和人，藤田郁代：中高年群と若年群の語想起能力の比較，第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県金沢市，2006.5.21
- ・ 菅野倫子，藤田郁代，武田湖太郎：脳内の構文処理機能の分析 近赤外線分光法（NIRS）と失語症における文容認性判断から，第30回日本神経心理学会，名古屋国際会議場，愛知県名古屋市，2006.9.22
- ・ 小森規代，藤田郁代，橋本律夫：顕著な漢字失書が残存した側頭葉型失読失書の一例，第30回日本神経心理学会，名古屋国際会議場，愛知県名古屋市，2006.9.22
- ・ 城間将江（座長）：日本語聴覚士，金沢アートホール，金沢，2006.5.20
- ・ Hiki S, Imaizumi K, Shiroma M : Possibility of Perceiving Japanese Word Accent and Chinese Tones through the Cochlear Implants, Hawaii
- ・ Yutaka Isogai, Seiji Niimi : One Day Phonosurgery by Video-endoscopy, The 5th East Asian Conference on Phonosurgery, Grand Hilton Hotel, Seoul, 2006.12.2
- ・ 新美成二（座長）：一般講演 Laryngeal Seminar in Fukushima, ホテルブルミエール箕輪，福島県，2006.10.28
- ・ 新美成二（座長）：シンポジウム 声帯麻痺：その基礎と臨床，第18回日本喉頭科学会，熊本テルサ，熊本市，2006.4.14
- ・ 牧山 清，新美成二 他：高速ビデオシステムによる音源評価－痙攣性発声障害例の生態観察，第107回日本耳鼻咽喉科学会，新高輪プリンスホテル，東京都，2006.5.11

- ・ 楠山敏行, 新美成二 他：東京ボイスセンターにおける音声障害の統計的観察，第107回日本耳鼻咽喉科学会，新高輪プリンスホテル，東京都，2006.5.11
- ・ 新美成二（座長）：パネルディスカッション 小児におけるGERDを考える，第9回胃食道逆流症と咽喉頭疾患研究会，パレスホテル，東京都，2006.6.10
- ・ 新美成二（主催者）：Voice Physiology and Biomechanics, The 5th International Conference on Voice Physiology and Biomechanics, 東京大学安田講堂，東京都，2006.7.12
- ・ 佐藤麻美, 新美成二 他：喉頭麻痺に対する音声治療法の検討，第51回日本音声言語医学会総会・学術講演会，京都リサーチパーク，京都，2006.10.26
- ・ 楠山敏行, 新美成二 他：声帯結節症例の検討 声の職業性の観点から，第51回日本音声言語医学会総会・学術講演会，京都リサーチパーク，京都，2006.10.26
- ・ 磯貝 豊, 新美成二 他：慢性甲状腺炎（橋本病）の発病を契機に発症した竹の節声帯結節の一例，第51回日本音声言語医学会総会・学術講演会，京都リサーチパーク，京都，2006.10.26
- ・ 楠山敏行, 新美成二 他：声帯結節の治療法の検討，第51回日本音声言語医学会総会・学術講演会，京都リサーチパーク，京都，2006.10.26
- ・ 生野 登, 新美成二 他：声帯結節の部位別音声評価，第51回日本音声言語医学会総会・学術講演会，京都リサーチパーク，京都，2006.10.26
- ・ 磯貝 豊, 新美成二 他：「特発性内筋麻痺」が疑われる1症例，第51回日本音声言語医学会総会・学術講演会，京都リサーチパーク，京都，2006.10.26
- ・ 三枝英人, 新美成二 他：舌下神経と迷走神経との吻合についての神経線維解析的研究，第51回日本音声言語医学会総会・学術講演会，京都リサーチパーク，京都，2006.10.26
- ・ 牧山 清, 新美成二 他：KAY高速ビデオシステムを用いた声帯振動の観察
- ・ 石田 孝, 新美成二, 小瀨千絵, 磯貝 豊 他：新生児聴覚スクリーニング後に当施設を受診した患児の検討，第51回日本聴覚医学会総会・学術講演会，ホテルメトロポリタン山形，山形，2006.9.28
- ・ 楠山敏行, 新美成二 他：声帯嚢胞症例の検討，第58回日本気管食道科学会総会・学術講演会，ロイトン札幌，札幌，2006.10.5
- ・ 畦上恭彦：INREAL研修における「母子遊び場面の評価」の検討，第7回日本語聴覚学会，石川県立音楽堂，石川県，2006.5.21
- ・ 畦上恭彦（座長）：広汎性発達障害，第32回日本コミュニケーション障害学会，北海道大学学術交流館，北海道札幌市，2006.7.16
- ・ 畦上恭彦：語彙習得における大脳半球の賦活化の検討（その1），第1回脳の学校 公開研究発表会，島津製作所東京支社，東京都千代田区，2006.12.9
- ・ 磯貝 豊（座長）：第19回日本喉頭科学会第15群手術61～66，神戸国際会議場，兵庫県神戸市，2007.3.9
- ・ 磯貝 豊：Day Surgeryによるビデオ電子スコープ下喉頭微細手術（VELMS）の検討（第9報），第19回日本喉頭科学会第15群65番，神戸国際会議場，兵庫県神戸市，2007.3.9
- ・ 磯貝 豊：Day Surgeryによるビデオ電子スコープ下喉頭微細手術（第3報），第92回日本耳鼻咽喉科学会栃木県地方部学術講演会第β群10番，自治医大地域医療情報研修センター，栃木県下野市，2006.12.9
- ・ Y Isogai：One day phono-surgery by video-endoscope, 5th East Asian Conference on Phonosurgery（第5回東アジア音声外科会議），Grand Hilton Seoul Hotel, Seoul Korea, 2006.12.2
- ・ 磯貝 豊：慢性甲状腺炎（橋本病）の発病を契機に発症した竹の節（竹節様）結節の1例，第51回日本音声言語医学会 第1群ビデオ1，京都リサーチパーク，京都府京都市，2006.10.26

- ・ 磯貝 豊 (座長) : 第58回日本気管食道科学会 第3群検査10~13ビデオ 喉頭・頸部151, ロイトン札幌, 北海道札幌市, 2006.10.5
- ・ 磯貝 豊 : フードと持続送気を併用した下咽頭スコープの症例 (その1) -魚骨異物-, 第58回日本気管食道科学会 第32群ビデオ 喉頭・頸部151, ロイトン札幌, 北海道札幌市, 2006.10.6
- ・ 磯貝 豊 : ABCI法のフローチャート (その5) マスキング無しに求まった両耳の気導聴力レベルが等しい場合, 第51回日本聴覚医学会第9群38番, ホテルメトロポリタン山形, 山形県山形市, 2006.9.28
- ・ 磯貝 豊 : Day Surgeryによるビデオ電子スコープ下喉頭手術 (第2報), 第91回日本耳鼻咽喉科学会栃木県地方部学術講演会第7群5番, ホテルニューイタヤ, 栃木県宇都宮市, 2006.9.17
- ・ 磯貝 豊 : Day Surgeryによるビデオ電子スコープ下喉頭手術, 第90回日本耳鼻咽喉科学会栃木県地方部学術講演会第3群11番, 国立病院機構栃木病院地域医療研修センター, 栃木県宇都宮市, 2006.6.4
- ・ 磯貝 豊 : ビデオ電子スコープ下喉頭手術, 第107回日本耳鼻咽喉科学会第三群15番, 新高輪プリンスホテル国際館パミール, 東京都港区, 2006.5.11-13
- ・ 磯貝 豊 : ビデオ電子スコープ下喉頭手術 (VLS) の検討 (第5報) -引き抜き法 (Pullig Out法) -, 第18回日本喉頭科学会第4群15番, 熊本テルサ, 熊本県熊本市, 2006.4.13
- ・ 磯貝 豊 : 注入剤の微細注入用に考案した手動回転押し式注射器用アダプター, 第18回日本喉頭科学会第4群16番, 熊本テルサ, 熊本県熊本市, 2006.4.13
- ・ Y. Tanaka Welty, M. Iriyama, S. Aoki : Early Identification of Children with Language-based Learning Disabilities, American Speech Language Hearing Association, Miami Convention Center, FL UAS, 2006.11.15-19
- ・ 田中裕美子 (座長) : 言語発達, 第51回日本音声言語医学会総会, 京都リーサーチパーク, 京都, 2006.10.27
- ・ 田中裕美子, 秋田一子 : 読み書き障害の発見・鑑別・支援I 通常学級のスクリーニング, 日本LD学会, 札幌コンベンション・センター, 札幌, 2006.10.6-8
- ・ 青木さつき, 入山満恵子, 田中裕美子 : 読み書き障害の発見・鑑別・支援II 読み書き障害のサブタイプ, 日本LD学会, 札幌コンベンション・センター, 札幌, 2006.10.6-8
- ・ 浦由希子, 田中裕美子 : 読み書き障害の発見・鑑別・支援III 音韻の問題, 日本LD学会, 札幌コンベンション・センター, 札幌, 2006.10.6-8
- ・ 田中裕美子, 青木さつき, 入山満恵子 : 軽度発達障害早期発見法の検討 第1報 5歳での判定法の検討, 日本コミュニケーション障害学会, 北海道大学, 札幌, 2006
- ・ 森田秋子 (座長) : 学生指導 (教育活動) I, 日本言語聴覚士学会, 石川県立音楽堂, 金沢, 2006.5.20
- ・ 森田秋子 : 両側前頭葉の損傷により書字と描画に乖離を認めた1例, 日本言語聴覚士学会, 石川県立音楽堂, 金沢, 2006.5.21
- ・ 森田秋子 : 前頭葉損傷により書字速度障害を呈した1例へのリハビリテーション, 日本神経心理学会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2006.9.23
- ・ 森田秋子 : 失語症患者の基本コミュニケーション能力が基本ADLに与える影響, 日本高次脳機能学会, アクロス福岡, 福岡, 2006.11.17
- ・ 小淵千絵 : 聞き取りに問題のある軽度発達障害児における聴覚処理に関する研究, 第44回日本特殊教育学会学術大会, 群馬大学, 群馬県前橋市, 2006.9.16
- ・ 小淵千絵, 廣田栄子 : 聴覚障害児における韻律情報の再生力と識別力の関係に関する検討, 第51回日本聴覚医学会総会ならびに学術講演会, ホテルメトロポリタン山形, 山形県山形市, 2006.9.28
- ・ 大山敦子, 小淵千絵, 下泉秀夫 : ABR無反応例に対する聴覚精査の試み, 第32回日本重症心身障害学会学術集会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2006.9.28

- ・小淵千絵, 大賀健太郎, 霜山孝子, 原島恒夫: 聞き取りに困難を示す経度発達障害者に対する聴覚処理検査の適用, 第70回日本心理学会学術大会, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2006.11.3
- ・森田秋子, 藤田郁代, 伊藤智彰, 山本瑞穂, 小田部夏子, 内海景子, 佐藤妙子: 両側前頭葉の損傷により書字と図形描画に乖離を認めた1例, 第7回言語聴覚学会, 石川県立音楽堂, 石川県金沢市, 2006.5.20
- ・森田秋子, 藤田郁代, 伊藤智彰 他4名: 両側前頭葉損傷により書字速度調整障害を呈した1例へのリハビリテーション, 第30回日本神経心理学会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.9.23
- ・森田秋子, 藤田郁代, 伊藤智彰, 山本瑞穂, 小田部夏子, 内海景子, 佐藤妙子: 右前頭葉損傷により書字速度調節障害を呈した1例へのリハビリテーション, 第30回日本神経心理学会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.9.23

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・加我君孝, 城間将江 他: 先天性難聴児の聴覚スクリーニングから就学後までの補聴器・人工内耳装用効果の総合追跡研究, 平成18年度厚生労働科研補助金感覚器障害研究事業, 感覚器障害, 一般
- ・新美成二, 後藤明菜, 田山二朗, 今川 博: 喫煙時の鼻咽腔動態に関する生理学的研究, 喫煙科学研究財団研究助成金, 一般研究
- ・田中裕美子 (代表者): 学習障害児早期発見スクリーニング法開発のための縦断研究, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究B, 17330203, 継続
- ・田中裕美子 (代表者): ことばの遅れか障害かを文法習得の躓きで判定する方法に関する研究, 文部科学省科学研究費補助金, 萌芽研究, 18653121, 採択
- ・藤本裕人, 西牧謙吾, 藤井茂樹, 梅津亜希子, 森田安徳, 前新直志: 通常の学級で学習する障害のある子どもの日本語の音韻・音節の認識に関する研究—書き言葉において間違え易い日本語の特殊音節の特性の分析と指導法の開発, 国立特殊教育総合研究所, 平成18年度課題別研究

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・藤田郁代: 日本音声言語医学会 (理事, 評議員), 日本神経心理学会 (理事, 学会誌編集委員), 日本高次脳機能障害学会 (理事, 評議員, 学会誌編集委員), 日本リハビリテーション医学会, 日本言語聴覚学会 (学会誌編集委員長), 言語障害臨床学術研究会 (世話人)
- ・城間将江: 日本聴覚医学会, 日本音声言語医学会 (評議員), 日本言語聴覚士学会, Society of Asian Pacific Cochlear Implant and Related Sciences (世話人), American Speech-Language-Hearing Association, AG Bell Association
- ・新美成二: 日本耳鼻咽喉科学会 (専門医) (聴・平衡・言語委員会委員長), 日本気管食道科学会 (専門医) (理事), 日本喉頭科学会 (理事), 日本音声言語医学会 (理事), 日本嚥下医学会 (理事), 国際音声言語医学会 (理事), 東アジア音声外科学会 (理事), CoMeT (国際舞台芸術医学会) (理事), 日本発声指導者協会 (副理事長), 日本音響学会 (正会員), 日本人類学会 (正会員), 日本等頸部外科学会 (正会員)
- ・畦上恭彦: 日本言語聴覚学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本音声言語医学会, 日本特殊教育学会, 日本LD学会, 日本発達心理学会, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 日本コミュニケーション障害学会 (常任理事), 日本赤ちゃん学会
- ・磯貝 豊: 日本耳鼻咽喉科学会 (専門医), 日本気管食道科学会 (専門医) (評議員・代表幹事・専門医制度委員会委員長), 日本音声言語医学会 (評議員)
- ・森田秋子: 日本言語聴覚士学会 (副会長), 日本老年医学会, 日本高次脳機能学会, 日本神経心理学会
- ・前新直志: 日本音声言語医学会, 日本言語聴覚士協会, 日本特殊教育学会, 日本コミュニケーション障害学会, 日本聴覚言語障害学会, 日本発達心理学会, 新潟歯学会, International Fluency Association

- ・ 小淵千絵：日本心理学会，日本特殊教育学会，日本聴覚医学会，日本音声言語医学会，日本神経心理学会，日本高次機能障害学会，日本聴覚言語障害学会，日本生理心理学会
- ・ 伊藤智彰：日本言語聴覚学会，日本神経心理学会，日本高次脳機能障害学会，日本音声言語医学会
- ・ 小田部夏子：日本言語聴覚士協会，日本神経心理学会，日本コミュニケーション障害学会，日本LD学会
- ・ 谷合信一：日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本音声言語医学会，日本高次機能障害学会
- ・ 山本瑞穂：日本言語聴覚学会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会，日本音声言語医学会

保健学部（視機能療法学科）

著書

- ・ 新井田孝裕（分担）：神経眼科をやさしく理解するための視覚と眼球運動のすべて，新しい臨床神経眼科学－視覚，聴覚，多感覚システムの統合は発展するか－，262-267，Medical View社，2007.1.20
- ・ 三柴恵美子：眼科ケア，全国視能訓練士養成校からの近況報告！4，9(4)75，メディカ出版，（2007.4）

原著論文

- ・ 四之宮佑馬，山田徹人，新井田孝裕：正常者における交代遮蔽時の衝動性眼球運動の潜時，眼科臨床医報，101(2)，188-191，2007.2.15
- ・ 村上みや，矢野 隆，四之宮佑馬，新井田孝裕：調節に伴う角膜屈折力の検討，日本視能訓練士協会誌，35，127-131，2006.8
- ・ 四之宮佑馬，山田徹人，新井田孝裕，小野里規子，高橋和晃，矢野 隆：垂直異常眼球運動を伴った先天性Duane症候群の症例，あたらしい眼科，23(5)，691-694，2006.5.30
- ・ 伊藤美沙絵，清水公也，半田知也，疋田朋子，石川 均，新井田孝裕：視野闘争による眼優位性と眼位の評価，臨床眼科，60(12)，1951-1955，2006.11.15
- ・ Goseki T, Ishikawa H, Nishimoto H, Mashimo K, Uga S, Yoshitomi T, Shimizu K : Pharmacological vascular reactivity in isolated diabetic rabbit ciliary artery., Exp Eye Res, 83(6), 1317-1324, 2006
- ・ Fujisawa K, Shimizu K, Uga S, Suzuki M, Nagano K, Murakami Y, Goseki H : Changes in the crystalline lens by insertion of a phakic IOL (ICL) into the porcine eye., Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol, 245(1), 114-122, 2007
- ・ Matsushima H, Obara Y : Active oxygen processing for acrylic intraocular lenses to prevent posterior capsule opacification, J. Cataract Refract Surg, 32, 1035-1040, 2006
- ・ 向井公一郎，松島博之，石井康雄，小原喜隆：培養水晶体上皮細胞に対するカルシウムの影響，日眼誌，110(5)，361-319，2006
- ・ 大沼 修，松島博之，妹尾 正，小原喜隆：白内障超音波乳化吸引術中の前房内圧変化，あたらしい眼科，23(9)，1225-1227，2006
- ・ 矢野 隆，山田徹人，四之宮佑馬，高橋和晃，新井田孝裕：垂直注視麻痺を呈した視床出血の一例，神経眼科，23，459-466，2006
- ・ 高橋和晃，四之宮佑馬，村山慎二郎：デジタルカメラ付き携帯電話を利用したロービジョン補助具の検討，臨床眼科，60(9)，1661-1664，2006.9

研究報告

- ・青木恭太, 秋山 仁, 四之宮佑馬, 村山慎二郎: 画像処理技術による拡大読書器の実現, 電子情報通信学会技術研究報告, WIT2006-14, 2006.5

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・新井田孝裕: 視覚生理学・ヒトの視覚特性・両眼視, 視能訓練士協会生涯教育制度新人教育プログラム, 北里大学薬学部棟, 東京都, 2006.7.16
- ・宇賀茂三: 形態学的にみた白内障発症機序, 第4回北里眼科病診連携会, ホテルセンチュリー相模大野, 神奈川県相模原市, 2007.2.8
- ・小原喜隆: 全身の示標としての水晶体, 栃木県視能訓練士勉強会, 芳賀赤十字病院, 栃木県真岡市, 2006.9.7
- ・三柴恵美子: 実技研修 (遮蔽試験), 栃木県視能訓練士勉強会, 芳賀日赤病院, 栃木県, 2006.9.7

学会発表

- ・松田英里子, 山田徹人, 三柴恵美子, 中田かづき, 村上みや, 新井田孝裕: 急性内斜視の2症例, 第47回日本視能矯正学会, フェニックス・シーガイア・リゾート ワールドコンベンションセンターサミット, 宮崎県宮崎市, 2006.11.4
- ・藤田純子, 中田かづき, 松林修子, 菊池道晴, 陶山秀夫, 山田徹人, 新井田孝裕: 視能訓練士教育における他職種との連携実習, 第47回日本視能矯正学会, フェニックス・シーガイア・リゾート ワールドコンベンションセンターサミット, 宮崎県宮崎市, 2006.11.4
- ・新井田孝裕 (座長): 神経眼科一般口演, 第47回日本視能矯正学会, フェニックス・シーガイア・リゾート ワールドコンベンションセンターサミット, 宮崎県宮崎市, 2006.11.4
- ・四之宮佑馬, 村上みや, 三柴恵美子, 山田徹人, 新井田孝裕, 氏家弘裕, 渡辺光由: 網膜操作型ディスプレイの観察による目への影響について—その1 視機能に与える影響—, 日本視覚学会2007年冬季大会, 東京工業大学大岡山キャンパス, 東京都目黒区, 2007.1.31-2.2
- ・村上みや, 四之宮佑馬, 三柴恵美子, 山田徹人, 新井田孝裕, 氏家弘裕, 渡辺光由: 網膜操作型ディスプレイの観察による目への影響について—その2 主観的評価について—, 日本視覚学会2007年冬季大会, 東京工業大学大岡山キャンパス, 東京都目黒区, 2007.1.31-2.2
- ・三柴恵美子, 宇賀茂三 他: RCTマウス白内障の発症機序に関する形態学的研究, 第33回水晶体研究会, 淡路夢舞台国際会議場, 兵庫県淡路市, 2007.1.13
- ・柏渕真紀, 宇賀茂三 他: 後囊側損傷に対するマウス水晶体の反応, 第33回水晶体研究会, 淡路夢舞台国際会議場, 兵庫県淡路市, 2007.1.13
- ・綿引 聡, 松島博之, 小原喜隆, 妹尾 正: Nd-YAGレーザーによるラット白内障モデルの創傷治癒について, 第45回日本白内障学会・第21回眼内レンズ屈折手術学会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2006.7.17
- ・永田万由美, 松島博之, 寺内 渉, 妹尾 正, 吉田紳一郎, 小原喜隆: 4種アクリル製眼内レンズの後発白内障および前囊収縮の評価, 第60回日本臨床眼科学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.10.6
- ・向井公一郎, 松島博之, 澤野宗顕, 小原喜隆, 妹尾 正: 着色眼内レンズの光酸化反応抑制効果, 第33回水晶体研究会, 兵庫県淡路市, 2006.11.3
- ・四之宮佑馬, 山田徹人, 新井田孝裕: 正常者における交代遮蔽時の衝動性眼球運動の潜時, 第62回日本弱視斜視学会総会, アクトシティ浜松, 静岡県浜松市, 2006.6.2-4
- ・青木恭太, 秋山 仁, 四之宮佑馬, 村山慎二郎: 画像処理技術による拡大読書器の実現, 電子情報通信学会 第30回

福祉情報工学研究会，筑波技術大学産業技術学部（天久保キャンパス）管理等4階大会議室，茨城県つくば市，
2006.5.20

- ・秋山 仁，村山慎二郎，青木恭太，八藤後猛，四之宮佑馬，小林好彦，梶原清隆：ロービジョンの読書環境改善への取り組み，第7回ロービジョン学会，東京女子大学，東京都杉並区，2006.9.16-18

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・新井田孝裕，山田徹人（分担）：網膜走査型ディスプレイの視聴に伴う人体の視覚機能に与える影響の評価，一般受託研究費（委託機関：独立行政法人 産業技術総合研究所）
- ・村山慎二郎，菊池裕一，青木恭太，八藤後猛，高橋和晃，四之宮佑馬：色覚障害者対応デジタル画像処理機能付き拡大読書機の開発，福祉用具研究開発事業助成金（テクノエイド協会）（委託研究費），継続

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・新井田孝裕：日本眼科学会（専門医），日本神経眼科学会（評議員，査読・書評・編集委員），日本眼光学学会，日本弱視斜視学会，日本眼科手術学会，日本神経科学学会，日本解剖学会
- ・宇賀茂三：日本眼科学会，日本神経眼科学会，日本顕微鏡学会，日本白内障学会（評議員），水晶体研究会（世話人），International Society for Eye Research, The Association for Research in Vision and Ophthalmology
- ・小原喜隆：日本眼科学会（専門医）（名誉会員），日本眼科手術学会（理事），日本白内障学会（監事），酸化ストレス学会（評議員），US-Japan CCRG（世話人）
- ・山田徹人：日本神経眼科学会（評議員），日本眼科学会（専門医），日本眼光学学会，日本視覚学会，The Association for Research in Vision and Ophthalmology, The Society for Neuroscience
- ・小町祐子：日本弱視斜視学会，日本神経眼科学会，日本眼光学学会，日本視覚学会
- ・藤田純子：日本弱視斜視学会，日本ロービジョン学会
- ・三柴恵美子：日本視能矯正学会
- ・四之宮佑馬：日本弱視斜視学会，日本視覚学会，日本視能矯正学会
- ・鈴木賢治：日本斜視弱視学会，日本視能矯正学会
- ・村上みや：社団法人 日本視能訓練士協会

保健学部（放射線・情報科学科）

著書

- ・佐々木博，飯沼一浩（共著）：診療放射線技師を目指す学生のための—医用超音波論（改定），iuhw，2006.4
- ・佐々木博，小池貴久（共著）：診療放射線技師を目指す学生のための—X線CT工学（改定），iuhw，2006.9
- ・橋本光康（分担執筆）：図解 診療放射線技術実践ガイド 第2版，組織内照射，1057-1065，文光堂，2006.11.22

原著論文

- ・Higuchi K，Nishikura K，Ajioka Y，Watanabe G：Macroscopic Findings and Mucous Phenotypes of Early Gastric Depressed Type Carcinomas，ACTA MEDICA et BIOLOGICA，54(1)，9-20，2006
- ・西倉 健，味岡洋一，渡辺 玄，樋口清孝：陥凹性小胃癌の診断 マクロ診断の立場から，胃と腸，41(5)，741-751，

2006

研究報告

- ・ 金場敏憲：医療倫理生命倫理，岩手県放射線技師会，岩手医科大学，岩手県盛岡市，（2005.10.29）
- ・ 金場敏憲：医療の歴史，岩手県放射線技師会，岩手医科大学，岩手県盛岡市，（2005.10.29）
- ・ Sakuma Y, Yamanishi H, Hashimoto M：Two Dimensional Neutron Measurement Using Thermo-Luminescent Sheets.(2), KURRI Progress Report2005, 2006.9
- ・ 杉原 卓, 室井健三 他：CR画像における画質と線量の関係，The Journal of TMIT, 17(2), 12-15, 2006.9

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 飯沼一浩：企業における研究開発の魅力，東北大学青葉工業会，東北大学工学部，仙台市，2006.12.1
- ・ 熊野信雄：日本における核医学画像診断機器の過去・現在・将来－性能管理を中心に－，原子力安全研究協会 海外派遣専門家会議，インドネシア大学 物理学部，インドネシアジャカルタ市，2007.2.27
- ・ 金場敏憲：医療倫理と患者の権利／生命倫理，東京都放射線技師会，国分寺労政会館，東京都，2006.12.2
- ・ 金場敏憲：JICA医療技術スタッフ練成コースⅡ，国際協力機構／国際医療技術交流財団，JICA兵庫国際センター，兵庫県神戸市，2007.1.26, 2007.2.14
- ・ 金場敏憲：第5回ペイシェントケア学術大会「コメディカル教育を考える」，東京都放射線技師会，日暮里サニーホール，東京都，2007.3.3
- ・ 金場敏憲：患者の立場から，医療者に求めるもの，RFC研究会，中小企業・婦人会館，神奈川県川崎市，2007.2.24
- ・ 樋口清孝：早期胃癌の形態診断に新たな知見，第8回医療画像情報学研究セミナー，かもしか荘，栃木県那須塩原市，2006.8.19
- ・ 山本智朗：SPECT最先端技術（分解能補正）骨・ガリウムイメージングへの応用，第62回日本放射線技術学会・第52回核医学分科会，パシフィコ横浜，神奈川県横浜市，2006.4.7

学会発表

- ・ 青木幸昌：定位的照射併用樹状細胞局注癌免疫療法－第1報 安全性と初期効果の評価，第19回日本放射線腫瘍学会学術大会，仙台国際センター，宮城県仙台市，2006.11.24
- ・ 青木幸昌（座長）：物理（前立腺），第19回日本放射線腫瘍学会学術大会，仙台国際センター，宮城県仙台市，2006.11.25
- ・ 菊地義信, 粕谷英樹：ピッチ制御可能な電気式人工喉頭の開発とその評価，日本音響学会，芝浦工業大学，東京都，2007.3.14
- ・ 金場敏憲（評価者）：JIMTEF海外研修生報告会，国際医療技術交流財団，JICA兵庫国際C，神戸市，（2006.3.23）
- ・ 橋本光康（座長）：第19回日本放射線腫瘍学会，仙台国際センター，宮城県仙台市，2006.11.24
- ・ 橋本光康（プログラム委員）：第19回日本放射線腫瘍学会，仙台国際センター，宮城県仙台市，2006.11.23-25
- ・ 橋本光康, 大西世紀, 佐々木徹, 土器屋卓志：モンテカルロ法による前立腺がん組織内照射の体内実効線量の推定，第19回日本放射線腫瘍学会，仙台国際センター，宮城県仙台市，2006.11.24
- ・ 樋口清孝, 西倉 健, 味岡洋一, 渡辺 玄：粘液形質からみた陥凹型早期胃癌の肉眼的特徴，第16回 新潟病理研究会，ホテルイタリア軒，新潟県新潟市，2006.5.13
- ・ 樋口清孝（座長）：平成18年度 北関東放射線技師学術大会，つくば国際会議場，茨城県つくば市，2006.6.24
- ・ 樋口清孝（主催者）：第8回医療画像情報学研究セミナー，かもしか荘，栃木県那須塩原市，2006.8.19

- ・ 樋口清孝（座長）：平成18年度 栃木県放射線技師会 第2回卒後教育講座（公開講座），栃木県立がんセンター，栃木県宇都宮市，2006.11.4
- ・ 馬場貴之，室井健三 他：窓関数による平滑化がデジタルMTFに与える影響，第56回総合医用画像技術研究会，国立がんセンター中央病院，東京都，2006.9.9
- ・ 山本智朗（座長）：核医学検査 分解能・減弱補正，第34回日本放射線技術学会秋季大会，札幌コンベンションセンター，北海道札幌市，2006.10.19
- ・ 山本智朗：マルコフ確率場を仮定した新しいSPECT画像解析法の試み，第7回世界核医学会，ソウル国際会議場，韓国ソウル市，2006.10.22

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 熊野信雄，小池貴久：半導体検出器の性能評価，安西メディカル株式会社との共同研究，継続
- ・ 熊野信雄，小池貴久：人工透析装置の性能評価，東レ（共同研究）

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 佐々木博：日本超音波医学会（評議員）
- ・ 飯沼一浩：日本超音波医学会（名誉会員），日本生体医工学会，日本放射線技術学会，日本放射線腫瘍学会，American Association of Physicists in Medicine
- ・ 大嶽 達：日本放射線学会（専門医），日本核医学会（認定医）
- ・ 熊野信雄：日本核医学会，日本医学放射線学会，日本放射線技術学会，日本核医学技術学会
- ・ 田之上司：応用物理学会，応用物理学会放射線分科会，日本放射線技術学会，日本アイソトープ協会，日本磁気共鳴医学会
- ・ 菊地義信：日本音響学会，日本音声言語医学会，日本聴覚医学会，電子情報通信学会，The Institute of Electric and Electronic Engineers
- ・ 金場敏憲：日本放射線技術学会，日本放射線技師会（地区委員），日本ME学会，日本国際保健医療学会，医療放射線防護連絡協議会
- ・ 冨沢比呂之：日本化学会，錯体化学会
- ・ 橋本光康：日本医学放射線学会（医学物理士），日本放射線腫瘍学会（放射線腫瘍学認定技師），日本医学物理学会，日本放射線技術学会，日本物理学会，放射線治療品質管理機構（放射線治療品質管理士）
- ・ 小池貴久：日本物理学会，日本応用物理学会，日本核医学会，日本放射線技術学会，総合医用画像技術研究会，大学教育学会
- ・ 樋口清孝：日本胃癌学会，日本消化器がん検診学会，日本医用画像管理学会，日本高齢消化器病学会，日本放射線技術学会，小児放射線技術研究会，総合医用画像技術研究会
- ・ 室井健三：日本放射線技術学会，日本放射線技師会，日本ヒト脳機能マッピング学会
- ・ 山本智朗：日本医学放射線学会（医学物理士），日本放射線技術学会（核医学専門技師（認定機構））（核医学分科会委員，放射線防護分科会委員），日本核医学技術学会（幹事（関東地方会）），日本核医学会，日本ヒト脳機能マッピング学会，日本医学物理学会，総合医用画像技術研究会（幹事（学術担当）），神奈川PET/SPECT研究会（世話人），医用放射線防護連絡協議会，放射線治療品質管理機構（放射線治療品質管理士）

医療福祉学部（医療経営管理学科）

著書

- ・ 高橋 泰（単著）：介護用プラン作成実践テキスト，1-224，環境新聞，2006
- ・ 高橋 泰，外山比南子，山田康夫：DPC実践テキスト（改訂版），1章～3章，1-66，じほう，2006
- ・ 鳥羽克子（日本病院会，診療情報管理通信教育委員共同制作）：ICD-9-CM手術および処置の分類2003－内容例示表－日本病院会版，じほう，（2006.3.5）
- ・ 鳥羽克子（日本病院会，診療情報管理通信教育委員共同制作）：ICD-9-CM手術および処置の分類2003－索引表－日本病院会版，じほう，（2006.3.25）
- ・ 鳥羽克子（執筆，編集），診療情報管理東京ネットワーク：ICDコーディングトレーニング，第1章 国際疾病分類（ICD）コーディング，3-17，医学書院，2006.4.1
- ・ 鳥羽克子（分担執筆），診療情報管理東京ネットワーク：ICDコーディングトレーニング，第2章 演習，21-347，医学書院，2006.4.1
- ・ 鳥羽克子（日本病院会，診療情報管理通信教育委員共同制作）：診療情報管理士テキスト 診療情報管理IV－専門・国際疾病分類法編－日本病院会版，2章 国際疾病分類法，じほう，2006.7.20
- ・ 鳥羽克子（日本病院会，診療情報管理通信教育委員共同制作）：診療情報管理過程通信教育 リポート問題集－専門・国際疾病分類法編－日本病院会版，9章 分類法，23-226，日本病院会診療情報管理士通信教育委員会，2007.2.1
- ・ 外山比南子（分担執筆）：DPC実践テキスト，DPCデータの作成法と精度の確保，80-133，じほう，2006
- ・ 安藤秀雄，大西正利，杉本恵申（分担執筆，編集）：診療報酬請求事務能力認定試験「受験対策と予想問題集」（前期版），オリジナル実技問題 実技問題／解説と解答，116-138，155-160，175-179，196-201，217-222，237-241，257-262，276-282，297-302，318-322，337-342，医学通信社，2006.6.1
- ・ 安藤秀雄，大西正利，杉本恵申（分担執筆，編集）：診療報酬請求事務能力認定試験「受験対策と予想問題集」（後期版），オリジナル実技問題 実技問題／解説と解答，116-138，155-159，176-181，197-202，217-221，237-242，256-262，277-282，298-302，317-322，337-342，医学通信社，2006.10.10
- ・ 加藤尚子（分担執筆），長谷川敏彦・松本邦愛編：医療を経済する－質・効率・お金の最適バランスをめぐる－，医療保険の制度・歴史，197-223，医学書院，2006
- ・ 河口洋行（分担執筆）：講座医療経済・政策学第八巻，第七章 医療提供組織の効率性測定の諸手法，135-154，勁草書房，2006.7
- ・ 田中平三，山田康夫 他：管理栄養士 全科のまとめ 改訂2版，給食における経営管理，301，南山堂，2006.4.10
- ・ 高橋 泰，外山比南子，山田康夫：DPC実践テキスト 改訂版，DPC制度の変遷，134-145，じほう，2006.10.10
- ・ 岡村世里奈：介護と個人情報保護法Q&A，日本医学出版，2006
- ・ 磯 伸彦（分担執筆）：経営入門，非営利組織（NPO）の経営，177-189，税務経理協会，2006.7

原著論文

- ・ 鳥羽克子：診療情報管理士の教育と役割，診療録管理，18(1)，15-21，2006.4.28
- ・ Otieno G. Ochieng, Hinako Toyama, Daisuke Koide, Motohiro Asonuma, Keiko Naitoh：EMR Effectiveness:Development and Statistical Validation of a Survey Instrument to Measure Use of Quality of and User Satisfaction with EMR from the Viewpoint of Physicians, Japan Journal of Medical Informatics, 26(5), 323-332, 2006
- ・ Makiko Miwa, Hiroyuki Kawaguchi, Hideki Arima, Kazuo Kawahara：“The effect of the development of an emergency

transfer system on the travel time to tertiary care centers in Japan”, International Journal of Health Geographies, 5(25), インターネット版, 2006.5

- ・ 関口 潔：ホスピタリティ・マネジメントを指向する患者満足度調査票の設計に関する研究，日本ホスピタリティ・マネジメント学会誌 HOSPITALITY, 14, 2007

総説

- ・ 高橋 泰：療養病床はこう変わる，ASAHI Medical 4月号，22-23，2006
- ・ 高橋 泰：DPC導入に向けた院内準備のポイント，ライフサイエンス 8月号，2006
- ・ 高橋 泰：DPCデータを経営管理に生かすには，ホープビジョン 11月号，2006
- ・ 高橋 泰：DPC実施病院における平成18年DPC改定の診療報酬上の影響，病院，65(12)，975-977，2006
- ・ 外山比南子：楽しむ研究支え合う人生，電子情報通信学会誌，90(1)，8-9，2007
- ・ 外山比南子，長谷川高志：経営感覚をみがく①，看護展望，32(1)，61-63，2007
- ・ 外山比南子，長谷川高志：経営感覚をみがく②，看護展望，32(2)，61-63，2007
- ・ 外山比南子，長谷川高志：経営感覚をみがく③，看護展望，32(3)，61-63，2007
- ・ 大西正利：点数算定実践講座，月刊保険診療，61(9)，128-131，61(10)，127-130，61(12)，137-141，62(1)，128-132，62(3)，120-124
- ・ 栗林令子，大西正利，望月稔之：新点数による算定・請求実例集，月刊保険診療，61(7)，40-41，44-45，46-47
- ・ 桜澤邦男，濃沼信夫，河口洋行：DPC別収益計算・原価計算に基づく乳癌症例損益分析に関する事例研究，病院管理，43(Suppl)，84，2006.8
- ・ 福永 肇：病院のCredit Guarantee信用保証協会，医学書院 病院，65(4)，337-341，2006
- ・ 福永 肇：国民生活金融公庫（国金）の活用方法，医学書院 病院，65(5)，408-410，2006
- ・ 福永 肇：間接金融によるその他の資金調達手段（医師会提携融資，公的融資，制度融資など），医学書院 病院，65(6)，489-491，2006
- ・ 福永 肇：ファナンス・リース，医学書院 病院，65(7)，582-585，2006
- ・ 福永 肇：病院ファイナンスの鳥瞰図と新しい資金調達方法の位置，医学書院 病院，65(8)，664-667，2006
- ・ 福永 肇：診療報酬債権流動化スキーム，医学書院 病院，65(9)，752-757，2006
- ・ 福永 肇：診療報酬債権譲渡担保融資・保証，不動産流動化（REIT），病院全事業証券化，PFI，医学書院 病院，65(10)，833-837，2006
- ・ 福永 肇：療養病床転換と既存借入金返済の問題，医学書院 病院，65(11)，926-930，2006
- ・ 福永 肇：病院債（1）地域医療振興債，医学書院 病院，65(12)，1012-1017，2006
- ・ 福永 肇：医療機関債・社会医療法人債／病院債発行の背景，医学書院 病院，66(1)，75-79，2007
- ・ 福永 肇：債券発行による資金調達の課題，医学書院 病院，66(2)，165-169，2007
- ・ 福永 肇：病院の自己資本“病院株”の検討，医学書院 病院，66(3)，252-257，2007
- ・ 山田康夫：平成18年度診療報酬・介護報酬改定の概要と重要ポイント，看護部長通信，4(1)，10-25，2006.4
- ・ 山田康夫：医療機能情報の公表制度とCSR，看護部長通信，4(4)，114-123，2006.10
- ・ 山田康夫：ヘルスアドミニストレータ養成講座第2回 医療人としてのガバナンスとコンプライアンス，医事業務，283，62-64，2006.10
- ・ 山田康夫：ヘルスアドミニストレータ養成講座第6回 医療政策の行方①，医事業務，290，74-75，2007.2
- ・ 山田康夫：ヘルスアドミニストレータ養成講座第7回 医療政策の行方②，医事業務，292，68-69，2007.3
- ・ 山本康弘：第5回総合医療事務試験，月刊保険診療，61(10)，46-48，2006.10

- ・ 山本康弘：第5回総合医療事務試験〔解答〕，月刊保険診療，61(12)，77-80，2006.12

研究報告

- ・ 加藤尚子，種田憲一郎（主任研究者）：地域連携クリティカルパスモデルの開発に関する研究報告書，平成17年度厚生労働科学特別研究事業，2007.1
- ・ 河口洋行：The effect of the Community Health Care Program on hospital markets in Japan，内閣府国際共同研究プロジェクト研究報告書，研究報告書，2006.4
- ・ 河原和夫，河口洋行：医療計画の実施及びその評価に関する研究，厚生労働科学研究費報告書，研究報告書，2007.3
- ・ 河原和夫，河口洋行，山田康夫 他：都道府県における医療計画の現状把握と分析に関する研究，平成18年度厚生科学研究費補助金（健康安全確保総合研究（医療安全・医療技術評価総合研究））
- ・ 開原成允，高橋 泰，外山比南子，山田康夫 他：診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する研究，平成18年度厚生科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 高橋 泰：介護予防プランの作り方，自治体フォーラム，自治体フォーラム本部，市谷，2007.1.19
- ・ 高橋 泰：介護予防プランの作り方，栃木県OT技師会，済生会病院，宇都宮，2007.2.19
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，自民党若手勉強会，自民党本部，東京，2007.2.24
- ・ 高橋 泰：DPC，佐久総合病院，佐久，2007.3.10
- ・ 高橋 泰：介護予防プランの作り方，茨木市薬剤師会，茨木市ホール，大阪，2007.3.18
- ・ 高橋 泰：介護予防プランの作り方，環境新聞，市立城北市民学習センター，大阪，2006.4.22
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，京都府保険医協会，ハートピア京都，京都，2006.5.20
- ・ 高橋 泰：DPC，東京医療センター，東京，2006.5.31
- ・ 高橋 泰：DPC，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2006.6.9
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，自民党若手勉強会，自民党本部，東京，2006.6.9
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，栃木県外科医師会，ホテル東日本，宇都宮，2006.6.15
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，川崎医大，倉敷，2006.6.17
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，熊本県病院会，ホテル日航，熊本，2006.6.28
- ・ 高橋 泰：DPC，高木病院，大川，2006.6.29
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，北九州医師会，リーガロイヤルホテル，小倉，2006.7.8
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，東京モダンホスピタルショー，東京ビッグサイト，東京，2006.7.14
- ・ 高橋 泰：医療制度改革のあるべき姿，厚生労働省事務次官レクチャー，厚生労働省，東京，2006.7.28
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，武見敬三先生の勉強会，北野アームス，東京，2006.8.3
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，本庄医師会，ホテルアイリス，本庄，2006.8.4
- ・ 高橋 泰：介護予防プランの作り方，酒田市・鶴岡市，市民会館，酒田，2006.8.5
- ・ 高橋 泰：医療制度改革，東海青年医会，観光ホテル，名古屋，2006.8.19
- ・ 高橋 泰：DPC，金沢医療センター，金沢，2006.8.23
- ・ 高橋 泰：DPC，福井済生会病院，福井，2006.8.24
- ・ 高橋 泰：DPC，済生会中央病院，東京，2006.9.22
- ・ 高橋 泰：介護予防プランの作り方，関東ブロック老人福祉施設研究総会，トキメッセ，新潟，2006.9.28
- ・ 高橋 泰：DPC，長野県診療情報懇談会，市民会館，飯田，2006.10.21

- ・高橋 泰：医療制度改革，千葉県医療評価認定病院協会，ポートプラザ千葉，千葉，2006.11.20
- ・高橋 泰：介護予防プランの作り方，横浜市 港南区区役所，横浜市，2006.11.24
- ・高橋 泰：医療制度改革，栃木県私的病院協会事務長会，コンセーレアイリスホール，宇都宮，2006.11.29
- ・高橋 泰：後期高齢者医療制度，厚生労働省保険局医療課 ヒアリング，厚生労働省，東京，2006.12.26
- ・佐藤貴一郎：バランスト・スコアカードとはー導入と運用ー，獨協医科大学病院，獨協医科大学病院講堂，栃木県，2006.6.14
- ・佐藤貴一郎：ホルモン補充療法の経済評価と医療政策・医療経営，これからの女性の健康研究会，丸の内ビル，東京都，2006.11.12
- ・鳥羽克子：診療記録管理とは，第28回福井県診療録管理懇話会研修会，鯖江市禰陽会館，福井県，2006.6.10
- ・鳥羽克子：医療行為分類について，長野診療情報管理懇話会（研究会），佐久総合病院研修センター，長野県，2006.6.16
- ・鳥羽克子：地域医療における診療情報管理士の役割，第56回日本病院学会，岡山コンベンションセンター，岡山県，2006.7.8
- ・鳥羽克子：診療情報管理の現状と役割ーいま，診療情報管理士がなすべきことー，神奈川県病院協会研修会，神奈川県病院協会研修室，神奈川県横浜市，2006.9.25
- ・大西正利：看護管理者に必要な平成18年度社会保険診療報酬・介護報酬改定について，栃木県看護部長会研修会，ホテルシーラックバル宇都宮，栃木県宇都宮，2006.6.9
- ・加藤尚子：もう一つのハンセン病史，平成18年度栃木県高等学校教育研究会人権教育部会総会，栃木県教育会館，栃木県宇都宮市，2006.6.22
- ・加藤尚子：もう一つのハンセン病史から見えてくるもの，学校図書館協議会夏季一斉研修会，なか川水遊園ホール，栃木県那珂川町，2006.8.4
- ・加藤尚子：もう一つのハンセン病史，平成18年度人権教育研究会，県立大田原女子高校，栃木県大田原市，2006.10.2
- ・河口洋行：医療機関の効率性評価に関する研究ー英国病院データによるDEAとウエイト付きBSCの比較ー，日本経済学会，大阪学院大学，大阪市，2006.10.21
- ・河口洋行（コメンテーター）：市町村国民健康保険財政・介護保険財政に与える供給サイドの効果について，日本財政学会（発表者：国立社会保障人口問題研究所泉田信行），近畿大学，大阪市，2006.10.7
- ・河口洋行，新春医療経済研究会，医療経済研究機構，会議室，港区，2007.1
- ・菅原琢磨：医療経済学の概要と今後の展開，日本赤十字社幹部看護師研修センター幹部看護師研修，日本赤十字社幹部看護師研修センター，東京都港区，2006.8.3
- ・山田康夫，長谷川敏彦 他：ケーススタディ，国立保健医療科学院 平成18年度病院管理研修・管理者研修（病院長コース1），国立保健医療科学院，埼玉県和光市，2006.6.16
- ・山田康夫：医療経済論，社団法人群馬県看護協会認定看護管理者研修セカンドレベル，社団法人群馬県看護協会，群馬県前橋市，2006.8.17-18
- ・山田康夫：医療管理 I 経営組織管理論，平成18年度国公立私立大学病院看護管理者講習会，千葉大学看護学部，千葉県千葉市，2006.8.28
- ・山田康夫：医療経済論，社団法人栃木県看護協会認定看護管理者研修セカンドレベル，社団法人栃木県看護協会，栃木県宇都宮市，2006.9.8-9
- ・山田康夫：医療経済，平成18年度国公立私立大学病院副看護部長研修会，千葉大学看護学部，千葉県千葉市，2006.9.28
- ・山田康夫：病院経営分析，国立保健医療科学院 平成18年度病院管理研修・管理者研修（病院長コース2），国立保

健医療科学院，埼玉県和光市，2006.10.5

- ・ 山田康夫 他：ケーススタディ，国立保健医療科学院 平成18年度病院管理研修・管理者研修（病院長コース2），国立保健医療科学院，埼玉県和光市，2006.10.6
- ・ 山田康夫：医療管理学，社団法人東京都看護協会 平成18年度認定看護管理師教育課程（感染管理），社団法人東京都看護協会，東京都新宿区，2006.11.24
- ・ 山田康夫：医療制度改革と急性期病院の今後，東京ハートセンター 医療連携親睦会，ニューオオタニイン東京，東京都品川区，2006.11.30
- ・ 山田康夫：広がる社会的責任に学ぶ－CSRからSRへの潮流－「医療業界における社会的責任活動」，凸版印刷株式会社「CC戦略フェア2007」パネルディスカッション，トッパン小石川ビルPLAZA21，東京都文京区，2007.2.16
- ・ 山田康夫：DPCと医療制度改革の今後，第1回常総保健所管内事務長会医療経営セミナー，雇用・能力開発機構茨城センター（ポリテクセンター茨城），茨城県常総市，2007.3.16
- ・ 岡村世里奈：介護事業者と契約，板橋区訪問看護協会，社会福祉法人小茂根の郷，東京都，2006.12.16
- ・ 山本康弘：地域医療のあり方と医療費の有効活用，大阪府私立病院協会，大阪府病院年金会館，大阪市，2006.9.22
- ・ 山本康弘：包括化医療に対応できる原価管理と検査部門のアクティビティ評価，臨床検査マネジメント研修会，OCAT大阪市立難波市民学習センター，大阪市，2006.9.30
- ・ 山本康弘：病院検査部門におけるBSC評価，臨床検査マネジメント研修会，OCAT大阪市立難波市民学習センター，大阪市，2006.11.4
- ・ 山本康弘：病院経営における原価管理の重要性と運用課題，日本クリニカルパス学会（シンポジウム DPC時代の原価計算），熊本県立劇場，熊本市，2006.11.18
- ・ 山本康弘：病院運営における診療情報管理の重要性－DPC導入要件からの検証－，栃木県立がんセンター グランド・カンファレンス，栃木県立がんセンター，宇都宮市，2006.10.26
- ・ 磯 伸彦：インフォームドコンセントと医療情報，社団法人栃木県放射線技師会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2006.12.17
- ・ 黒田史博：シンポジウム I DPC導入に関する諸問題－どこを解決すれば全病院が導入できるか－ 病院間のDPCデータ信頼度について，日本診療録管理学会，フェニックス・プラザ，福井県福井市，2006.8.24

学会発表

- ・ 高橋 泰：DPC情報と亜急性・回復期のレセプト情報を電子的に結合する試み，診療録管理学会のシンポジウム，フェニックスプラザ，福井，2006.8.25
- ・ 高橋 泰（発表，座長）：骨折・脳血管疾患における医療提供パターンの地域差に関する研究，病院管理学会，国際会議場，名古屋，2006.10.20
- ・ 高橋 泰（座長）：ヤングフォーラム，全日本病院協会学会，ホテル クレメンス，徳島，2006.11.3
- ・ 鳥羽克子（座長）：診療録の記載と監査，日本診療録管理学会学術大会，フェニックス・プラザ，福井県，2006.8.24
- ・ 鳥羽克子（座長）：診療録の記載とオーディット，日本診療録管理学会生涯教育研修会，笹川記念ホール，東京，2006.7.1
- ・ 鳥羽克子（座長）：診療情報管理のQ&A，日本診療録管理学会生涯教育研修会，笹川記念ホール，東京，2007.2.10
- ・ 大塚敬義，長谷川高志，外山比南子：医療系大学における情報リテラシー教育のあり方について，平成18年度私立大学情報教育協会，私学会館アルカディア市ヶ谷，東京，2006.9.6
- ・ 山本康弘，高橋 泰，外山比南子，黒田史博：狭心症を対象としたDPC診断群分類の検証，第32回日本診療録管理学会学術大会，フェニックス・プラザ，福井市，2006.8.24

- ・松木高雪, 高橋 泰, 外山比南子, 山田康夫, 山本康弘, 島本和明: 民間病院におけるDPC一季節変動を中心として, 第54回日本心臓病学会学術集会, 鹿児島市民文化ホール, 鹿児島市, 2006.9.26
- ・山本康弘, 高橋 泰, 外山比南子, 黒田史博: DPC対象施設におけるクリティカル・パス運用状況調査, 第44回日本病院管理学会学術総会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2006.10.19
- ・大塚敬義, 高橋きのみ, 長谷川高志, 外山比南子: 作業療法士の学生を対象とした電子カルテ実習授業, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.11.1
- ・長谷川高志, 外山比南子, 高橋 泰, 阿曾沼元博, 開原成允: 医療機関CIO育成教育プログラムの実習教材の開発手法, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.11.1
- ・外山比南子, 黒田史博, 高橋 泰, 荻原靖友: DPCデータに見る画像検査の実態について, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.11.2
- ・Otieno George Ochieng, 外山比南子, 阿曾沼元博, 小出大介, 内藤恵子: A Composite Index for Evaluating Electronic Medical Records Systems: Work in Progress, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.11.2
- ・山本康弘, 高橋 泰, 外山比南子, 黒田史博: DPCデータ活用による認知症要因の影響調査, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.11.2
- ・黒田史博, 外山比南子, 高橋 泰, 磯 伸彦: 情報システム化の状況とDPC調査データの精度について, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.11.2
- ・磯 伸彦, 外山比南子, 高橋 泰, 黒田史博: DPCコーディング体制とデータ精度の関連について, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.11.2
- ・内藤恵子, 阿曾沼元博, Otieno George Ochieng, 外山比南子, 開原成允, 梅里良正, 大江和彦, 小出大介: 「電子カルテシステム総合評価指標」と「ユーザー視点から見た電子カルテシステム機能」の比較検討, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.11.2
- ・外山比南子: 診療情報活用システム, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.11.3
- ・外山比南子 (座長): 一般口演 機器・撮像処理補正, 第46回日本核医学会学術総会, 鹿児島県民交流センター, 鹿児島, 2006.11.9
- ・外山比南子: 包括医療対象病院における核医学検査の実態について, 第46回日本核医学会学術総会, 鹿児島県民交流センター, 鹿児島, 2006.11.9
- ・松木高雪, 高橋 泰, 外山比南子, 山田康夫, 山本康弘, 玉木長良, 島本和明: 民間病院におけるDPC-1年次推移を中心にして, 第71回日本循環器学会総会・学術集会, 神戸国際会議場, 神戸市, 2007.3.15
- ・関口 潔 (準備委員会委員): ホスピタリティ・マネジメントを指向する患者満足度調査票の設計に関する研究, 日本ホスピタリティ・マネジメント学会 第15回全国大会, 目白大学, 東京都新宿区, 2006.7.8
- ・関口 潔: 医療施設のウェブユーザビリティに関する研究, 第44回日本病院管理学会学術総会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.10.19
- ・関口 潔: 虚血性心疾患治療における後発医薬品導入の経済効果, 第5回日本医療経営学会学術集会・総会, 日本大学会館, 東京都千代田区, 2006.12.1
- ・山田康夫: 医療機関のCSR報告書のあり方と先進事例, 日本クリニカルガバナンス研究会第12回定例研究会, 日本医療企画セミナールーム, 東京都千代田区, 2006.7.14
- ・山田康夫: 医療機関のCSR報告書のあり方と先進事例, 第4回日本クリニカルガバナンス研究会コンファレンス, 広島国際大学東京センター, 東京都千代田区, 2006.10.14
- ・山田康夫, 高橋 泰, 開原成允 他: 診断群分類データの季節変動の有無に関する研究 (第二報) パネルディスカッション

- ション, 第44回日本病院管理学会学術総会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.10.19
- ・ 山田康夫: 医療機関ガバナンスとしてのCSRの先進事例研究, 第5回日本医療経営学会学術集会・総会, 日本大学会館大講堂, 東京都倉敷市, 2006.12.1
 - ・ 山田康夫: 医療福祉グループにおけるCSRレポート事例の研究, 第14回日本クリニカルガバナンス定例研究会, 日本医療企画セミナールーム, 東京都千代田区, 2007.2.2
 - ・ 安藤由美: 医療改革による他業種株価への影響, 証券経済学会, 名城大学, 愛知県名古屋市, 2006.10.15
 - ・ 山本康弘 他: 地域医療連携が在院日数に与える影響評価, 日本医療経営学会, 日本大学会館, 東京都, 2006.12.1
 - ・ 磯 伸彦: 医療機関の統廃合が経営管理指標に与える影響—移譲前後のデータ推移をもとにした一考察—, 経営行動研究学会第16回全国大会, 桜美林大学, 東京都町田市, 2006.7.30

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 高橋 泰（主任）: International comparison of ICF visualization, ファイザーヘルスリサーチ研究助成, 採択
- ・ 高橋 泰（分担）: 効果的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究, 厚生労働科学研究費長寿科学総合（痴呆・骨折臨床）研究事業, 採択
- ・ 佐藤貴一郎（分担研究者）: 各種高脂血症治療薬の糖尿病性心血管病進展予防効果の総合的研究, 平成18年度厚生労働科学研究費補助金, 継続
- ・ 佐藤貴一郎（分担研究者）: 包括的地域ケアにおける利用者視点に立つ取引コストの測定とネットワーク生成の研究, 平成18年度文部科学研究費補助金, 採択
- ・ 鳥羽克子: 電子カルテシステム医療及び医療機関に与える効果及び影響に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金（政策科学推進研究事業）, 分担研究, 継続
- ・ 井伊雅子（研究代表者）, 外山比南子（分担研究者）: 医療データの計量手法による分析, 科学研究費補助金, 基礎研究(B), 18330046, 採
- ・ 松田晋哉（研究代表者）, 開原成允（分担研究者）, 外山比南子（研究協力者）: DPC導入の地域医療体制への影響の分析, 厚生労働省科学研究費補助金, 政策科学総合研究事業（政策科学推進事業）, H16-政策-027
- ・ 加藤尚子: ハンセン病療養所における結婚と子供—語りから再考する『隔離』の中の生活, トヨタ財団2004年度研究助成
- ・ 河原和夫（主任研究者）, 河口洋行: 医療計画の実施及びその評価に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金, 医療技術評価総合, H16-医療-009, 継続
- ・ 河原和夫, 河口洋行, 山田康夫 他: 都道府県における医療計画の現状把握と分析に関する研究, 平成18年度厚生科学研究費補助金（健康安全確保総合研究（医療安全・医療技術評価総合研究））, H18-医療-一般-012
- ・ 開原成允, 高橋 泰, 外山比南子, 山田康夫, 山本康弘 他: 診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する研究, 平成18年度厚生科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））, H16-政策-一般-027
- ・ 高橋 泰・岡村世里奈: 療養病床と介護保険施設の連携に関する研究, 平成18年度老人保健推進費補助金, 採択

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 河口洋行: 医療経済賞（医療経済フォーラム・ジャパン）, わが国病院市場の競争形態に関する研究—我が国の病院市場における競争促進は「価格低下と品質向上」をもたらすか—, 2006

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 高橋 泰: 日本病院管理学会（評議委員）, 日本医療情報学会, 日本公衆衛生学会, 日本老年医学会, 日本医療経営

- 学会（評議委員），日本神経疾患医療福祉従事者学会（理事），日本診療情報管理学会
- ・ 佐藤貴一郎：日本病院管理学会（評議委員），日本医療バランス・スコアカード研究学会（評議委員，学会誌編集委員会委員長），日本医療情報学会，日本経済学会，日本オペレーションズ・リサーチ学会，日本経営情報学会
 - ・ 鳥羽克子：日本診療録管理学会（診療情報管理指導者）（理事），日本POS医療学会（診療情報管理士）（評議委員），日本病院学会（診療情報管理士）
 - ・ 外山比南子：医療情報学会（医療情報技師育成部会問題作成集積委員会委員），日本心臓核医学会（評議委員），日本バイオメディカルファジー学会（評議委員）
 - ・ 加藤尚子：日本文化人類学会，日本医療マネジメント学会
 - ・ 河口洋行：国際医療経済学会，日本経済学会，日本病院管理学会，日本介護経営学会，医療経済学会，日本ヘルスサポート学会
 - ・ 菅原琢磨：日本経済学会，日本病院管理学会
 - ・ 関口 潔：日本ホスピタリティ・マネジメント学会（論文編集委員，幹事）
 - ・ 福永 肇：日本経済学会，経済社会学会，日本経済政策学会，医療経済学会，臨床経済学研究会，埼玉大学経済学会，神戸大学経済経営学会
 - ・ 山田康夫：日本病院管理学会，日本クリニカルガバナンス研究会（副会長，幹事），日本医療経営学会（編集委員会幹事），日本品質管理学会（医療経営の総合的質研究会委員，医療の質・安全部会会員），医療経済学会，臨床経済学研究会，ホスピタル・ガバナンス研究会（主宰），救急アクセス研究会，日本医療情報学会
 - ・ 岡村世里奈：社会保障法学会，日本病院管理学会
 - ・ 山本康弘：日本病院管理学会，日本診療録管理学会，日本医療経営学会
 - ・ 磯 伸彦：日本病院管理学会，医療経済学会，経営行動研究学会（幹事）
 - ・ 黒田史博：日本病院管理学会

医療福祉学部（医療福祉学科）

著書

- ・ 鈴木五郎（編集，分担執筆）：社会福祉養成講座9「社会福祉援助技術論Ⅱ」，4章「地域援助技術理論と技術」，97-141，中央法規出版，2007.1
- ・ 鈴木五郎（分担執筆）：介護福祉士養成講座2「老人福祉論」，6章「高齢者の生きがいと社会参加」，205-225，中央法規出版，2007.1
- ・ 上島国利（監修）：精神科臨床ニューアプローチ1「症候からみた精神医学」，メディカルビュー，2007.2
- ・ 上島国利（監修）：精神科臨床ニューアプローチ5「パーソナリティ障害・摂食障害」，メディカルビュー，2006.5
- ・ 上島国利（分担執筆）：女性心身医学，薬物療法，81-90，永井書店，2006.7
- ・ 上島国利（監修）：女性のうつ病がわかる本，法研，2006.9
- ・ 小林雅彦，原田正樹（共著）：民生委員のための地域福祉活動，全編共同執筆，1-138，中央法規出版，2006
- ・ 小林雅彦，大橋謙策 他12名（分担執筆）：地域福祉論，生活協同組合，255-261，全国社会福祉協議会，2007
- ・ 小林雅彦，市川一宏 他17名（分担執筆）：社会福祉協議会活動論，①住民参加型在宅福祉サービスの組織化・支援，②社会福祉事業者と社会福祉協議会の連携，114-119，129-132，全国社会福祉協議会，2007
- ・ 六波羅詩朗（編集，共著，分担執筆）：地域で支える障害者の相談支援，1章「相談支援におけるソーシャルワーカー

- の役割と多様性」 2章 事例コメント, 11-12, 13-15, 20-21, 38, 48, 60, 71, 94, 103, 118, 中央法規出版, 2006
- ・ 六波羅詩朗 (編集, 共著, 分担執筆) : ケアマネ業務のための生活保護Q&A, 第1章 ケアマネジャーと生活保護, 1-28, 中央法規出版, 2006
 - ・ 六波羅詩朗 (共著, 分担執筆) : 社会福祉選書 改訂 公的扶助論, 1章2 公的扶助の歴史 2章5生活保護の運営実施体制, 6-22, 105-133, 建帛社, 2007
 - ・ 六波羅詩朗 (共著, 分担執筆) : 新版社会福祉士養成講座6 公的扶助論 (第6版), 第6章 低所得対策の概要, 160-208, 中央法規出版, 2007
 - ・ 六波羅詩朗 (共著, 分担執筆) : 新社会福祉士養成テキストブック 公的扶助論, 第5章2 低所得・貧困層への様々な制度対応 3社会手当, 109-134, ミネルヴァ書房, 2007
 - ・ 六波羅詩朗 (共著, 分担執筆) : 新版社会福祉学習双書 公的扶助論, 第3章 低所得者対策の概要及び関連施策 第4章 公的扶助と社会福祉援助活動, 161-198, 190-206, 全社協, 2007
 - ・ 六波羅詩朗 (項目分担執筆) : 現代社会保障・福祉小事典, GHQの戦後政策, 生活保護法, 122-123, 129, 法律文化社, 2007
 - ・ 山崎順子 (編集) : 地域でささえる障害者の地域生活支援—事例を通してみるソーシャルワーク実践のプロセス, 第1章障害を持つ人々への相談支援とソーシャルワーカーの役割 第1節相談支援の実践過程 第2節相談支援におけるソーシャルワーカーの役割の多様性 2自己決定を支える役割 5ネットワークを構築する役割 6地域住民の福視力を向上する役割 7問題解決を促進する役割 9社会資源の開発・改善の役割 事例コメント, 2-8, 12, 15-19, 20, 48, 82, 130, 142, 151, 178-179, 中央法規出版, 2006.10
 - ・ 山崎順子 (分担執筆) : 介護福祉受験講座2006, 社会福祉援助技術 障害者福祉論 障害者の心理, 44~59, 74-83, 114-121, 株式会社医療福祉研究所, 2006.4
 - ・ 絹木憲司 (分担執筆) : 介護職員基礎研修テキスト, 健康活主体的・機能的な生活に向けた支援, 76-93, 全国社会福祉協議会, 2006.10.31
 - ・ 絹木憲司 (分担執筆) : 介護福祉士全国統一模擬試験 (基礎編) の解説, レクリエーション活動援助法, 45-48, 中央法規出版, 2006.6.20
 - ・ 絹木憲司 (分担執筆) : 介護福祉士全国統一模擬試験 (実力編) 解説, レクリエーション活動援助法, 45-48, 中央法規出版, 2006.10.20
 - ・ 村上須賀子, 佐々木哲二郎, 井上由美子, 金蔵常一, 金子 努, 黒木信之, 小嶋章吾, 藤田花緒里, 森崎千晴 : 医療福祉総合ガイドブック (2006), NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会編, 医学書院, 2006.4
 - ・ 副田あけみ, 小嶋章吾 (編著) : ソーシャルワークの記録～理論と実際～, 誠信書房, 2006.10
 - ・ 小嶋章吾 (分担執筆) : 社会福祉援助技術演習 (新・社会福祉士養成テキストブック④), 生活支援のためのスキル I, ミネルヴァ書房, 2006.2
 - ・ 寫末憲子, 小嶋章吾 (分担執筆) : 介護職員基礎研修テキスト作成委員会編『介護職員基礎研修テキスト』 (介護職員基礎研修テキスト第8巻), 介護における社会福祉援助技術, 長寿社会開発センター, 42-81, 2007.2
 - ・ 小嶋章吾 (分担執筆) : 『介護職員基礎研修テキスト』編集委員会編『介護における社会福祉援助技術』 (介護職員基礎研修テキスト第8巻), 第1章第3節ソーシャルワークの展開, 全国社会福祉協議会, 9-17, 2007.3
 - ・ 大石剛史 : 介護福祉士受験講座2007, 試験問題編 I・II, 267-289, 320-335, 医療福祉総合研究所, 2006.5
 - ・ 須藤昌寛 (分担執筆) : 介護福祉士受験講座2007, 老人福祉論, 25-43, 株式会社医療福祉研究所, 2006.5
 - ・ 須藤昌寛 (分担執筆) : 2007社会福祉士国家試験模擬問題集, 中央法規出版, 2006.7
 - ・ 六波羅詩朗, 長友祐三, 須藤昌寛 (分担執筆) : ケアマネ業務のための生活保護Q&A, 第3章 生活保護を受けてい

- る人へのケアマネジメント事例 第4章 ケアマネ業務のための生活保護Q&A, 81-126, 中央法規出版, 2006.11
- ・ 永野なおみ (分担執筆) : ソーシャルワーク記録—理論と技法, 演習課題1・2 相談援助記録開始期・展開期, 回答例, 132-136, 149-150, 誠心書房, 2006
 - ・ 永野なおみ (分担執筆) : 医療ソーシャルワーク実習ガイドブック, 実習ノートの構成, 剋草書房, 2007.3
 - ・ 林 和美 (分担執筆) : 改訂 新居宅サービス計画ガイドライン, 居宅サービス計画と保険給付限度額, 84-86, 全国社会福祉協議会, 2006.11.30
 - ・ 林 和美 (分担執筆) : 介護支援専門員実務研修受講試験 模擬問題集, 「介護保険制度改正の重要ポイント」「介護支援分野」「実践問題」及び解答解説, 11-21, 24-79, 164-172, 180-222, 中央法規出版, 2006.09.01
 - ・ 林 和美 (監修, 出演) : 「ビデオで学ぶ ケアマネジャー試験2006」介護支援分野, ビデオ2巻 64分・50分, 中央法規出版, 2006.08.01
 - ・ 山崎順子, 六波羅詩朗 (編者), 若倉 健 (第3章構成) : 地域でささえる障害者の相談支援 事例をとおしてみる ソーシャルワーク実践のプロセス, 第3章コーディネーターのアイデンティティと相談支援, 181-192, 中央法規, 2006.10.31
 - ・ 開原成允, 林 和美, 若倉 健ほか (分担執筆) : ケアマネジャー試験対策2006, (株) 医療福祉総合研究所, 2006.5.1
 - ・ 本多 勇, 若倉 健, 樋口京子, 門田直美 他 (分担執筆) : ケアマネジャー試験総まとめ, 一橋出版, 2007.3.31
 - ・ 本多 勇, 若倉 健, 樋口京子, 門田直美 他 (分担執筆) : ケアマネジャー模擬問題集, 一橋出版, 2007.3.31
 - ・ 若倉 健 (分担執筆) : 2006社会福祉士国家試験模擬問題集, 中央法規, 2006.6

原著論文

- ・ 上島国利, 小山 司, 村崎光邦 : 統合失調症に対するquetiapine fumarateの市販後臨床試験, 臨床精神薬理, 9(8), 1629-1639, 2006
- ・ 小嶋章吾 : 医療ソーシャルワーカーの働きを検証する⑩ 患者と医療機関の期待に応えるMSW～MSW雇用ニーズと退院援助101事例の援助効果をもとに～, 病院, 66(4), 100-103, 2007.3
- ・ 永野なおみ, 小嶋章吾, 若倉 健 : 医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題 (第2報) ～医療ソーシャルワーク論等の開講状況とその教育内容～, 医療と福祉, 81.40(2), 86-89, 2007.3.20
- ・ 荒井春生 : がんの再発告知を受けた患者が新たな自己の存在価値を受け止めるプロセス, 人間総合科学学会誌, 2(2), 48-54, 2006
- ・ 荒井春生 : がんの体験がもたらした「人生に対する意味づけ」の理解, 第37回日本看護学会論文集, 精神看護, 205-207, 2006
- ・ 荒井春生 : 余命告知を受けたがん患者の適応過程, 第37回日本看護学会論文集 成人看護Ⅱ, 454-456, 2006
- ・ 荒井春生 : 壮年期にがんの体験を持つ高齢者ががんの体験を受け止めるプロセス, 第37回日本看護学会論文集 老年看護, 242-244, 2006
- ・ 荒井春生 : がん体験者のエンパワメントモデルに関する一考察, 人間総合科学学会誌, 3(1), 63-70, 2006
- ・ 須藤昌寛 : 介護負担感が高齢者への不適切介護に及ぼす影響, 東京成徳大学大学院博士論文, 2006

総説

- ・ 上島国利 : プライマリケアに必要な精神科の知識, 日本内科学会雑誌, 95(9), 1645-1652, 2006.9
- ・ 上島国利 : アドヒアランスとコンプライアンス, 臨床精神医学, 36(2), 222-223, 2007.2
- ・ 尾鷲登志美, 上島国利 : セルトラリンの特徴, 精神科, 10(2), 140-145, 2007.2

- ・岡島由佳, 上島国利: 病気が引き金となって生じるうつ病, 薬局, 58(3), 364-367, 2007.3
- ・上島国利: 抗うつ薬の選択, 新薬と臨床, 56(3), 223-231, 2007
- ・尾鷲登志美, 上島国利: 抗不安薬の概念, 臨床精神薬理, 9(12), 2379-2388, 2006
- ・上島国利: Sertralineの国内における臨床試験成績, 臨床精神薬理, 9(9), 1839-1849, 2006
- ・六波羅詩朗: 書評私の推薦本 京極高宣著生活保護改革の視点, ケアマネジャー (中央法規出版), 9(1)通巻82号, 85, 2006.12
- ・六波羅詩朗: 論文の論評 母子世帯の当事者組織の意義と歴史的展開, 社会福祉学評論 (日本社会福祉学会関東部会機関誌), 再刊7号(通巻9号), 54-55, 2007.3
- ・寫末憲子, 小嶋章吾: 連載 利用者の自立生活支援のために③ ホームヘルプ実践における生活場面面接の実際と課題～介護予防や困難事例への活用を期待して～, ヘルパーネットワーク, 57, 6-11, 2007.1
- ・永野なおみ, 小嶋章吾, 若倉 健: 医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題 (第二報), 医療と福祉, 81.40(2), 86-89, 2007.3
- ・若倉 健: 栃木県の高齢者虐待問題と課題, 栃木県社会福祉士会社会福祉研究, 2, 11-16, 2007.3

研究報告

- ・山崎順子 他: 障害者・児の生活ニーズに対するホームヘルプサービスの在り方に関する研究, 社会教育年報, 2005年度版第26集, 509-510, 2006.7.2
- ・小嶋章吾, 寫末憲子: 社会福祉実践における生活場面面接の理論と方法の体系化に関する研究～実践的技法と教育訓練プログラムの開発, 平成17年度科学研究費 研究成果報告平成18年度科学研究費基盤研究C (継続), 2006.4
- ・寫末憲子, 小嶋章吾: 対応困難な要介護高齢者へのソーシャルワーカーとホームヘルパーの協働に関する研究～ケアマネジメントシステムにおける利用者の生活変化と援助プロセスを中心とした検討～, 平成17年度科学研究費 研究成果報告平成18年度科学研究費補助金, 2006.4
- ・小嶋章吾 他: わが国の在宅医療における医療ソーシャルワーカー実践事例の調査研究－医療ソーシャルワーカーの国家資格化と養成カリキュラムのあり方を求めて－, 2005年度在宅医療助成研究報告書, 財団法人在宅医療助成勇美財団, 2006.8
- ・京極高宣, 村上寿賀子, 石田路子, 永野なおみ, 小嶋章吾, 竹中麻由美, 横山豊治: わが国の在宅医療における医療ソーシャルワーカー実践事例の調査研究－医療ソーシャルワーカーの国家資格化と養成カリキュラムのあり方を求めて－, (財)在宅医療助成 勇美記念財団平成17年度在宅医療助成研究完了報告書No.87 研究代表者: 京極高宣氏 www.zaitakuiryo-yuumizaidan.com, 2006
- ・若倉 健: 高齢者虐待防止に必要な知識および支援方法の検討－社会福祉士を対象として－, 平成18年度社団法人日本社会福祉士会生涯研修制度 (栃木県支部) 研究成果報告書, 2007.3
- ・山口光治, 坂田伸子, 高山直樹, 若倉 健 他: 高齢者虐待防止のための予防プログラムの開発－高齢者へのエンパワメント・アプローチによる試み－, 平成17～18年度 文部科学省 科学研究費 研究成果報告書, 2007.3

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・上島国利: プライマリケアに必要な精神科の知識, 第103日本内科学会講演会, パシフィコ横浜, 横浜, 2006.4.16
- ・上島国利: 新規抗精神病薬における治療の動向, 北九州精神科講演会, リーガロイヤル小倉, 小倉, 2006.5.26
- ・上島国利: うつ病・パニック障害－新たなる展開－, ファイザー薬剤師フォーラム2006, 新高輪プリンス, 東京, 2006.5.27
- ・上島国利: 社会不安障害の診断と治療, 堺市医師会精神科医界, ホテル第一堺, 堺市, 2006.7.15

- ・ 上島国利：うつ病臨床の歴史と展望，第3回日本うつ病学会，京王プラザホテル，東京，2006.7.27
- ・ 上島国利：新しい抗うつ薬がやってきた，第3回日本うつ病学会，京王プラザホテル，東京，2006.7.28
- ・ 上島国利：うつ病治療における最近の動向，山陰精神医学会，米子全日空ホテル，米子，2006.8.5
- ・ 上島国利：プライマリーケアにおけるうつ，Pri-Med Japan2006生涯教育プログラム，ビックサイト，東京，2006.9.10
- ・ 上島国利：難治性うつ病について，徳島精神科臨床懇話会，グランビア徳島，徳島，2006.10.20
- ・ 上島国利：産業保健に必要な精神科の知識，東芝グループ産業医会議，東芝本社，東京，2006.11.10
- ・ 上島国利：プライマリケアにおけるうつ病の診断・治療，栃木医師会（日医生涯教育協力講座），イタヤホテル，宇都宮，2007.1.25
- ・ 上島国利：社会不安障害の診断と治療，杉並区医師会学術勉強会，杉並医師会館，東京，2007.1.19
- ・ 上島国利：新規抗精神病薬と副作用，神奈川県精神病院協会，神奈川県民センター，横浜，2007.2.14
- ・ 上島国利：セラピストのための精神薬理学，第8回日本サイコセラピー学会，立教大学，東京，2007.3.18
- ・ 上島国利：昨今の不安・抑うつに対する薬物療法，第1回高知県不安・抑うつ研究会，新阪急ホテル（高知），高知，2007.2.21
- ・ 山崎順子：障害者の地域生活支援について，栃木県南健康福祉センター，栃木県庁小山庁舎，小山市，2007.1.25
- ・ 山崎順子：今後の障害者福祉の動向について，障害児（者）事業所従事者研修，那須塩原市いきいきふれあいセンター，那須塩原市，2006.8.19
- ・ 浅香 勉：要保護児童に対する地域ケアを考えるー里親制度の理解と活用ー，平成18年度 栃木県中央児童相談所協力体制整備事業 研修会，パルティとちぎ男女共同参画センター，宇都宮市，2006.1.30
- ・ 小嶋章吾：民生委員・児童委員による相談・支援活動～面接相談の意義と展開を中心に～，平成18年度現任(1)研修，東京都民生委員児童委員連合会，東京，2006.5.26（調布市），2006.6.16（武蔵野市），2006.7.28（北区）
- ・ 小嶋章吾：主任児童委員による相談・支援活動～生活場面面接の展開を中心に～，平成18年度主任児童委員（1期未満）研修，東京都民生委員児童委員連合会，東京，2007.2.23
- ・ 小嶋章吾：利用者の意欲を引き出す対人援助の方法（3回シリーズ），町田市訪問介護事業所研修会，東京都町田市，2006.6.16，2006.9.15，2006.11.30
- ・ 小嶋章吾：よりよいサービスの提供をめざして，スーパービジョン研修（中級者編），生活クラブ生協，千葉市，2006.8.8，2006.9.21
- ・ 小嶋章吾：生活場面面接，社会福祉法人福音会，東京都町田市，2006.9.10
- ・ 小嶋章吾：地域福祉権利擁護事業における生活場面面接，平成18年度地域福祉権利擁護事業 生活支援員中央現任研修会，全国社会福祉協議会，神奈川・ロフォス湘南，2006.9.15
- ・ 小嶋章吾：対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク），栃木県介護支援専門員専門研修（課程Ⅰ），とちぎ健康福祉協会，宇都宮市，2006.9.27，2006.10.6
- ・ 小嶋章吾：問題解決のための思考法，平成18年度ファーストステップモデル事業，日本介護福祉士会，静岡市，2006.8.24，2007.2.13
- ・ 小嶋章吾：地域包括支援センターにおける総合相談の視点と方法，地域包括支援センター社会福祉士実務研修，宇都宮市，2006.11.25-26
- ・ 小嶋章吾：コミュニケーション技術の応用的な展開，平成18年度社団法人日本介護福祉士会リーダー研修会，東京，2006.9.22
- ・ 小嶋章吾：どうやる？地域福祉？！～地域への支援について考えてみませんか？～，栃木県社会福祉協議会（地域福祉人材養成等事業），宇都宮市，2007.3.16
- ・ 須藤昌寛：認知症高齢者の理解と生活の捉え方，栃木県認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，

2006.6.12

- ・ 須藤昌寛：認知症高齢者の生活支援の方法①，栃木県認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，

2006.9.7

- ・ 須藤昌寛：認知症高齢者の生活支援の方法②，栃木県認知症介護実践研修，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，

2007.1.18

- ・ 須藤昌寛：介護保険・改正のポイントと今後の課題について，上都賀郡市医師会，鹿沼市民情報センター，栃木県鹿沼市，2007.2.22

- ・ 永野なおみ：ケースワークの専門性について考えるー現場の実践や倫理綱領を通してー，栃木県社会福祉士会初任者研修，済生会宇都宮病院，宇都宮市，2006.5.20

- ・ 永野なおみ：相談援助の基本についてーバイステックの原則からー，平成18年度栃木県家庭相談員・母子自立支援員・婦人相談員研修，とちぎ福祉プラザ，宇都宮市，2006.6.30

- ・ 永野なおみ：ケースワークの基本，平成18年度神奈川県地域権利擁護事業現任者研修，ウィリング横浜，横浜市，2006.12.1

- ・ 若倉 健：地域包括支援センターにおける業務の実際と課題，宇都宮市地域包括支援センター，宇都宮中央病院，栃木県宇都宮市，2006.7.8

- ・ 若倉 健：高齢者への虐待について，長野市企業人権同和教育推進協議会 長野市教育委員会，長野市中央隣保館，長野県長野市，2006.9.15

- ・ 若倉 健：高齢者虐待～法制度の理解と支援展開について～（社団法人日本社会福祉士会生涯研修制度事業），栃木県社会福祉士会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2006.9.30

- ・ 若倉 健：社会福祉士国家試験対策講座，栃木県社会福祉士会，福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2006.11.11

- ・ 若倉 健：地域包括支援センター社会福祉士実務研修「総合演習」（社団法人日本社会福祉士会 長寿社会福祉基金事業），栃木県社会福祉士会，とちぎ健康の森，栃木県宇都宮市，2006.11.26

- ・ 若倉 健（六波羅詩朗先生の代理）：現場実習の意味と到達目標のあり方を考える（地域別に見る），（社）日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック，横浜福祉保健研修交流センターウィリング横浜，神奈川県横浜市，

2006.12.2

- ・ 若倉 健：「これって虐待？」あなたは気付いていますか？～高齢者虐待について学ぶ～，在宅ケア・うつのみや，パーティとちぎ女性センター，栃木県宇都宮市，2007.2.17

- ・ 若倉 健：高齢者虐待防止支援に関する専門的視点を養うために（社団法人日本社会福祉士会生涯研修制度事業），栃木県社会福祉士会，国際医療福祉大学，栃木県大田原市，2007.2.24

学会発表

- ・ 山本みどり，相原和子：ソーシャルワーカーから見た「京都・認知症の母殺害事件」，第16回日本医療社会福祉学会大会，同志社大学，京都，2007.9.18

- ・ 六波羅詩朗：書評発表「被占領期社会福祉分析」，社会政策学会，大分大学，大分市，2006.10

- ・ 山崎順子，六波羅詩朗，須藤昌寛，若倉 健：障害者（児）の地域生活支援システムの在り方に関する研究（3）ー事例分析を通して明らかとなったコーディネーターの機能ー，日本社会福祉学会第54回全国大会，立教大学，埼玉県新座市，2006.10.8

- ・ 山崎順子：障害者相談支援におけるコーディネーターの役割，第41回発達障害学会，北海道大学，札幌，2006.6.25

- ・ 山崎順子（実行委員，座長）：福祉領域第1分科会，栃木県ソーシャルワーク学会，とちぎ健康の森，宇都宮市，2007.3.17

- ・浅香 勉：子育て支援施策の現状と課題－安全を巡る学童保育の養育支援－，日本子ども虐待防止学会，仙台国際センター，仙台市，2006.12.8
- ・小嶋章吾， 畠末憲子：生活場面面接の研修プログラムのあり方に関する一考察～A県社会福祉士会における相談援助技術研修「生活場面面接」の評価を中心に～，日本社会福祉学会第54回全国大会，立教大学，2006.10.8
- ・畠末憲子， 小嶋章吾：ホームヘルパー現任研修における生活場面面接演習についての検討～介護予防の視点と対応困難場面への対応を中心に～，日本社会福祉学会第54回全国大会，立教大学，2006.10.8
- ・永野なおみ， 小嶋章吾：医療ソーシャルワーカー養成教育の現状と課題（その3），日本社会福祉学会第54回全国大会，立教大学，2006.10.8
- ・荒井春生：がんの再発体験者が地域で生きる選択と揺れ動く思いについて，日本看護学会精神科看護，宮城県仙台市，2006
- ・荒井春生：緩和ケア病棟に入院した患者のスピリチュアルペイン，第30回日本死の臨床研究会，大阪府，2006
- ・大石剛史， 須藤昌寛， 若倉 健， 山崎順子， 六波羅詩朗， 小林雅彦：栃木県における障害児（者）相談支援システムに関する研究①－ホームヘルプサービス事業所の受付経路とその後の連携に焦点をあてて－，日本地域福祉学会第20回大会，長崎国際大学，長崎県佐世保市，2006.6.11
- ・若倉 健， 須藤昌寛， 大石剛史， 山崎順子， 六波羅詩朗， 小林雅彦：栃木県における障害児（者）相談支援システムに関する研究②－連携及びホームヘルプサービス事業所が抱える問題について－，日本地域福祉学会第20回大会，長崎国際大学，長崎県佐世保市，2006.6.11
- ・大石剛史， 中野いく子， 原田正樹：わが国における世代間交流実践・研究の到達点と今後の課題について，福祉教育・ボランティア学習学会第12回大会，東京国際大学，埼玉県，2006.11.25
- ・須藤昌寛：「高齢者虐待」という用語に関する研究，日本福祉心理学会，第一福祉大学，福岡県太宰府市，2006.7.15
- ・須藤昌寛：高齢者施設職員の負担感と不適切介護に関する考察，日本心理学会，福岡国際会議場，福岡県福岡市，2006.11.4
- ・若倉 健， 須藤昌寛：高齢者虐待防止に向けた地域包括支援センター社会福祉士の取り組みの現状と課題～中間報告～，とちぎソーシャルワーク学会，とちぎ福祉プラザ，栃木県宇都宮市，2007.3.17
- ・小嶋章吾， 永野なおみ：医療ソーシャルワーク実習の現状と課題（その1）～医療ソーシャルワーク実習実態調査の結果から～，第3回栃木県医療社会事業学会，済生会宇都宮病院グリーンホール，宇都宮市，2006.4.15
- ・永野なおみ， 小嶋章吾：医療ソーシャルワーク実習の現状と課題（その2）～医療ソーシャルワーク実習報告会と実習のあり方検討会の分析から～，第3回栃木県医療社会事業学会，済生会宇都宮病院グリーンホール，宇都宮市，2006.4.15
- ・荻津 守， 栗本孝雄， 小嶋章吾， 永野なおみ：医療ソーシャルワーク実習の現状と課題（その1）～医療ソーシャルワーク実習実態調査の結果から～，第26回日本医療社会事業学会，つくば国際会議場，つくば市，2006.5.27
- ・荻津 守， 栗本孝雄， 永野なおみ， 小嶋章吾：医療ソーシャルワーク実習の現状と課題（その2）～医療ソーシャルワーク実習報告会の分析から～，第26回日本医療社会事業学会，つくば国際会議場，つくば市，2006.5.27
- ・福井康江：リカバリーにつながる信頼関係とエンパワメント，栃木県精神保健福祉士会 実践報告会，とちぎ健康の森，栃木県，2007.2.24
- ・若倉 健， 山口光治， 坂田伸子：高齢者虐待防止のための予防プログラム開発に関する研究－高齢者の老後生活の考えと準備に焦点をあてて－，第3回日本高齢者虐待防止学会，大阪市立大学医学部学舎，大阪府大阪市，2006.7.1
- ・鈴木庸一， 若倉 健， 齋藤 誠：A交通株式会社のワンステップバス利用時のバリアー車いす対応バスの人的・物理的・情動的・制度的なバリアの実例－，日本福祉のまちづくり学会第9回全国大会，呉大学，広島県呉市，2006.8.27

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・岡部 卓，六波羅詩朗，新保美香 他：「生活保護における自立支援の在り方に関する研究」，平成18年度文部科学省厚生科学研究費補助金，基盤研究B，課題番号18330112，採択
- ・寫末憲子，小嶋章吾（研究分担者）：対応困難な要介護高齢者へのソーシャルワーカーとホームヘルパーの協働に関する研究～ケアマネジメントシステムにおける利用者の生活変化と援助プロセスを中心とした検討～，平成18年度科学研究費補助金
- ・京極高宣（研究代表者），小嶋章吾（分担研究者）：わが国の在宅医療における医療ソーシャルワーカー実践事例の調査研究－医療ソーシャルワーカーの国家資格化と養成カリキュラムのあり方を求めて－，2005年度在宅医療助成，財団法人在宅医療助成勇美財団
- ・小嶋章吾，寫末憲子：社会福祉実践における生活場面面接の理論と方法の体系化に関する研究～実践的技法と教育訓練プログラムの開発，平成17年度科学研究費基盤研究C（継続），日本学術振興会，採択
- ・荒井春生：Cancer Survivorが再発や転移を体験する苦悩の意味と再適応を獲得するプロセス，日本死の臨床研究会助成金，採択
- ・大石剛史：地域福祉の主体形成を促進する要因に関する研究，文部科学省平成18年度科学研究費補助金若手研究B，社会福祉学，18730357，採択
- ・永野なおみ（研究代表者）：大学における医療ソーシャルワーカー養成教育の現状とあり方に関する基礎的研究，平成18年度科学研究費補助金，基盤研究C，18530447，採択

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・須藤昌寛：博士（心理学），介護負担感が高齢者への不適切介護に及ぼす影響，2007.3.23
- ・福井康江：修士，精神障害者の地域生活支援におけるピアサポーターに関する研究，2007.3.9

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・鈴木五郎：日本社会福祉学会，日本地域福祉学会
- ・会田元明：日本教育心理学会
- ・相原和子：日本医療社会福祉学会
- ・上島国利：日本うつ病学会（理事），日本臨床精神神経薬理学会（専門医）（名誉会員），日本総合病院精神医学会（認定医）（名誉会員），日本精神科診断学会（名誉会員），日本心身医学会（認定医）（評議員），日本精神神経学会（専門医），日本精神神経薬理学会（評議員）
- ・小林雅彦：日本地域福祉学会（栃木県担当委員），日本認知症ケア学会（関東甲信越地域部会委員）
- ・山崎順子：日本社会福祉学会，日本発達障害学会
- ・浅香 勉：日本子ども虐待防止学会，日本社会福祉学会，日本福祉教育・ボランティア学習学会，日本子ども家庭福祉学会，日本社会事業大学社会福祉学会
- ・絹木憲司：日本地域福祉学会，キリスト教社会福祉学会，玩具福祉学会
- ・小嶋章吾：日本社会福祉学会（査読委員），日本介護福祉学会，日本社会福祉実践理論学会，ソーシャルワーク研究会，日本医療ソーシャルワーク研究会，TAMAソーシャルワーク研究会，M-GTA研究会（世話人）
- ・大石剛史：日本地域福祉学会，福祉教育ボランティア学習学会
- ・須藤昌寛：日本心理学会，日本福祉心理学会，日本カウンセリング学会（認定カウンセラー），日本老年行動科学会，日本社会福祉学会，日本地域福祉学会，
- ・永野なおみ：日本社会福祉学会，日本医療社会事業学会，介護教育福祉学会

- ・ 林 和美：日本社会福祉学会，日本地域福祉学会，日本ケアマネジメント学会（認定ケアマネジャー）（評議員，学会誌編集委員，認定ケアマネジャー試験委員）
- ・ 福井康江：日本芸術療法学会，日本精神障害者リハビリテーション学会
- ・ 若倉 健：日本社会福祉学会，日本地域福祉学会，日本高齢者虐待防止学会，日本福祉のまちづくり学会，日本ケアマネジメント学会，日本老年行動科学会，立正大学社会福祉学会

薬学部（薬学科）

著書

- ・ 伊賀立二（分担）：薬学概論（改訂4版），3-4医薬品開発研究(3)，5-2病院薬剤師活動，58-62，107-116，南山堂，2006
- ・ 緒方映子，山田安彦，伊賀立二（共著）：くすりとエビデンス，Part II -3エビデンスをつたえる DI活動，153-161，中山書店，2006
- ・ 伊賀立二（分担），新体系看護学4 治療法概説（第2版），第1章 薬物療法，2-16，メジカルフレンド社，2006
- ・ 青山隆夫，伊賀立二（共著）：Medical Practice 臨時増刊 新・輸液ガイド，注射薬の混合調製方法と注意点，92-102，文光堂，2006
- ・ 森本兼曩，宮崎良文，有澤宗久（分担執筆），平野秀樹（編集）：森林医学，森林薬学，189-238，朝倉書店，2006
- ・ 有澤宗久（分担執筆），奥田拓男（編集）：最新生薬学，キノン，ピロン，フェノール類またはそれらの配糖体を含む生薬，廣川書店，2007
- ・ 池田俊也：医療・病院管理用語事典（改訂第3版），医師誘発（開発）需要，15，エルゼビア・ジャパン，2006
- ・ 池田俊也：医療・病院管理用語事典（改訂第3版），DRG/PPS（診断群別包括支払方式），161，エルゼビア・ジャパン，2006
- ・ 池田俊也：医療・病院管理用語事典（改訂第3版），テクノロジー・アセスメント（医療技術評価），165，エルゼビア・ジャパン，2006
- ・ 池田俊也：医療・病院管理用語事典（改訂第3版），薬剤疫学，213，エルゼビア・ジャパン，2006
- ・ 池田俊也：実地診療のためのプロトンポンプ阻害薬ハンドブック，医療経済からみたプロトンポンプ阻害薬の有用性をみる，39-46，先端医学社，2006
- ・ 池田俊也：医療薬学フロンティア 医療制度とマネジメント編，急性期入院医療における包括評価（DPC）とこれからの薬剤業務，44-54，薬事日報社，2006
- ・ 池田俊也：医薬品情報・評価学（改訂第2版），薬剤経済学の考え方，264-279，南江堂，2006
- ・ 池田俊也：Drug-Eluting Stent Part 2，DESのcost effectiveness，165-169，医学書，2006
- ・ 池田俊也：ジェネリック医薬品がわかる本，ジェネリック医薬品とは，20-23，法研，2006
- ・ 千葉百子（分担執筆）：管理栄養士－全科のまとめ－（第3版），環境と健康，産業保健，4-7，32，南山堂，2006
- ・ Chiba M（Editor）：Proceedings of the International Symposium; Children's Environmental Health for a Sustainable Future，1-135，Isikawa Printing Co.，2006
- ・ チバ モモコ：Протокол Международного Симпозиума Здоровая окружающая среда – залог надежного будущего детей фокус на регионе Аральского моря，1-116，Isikawa Printing Co.，2006
- ・ 千葉百子（分担執筆）：新簡明衛生公衆衛生（第5版），環境保全，81-154，南山堂，2006

- ・野口隆志 (編集, 分担執筆) 他: 医薬品の臨床試験とCRC (改訂版), 新医薬品の承認審査制度, 製造販売後臨床試験と再審査・再評価, GCP: 医薬品の臨床試験の実施の基準, 特定療養費制度, 11-23, 24-28, 63-81, 薬事日報社, 2006
- ・野口隆志 (執筆): 改正GCPハンドブック追補II, 全編, 1-97, 薬事日報社, 2006
- ・野口隆志 (執筆): 改正GCPハンドブック改訂版, 全編, 1-445, 薬事日報社, 2006
- ・渡邊敏子 (分担執筆): 薬科学大辞典 (第4版), 化学系の部分, 廣川書店, 2007
- ・渡邊敏子 (分担執筆): 最新天然物化学, アルカロイド 香粧品としての天然物成分, 廣川書店, 2007
- ・Kehr J, Yoshitake T (分担執筆): Encyclopedia of Sensors., Monitoring brain chemical signals by microdialysis., 287-312, American Scientific Publishers, 2006.10
- ・辻 稔 (分担執筆): 疾病の成り立ちと回復の促進 薬理学 (第1版第2刷), 第4章 脳・神経の疾患, 第5章 精神の疾患, 136-156, 157-168, 医歯薬出版, 2006

原著論文

- ・H.Yokoyama, Y. Yamamura, T.Ozeki, T.Iga, Y.Yamada: Influence of Mouth Washing Procedures on the Removal of Drug Residues Following Inhalation of Corticosteroids, Biol.Pharm.Bull., 29(9), 1923-1925, 2006
- ・M.Kusama, T.Kubota, Y.Matsukura, K. Matsuno, S. Ogawa, Y.Kanda, T.Iga: Influence of glutathione S-transferase A1 polymorphism on, Clin. Chimica Acta, 368, 93-98, 2006
- ・山田安彦, 高柳里早, 大関健志, 横山晴子, 伊賀立二, 新家 眞: ニプラジロール点眼液による全身性副作用のβ受容体結合占有率に基づく定量的予測, あたらしい眼科, 23(1), 87-94, 2006
- ・H.Takeda, M.Tsuji, T Yamada, J Masuya, K Matsushita, M Tahara, M Iimori, T Matsumiya: Caffeic acid attenuates the decrease in cortical BDNF mRNA expression induced by exposure to forced swimming stress in mice, European Journal of Pharmacology, 534, 115-121, 2006
- ・M Inazu, H.Takeda, K Maehara, K Miyashita, A Tomoda, T Matsumiya: Functional expression of the organic cation/carnitine transporter 2 in rat astrocytes, Journal of Neurochemistry, 97, 424-434, 2006
- ・Y Oomura, N Hori, T Shiraishi, K Fukunaga, H.Takeda, M.Tsuji, T Matsumiya, M Ishibashi, S Aou, X. L. Li, D Kohno, K Uramura, H Sougawa, T Yada, M. J. Wayner, K Sasaki: Leptin facilitates learning and memory performance and enhances hippocampal CA1 long-term potentiation and CaMKII phosphorylation in rats, Peptides, 27, 2738-2749, 2006
- ・M Aoki, M.Tsuji, H.Takeda, Y Harada, J Nohara, T Matsumiya, H Chiba: Antidepressants enhance the antinociceptive effects of carbamazepine in the acetic acid-induced writhing test in mice, European Journal of Pharmacology, 550, 78-83, 2006
- ・Ikeda S, Kobayashi M, Fukuhara S, Esato K: Cost-effectiveness of Lipile (LipoPGE1) for Arteriosclerosis Obliterans Patients in Japan: An Economic Evaluation Using the EQ-5D Instrument, International Angiology, 25(2), 169-174, 2006
- ・Kawamori R, Daida H, Tanaka Y, Miyauchi K, Kitagawa A, Hayashi D, Kishimoto J, Ikeda S, Imai Y, Yamazaki T: Amlodipine versus Angiotensin II Receptor Blocker; Control of Blood Pressure Evaluation Trial in Diabetics, BMC Cardiovascular Disorders, 6, 39, 2006
- ・Zhao X.Y., Ono M., Akita H., Chi Y.M.: Asymmetric Syntheses of Osmundalactone and 5-hydroxy-2-hexen-4-olide from 4-benzyloxy-5-hydroxy-2E-hexenoate, Chinese Chemistry Letter, 17(6), 727-729, 2006
- ・Zhao X.Y., Ono M., Akita H., Chi Y.M.: Total Synthesis of L-oleandrose and L-Cymarose from an Achiral Precursor, Chinese Chemistry Letter, 17(6), 730-732, 2006
- ・Ehara T., Yokoyama H., Ono M., Akita H.: Total Synthesis of (S)-(+)-Curculidols Based on 1,2-Aryl Migration via

- Phenonium Ion, *Heterocycles*, 71(3), 627-634, 2007
- Chiba M., Shinohara A., Sekine M., Inaba Y. : Elements of drinking water and urinary stones of Lao-Thai tribe, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 269(3), 519-526, 2006
 - Hiraoka A., Sasaki S., Yamada T., Shinohara A., Chiba M. : Effects of a drinking water product with anti-oxidant activities in vitro on the blood levels of the oxidative stress, *Journal of Health Science*, 52(6), 817-820, 2006
 - 渡辺義人, 降旗謙一, 池上文詔, 中村紘一 : 臨床試験における臨床検査値異常の判定基準案－基準変化値を指標とした方法の提案－, *臨床薬理*, 38(2), 81-88, 2007
 - Manaka T., Nagayama S., Desadee W., Yajima N., Kumamoto T., Watanabe T., Ishikawa T., Kawahata M., Yamaguchi K. : Ring-Opening Reactions of 3-Aryl-1-benzylaziridine-2-carboxylates and Application to the Asymmetric Synthesis of an Amphetamine-Type Compound, *Helvetica Chimica Acta*, 90(1), 128-142, 2007
 - Ochiai M., Tada N., Murai K., Goto S., Shiro M. : Synthesis and characterization of bromonium ylides and their unusual ligand transfer reaction with N-heterocycles, *Journal of American Chemical Society*, 128(30), 9608-9609, 2006
 - Kehr J., Hu XJ., Yoshitake T., Scheller D. : Determination of the dopamine agonist rotigotine in microdialysates from the rat brain by microbore column liquid chromatography with electrochemical detection., *Journal of chromatography. B, Analytical technologies in the biomedical and life sciences.*, 845(1), 109-113, 2007.1
 - 石丸直樹 他 : Regulation of neurotrophin-3 gene transcription by Sp3 and Sp4 in neurons., *Journal of Neurochemistry*, 100, 520-531, 2007
 - Katakawa K., Kitajima M., Yamaguchi K., Takayama H. : Three new phlegmarine-type Lycopodium alkaloids, lycoposerramine-X, -Y and -Z, having a nitron residue, from *Lycopodium serratum.*, *Heterocycles*, 69, 223-229, 2006
 - Naoko Fujiwara, Masako Kinoshita, Hiroyuki Akita : Chemoenzymatic synthesis of (S)- and (R)- γ -cyclogeraniols, *Journal of Molecular Catalysis B: Enzymatic*, 40, 64-72, 2006
 - Naoko Fujiwara, Masako Kinoshita, Hiroyuki Akita : New total synthesis of (+)- ambrein, *Tetrahedron : Asymmetry*, 17(21), 3037-3045, 2006
 - Y Mano, H Tsukada, T Kurihara, M Nomura, K Yokogawa, K Miyamoto : Development of dosage design of hepatic metabolizing drugs using serum albumin level in chronic hepatic failure, *Biological & pharmaceutical bulletin*, 29(8), 1692-1699, 2006
 - Nii K., Tagami K., Matsuoka K., Munakata T., Ooi T., Kusumi T. : Unusual transannular cyclization products of sarcophytoxide, a 14-membered marine cembranoid: anomalous stereochemistry of epoxide-ketone rearrangement, *Organic Letters*, 8(14), 2957-2960, 2006

総説

- 伊賀立二 : 就任のご挨拶, *日本病院薬剤師会雑誌*, 42(4), 1, 2006
- 伊賀立二 : 薬－薬連携の更なる強化を, *日本薬剤師会誌*, 58(5), 529, 2006
- 伊賀立二 : 関東ブロック学術大会祝辞, *薬事新報*, 2437, 32, 2006
- 伊賀立二 : 京都府病院薬剤師会創立50周年に寄せて, *薬事新報*, 2449, 28, 2006
- 伊賀立二 : 変革する医療と薬剤師, *北海道病院薬剤師会誌*, 71, 75-86, 2006
- 伊賀立二 : 札幌病院薬剤師会創立50周年に寄せて, *札幌病院薬剤師会創立50周年記念誌*, 7, 2006
- 伊賀立二 : 求められる新しい薬剤師像, *薬事新報*, 2454, 7, 2007
- 伊賀立二 : 広島県病院薬剤師会創立50周年に寄せて, *広島県病院薬剤師会創立50周年記念誌*, 3, 2007
- 伊賀立二 : 全国社会保険病院薬剤師会創立50周年に寄せて, *社保病薬会誌*, 38, 3, 2007

- ・ 伊賀立二：有言実行の年，日本病院薬剤師会誌，43(1)，1，2007
- ・ 武田弘志：医学教育のパラダイム・シフトとよもやま話，日本薬理学雑誌，128，127-128，2006
- ・ 辻 稔，竹内智子，武田弘志：情動調節と5-HT₇受容体，精神科，8(6)，504-508，2006
- ・ 池田俊也：DPCとジェネリック医薬品，Progress in Medicine，26(5)，1003-1007，2006
- ・ 池田俊也，小林美亜：医療機関における医療安全の取り組み状況「患者安全推進年から1年後の状況」，医療と社会，16(1)，5-16，2006
- ・ 小林美亜，池田俊也，武藤正樹：インシデント・アクシデントにより発生する医療費推計の試み，医療と社会，16(1)，85-96，2006
- ・ 渡邊弥生，小林美亜，池田俊也，池上直己：産科における有害事象に関する研究，医療と社会，16(1)，97-109，2006
- ・ 池田俊也：医療経済からみた骨粗鬆症，CURRENT THERAPY，24(9)，770-773，2006
- ・ 池田俊也：耐糖能異常（IGT）に対する介入の費用対効果，Progress in Medicine，26(9)，2151-2155，2006
- ・ 池田俊也：医療制度改革時代のジェネリック医薬品，看護，58(12)，102-105，2006
- ・ 池田俊也：ジェネリック医薬品と医療経済，医薬ジャーナル，42(11)，107-112，2006
- ・ 池田俊也：医療事故発生頻度調査から得られた我が国の患者安全の現況と課題，患者安全推進ジャーナル，14，56-62，2006
- ・ 池田俊也：医療経営の総合的『質』研究会の活動，品質，36(2)，171-174，2006
- ・ 池田俊也：肺がん化学療法の経済評価，神奈川県医師会報，669，82-84，2006
- ・ 池田俊也：肺がん化学療法の経済評価 系統的レビュー，神奈川県医師会報，670，96-98，2006
- ・ 池田俊也：有害事象により発生する医療費推計の試み，神奈川県医師会報，671，80-82，2006
- ・ 池田俊也：骨粗鬆症の医療経済評価，神奈川県医師会報，672，66-68，2006
- ・ 池田俊也：乳がん高リスク者に対するMRI検査の医療経済評，神奈川県医師会報，673，88-90，2006
- ・ 池田俊也：生活習慣病の予防と医療費適正化計画，神奈川県医師会報，674，86-89，2006
- ・ 池田俊也：『後発医薬品への代替』は進んでいるのか？，神奈川県医師会報，675，102-105，2006
- ・ 池田俊也：医療事故・合併症により発生するコスト 米国の研究結果より，神奈川県医師会報，676，114-116，2006
- ・ 池田俊也：アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬の糖尿病腎症進展抑制の費用対効果，神奈川県医師会報，677，102-104，2006
- ・ 池田俊也，小林美亜：個人情報保護法と医療現場，IOL&RS，20(2)，183-186，2006
- ・ 池田俊也，小林美亜：包括医療とクリニカルパス，救急医学，30(12)，1624-1628，2006
- ・ 池田俊也：DPCとクリティカルパス—DPCに対する医療機関の対応—，医療マネジメント学会雑誌，6(4)，599-603，2006
- ・ 池田俊也，小林美亜，坂口美佐：カルテレビューの歴史をひもとく，医療安全，11，60-65，2007
- ・ 池田俊也：GEと医療費適正化策，治療，89(3)，521-525，2007
- ・ 池田俊也：薬剤師の新たな職能としての『薬剤経済学』，医薬ジャーナル，43(1)，143-144，2007
- ・ 池田俊也：質に応じた医療費支払い～米国における導入状況～，神奈川県医師会報，680，88-90，2007
- ・ 池田俊也：質に応じた医療費支払い～急性期入院医療における試行調査～，神奈川県医師会報，681，92-95，2007
- ・ 池田俊也：DPCとクリティカルパス～調整係数廃止を見据えて～，日本医療マネジメント学会雑誌，7(4)，472-476，2007
- ・ 池田俊也：医療事故・合併症により発生する社会的コスト～米国の研究結果より～，RM Times，6，6-7，2007
- ・ 千葉百子：微量金属成分の人体影響—化学種，食物連鎖—，化学工業，70(7)，32-34，2006
- ・ 千葉百子：人工乳の問題点と新たなアプローチ—粉乳中の元素濃度の特徴—，産婦人科の実際，56(3)，427-433，

2007

- ・ 扇原 淳, 千葉百子 : カザフスタン共和国シルダリア川河口域の社会経済状況と飲料水利用の現状, 現代中央アジア研究会雑誌, 13, 1-18, 2007
- ・ 千葉百子 : カザフスタン国小児に多発する健康障害Ecological Diseaseに関する現状, 現代中央アジア研究会雑誌, 13, 19-34, 2007
- ・ Shiraishi M, Sekiya T : Segregation of Partly Melted DNA Molecules, Nucleosides, Nucleotides & Nucleic Acids, 25(4-6), 463-473, 2006
- ・ 片川和明 : 多機能中間体を利用した天然物合成, ファルマシア, 43(3), 246-247, 2007
- ・ 真野泰成 : 薬学教育6年制と病院実務実習について, 栃木県病院薬剤師会誌, 68, 12-14, 2006

研究報告

- ・ Sunami A : Single channel study of Ranolazine effects on late sodium currents in the heart, The final report to CV Therapeutics, Inc. (CA, USA), 2007.2
- ・ Goto S, Munakata T, Komatsu K : Pharmacoinformatical and mathematical study for the diversity of 3D structures and the conformational interconversion of macrocyclic compound, Journal of the Pharmaceutical Society of Japan, 126 (Suppl.5), 266-269, 2006
- ・ Munakata T, Goto S, Komatsu K : Conformational flexibility effect of one configuration difference, Journal of the Pharmaceutical Society of Japan, 126 (Suppl.5), 270-273, 2006

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 伊賀立二 : 変革する医療と薬剤師, 京都府病院薬剤師会総会特別講演, ウェスチン都ホテル京都, 京都府京都市, 2006.4.8
- ・ 伊賀立二 : 変革する医療と新しい薬学教育, 静薬学友会第30回薬剤師セミナー, ホテルサンルート名古屋, 愛知県名古屋市, 2006.5.14
- ・ 伊賀立二 : 変革する医療と病院薬剤師, 岡山県病院薬剤師会総会講演, 岡山プラザホテル, 岡山県岡山市, 2006.5.28
- ・ 伊賀立二 : 診療報酬改定にみる薬剤業務のこれから, 日本薬剤師会・日本病院薬剤師会18年度病院診療所薬剤師研修会 (福岡会場), 九州大学百年記念講堂, 福岡県福岡市, 2006.6.10
- ・ 伊賀立二 : 新しい医療提供体制と病院薬剤師, 茨城県病院薬剤師会総会特別講演, 常陽藝文センター, 茨城県水戸市, 2006.6.17
- ・ 伊賀立二 : 新しい医療提供体制と病院薬剤師, 新潟県病院薬剤師会総会特別講演, 新潟グランドホテル, 新潟県新潟市, 2006.6.18
- ・ 伊賀立二 : 診療報酬改定にみる薬剤業務のこれから, 日本薬剤師会・日本病院薬剤師会18年度病院診療所薬剤師研修会 (仙台会場), 仙台国際センター, 宮城県仙台市, 2006.7.1
- ・ 伊賀立二 : 診療報酬改定にみる薬剤業務のこれから, 日本薬剤師会・日本病院薬剤師会18年度病院診療所薬剤師研修会 (広島会場), 県民文化センター, 広島県広島市, 2006.7.22
- ・ 伊賀立二 : 薬-薬連携のさらなる強化の必要性, 愛知県病院薬剤師会研修会, 名古屋市立大学病院医学部講堂, 愛知県名古屋市, 2006.8.4
- ・ 伊賀立二 : 診療報酬改定にみる薬剤業務のこれから, 日本薬剤師会・日本病院薬剤師会18年度病院診療所薬剤師研修会 (札幌会場), 北方学園学術情報センター「ポルト」, 北海道札幌市, 2006.9.2
- ・ 伊賀立二 : 安心で安全な医療に貢献する病院薬剤師, 第27回日本病院薬剤師会実務研修会, はーといん乃木坂, 東京

都, 2006.9.13

- ・ 伊賀立二：診療報酬改定にみる薬剤業務のこれから, 日本薬剤師会・日本病院薬剤師会18年度病院診療所薬剤師研修会(東京会場), 昭和大学上条講堂, 東京都, 2006.10.28
- ・ 伊賀立二：診療報酬改定にみる薬剤業務のこれから, 日本薬剤師会・日本病院薬剤師会18年度病院診療所薬剤師研修会(大阪会場), 大阪府薬剤師会館, 大阪府大阪市, 2006.11.11
- ・ 伊賀立二：診療報酬改定にみる薬剤業務のこれから, 日本薬剤師会・日本病院薬剤師会18年度病院診療所薬剤師研修会(名古屋会場), 名古屋市立大学医学部講堂, 愛知県名古屋市, 2006.11.12
- ・ 伊賀立二：日本病院薬剤師会の取り組む課題, 岐阜県病院薬剤師会学術講演会特別講演, 長良川国際会議場, 岐阜県岐阜市, 2007.1.27
- ・ 伊賀立二：変革する医療と病院薬剤師—求められる薬剤師像—, 山口県病院薬剤師会総会特別講演, 山口グランドホテル, 山口県山口市, 2007.3.21
- ・ 伊賀立二：これからの薬剤師と生涯学習, 長崎県薬剤師会研修会特別講演, 長崎文化放送 NCC&スタジオ, 長崎県長崎市, 2007.3.25
- ・ 武田弘志：良いストレスと悪いストレス, 下野新聞主催, 大田原市, 2006.10.25
- ・ 武田弘志：医療と生命倫理, 全日本鍼灸師会特別講演, 東京大学, 東京, 2007.3.4
- ・ 池田俊也：DPCとクリティカルパス, 第8回日本医療マネジメント学会学術集会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.6.16
- ・ 池田俊也：薬剤経済学への招待, ISPOR日本部会第1回薬剤経済学ワークショップ, 慶應義塾大学信濃町キャンパス, 東京都新宿区, 2006.6.21
- ・ 池田俊也：後発医薬品の普及には『医薬品情報』の充実が必須である, 第9回日本医薬品情報学会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.7.9
- ・ 池田俊也：SF-36とQOLIE31からみたてんかん患者のQOLの実態, 第40回日本てんかん学会, 金沢市文化ホール, 石川県金沢市, 2006.9.28
- ・ 池田俊也：カルテレビューによる有害事象の把握について～安全な医療の提供を目指して～, 独立行政法人国立病院機構 医療安全対策研修会, 国立病院機構本部, 東京都目黒区, 2006.10.6
- ・ 池田俊也：後発医薬品の使用促進 医師の立場から, 第39回日本薬剤師会学術大会, フェニックスプラザ, 福井県福井市, 2006.10.9
- ・ 池田俊也：急性期入院医療の包括評価(DPC)と質の評価, 第44回日本病院管理学会学術総会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.10.20
- ・ 池田俊也：カルテレビューについて, 病院におけるカルテレビューの進め方, 日本医療マネジメント学会 医療安全分科会, NTT東日本関東病院, 東京都品川区, 2006.11.3-4
- ・ 池田俊也：医薬経済学ワークショップ まとめと今後の課題, ISPOR日本部会第2回医薬経済学ワークショップ, はあといん乃木坂, 東京都港区, 2006.11.16
- ・ 池田俊也：医薬品承認審査におけるPROの利用～現状と課題～, ISPOR日本部会第2回学術集会, 国際医療福祉大学東京サテライトキャンパス, 東京都港区, 2006.11.16
- ・ 池田俊也：RSV感染症予防の医療経済的効果—経済面から—, 第51回日本未熟児新生児学会総会, 大宮ソニックシティ, 埼玉県さいたま市, 2006.11.26
- ・ 池田俊也：有害事象に伴う経済的損失～諸外国の研究結果～, 医療の質・安全学会 第1回学術集会, 東京ビッグサイト, 東京都江東区, 2006.11.23
- ・ 池田俊也：カルテレビューによる技法, 厚生労働省関東信越厚生局 医療安全に関するワークショップ, さいた

ま新都心合同庁舎，埼玉県さいたま市，2006.12.1

- ・ 池田俊也：ジェネリック医薬品の光と影，平成18年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議，まつもと市民芸術館，長野県松本市，2007.1.25
- ・ 池田俊也：DPCとパフォーマンス評価～「質に応じた支払い」の可能性と課題～，日本医療マネジメント学会第6回千葉地方会学術集会，東京歯科大学市川総合病院，千葉縣市川市，2007.2.24
- ・ 池田俊也：医療安全とコスト，患者安全推進フォーラム，日本医師会館，東京都文京区，2007.3.9
- ・ 池田俊也：安全管理におけるコスト・効率，日本予防医学マネジメント学会第5回学術集会，大阪国際交流センター，大阪府大阪市，2007.3.18
- ・ 池田俊也：Pay for Performance～わが国への適用可能性と課題～，医療の質に基づく支払い（P4P）研究会発足記念シンポジウム，東京国際フォーラム，東京都千代田区，2007.3.24
- ・ 池田俊也：薬学部における薬剤経済学に関する教育の現状と課題，日本薬学会第127年会，富山市総合体育館，富山県富山市，2007.3.30
- ・ 千葉百子：微量成分の生体影響，日本学術振興会 第148委員会 石炭・炭素資源利用技術 第103回研究会，日本化学会，東京都千代田区，2006.5.16
- ・ 千葉百子：汚染物質についてのリスク評価の考え方と実際，内閣府食品安全委員会，名古屋市，愛知県名古屋市，2006.6.20
- ・ 千葉百子：微量元素と妊孕能 小児栄養，第46回日本先天異常学会学術集会 シンポジウム3，山形テルサ，山形県山形市，2006.6.29-30
- ・ Chiba M：Evaluation of the Health Status in Aral Sea region, Kazakhstan, Evaluation of Worldwide Environmental Issues; Report from Nagasaki, Nagasaki University, Nagasaki-ken Nagasakicity, 2006.7.28
- ・ Chiba M：Results of epidemiological survey developed in Kazalinsk County, Mini-symposium Problems of Semiparatinsk and the Aral Sea, The L.N. Gumilyuov Eurasian National University, Kazakhstan Astana, 2006.8.10
- ・ Chiba M：Environmental devastation and human health; the case of the Aral Sea, Kazalinsk Akimat, Medical Center, Kazakhstan Kazalinsk, 2006.8.17
- ・ Chiba M：Strategy of nutritional fortification in wheat, Conference of Kazakh Academy of Nutrition, Academy of Nutrition, Kazakhstan Almaty, 2006.8.20
- ・ Chiba M：Nutrition, Environmental Contaminants and Disease, Child Health Focused on Central Asia WHO/HQ, WHO/HQ, Switzerland Geneva, 2006.11.22-23
- ・ Chiba M：Toxic Effects of Heavy Metals on Human Health and Recent Topics, YLP Program Nagoya University, Nagoya University, Aichi Nagoya, 2006.12.7
- ・ 千葉百子：重金属毒性と化学種 環境汚染物質の健康影響，環境省 環境調査業務研修会，環境省環境調査研究所，埼玉県所沢市，2006.12.19
- ・ 千葉百子：ステップ地帯（カザフスタン・アラル海近傍）に住む学童の栄養調査結果，地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部理化学研究部会，千葉市文化センター，千葉県千葉市，2007.2.23
- ・ 野口隆志：マイクロドージングと臨床薬理試験，放射線医学研究所シンポジウム，放医研講堂，千葉市，2006.12.22
- ・ 野口隆志（座長）：日本の治験活性化計画を実現させるために，医薬品開発基礎研究会シンポジウム，昭和大講堂，東京都，2006.11.17
- ・ 野口隆志：ジェネリック医薬品の現状と課題，ジェネリック協会シンポジウム，東京CRO講堂，東京都，2006.11.28
- ・ 辻 稔：ストレス科学から見た痛み，日本ペインクリニック学会第40回大会，神戸国際会議場，兵庫県神戸市，2006.7.14

- ・ 辻 稔, 山田朋子, 武田弘志 他1名: ストレス適応研究からみた気分障害治療薬開発の将来展望, 第80回日本薬理学会年会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.3.16
- ・ 辻 稔, 武田弘志: 一般行動および抑うつ様行動の評価法, 日本薬理学会テクニカルセミナー2007, ウィルあいち, 愛知県名古屋市, 2007.3.17
- ・ 宗像達夫, 後藤 了, 小松和志: 1つの立体配置がもたらす構造柔軟性, 第16回天然薬物の開発と応用シンポジウム, 北海道大学学術交流会館, 北海道札幌, 2006.11.17
- ・ 後藤 了, 宗像達夫, 小松和志: 計算機化学を用いたマクロ環化合物のスキッタープロット解析とインターコンバージョンパスウェイ, 第16回天然薬物の開発と応用シンポジウム, 北海道大学学術交流会館, 北海道札幌, 2006.11.17

学会発表

- ・ 伊賀立二: 変革する医療と病院薬剤師—求められる薬剤師像, 第69回九州山口薬学大会病院薬局協議会, 鹿児島県鹿児島市, 2006.9.17
- ・ 伊賀立二: 変革する医療と薬剤師, 第16回日本医療薬学会教育講演, 金沢市観光会館他, 石川県金沢市, 2006.10.1
- ・ 真野泰成, 山田治美, 原 明義, 野口隆志, 武田弘志, 伊賀立二: 地域連携に基づく早期体験実習の取り組みと評価, 第16回日本医療薬学会年会, 金沢観光会館他, 石川県金沢市, 2006.10.1
- ・ Y.Mano, H.Yamada, A.Hara, T.Iga: NEW TRIAL OF PHARMACEUTICAL EDUCATION IN JAPAN, 第21回アジア薬剤師連合学術大会 (FAPA), パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.11.18-20
- ・ 伊賀立二: 患者への薬剤師の貢献—現状と課題, 医療の質・安全学会第1回学術集会, 東京ビッグサイト, 東京都, 2006.11.24
- ・ 真野泰成, 山田治美, 原 明義, 伊賀立二: 国際医療福祉大学におけるくすりと情報の実習の取り組み, 日本薬学会第127年会, 富山国際会議場他, 富山県富山市, 2007.3.30
- ・ 平野泰子, 松村久男, 田中吾郎, 嶋岡 鋼, 野崎靖之, 真野泰成, 山田治美, 伊賀立二: 小児用散剤におけるコンプライアンス向上のための方策—小児の矯味に関する調査(1), 日本薬学会第127年会, 富山国際会議場他, 富山県富山市, 2007.3.29
- ・ M Inazu, H Takeda, T Matsumiya: Functional characterization of choline transporter in human brain microvascular endothelial cells, 第28回日本生物学的精神医学会, 第36回日本神経精神薬理学会, 第49回日本神経化学学会大会 合同年会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.9.14
- ・ M Tsuji, T Takeuchi, T Matsumiya, H Takeda: Effects of caffeic acid on behavioral and biochemical responses induced by chronic variable stress, 第28回日本生物学的精神医学会, 第36回日本神経精神薬理学会, 第49回日本神経化学学会大会 合同年会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.9.16
- ・ 辻 稔, 松下兼明, 田原雅士, 竹内智子, 松宮輝彦, 飯森眞喜雄, 武田弘志: 情動記憶の獲得・保持機構における5-HT7受容体の役割, 第22回日本ストレス学会, 弘前大学医学部コミュニケーション・センター, 青森県弘前市, 2006.11.3
- ・ 武田弘志, 辻 稔, 山田朋子, 榎屋次郎, 松下兼明, 竹内智子, 飯森眞喜雄, 松宮輝彦: 慢性変動ストレス刺激が誘発する情動変化の多様性—新規気分障害治療薬候補物質の改善効果, 第22回日本ストレス学会, 弘前大学医学部コミュニケーション・センター, 青森県弘前市, 2006.11.3
- ・ 武田弘志 (座長): 第22回日本ストレス学会, 弘前大学医学部コミュニケーション・センター, 青森県弘前市, 2006.11.3
- ・ 内田叔宏, 稲津正人, 武田弘志, 松宮輝彦: ヒトケラチノサイトにおけるコリン取り込み機構の機能的特長, 東京医

- 科大学医学会総会, 東京医科大学病院, 東京都新宿区, 2006.11.4
- K Maehara, M Inazu, H Takeda, T Matsumiya : Characterization of acetyl-L-carnitine transport in rat astrocytes, 東京医科大学医学会総会, 東京医科大学病院, 東京都新宿区, 2006.11.4
 - 宮川和也, 成田 年, 辻 稔, 武田弘志, 鈴木 勉 : 5-HT_{1A}受容体刺激による活性化 neuron/astrocyte-conditioned medium の脳室内投与による抗不安作用, 第80回日本薬理学会年会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.3.14
 - 稲津正人, 久保田信雄, 武田弘志, 田島裕久, 横司博展, 山田朋子, 松宮輝彦 : 小細胞肺癌におけるコリン取り込みの機能的特長, 第80回日本薬理学会年会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.3.14
 - 辻 稔, 山田朋子, 松宮輝彦, 武田弘志 : ストレス適応研究からみた気分障害治療薬開発の将来展望, 第80回日本薬理学会年会シンポジウム, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.3.16
 - 武田弘志 (オーガナイザー, 座長) : 第80回日本薬理学会年会シンポジウム, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.3.16
 - 辻 稔, 武田弘志 : 一般行動および抑うつ様行動の評価法, 第80回日本薬理学会年会サテライト日本薬理学会テクニカルセミナー2007, ウィルあいち, 愛知県名古屋市, 2007.3.17
 - 武田弘志 (主催者) : 第80回日本薬理学会年会サテライト日本薬理学会テクニカルセミナー2007, ウィルあいち, 愛知県名古屋市, 2007.3.17
 - Ikedo S, Sakamaki H, Yajima S, Ikegami N : Cost-effectiveness of adjuvant chemotherapy with uracil-tegafur, an oral fluoropyrimidine derivative in patients with non-small-cell lung cancer in Japan, ISPOR 11th Annual International Meeting, Marriott Philadelphia, 米国Philadelphia, 2006.5.23
 - 池田俊也 : 次世代電子カルテにおけるアウトカム研究, 第7回日本医療情報学会学術大会, 札幌コンベンションセンター, 北海道札幌市, 2006.11.1
 - 池田俊也 : 高コレステロール血症患者に対するHMG-CoA還元酵素阻害剤 (スタチン) の薬剤経済分析, 第12回日本薬剤疫学会学術総会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.11.12
 - 池田俊也 : ハイリスク児のRSV感染に対するpalivizumabの費用対効果分析, 第12回日本薬剤疫学会学術総会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.11.12
 - 池田俊也 (座長) : 第12回日本薬剤疫学会学術総会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.11.12
 - 池田俊也 (座長) : 第7回日本クリニカルパス学会, 熊本県立劇場, 熊本県熊本市, 2006.11.17
 - 池田俊也 (座長) : 医療の質・安全学会 第1回学術集会, 東京ビッグサイト, 東京都江東区, 2006.11.23
 - 江原 武, 谷川 慎, 尾能満智子, 秋田弘幸 : セスキテルペン類(S)-(+)-Curcumene, Curcuphenol, Xanthorizolの合成研究, 第50回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会, パシフィコ横浜会議センター, 神奈川県横浜, 2006.11.10-12
 - 尾能満智子, 中村紘一, 白石昌彦, 小田由起子, 藤原直子, 片川和明, 中野満恵, 大出浩子 : 国際医療福祉大学薬学部におけるコミュニケーション実習, 日本薬学会 第127年会 (富山), 富山市総合体育館, 富山県富山, 2007.3.28-30
 - Ishimaru N, Sunami A : Functional characterization of SCN5A mutation, F1293S, associated with Brugada syndrome., Biophysical Society 51st Annual Meeting, Baltimore Convention Center, Baltimore USA, 2007.3.7
 - 石丸直樹, 角南明彦 : Brugada症候群を呈するSCN5A遺伝子変異 (F1293S) の機能特性, 第80回日本薬理学会年会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2007.3.15
 - 石丸直樹, 角南明彦 : 遺伝性不整脈Brugada症候群を呈するSCN5A遺伝子変異 (F1293S) の機能特性, 日本薬学会第127年会, 富山市総合体育館, 富山, 2007.3.28
 - 篠原厚子, 平石さゆり, 関根美和, 熊坂利夫, 千葉百子, 稲葉 裕 : サマリウム酸化物粒子吸入曝露の生体影響—ケイ素酸化物との比較, 第79回日本産業衛生学会総会, 仙台国際交流センター, 宮城県仙台市, 2006.5.10-12

- ・ 鈴木一由, 浅野妃美, 千葉百子, 世良耕一郎, 浅野隆司, 酒井健夫: ウマの第Ⅱ度房室ブロックの重症度と被毛中微量元素濃度の関係, 第13回仁科記念サイクロトロンセンター共同利用研究成果発表会, 岩手大学, 岩手県盛岡市, 2006.5.19-20
- ・ 下田妙子, 扇原 淳, 篠原厚子, 佐々木敏, 千葉百子: アラル海東岸地域に住む学童の摂取食品の季節差と地域差, 第60回日本栄養・食料学会大会, 静岡県立大学, 静岡県静岡市, 2006.5.19-21
- ・ 千葉百子 (座長): 重金属, 第17回日本微量元素学会総会, 静岡コンベンションセンター・グランシップ, 静岡県静岡市, 2006.7.12-14
- ・ 千葉百子, 篠原厚子, 扇原 淳, 下田妙子, 佐々木敏, 稲葉 裕: 飲料水と血中, 尿中元素の関係ーアラル海近傍の住民についてー, 第17回日本微量元素学会総会, 静岡コンベンションセンター・グランシップ, 静岡県静岡市, 2006.7.12-14
- ・ 篠原厚子, 千葉百子, 佐藤 洋, 大前和幸, 岡本正英, 芹沢弘二, 稲葉 裕: 気管内投与したビスマスとアンチモンの体内挙動の比較, 第17回日本微量元素学会総会, 静岡コンベンションセンター・グランシップ, 静岡県静岡市, 2006.7.12-14
- ・ Shinohara A, Chiba M, Hiraishi S, Inaba Y: High incidence of mortality rate due to mineral balance and low Mg in animal diet, 10th International Magnesium Symposium, Shima Kanko Hotel, Mie kashikojima, 2006.10.22-26
- ・ Kato N, Kato M, Yokota K, Matsushima M, Chiba M: Examination of ionized magnesium levels and serum magnesium levels at a diabetes clinic in Tokyo, 10th International Magnesium Symposium, Shima Kanko Hotel, Mie kashikojima, 2006.10.22-26
- ・ Chiba M: Sudden unexplained death syndrome happened in NE-Thailand, 25th Annual Meeting on Metal Toxicology; Japan-Korea Joint meeting on biometals, EunSung Tourist Hotel, Korea Jeju, 2006.8.29-30
- ・ 扇原 淳, 千葉百子, 下田妙子, 篠原厚子, 佐々木敏: カザフスタン共和国アラル海付近の飲料水中細菌と小児の健康状態: 季節差と地域差, 第65回日本公衆衛生学会総会, 国際会議場県民会館, 富山県富山市, 2006.10.25-27
- ・ 増田哲也, 扇原 淳, 岩田英樹, 千葉百子: カザフスタン共和国における学校健康教育の制度的側面から見た特徴, 第65回日本公衆衛生学会総会, 国際会議場県民会館, 富山県富山市, 2006.10.25-27
- ・ 竹原弥生, 平石さゆり, 篠原厚子, 関根美和, 千葉百子, 稲葉 裕: 低マグネシウムの生体影響ーマグネシウム欠乏に及ぼす食餌中Caの影響, 第77回日本衛生学会総会, 大阪国際交流センター, 大阪府大阪市, 2007.3.25-28
- ・ 平石さゆり, 篠原厚子, 関根美和, 竹原弥生, 千葉百子, 稲葉 裕: 低マグネシウムの生体影響ー体内マグネシウム動態に及ぼす餌中共存ミネラルの影響ー, 第77回日本衛生学会総会, 大阪国際交流センター, 大阪府大阪市, 2007.3.25-28
- ・ 篠原厚子, 千葉百子, 佐藤 洋, 大前和幸, 岡本正英, 芹沢弘二, 稲葉 裕: 気管内投与したアンチモンの体内挙動ー単回投与と13週間間欠投与の比較, 第77回日本衛生学会総会, 大阪国際交流センター, 大阪府大阪市, 2007.3.25-28
- ・ 千葉百子, 篠原厚子: 生体試料中有害元素の高精度分析 タリウム・アンチモン, 日本薬学会第127年会, 富山大学五福キャンパス, 富山県富山市, 2007.3.28-30
- ・ 野口隆志 (座長): EDCの課題と問題点, 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会, 大宮ソニックシティ, 大宮市, 2006.10.8
- ・ 野口隆志, 松田順子 他6名: 臨床試験における検査補助説明にCRCの果たす役割の研究, 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 大宮ソニックシティ, 大宮市, 2006.10.7-8
- ・ 野口隆志, 高松まゆみ 他3名: 病院における適正な臨床試験実施体制構築のための医師の意識調査, 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 大宮ソニックシティ, 大宮市, 2006.10.7-8
- ・ 野口隆志, 丸山由紀子 他5名: CRCの教育成果に関する調査研究, 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 大

宮ソニックシティ, 大宮市, 2006.10.7-8

- ・ 野口隆志, 倉田典子 他5名: CRCの指導・教育担当者を対象としたメンタリングプログラムの作成～メンターとプロトジェイの関係に関する実態調査から～, 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 大宮ソニックシティ, 大宮市, 2006.10.7-8
- ・ 野口隆志, 藤本祥子 他3名: CRC教育における目標設定に基づいた効果的なトレーニングプログラム, 第5回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 大宮ソニックシティ, 大宮市, 2006.10.7-8
- ・ 野口隆志, 福島芳子 他2名: CRC業務遂行上の不安傾向及びその要因, 第27回日本臨床薬理学会年会, 京王プラザホテル, 東京都, 2006.11.31-12.1
- ・ 野口隆志, 中濱洋子 他1名: 治験コーディネータのバーンアウトリスク, 第27回日本臨床薬理学会年会, 京王プラザホテル, 東京都, 2006.11.31-12.1
- ・ 野口隆志, 梅原貞臣 他1名: 適切な医薬品使用に関する考察－わが国における薬局薬剤師のあり方について－, 日本評価学会春季第3回全国大会, 国際基督教大学, 東京都, 2006.6.3-4
- ・ 野口隆志, 梅原貞臣 他2名: 適切な医薬品使用に関する考察－地域ケア薬局に関するアンケート調査－, 日本評価学会第7回全国大会, 東洋大学, 東京都, 2006.12.2-3
- ・ 結城幸一, 肖 春陽, 原 明義, 川辺純一, 成宮 周, 牛首文隆: プロスタグランジンE₂はその受容体EP₃を介して虚血－再灌流障害から心臓を保護する, 第80回日本薬理学会年会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2007.3.16
- ・ 原 明義 (座長): 心・血管11, 第80回日本薬理学会年会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2007.3.16
- ・ 後藤 了, 宗像達夫, 小松和志: 計算機化学を用いたマクロ環化合物のスキッタープロット解析とインターコンバージョンパスウェイ, 第16回天然薬物の開発と応用シンポジウム, 北海道大学, 札幌, 2006.11.17
- ・ 宗像達夫, 後藤 了, 小松和志: 1つの立体配置がもたらす構造柔軟性, 第16回天然薬物の開発と応用シンポジウム, 北海道大学, 札幌, 2006.11.17
- ・ 倉持有加里, 増田 修, 後藤 了, 寺田 弘: レクチンの糖認識に対する特異的阻害と非特異的阻害作用, 日本薬学会第127年会, 富山国際会議場ほか, 富山, 2007.3.28
- ・ 副島香織, 山口和昭, 牧野公子, 後藤 了, 寺田 弘: インドメタシンとリドカインによって形成される複合体の分配性と溶解性, 日本薬学会第127年会, 富山国際会議場ほか, 富山, 2007.3.29
- ・ 山口和昭, 副島香織, 平林英樹, 後藤 了, 牧野公子, 寺田 弘: インドメタシンとリドカインによって形成される複合体の物性, 日本薬学会第127年会, 富山国際会議場ほか, 富山, 2007.3.29
- ・ 後藤 了, 宗像達夫, 小松和志, 堀 均, 寺田 弘: マクロライドのコンフォメーション探索計算の網羅性とNMRスペクトル, 日本薬学会第127年会, 富山国際会議場ほか, 富山, 2007.3.29
- ・ 宗像達夫, 後藤 了, 小松和志: 環状ビスベンジルイソキノリンジアステレオマーのコンフォメーションを決定づける構造的因子, 日本薬学会第127年会, 富山国際会議場ほか, 富山, 2007.3.30
- ・ Kehr J, Wang FH, Lee YH, Holmstrom N, Kim DK, Muhammed M, Frisen J, Olson L, Spenger C, Yoshitake T.: Use of magnetic nanoparticles for labelling and tracking the transplanted stem cells by MRI., Monitoring Molecules in Neuroscience, Hotel Timi Ama, Villasimius (Italy), 2006.5.19-22
- ・ 吉武 尚, Kehr J, Ogren SO, Muler WE, 能田 均, 山口政俊: 抗うつ薬Hypericum perforatumの単回及び反復投与による脳内モノアミンへの影響－マイクロダイアリスによる検討－, 第19回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 九州大学, 福岡県福岡市, 2006.8.1-3
- ・ 井尻聡一郎, 藤野 薫, Ogren SO, Kehr J, 吉武 尚: ラット海馬 (CA1, CA3, DG) におけるアセチルコリンに対する神経ペプチドガラニンの影響－マイクロダイアリス (エゼリンフリー) による検討－, 第19回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 九州大学, 福岡県福岡市, 2006.8.1-3

- ・吉武 尚, 藤野 薫, Kehr J, Gerhardt GA : 脳内グルタミン酸のreal-time 測定法の開発と応用, 第19回バイオメディカル分析科学シンポジウム, 九州大学, 福岡県福岡市, 2006.8.1-3
- ・Kehr J, Noldner M, Yoshitake T : Effects of acute and repeated administration of Hypericum perforatum extract(WS 5572) and its main constituents on extracellular levels of serotonin, noradrenaline and dopamine in the rat brain: A microdialysis study, International Congress and 54th Annual Meeting of the Society for Medicinal Plant Research, University of Helsinki, Helsinki (Finland), 2006.8.29-9.2
- ・Kehr J, Noldner M, Yoshitake T : Effects of chronic administration of Ginkgo biloba extract(EGb 761) on levels of dopamine, noradrenaline and serotonin in the prefrontal cortex of the awake rat, International Congress and 54th Annual Meeting of the Society for Medicinal Plant Research, University of Helsinki, Helsinki (Finland), 2006.8.29-9.2
- ・Schonberg T, Kehr J, Kaplan W, Fujino K, Yoshitake T, Vielder C. : Electrode design optimization for flow cell using electrochemiluminescence, The 10th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and life Sciences, Tokyo International Forum, Tokyo, 2006.11.5-9
- ・辻 稔 (事務局代表) : 日本薬理学会テクニカルセミナー2007, ウィルあいち, 愛知県名古屋市, 2007.3.17
- ・石丸直樹 : Brugada症候群を呈するSCN5A遺伝子変異 (F1293S) の機能特性, 日本薬学会年会, 富山国際会議場他, 富山市, 2007.3.28.
- ・重山貴秀, 片川和明, 小暮紀行, 北島満里子, 高山廣光 : 新規リコポジウムアルカロイドLycoposerramine-VおよびWの不斉全合成研究, 日本薬学会127年回, 富山国際会議場他, 富山県, 2007.3.30
- ・大出浩子, 尾能満智子 (共同発表) : コミュニケーション実習, 日本薬学会第127年会, 富山市総合体育館第2アリーナ及びプロムナード, 富山県, 2007.3.28-30
- ・Saito Y, Aizaki Y, Nakano M et al. : Mapping of amino acid residues required for signaling activation of rat melanin-concentrating hormone receptor 1, 12th International Conference on Retinal Proteins, Awaji Yumebutai international Conference center, 兵庫県淡路島, 2006.6.4-8
- ・相崎良美, 吉河 歩, 中野満恵 他2名 : Isolation and identification of signal molecules interacting with melanin -concentrating hormone receptor 1, 第28回日本生物学的精神医学会・第36回日本神経精神薬理学会・第49回日本神経化学会大会合同年会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.9.14-16
- ・Saito Y, Aizaki Y, Nakano M et al. : Role of the DRY motif in melanin-concentrating hormone receptor 1 in signaling, 第29回日本神経科学大会, 国立京都国際会館, 京都府京都市, 2006.7.19-21

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・稲津正人, 武田弘志 : 神経グリア回路網におけるコリンおよびカルニチントランスポーターの機能解析, 神経グリア回路網, 特定領域研究 (グリア), 18053021, 採択
- ・角南明彦 : Single channel study of Ranolazine effects on late sodium currents in the heart, Sponsored research (CV Therapeutics, Inc., CA, USA), 2005.12-2006.12
- ・千葉百子 : 環境汚染の拡大防止を目的とした植樹活動, イオン環境財団, A, 継続
- ・原 明義 : 心血管リモデリングにおけるプロスタノイドの役割解明とその予防・治療への応用, 科学研究費補助金 (平成18~20年度), 基盤研究(C), 18590229, 採択
- ・原 明義 : 受容体欠損マウスを用いた脳虚血障害におけるプロスタノイドの役割の解明, 武田科学振興財団「報彰基金」研究奨励金, 継続
- ・後藤 了, 小松和志, 堀 均, 寺田 弘 : 分子のインターコンバージョン経路に基づく動力学座標空間とフォールディング解析, 科学研究費補助金, 基盤研究(C), 17590032, 継続

- ・ 吉武 尚 (分担研究) : 脳内高分子計測用探索子の創製とその脳機能研究への実用, 平成17年~19年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究B, 17390013, 継
- ・ 吉武 尚 : 微量生体関連物質の高感度分析法の開発と応用, 平成17年~18年度 エイコム株式会社, 継

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ Harumi Yamada : Journal of Chromatography Top cited Article 2001-2006 Award, Simultaneous determination of HIV protease inhibitors indinavir, amprenavir, saquinavir, ritonavir and nelfinavir in human plasma by high-performance liquid chromatography, 2006.12
- ・ 中野満恵 : 博士 (薬学), メラニン凝集ホルモン受容体1 (MCH1R) の構造-機能活性相関に関する研究, 2007.3.20

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 伊賀立二 : 日本医療薬学会 (認定薬剤師, 指導薬剤師) (理事), 日本薬物動態学会 (評議員), 日本薬剤学会 (評議員), 日本医薬品情報学会 (顧問), 日本TDM学会 (評議員), 日本薬剤疫学会 (評議員), 日本薬学会
- ・ 武田弘志 : 日本薬理学会 (理事, 研究推進委員, 賞等選考委員, 学術評議員), 日本神経精神薬理学会 (理事, 総務委員, 編集委員, 倫理委員, 学術賞選考委員, 評議員), 日本ストレス学会 (会長, 基本問題検討委員, 学術賞選考委員, 評議員), 日本緩和医療薬学会 (理事, 財務委員長, 評議員), 日本病態生理学学会 (評議員), 日本神経化学学会 (評議員), Current Pharmacology (編集委員)
- ・ 有澤宗久 : 日本薬学会, 日本生薬学会, 和漢医薬学会
- ・ 池田俊也 : 日本薬剤疫学会 (理事), 国際医薬経済・アウトカム研究学会 (日本支部理事), 日本病院管理学会 (評議員, 編集委員), 日本医療マネジメント学会 (評議員), 日本クリニカルパス学会 (評議員), 日本医療情報学会 (評議員), 日本ヘルスサポート学会 (編集委員), 日本公衆衛生学会 (査読委員), 日本耳鼻咽喉科学学会, 日本糖尿病学会
- ・ 太田由己 : 日本薬学会, 日本生化学会, 日本分子生物学会, 日本蛋白質科学会
- ・ 小鴨 晃 : 日本薬学会, 日本生化学会
- ・ 尾能満智子 : 日本薬学会, 日本女性科学者の会, 有機合成化学協会
- ・ 角南明彦 : 日本薬理学会, 日本生理学学会, 日本薬学会, Biophysical Society (US), Society of General Physiologists (US), The Physiological Society (UK), 日本薬理学会 (学術評議員), 日本生理学学会 (評議員)
- ・ 千葉百子 : 日本微量元素学会 (理事), 日本衛生学 (評議員), 日本産業衛生学会 (関東地方会幹事, 選挙管理委員)
- ・ 中村紘一 : 日本臨床薬理学会 (認定医, 指導医) (評議員; 「臨床薬理研究振興財団賞」選考委員会委員; 拡充・広報小委員会委員), 日本麻酔科学学会 (認定医, 専門医), アメリカ麻酔学会, 日本薬理学会, 日本中毒学会
- ・ 野口隆志 : 日本化学療法学会 (臨床試験委員会委員, 治験審査委員会設立委員) (評議員), 日本薬物動態学会 (評議員)
- ・ 野原功全 : 日本物理学学会, 応用物理学学会, 日本核医学会, 日本医用画像工学会, 日本医学放射線学会, 日本医学物理学学会, 日本アイソトープ協会
- ・ 原 明義 : 日本薬理学会 (学術評議員), 日本臨床薬理学会, 日本薬学会, 日本循環薬理学会, 創薬薬理フォーラム
- ・ 久岡正史 : 日本薬物動態学会, 日本薬学会, 臨床薬理学会
- ・ 吉川博治 : 日本生物工学会
- ・ 後藤 了 : 日本薬学会, アメリカ化学会, 日本糖質学会, かたちの科学会
- ・ 白石昌彦 : 日本薬学会, 日本分子生物学会, 日本生化学会, 日本癌学会, Epigenetics Society
- ・ 山田治美 : 薬学共用試験センターOSCE実施委員会 (委員), 日本薬学会, 日本薬物動態学会, 日本医療薬学会

- ・ 吉武 尚：日本薬学会，日本分析化学会
- ・ 辻 稔：日本薬理学会（学術評議員，代議員），日本ストレス学会（学術評議員），日本薬学会（ファルシアトピックス小委員），日本神経精神薬理学会
- ・ 石丸直樹：日本薬学会
- ・ 井尻聡一郎：日本薬学会，日本分析化学会
- ・ 片川和明：日本薬学会，日本生薬学会
- ・ 竹内智子：日本薬理学会，日本神経精神薬理学会，日本薬学会，日本緩和医療薬学会
- ・ 真野泰成：日本医療薬学会（認定薬剤師），日本病院薬剤師会（実務実習指導薬剤師，生涯履修認定），日本薬学会，日本薬剤師研修センター（認定薬剤師）
- ・ 宗像達夫：日本薬学会

リハビリテーション学部（理学療法学科）

著書

- ・ 田原弘幸（分野編集，分担執筆）：理学療法学事典，用語についての解説，医学書院，2006.4.1
- ・ 田原弘幸（編集代表）：こどもの理学療法，神陵文庫，2007.3.22
- ・ Toda S, Sugihara H：Cell Biology, A Laboratory Handbook, Thyroid tissue-organotypic culture, 411-414, Elsevier Academic Press, 2006.12
- ・ 奈良 勲（監修），高橋精一郎（分担執筆）：理学療法学事典，理学療法機器用語，医学書院，2006
- ・ 千代丸信一（分担執筆），田原弘幸（編集）：こどもの理学療法，脳性麻痺（痙直型両麻痺），91-104，神陵文庫，2007
- ・ 満留昭久（分担）：てんかん学用語集，ミオクロニー失立発作，61-62，日本てんかん学会，2006

原著論文

- ・ 長住達樹，矢倉千昭，金子秀雄，田原弘幸：理学療法教育における見学実習に対する感情反応と情動的共感性，社会的スキルおよび向社会性との関係，国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要，2，1-5，2006
- ・ 中原雅美，矢倉千昭，田原弘幸 他9名：通所リハビリテーション利用者における転倒とQOLの関連，国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要，2，7-11，2006
- ・ 曾田武史，矢倉千昭，田原弘幸 他2名：静止立位における小型チップによる足底への刺激がヒラメ筋運動ニューロンプールに及ぼす影響，国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要，2，57-60，2006
- ・ 杉原 甫，井手口浩幸：脂肪細胞 日本人固有のサイズを求めて，国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要，1，19-26，2006.4
- ・ Koike E, Sugihara H：Expression of new human inorganic pyrophosphatase in thyroid disease, Biochem Biophys Res Comm, 341, 691-696, 2006.7
- ・ Yamasaki M, Sugihara H：Merkel cell-nerve cell interaction undergoes formation of a synapse-like structure in a primary culture, Cell Structure & Function, 31, 39-45, 2006.7
- ・ Satoh S, Sugihara H：Spindle epithelial tumor with thymus-like differentiation, Pathology International, 56, 563-567, 2006.9

- Satoh S, Sugihara H : Hypopharygeal squamous cell carcinoma bordering ectopic gastric mucosa of esophagus, *Auris Nasus Larynx*, 34, 135-139, 2007.2
- Fukuma Y, Hisano S, Mitsudome A 他6名 : Clinicopathologic correlation of Clq nephropathy in children, *Amer J Kidney Dis*, 47, 412-418, 2006
- 大府正治, 満留昭久 : 中心側頭部に棘波を持つ良性小児てんかん, *臨床脳波*, 48, 407-412, 2006
- 友納優子, 安元佐和, 満留昭久 他6名 : 前頭葉てんかんの経過中に偽てんかん発作を呈した患児に対するアプローチ, *福岡大医紀*, 33, 123-127, 2006
- 小川 厚, 児玉隆志, 満留昭久 他2名 : 揺さぶられっ子 (shaken baby syndrome) の4か月 女児例, *福岡大医紀*, 33, 217-221, 2006
- 井原由紀子, 井上貴仁, 満留昭久 他5名 : 予後良好であったHHV-6関連急性壊死性脳症におけるサイトカインの意義, *福岡大医紀*, 33, 229-233, 2006
- Kanaumi T, Takashima S, Iwasaki H, Mitsudome A, Hirose S : Developmental changes in the expression of GABA(A) receptor alpha 1 and gamma 2 subunits in human temporal lobe, hippocampus and basal ganglia: An implication for consideration on age-related epilepsy, *Epilepsy Res*, 71, 47-53, 2006
- 井上貴仁, 満留昭久 他2名 : 錯乱型片頭痛の臨床と脳波, *臨床脳波*, 48, 609-613, 2006
- Ogawa A, Mitsudome A 他3名 : Ictal midline epileptiform discharges in benign familial neonatal convulsion, *Med Bull Fukuoka Univ*, 33, 305-307, 2006
- Kanaumi T, Hirose S, Mitsudome A 他2名 : An infant with a mitochondrial A3243G mutation Demonstrating the MELAS Phenotype, *Pediatr Neurol*, 34, 235-238, 2006
- 杉本あゆみ, 本川 渉, 満留昭久 他4名 : 乳幼児期に舌咬傷を繰り返したhypnic myocloniaの1例, *小児歯科学雑誌*, 45, 103-108, 2007
- Nishimoto G, Sasaki G, Mitsudome A 他7名 : Molecular characterization of water-selective AQP(EbAQP4) in hagfish: insight into ancestral origin of AQP4, *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol*, 292, 644-651, 2007
- Endo Y, Harada K, Fujishiro N, Funahashi H, Shioda S, Prestwich GD, Mikoshiba K, Inoue M : Organelles containing inositol trisphosphate receptor type 2 in adrenal medullary cells, *J Physiol Sci.*, 56(6), 415-23, 2006
- Kai S, Nakahara M, Watari K 他2名 : Knee joint angle at the time of adjustment to submaximal jumping in healthy men, *J. Phys. Ther. Sci.*, 18(1), 11-13, 2006
- Kai S, Yasumoto S, Takahashi S : Accessory Movement of the Lunate during Active Flexion and Extension Motion of the Wrist, *Journal of Physical Therapy Science*, 18(2), 161-164, 2007.2
- 音成陽子, 高橋精一郎, 甲斐 悟 : ミュール着用時の階段下降 パンプスとの比較, *九州体育・スポーツ学研究*, 21(2), 41-47, 2006
- 渡利一生, 甲斐 悟, 高嶋幸男 他5名 : ヒト大脳皮質におけるニューロンの放射状および接線状発達—Ubiquitin Carboxyl Terminal Hydrolase (PGP 9.5) 免疫組織化学—, *理学療法科学*, 22(1), 45-48, 2007
- 金子秀雄, 佐藤広徳, 丸山仁司 : 姿勢が側腹筋厚に及ぼす影響, *理学療法科学*, 21, 255-259, 2006
- Kaneko H, Sato H, Maruyama H : Evaluation of lateral abdominal muscle activity during expiratory threshold loading by ultrasonography, *J Phys Ther Sci*, 18, 187-191, 2006
- Yagura C, Takamura N, Kadota K, Nagazumi T, Morishita Y, Nakazato M, Maeda T, Kusano Y, Abe Y, Aoyagi K : Evaluation of Cardiovascular Risk factors and Related Clinical Markers in Japanese Healthy Young Adults, *Clinical Chemistry and Laboratory Medicine*, 45, 220-225, 2007
- 中川 浩, 大石 賢, 曾田武史, 矢倉千昭 : 虚弱高齢者における質的バランス評価と転倒歴との関係, *国際医療福祉*

大学リハビリテーション学部紀要, 2, 61-64, 2006

- ・ K Takada, S Tazaki, S Yasumoto : Dyson Boson Mapping and Shell-Model Calculations for Even-Even Nuclei, Progress of Theoretical Physics, 116, 107-126, 2006.7

総説

- ・ 堺 裕, 田原弘幸 (分担執筆) : 脳性麻痺理学療法の実状と課題, 理学療法, 24(3), 421-426, 2007.3.15
- ・ 杉原 甫, 青木茂久 : メタボリック・シンドローム 脂肪細胞の病理, 最新医学, 61, 69-81, 2006.4
- ・ 青木茂久, 杉原 甫 : ヒト白色脂肪細胞, 細胞, 38, 218, 2006.6
- ・ 青木茂久, 杉原 甫 : メタボリック・シンドローム脂肪細胞の動態, 日本臨床, 64, 175-179, 2006.12
- ・ 戸田修二, 杉原 甫 : 脂肪細胞の増殖とその役割, 形成外科, 49, 1089-1095, 2006.10
- ・ 杉原 甫, 青木茂久 : 肥満と脂肪細胞, Life Style Medicine, 1, 76-80, 2007.1
- ・ 十日市健助 : カナダ・インディアンと『砂の女』 - 「ボグロム」と「条約」の挟間で - , 国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要, 2, 66-76, 2006
- ・ 満留昭久 : 子どもの発達と親子の絆, 福岡大医紀, 33, 363-368, 2006
- ・ 廣瀬伸一, 満留昭久, 他8名 : ヒトてんかんと同じ遺伝子異常をもつモデル動物, 脳と精神の医学, 17, 157-160, 2006
- ・ 奈良貴史 : ネアンデルタール人類と現生人類の後頭部の形態について, 国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要, 2, 21-35, 2006

研究報告

- ・ 甲斐 悟, 安本誠一, 高橋精一郎 : Accessory Movement of the Lunate during Active Flexion and Extension Motion of the Wrist, J.Phys.Ther.Sci., 18, 161-164, 2006
- ・ 音成陽子, 高橋精一郎, 甲斐 悟 : ミュール着用時の階段昇降 パンプスとの比較, 九州体育・スポーツ学研究, 21(2), 41-47, 2006
- ・ 満留昭久 (研究代表者) : ヒトてんかんと同じ遺伝子異常を持つモデル動物の作成とその神経薬理学的病態解明Ⅱ (課題番号15300146), 平成15年~平成17年度科学研究費補助金 研究成果報告書, 2006
- ・ 奈良貴史 : 十三湊遺跡第157次調査出土人骨, 津軽十三湊遺跡, 140-148, 2007
- ・ 奈良貴史, 鈴木敏彦 : 東道ノ上 (3) 遺跡出土の人類学的調査, 東道ノ上 [3] 遺跡, 23-26, 2006

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 田原弘幸 : 発達障害をもつ子どもと家族, キッズサポートたんぽぽ・子育て支援者講習会, 大川市文化センター, 福岡県大川市, 2006.6.22
- ・ 田原弘幸 : 脳性麻痺の理学療法, 日本リハビリテーション医学会・小児のリハビリテーション実習研修会, 北九州市立総合療育センター, 福岡県北九州市, 2006.9.29
- ・ 田原弘幸 : 医療・福祉制度改正に伴う生活者の実態と問題点, 久留米市女性グループのつどい, えるピア久留米, 福岡県久留米市, 2006.11.10
- ・ 田原弘幸 : 職業倫理・職場管理, 福岡県理学療法士会・平成18年度新人研修会, 柳川リハビリテーション学院, 福岡県柳川市, 2006.11.12
- ・ 杉原 甫 : 脂肪細胞 皮膚を支える環境, 第58回日本皮膚科学会西日本学術総会, 佐賀文化会館, 佐賀市, 2006.11.11

- ・杉原 甫：脂肪細胞と肥満，第3回メタボリック高血圧研究会，ホテルオークラ福岡，福岡市，2006.8.5
- ・杉原 甫：脂肪細胞 肥満，再生，癌，21世紀先端技術研究会，ホテルファイアット，福岡市，2006.11.14
- ・杉原 甫：脂肪細胞 肥満と癌に及ぼす影響，南東京動脈硬化症研究会，ホテル恵比寿，東京都，2006.11.7
- ・高橋精一郎：これからの理学療法士教育，山口県理学療法士会研修会，山口医療福祉専門学校，宇部市，(2006.1.14)
- ・満留昭久：小児の頭痛とてんかん，福岡てんかん懇話会，福岡，2006.4.27
- ・満留昭久：てんかん学—最近の進歩，第20回てんかん総合講座，福岡，2006.8.7
- ・満留昭久：小児の片頭痛とてんかん，下関頭痛を勉強する会，下関，2006.9.14
- ・奈良貴史：アムッドの頭蓋とカフゼーの頭蓋 形態比較，日本人類学会・第60回日本人類学会大会，高知工科大学，高知県，2006.11.3
- ・安本誠一：Dyson boson mappingの新しい手法，九州山口地区核理論懇談会，長崎県壱岐島，長崎県，2006.6.3
- ・安本誠一：ガウス型と湯川型有効相互作用によるダイソンボソン展開法，基研研究会「有効相互作用の理論と核構造」，京都大学基礎物理学研究所，京都市，(2006.2.7)

学会発表

- ・長住達樹，矢倉千昭，甲斐 悟，森下志子，田原弘幸，高橋精一郎：臨床場面における対人関係が困難な学生の心理傾向，第41回日本理学療法士学術大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋市，2006.5.26
- ・甲斐 悟，渡利一生，吉本龍司，小川優美，長谷麻由，金海武志，岩崎宏，長住達樹，森下志子，矢倉千昭，高橋精一郎，田原弘幸，高嶋幸男：脳梗塞後の神経再生NestinとPGP9.5の発現，第41回日本理学療法士学術大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋市，2006.5.26
- ・曾田武史，矢倉千昭，中川 浩，大石 賢，村上武士，長住達樹，田原弘幸：小型チップによる足底への刺激がヒラメ筋H反射に及ぼす影響，第41回日本理学療法士学術大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋市，2006.5.25
- ・甲斐 悟，中原雅美，渡利一生，吉本龍司，村上茂雄，長住達樹，森下志子，矢倉千昭，高橋精一郎，田原弘幸：健康男性における下跳躍時の膝関節角度と跳躍距離の関係，第41回日本理学療法士学術大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋市，2006.5.27
- ・金子秀雄，丸山仁司，佐藤広徳，田原弘幸 他3名：超音波診断装置による慢性閉塞性肺疾患患者の呼気筋評価，第16回日本呼吸管理学会学術集会，札幌コンベンションセンター，北海道札幌市，2006.7.28-29
- ・戸田修二，杉原 甫：甲状腺未分化癌の浸潤性増殖を骨髄由来間質細胞は抑制する，第95回日本病理学会総会，京王プラザホテル，東京，2006.5.1
- ・杉原 甫：脂肪細胞は癌細胞にどのような影響を及ぼすか，第14回西日本肥満研究会，翠香園ホテル，久留米市，2006.7.8
- ・杉原 甫：教育講演 脂肪細胞 肥満，再生，癌，第27回日本肥満学会，神戸ポートピホテル，神戸市，2006.10.28
- ・Inoue T, Yasumoto S, Mitsudome A 他5名：Clinical features of nonconvulsive status epilepticus (NCSE) in childhood, Infantile Seizure Society 9th Annual Meeting, Osaka Japan, 2006.4.29-30
- ・Nomura Y, Yasumoto S, Mitsudome A 他7名：Survival and neurodevelopmental outcome of individual brain tumors in infancy, 10th International Child Neurology Congress, Montreal Canada, 2006.6.11-16
- ・Kanaumi T, Takashima S, Mitsudome A 他2名：Development of GABA (A) Receptor $\alpha 1$ and $\gamma 2$ subunit in human temporal lobe, hippocampus and basal ganglia, 10th International Child Neurology Congress, Montreal Canada, 2006.6.11-16
- ・城谷吾郎，柳井文男，満留昭久 他2名：フィブロネクチン腎症の経過中に本態性血小板減少症を合併した1例，第109回日本小児科学会，金沢，2006.4.21-23

- ・井原由紀子, 米倉順考, 満留昭久 他7名: 小児周期性嘔吐症の脳波異常—片頭痛との比較—, 第109回日本小児科学会, 金沢, 2006.4.21-23
- ・友納優子, 中村公紀, 満留昭久 他6名: 新生児MRSA感染症で治療に難渋した2例, 第109回日本小児科学会, 金沢, 2006.4.21-23
- ・新居見和彦, 瀬川芳恵, 満留昭久 他4名: 急性腎不全を合併した小児SLEにおけるmizoribine血中濃度の推移, 第109回日本小児科学会, 金沢, 2006.4.21-23
- ・児玉梨恵, 井原由紀子, 満留昭久 他4名: 突発波を持つ熱性けいれんの臨床像とてんかん発症との関連, 第48回日本小児神経学会, 浦安, 2006.6.1-3
- ・井原由紀子, 藤田貴子, 満留昭久 他3名: MELASの頭痛発作時脳波, 第48回日本小児神経学会, 浦安, 2006.6.1-3
- ・満留昭久 (座長): 教育講演 (大井静雄) 世界視野にみた小児脳神経外科の最先端医療と本邦における課題と夢, 第48回日本小児神経学会, 浦安, 2006.6.1-3
- ・Kanaumi T, Yasumoto S, Mitsudome A 他2名: Development of KCNQ2 and KCNQ3 in human brains, consideration on age-related epilepsy, 第48回日本小児神経学会, 浦安, 2006.6.1-3
- ・友納優子, 安元佐和, 満留昭久 他5名: 夜間睡眠脳波で診断した小児前頭葉てんかんの2例, 第40回日本てんかん学会, 金沢, 2006.9.28-29
- ・満留昭久 (座長): ランチョンセミナー (渡辺裕貴) てんかんの臨床症状と脳波・脳磁図所見, 第40回日本てんかん学会, 金沢, 2006.9.28-29
- ・大西広一, 友納優子, 満留昭久 他9名: 割髄症を伴った脊髄髄膜瘤の一例, 第34回日本小児神経外科学会, 札幌, 2006.5.31-6.1
- ・井上貴仁, 井原由紀子, 満留昭久 他5名: 小発作重積を繰り返したミオクロニー失立発作てんかん例の経時的脳波所見, 第36回日本臨床神経生理学会, 横浜, 2006.11.29-12.1
- ・満留昭久 (座長): 教育講演 (清水弘之) 側頭葉てんかんの術前・術後の電気生理学的診断と焦点分布, 第36回日本臨床神経生理学会, 横浜, 2006.11.29-12.1
- ・満留昭久 (座長): ランチョンセミナー (丹羽真一) 統合失調症と軽度発達障害 臨床神経生理学の視点からの比較, 第36回日本臨床神経生理学会, 横浜, 2006.11.29-12.1
- ・奈良貴史: ネアンデルタール人類と現生人類の後頭部の形態について, 日本人類学会・第60回日本人類学会大会, 高知工科大学, 高知県, 2006.11.5
- ・甲斐 悟, 高橋精一郎, 田原弘幸 他7名: 健常男性における最大下跳躍時の膝関節角度と跳躍距離の関係, 第41回日本理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋市, 2006.5.26
- ・松崎秀隆, 甲斐 悟, 高橋精一郎 他9名: 新入生に対する喫煙実態調査, 第41回日本理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋市, 2006.5.26
- ・金子秀雄, 佐藤広徳, 丸山仁司: 超音波画像装置による呼吸閾値負荷時の側腹筋活動評価, 第41回理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋市, 2006.5.25-27
- ・中川 浩, 矢倉千昭, 寺田和彦, 大石 賢, 曾田武史, 中野裕之: 高齢者に対するBalance Error Scoring Systemの有効性, 第41回日本理学療法学会大会, グリーンドーム前橋, 群馬県前橋市, 2006.5.27
- ・大石 賢, 高柳公司, 平野真貴子, 野口浩孝, 大場潤一, 内田由美子, 有村圭司, 曾田武史, 津田拓郎, 中川 浩, 矢倉千昭: 脳卒中片麻痺患者における手すり支持椅子立ち上がりテストの有効性についての検討, 第28回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 佐賀市文化会館, 佐賀県佐賀市, 2006.11.18
- ・津田拓郎, 曾田武史, 吉村和代, 高畑哲郎, 岡崎倫江, 中川 浩, 大石 賢, 矢倉千昭: 肩こりにおける肩関節周囲筋群の筋硬度評価, 第16回福岡県理学療法士学会, サンレイクかずや, 福岡県糟屋郡, 2007.2.25

- ・ 安本誠一 : Application of Dyson Boson Mapping to Neutron-Rich Even ⁵²⁻⁵⁸Ti Isotopes, 日本物理学会2007年春季大会, 首都東京大学, 東京, 2007.3.26

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 杉原 甫 : 指定なし, 奨学寄附金 (SRL社より)
- ・ 奈良貴史, 鈴木敏彦, 米田 穰, 澤田純明 : 幼小児人骨の死の背景を探る, 科学研究費補助金, 基盤研究C, 18500769, 採択

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 金子秀雄 : 博士 (保健医療学), 超音波診断装置による呼吸筋活動指標の開発と慢性閉塞性肺疾患患者への応用, (2006.3.9)

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 田原弘幸 : 日本理学療法学会 (専門理学療法士 (理学療法基礎系, 教育・管理系)), 日本疫学会, 日本公衆衛生学会, 日本QOL学会, 日本小児保健協会
- ・ 杉原 甫 : 日本病理学会 (病理専門医) (学術評議員), 日本肥満学会 (理事 (財務担当)), 日本内分泌学会 (功労評議員), 再生医療学会, 内分泌病理学会 (名誉会員)
- ・ 高橋精一郎 : 日本理学療法学会, 日本呼吸管理学会, 日本公衆衛生学会, 日本産業衛生学会
- ・ 千代丸信一 : 日本理学療法士協会, 日本心理学会
- ・ 満留昭久 : 日本小児科学会 (専門医), 日本小児神経学会 (専門医) (名誉会員), 日本臨床神経生理学会 (名誉会員), 日本てんかん学会 (認定医) (理事), 日本末梢神経学会 (評議員), 九州学校保健学会 (幹事), 小児神経筋疾患懇話会 (世話人)
- ・ 奈良貴史 : 日本解剖学会, 日本人類学会, 日本考古学協会
- ・ 藤城直二 : 日本生理学会 (評議員), 日本動物学会, 日本生物物理学会
- ・ 甲斐 悟 : 日本理学療法士協会, 理学療法科学学会, 日本解剖学会, 日本障害者スポーツ協会 (障害者スポーツ指導員初級), 日本整形徒手療法協会
- ・ 金子秀雄 : 理学療法科学学会, 日本義肢装具学会, 日本靴医学会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
- ・ 安本誠一 : 日本物理学会, 情報処理学会

リハビリテーション学部 (作業療法学科)

著書

- ・ 古川昭人, 作業療法科学研究会 (編著) : 国試の達人, アイベック, 2006.6
- ・ 古川昭人, 作業療法科学研究会 (編著) : 一人で学べる国家試験対策, 廣川書店, 2006.6
- ・ 佐々木淳 : トリグリセライドと動脈硬化 - メタボリックシンドロームの観点から, 高トリグリセライド血症の運動療法を教えてください, 103-105, 医薬ジャーナル社, 2006.9
- ・ 庄司紘史 (分担) : 舟田 久 (編) 感染症診療ガイド, 中枢神経感染症, 291-298, 永井書店, 2006
- ・ 広橋伸之, 庄司紘史 (分担) : 永山正雄, 浜田潤一編 神経救急・集中治療ハンドブック, 急性中枢神経感染症 (脳

- 炎・髄膜炎), 191-202, 医学書院, 2006
- 庄司紘史 (分担) : 平山恵造監修 臨床神経内科学5版, 感染性疾患, 261-282, 南山堂, 2006
 - 庄司紘史 (分担) : 北村聖編集 臨床病態学1, 髄膜炎, 脳膿瘍, 74-81, ヌービエルヒロカワ, 2006
 - 庄司紘史 (分担) : 金澤一郎他編 内科学, ウイルス感染, 2724-2732, 医学書院, 2006
 - Tobimatsu S, Goto Y, Yamasaki T, 他2名 : Functional Neuroscience: Evoked Potentials and Related Techniques, Chapter 6; An integrated approach to face and motion perception in humans, 59, 43-48, Elsevier, Amsterdam, 2006
 - 丹羽 敦 (分担執筆) : 国試の達人 作業療法編第5版, 評価の基本的理解, 老年期障害, 53-78, 253-264, アイペック, 2006
 - 土田玲子・小西紀一 (監訳), 岩永, 太田, 加藤, 児玉, 田村, 永井, 日田勝子, 福田, 山田 (共訳) : 感覚統合とその実践 (第2版), 第5章 視空間能力, 第6章 中枢性聴覚処理障害, 付録, 127-168, 協同医書出版, 2006.6.26

原著論文

- Yokoyama M, Origasa H, Matsuzaki M, Sasaki J et al. : Effects of eicosapentaenoic acid on major coronary events in hypercholesterolaemic patients (JELIS): a randomised open-label,blinded endpoint analysis, Lancet, 369(9567), 1090-1098, 2007.3
- Shimamoto K, Kita T, Mabuchi H, Sasaki J et al. : Effects of hypertension and type 2 diabetes mellitus on the risk of total cardiovascular events in Japanese patients with hypercholesterolemia:implications from the Japan Lipid intervention Trial (J-LIT), Hypertens Res., 30(2), 119-123, 2007.2
- Saito Y, Yamada N, Shirai K, Sasaki J et al. : Effect of rosuvastatin 5-20mg on triglycerides and other lipid parameters in Japanese patients with hypertriglyceridemia, Atherosclerosis., Epub ahead of print, 2007.1
- Koba S, Sasaki J : Treatment of hyperlipidemia from Japanese evidence, J Atheroscler Thromb., 13(6), 267-280, 2006.12
- Arai H, Yamamoto A, Matsuzawa Y, Sasaki J et al. : Prevalence of metabolic syndrome in the general Japanese population in 2000, J Atheroscler Thromb., 13(4), 202-208, 2006.8
- Sasaki J, Iwashita M, Kono S : Statins:beneficial or adverse for glucose metabolism, J Atheroscler Thromb., 13(3), 123-129, 2006.6
- Sasaki J, Kita T, Mabuchi H, Matsuzaki M et al. : Gender difference in coronary events in relation to risk factors in Japanese hypercholesterolemic patients treated with low-dose simvastatin, Circ J., 70(7), 810-814, 2006.7
- Oikawa S, Kita T, Mabuchi H, Sasaki J et al. : Risk of coronary events in Japanese patients with both hypercholesterolemia and type 2 diabetes mellitus on low-dose simvastatin therapy : implication from Japan Lipid Intervention Trial(J-LIT), Atherosclerosis., 191(2), 440-446, 2006.6
- Yamada F, Ueda F, Shoji H et al. : Invasion assay of Listeria monocytogenes using Vero and Caco-2 cells, J Microbiol Methods, 66, 96-103, 2006
- Nagafuchi M, Shoji H et al. : Adult meningism and viral meningitis, 1997-2004, Intern Med, 45, 1209-1212, 2006
- 中山広宣, 森田喜一郎, 奈良進弘 : 恐怖性不安障害者における薬物療法と視覚認知訓練の併用による効果の精神生理学的検討, 臨床神経生理学, 34(6), 503-510, 2006.12
- 南出好史, 林 明子 : 聴覚障害児による描画の発達的特徴, 国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要, 2, 13-20, 2006
- Enaida H, Hisatomi T, Goto Y 他5名 : Preclinical investigation of internal limiting membrane peeling and staining using intravitreal brilliant blue G, Retina, 26(6), 623-630, 2006
- Enaida H, Hisatomi T, Hata Y, Ueno A, Goto Y 他3名 : Brilliant blue G selectively stains the internal limiting

- membrane/Brilliant blue G-assisted membrane peeling, *Retina*, 26(6), 631-636, 2006
- Papathanasiou E, Peachey NS, Goto Y 他3名 : Visual cortical plasticity following unilateral sensorimotor cortical lesions in the neonatal rat, *Exp Neurol*, 199(1), 122-129, 2006
 - Tashiro K, Ogata K, Goto Y 他4名 : EEG findings in early-stage corticobasal degeneration and progressive supranuclear palsy: A retrospective study and literature review, *Clin Neurophysiol*, 117(10), 2236-2242, 2006
 - 桐本 光, 後藤純信, 小竹直樹 他3名 : 静的足関節底屈持続時の筋放電活動様式と活動交代出現時の膝窩動脈血流変化, *体力科学*, 55(4), 393-402, 2006
 - Hisatomi T, Enaida H, Matsumoto H, Kagimoto T, Ueno A, Hata Y, Kubota T, Goto Y 他1名 : Staining ability and biocompatibility of brilliant blue G: Preclinical study of brilliant blue G as an adjunct for capsular staining, *Arch Ophthalmol*, 124(4), 514-519, 2006
 - 柴田 滋 : 社会保険法の本質, *国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要*, 2, 43-56, 2006.12
 - 大庭潤平, 陳 隆明, 中村春基, 柴田八衣子 他 : 片側前腕切断者における筋電義手と能動義手の作業能力の比較—両手を用いたADLと心理的影響について—, *総合リハビリテーション*, 34(7), 673-679, 2006
 - 中山広宣, 早坂友成, 森田喜一郎, 前田久雄 : 認知症高齢者における視覚認知機能の生理学的評価—統合失調症高齢者および健常高齢者と比較して—, *国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要*, 1, 11-18, (2005)

総説

- 木庭新治, 福興広太郎, 佐々木淳 : 最近の脂質介入試験の結果とその意味するもの FIELD試験, *The Lipid*, 17(5), 26-33, 2006.12
- 佐々木淳, 福興広太郎 : 低・中等度リスクの高LDL-C患者に対するスタチン療法の意義, *Heart View*, 11(3), 68-73, 2007
- 佐々木淳 : 脂質管理における性差の評価, *The Lipid*, 18(2), 43-48, 2007
- 佐々木淳 : 福興広太郎, 高脂血症への介入による冠動脈疾患の再発予防, *Geriatric Medicine (老年医学)*, 44(12), 1681-1685, 2006.12
- 佐々木淳 : 冠動脈疾患の欧米との比較は? 高齢者の冠動脈疾患は欧米と日本で違いがありますか?, *肥満と糖尿病*, 5(3), 498-499, 2006
- 佐々木淳 : メタボリックシンドローム管理のための生活療法, *クリニカ*, 33(2), 49-53, 2006
- 佐々木淳 : 動脈硬化性疾患診療GL改訂, *Medical Tribune*, 39(31), 8, 2006.8
- 佐々木淳 : わが国における動脈硬化 大規模臨床試験の現状と展望, *Nikkei Medical*, 201-204, 2006.12
- 佐々木淳 : ランドマーク試験の実地臨床へのインパクト, *Nikkei Medical*, 191-200, 2006.11
- 佐々木淳 : MEGA Studyの主解析結果とサブ解析結果を読み解く—大規模臨床試験の正しい解釈とそこから読み取れる臨床的な意義—, *Therapeutic Research*, 27(6), 903-911, 2006
- 佐々木淳 : KLIS (Kyushu Lipid Intervention Study), *Medico*, 37(9), 5-8, 2006.9
- 佐々木淳 : 運動療法とコレステロールの関係は?, Q&Aでわかる肥満と糖尿病, 5(3), 437-439, 2006.5, 6 (隔月刊)
- 庄司紘史 他 : メニンギスム, ウイルス性髄膜炎, 発熱関連の頭痛の鑑別は?, *神経内科*, 65, 417-418, 2006
- 庄司紘史 他 : 単純ヘルペス脳炎の後遺症の検討, *国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要*, 2, 37-41, 2006
- 庄司紘史 : 単純ヘルペスウイルス感染症, *Mebio*, 23, 32-38, 2006
- 庄司紘史 : ヘルペス脳炎, *日本臨床*, 64, 264-267, 2006
- 庄司紘史 : ウイルス性脳炎, *内科*, 97, 803-805, 2006
- 山崎貴男, 後藤純信, 飛松省三 : 運動視および顔認知関連誘発電位, *臨床脳波*, 48(7), 413-418, 2006.7

- ・ 丹羽 敦 : ICFの特性を活かした臨床実習に向けた学内・臨床指導の視点, 国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要, 1, 59-66, 2006

研究報告

- ・ 佐々木 淳 (分担研究者) : メタボリックシンドロームの頻度と白血球数およびCRPとの関連, 厚生労働科学研究報告
- ・ 奈良進弘 : 世界の作業療法との結びつき 世界作業療法士連盟第27回代表者会議報告, 作業療法, 25, 472-477, 2006
- ・ 原口健三, 長谷麻由, 丹羽 敦, 他 : ICFによる症例報告指針(モデル案)の紹介とその特性, 柳川リハビリテーション学院・福岡国際医療福祉学院紀要, 1(2), 24-28, 2006
- ・ 日田勝子, 岩永竜一郎, 太田篤志, 加藤寿宏, 土田玲子, 永井洋一, 山田 孝 : 日本版感覚統合検査 視覚系検査, 感覚統合研究, 11, 29-36, 2006.4
- ・ 岩永竜一郎, 日田勝子, 太田篤志, 加藤寿宏, 土田玲子, 永井洋一, 山田 孝 : 日本感覚統合検査 姿勢運動・前庭一固有受容感覚検査, 感覚統合研究, 11, 5-10, 2006.4
- ・ 太田篤志, 日田勝子, 岩永竜一郎, 加藤寿宏, 土田玲子, 永井洋一, 山田 孝 : 日本感覚統合検査 体性感覚系検査, 感覚統合研究, 11, 11-19, 2006.4
- ・ 加藤寿宏, 日田勝子, 岩永竜一郎, 太田篤志, 土田玲子, 永井洋一, 山田 孝 : 日本感覚統合検査 行為検査, 感覚統合研究, 11, 21-28, 2006.4

講演(学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 古川昭人 : 地域作業療法の理論と技術, 日本地域作業療法研究会第12回学術集会, 大分市コンパルホール, 大分市, 2007.3.18
- ・ 古川昭人 : 求められるOT, 求めるOT, 愛媛県OT士会学会, 愛媛十全医療学院講堂, 松山市, 2006.12.3
- ・ 古川昭人 : 閉じこもり予防に対するリハ支援, 宮崎県地域リハ広域支援センター研修会, 都城洋香看護専門学校講堂, 宮崎県三股町, 2007.3.24
- ・ 佐々木 淳 : 日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け, 能代医師会学術講演会 日本医師会生涯教育講座, 能代市, 2006.5.12
- ・ 佐々木 淳 : 日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け, 柳川山門医師会・柳川山門内科小児科医会学術講演会 日本医師会生涯教育講座, 柳川市, 2006.5.23
- ・ 佐々木 淳 : 日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け, 八戸市医師会第28回八戸地区生活習慣病研究会 日本医師会生涯教育講座, 八戸市, 2006.5.31
- ・ 佐々木 淳 : 日本人のエビデンスに基づく高脂血症治療の実際, 第一回宮崎動脈硬化フォーラム, 宮崎市, 2006.7.7
- ・ 佐々木 淳 : 糖尿病大血管症の予防のために 運動療法を中心に, 気仙沼糖尿病フォーラム2006 日本糖尿病療養士認定更新のための研修会, 気仙沼市, 2006.7.15
- ・ 佐々木 淳 : 高脂血症症例検討, 第30回福岡脂質研究会 日本医師会生涯教育講座, 福岡市, 2006.7.27
- ・ 佐々木 淳 : 日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け, 名古屋市医師会学術講演会 日本医師会生涯教育講座, 名古屋市, 2006.6.3
- ・ 佐々木 淳 : 日本における高脂血症診療における一次予防の意義, 静岡市医師会学術講演会 日本医師会生涯教育講座, 静岡市, 2006.6.10
- ・ Sasaki J : Panel Discussion A Triology of Primary Prevention Statin Trials- The Impact of these landmark studies on clinical practice-, ISA2006 Sankyo Forum Rome Cavalieri-Hilton, Rome Italy, 2006.6.19
- ・ 佐々木 淳 : パネルディスカッション 日本人のエビデンスをどのように使うか, 学術講演会, 京都市, 2006.7.1

- ・ 佐々木淳：日本人のエビデンスに基づくスタチンの使い分け，青年部会学術講演会，東京，2006.7.21
- ・ 佐々木淳：パネルディスカッション 日本の最適な高脂血症治療を考える，高脂血症フォーラム in Kyoto，京都市，2006.7.22
- ・ 佐々木淳：私の研究遍歴，第5回岐阜臨床検査研究会，高山市
- ・ 佐々木淳：生活習慣病における運動療法指導のポイント，第5回神戸ライフスタイルと心血管病フォーラム，神戸，2006.8.24
- ・ 佐々木淳：エビデンスに基づくスタチンの選択，日本医師会生涯教育講座，大分市，2006.8.26
- ・ 佐々木淳：パネルディスカッション 食事・運動療法をどうするか，メタボリックシンドローム2006東京，東京，2006.9.2
- ・ 佐々木淳：日本人のEBMに基づくガイドラインの方向性，Kagoshima life-style related disease seminar，鹿児島市，2006.9.8
- ・ 佐々木淳：医師主導型自主臨床研究実施のポイント，NTP study講演会，仙台市，2006.9.27
- ・ 佐々木淳：日本人のエビデンスに基づいたガイドラインの方向性，KLCC研究会宮崎，宮崎市，2006.10.19
- ・ 佐々木淳：メタボリックシンドロームの治療戦略，みやぎ生活習慣病フォーラム，仙台市，2006.10.20
- ・ 佐々木淳：パネルディスカッション MEGA Studyから何を学ぶか，高脂血症フォーラムin Kyushu，福岡市，2006.10.21
- ・ 佐々木淳：パネルディスカッション 日本におけるEBMの重要性とMEGA Study から新たな知見，高脂血症フォーラムin Sendai，仙台市，2006.11.2
- ・ 佐々木淳：パネルディスカッション 日本におけるEBMの重要性とMEGA Study から新たな知見，高脂血症フォーラムin Nagoya，名古屋市，2006.11.30
- ・ 佐々木淳：JELIS，第7回BUNGO生活習慣病フォーラム，大分市，2007.1.12
- ・ 佐々木淳：栄養摂取と運動 肥満の病態生理，第108回健康運動指導士養成講習会，アイレフ，福岡市，2007.1.20
- ・ 佐々木淳：生活習慣 肥満，第108回健康運動指導士養成講習会，アイレフ，福岡市，2007.1.20
- ・ 佐々木淳：生活習慣 糖尿病，第108回健康運動指導士養成講習会，アイレフ，福岡市，2007.1.20
- ・ 佐々木淳：栄養摂取と運動 肥満の病態生理，第108回(II)健康運動指導士養成講習会，福岡グリーンカレッジ，福岡市，2007.2.20
- ・ 佐々木淳：生活習慣 肥満，第108回(II)健康運動指導士養成講習会，福岡グリーンカレッジ，福岡市，2007.2.20
- ・ 佐々木淳：生活習慣 糖尿病，第108回(II)健康運動指導士養成講習会，福岡グリーンカレッジ，福岡市，2007.2.20
- ・ 中山広宣：精神科領域の評価－教育・研究分野より－，（社）熊本県作業療法士会，熊本リハビリテーション学院，熊本県熊本市，2007.3.18
- ・ 後藤純信：多局所ERGと多局所VEPによる視機能評価，第36回日本臨床神経生理学学会学術大会 シンポジウム2，パシフィコ横浜，横浜市，2006.11.29
- ・ 日田勝子，岩永竜一郎，太田篤志，加藤寿宏，土田玲子，永井洋一，山田 孝：日本版感覚統合検査の経過，第40回日本作業療法学会ワークショップ，国立京都国際会館，京都市，2006.7.1
- ・ 日田勝子，永井洋一，土田玲子：日本版感覚統合検査の開発経緯，日本発達障害ネットワーク第2回年次大会，成蹊大学，東京都，2006.12.10
- ・ 大庭潤平：義肢における学校教育と臨床教育の取り組み，第3回切断者支援研究会講習会・切断者SIG，福岡国際医療福祉学院，福岡市，2006.8.20

学会発表

- ・ 東 祐二, 古川昭人 (共演) 他: 地域作業療法効果の実践モデル (調査収集報告), 日本地域作業療法研究会第12回学術集会, 大分市コンパルホール, 大分市, 2007.3.18
- ・ 古川昭人 (座長): 第40回日本作業療法学会, 京都国際会議場, 京都市, 2006.7.2
- ・ 古川昭人 (主催): 第12回地域作業療法研究会学術集会, 大分市コンパルホール, 大分市, 2007.3.17-18
- ・ 佐々木淳 (代表世話人): 第7回動脈硬化教育フォーラム福岡2007 日本動脈硬化学会, アクロス福岡, 福岡市, 2007.2.4
- ・ 佐々木淳 (司会): 市民公開講座 動脈硬化にならないために!, 第7回動脈硬化教育フォーラム福岡2007 日本動脈硬化学会, アクロス福岡, 福岡市, 2007.2.4
- ・ 佐々木淳 (座長): Featured Sessionわが国における動脈硬化大規模臨床試験の現状と展望, 第38回動脈硬化学会総会学術集会 東京2006, 東京フォーラム, 東京, 2006.7.13
- ・ 佐々木淳: 動脈硬化性疾患診療ガイドラインー高齢者も含めてー, 第48回日本老年医学会学術集会 イブニングシンポジウム1, 金沢市, 2006.6.8
- ・ 佐々木淳: 運動療法「いかに, 運動量を増やすか」, 動脈硬化学会学術集会, 東京フォーラム, 東京, 2006.7.14
- ・ Sasaki J: THE ASSOCIATION OF LEUKOCYTE COUNT, C-REACTIVE PROTEIN AND METABOLIC SYNDROME IN JAPANESE, XIV International Symposium on Atherosclerosis, Rome Italy, 2006.6.18-22
- ・ Sasaki J: ROSUVASTATIN 5-20 MG IN JAPANESE HYPERTRIGLYCERIDEMIC PATIENTS: DOSE-RESPONSE STUDY, XIV International Symposium on Atherosclerosis, Rome Italy, 2006.6.18-22
- ・ Sasaki J: Relationships Between Coronary Artery Disease and Serum Lipid Concentrations and Preventive Effects of EPA in Hypercholesteremic Patients: The Japanese EPA Lipid intervention Study Subanalysis of Total population, American Heart Association 47th Annual Conference on Cardiovascular Disease Epidemiology and Prevention in association with the Council on Nutrition, Physical Activity, and Metabolism, Buena Vista Palace, Orlando Florida, 2007.2.28-3.3
- ・ Sasaki J: Effects of EPA on Coronary Artery Disease in Hypercholesteremic Patients with Multiple-Risk-Factors: Sub-Anaaysis of Primary Prevention Cases from JELIS, American Heart Association Scientific Seessions 2006, Chicago Ohio, 2006.11.12-15
- ・ Sasaki J: Effectiveness of Eicosapentanoic Acid for Preventing Coronary Artery Disease: Secondary Prevention Strata, American Heart Association Scientific Seessions 2006, Chicago Ohio, 2006.11.12-15
- ・ Sasaki J: Relationships Between Coronary Artery Disease (CAD)and Serum Lipid Concentrations,and Preventive Effects of EPA in Hypercholesterolemic Patients: JELIS Sub-Anaaysis, The 71st Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 神戸ポートピアホテル, 神戸市, 2007.3.15-17
- ・ Sasaki J: Strategy for Treating Hypercholesterolemia from Japanese Evidence, The 71st Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 神戸ポートピアホテル, 神戸市, 2007.3.15-17
- ・ 佐々木淳: シンポジウム 動脈硬化性疾患診療ガイドライン カテゴリー分類ーリスクの重み付けー, 第38回日本動脈硬化学会総会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京, 2006.7.13-14
- ・ 佐々木淳: CRC教育における目標設定に基づいた効果的なトレーニングプログラムの検討, 第6回CRCと臨床試験のあり方を考える会議2006in大宮, 大宮ソニックシティ, 大宮市, 2006.10.7-8
- ・ 佐々木淳: CRCの指導・教育担当者を対象としたメンタリング・プログラムの作成ーメンターとプロトジィの関係に関する実態調査からー, 第6回CRCと臨床試験のあり方を考える会議2006in大宮, 大宮ソニックシティ, 大宮市, 2006.10.7-8
- ・ 佐々木淳: 内臓脂肪蓄積評価のための腹囲測定精度に関する検討, 第47回日本人間ドック学会学術大会 第1回国際

- 人間ドック会議，沖縄コンベンションセンター，宜野湾市，2006.9.14-15
- ・ 佐々木淳：メタボリックシンドロームの有病率と体力との関連，第47回日本人間ドック学会学術大会 第1回国際人間ドック会議，沖縄コンベンションセンター，宜野湾市，2006.9.14-15
 - ・ 庄司紘史：成人ヘルペス脳炎の診療ガイドラインー国際治療フォーラムとの比較，第48回日本神経学会シンポジウム，京王プラザホテル，東京，2006.5.15
 - ・ Shoji H：Non-herpetic acute limbic encephalitis，The 6th China-Japan Joint Meeting of Virology，Fudan Univ.，Shanghai China，2006.6.22-23
 - ・ 庄司紘史：非ヘルペス性急性辺縁系脳炎ーオーバービュー，第11回日本神経感染症学会シンポジウム，伊勢市観光文化会館，三重県，2006.10.12
 - ・ 杉森 甫（主催者）：婦人科がんの治療，第1回日本アジア婦人科癌合同会議，パシフィコ横浜，横浜市，2006.4.21
 - ・ 陣内大輔，中山広宣，森田喜一郎：アルツハイマー型認知症者の視覚認知についてー視覚情報記憶課題における探索眼球運動解析からー，第40回日本作業療法学会，国立京都国際会館，京都府京都市，2006.7.1
 - ・ 石原浩二，中山広宣，森田喜一郎：作業療法学科学生の観察能力の変化ー探索眼球運動解析を用いてー，第40回日本作業療法学会，国立京都国際会館，京都府京都市，2006.7.1
 - ・ 川辺千津子，中山広宣，森田喜一郎：作業活動場面における学生の探索眼球運動の特徴（第3報），第40回日本作業療法学会，国立京都国際会館，京都府京都市，2006.7.1
 - ・ 川辺千津子，中山広宣，森田喜一郎：統合失調症者および健常者の世代間における探索眼球運動の特徴ー親子の表情写真を用いてー，第36回日本臨床神経生理学会，パシフィコ横浜アネックスホール，神奈川県横浜市，2006.11.30
 - ・ Nara N，Umeshita Y，Nara S：Attention assessment in geriatric clients: an application of cued attention shift tasks，14th Congress of World Federation of Occupational Therapists，International convention center，Sydney，2006.7
 - ・ Kodama H，Shinkawa H，Nara N：The relation of the time allocation and the health related QOL in person with hemiplegia，14th Congress of World Federation of Occupational Therapists，International convention center，Sydney，2006.7.28
 - ・ Ishii H（chairman）：Workshop: “What are Developmental Disorder”，The 7th Joint Workshop for Psychiatric of Korea & Japan，Educational Business College，Fukuoka city，2006.8.18
 - ・ 後藤純信（座長）：教育講演18 事象関連電位は人の心をどこまで反映できるか？，第36回日本臨床神経生理学会学術大会，パシフィコ横浜，横浜市，2006.11.29
 - ・ Kirimoto H，Goto Y，Ogata K 他2名：Muscle synergism among the triceps surae muscles during sustained plantar flexion，28th International Congress of Clinical Neurophysiology，EICC，Edinburgh，2006.9.11
 - ・ Nakashima T，Goto Y，Abe T 他4名：Dual route model for recognition of faces and facial expressions: An event-related potential study with spatially filtered images，28th International Congress of Clinical Neurophysiology，EICC，Edinburgh，2006.9.14
 - ・ 柴田 滋：社会保険法理の形成，社会保険法理研究会，西南大学，福岡市，2006.4
 - ・ 松野 豊，新川寿子，奈良進弘：脳卒中片麻痺者の更衣遂行能力ー更衣動作の操作数と操作時間の退院後変動の分析ー，第28回九州理学療法士・作業療法士合同学会，佐賀市，2006.11.18
 - ・ 長谷麻由，丹羽 敦，原口健三：ICFをとり入れた臨床実習の有効性ー専門領域別，病気別による学生の達成度・習熟度についてー，第40回日本作業療法学会，国立京都国際会館，京都市，2006.6.30
 - ・ 日田勝子，緒方 明，土田玲子：軽度発達障害児のHandwritingに関する研究ーHandwritingと感覚特性及び認知特性との関連について，第40回日本作業療法学会，国立京都国際会館，京都市，2006.6.30
 - ・ 田上和代，田中恵理子，弥頭亜希子，楠末智美，日田勝子：ぼくはトランポリンが大好きー感覚調整障害を持つ児の感覚運動・行為機能の変化（その1）ー，第40回日本作業療法学会，国立京都国際会館，京都市，2006.6.30

- ・宇都宮友子, 鳴瀬美和, 田中恵理子, 日田勝子: 先生一緒に遊ぼう! - 感覚調整障害を持つ児のことばによるコミュニケーションの変化(その2) -, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都市, 2006.6.30
- ・大塚あずさ, 藤本明日香, 満永晴美, 日田勝子: ゲームの審判から選手へ-姿勢反応と活動への自主性との関係-, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都市, 2006.6.30
- ・大庭潤平, 柴田八衣子, 溝部二十四, 深澤喜啓, 中村春基: 義手の有用性と作業療法士の役割について-上肢切断者の職業復帰を通じて-, 第40回日本作業療法学会, 京都国際会議場, 京都, 2006.6.30
- ・柴田八衣子, 深澤喜啓, 溝部二十四, 中村春基, 大庭潤平: 乳幼児への筋電義手アプローチ-2例の横断性手根骨欠損児への経験 第2報-, 第40回日本作業療法学会, 京都国際会議場, 京都, 2006.6.30
- ・柴田八衣子, 深澤喜啓, 溝部二十四, 中村春基, 大庭潤平 他: 義手および筋電義手の作業療法の実際, 第40回日本作業療法学会, 京都国際会議場, 京都, 2006.6.30
- ・大庭潤平, 早坂友成, 古川昭人 他: インテリアデザインを考慮した自立支援型ベッドの試作, 第21回日本リハビリテーション工学カンファレンス, 神戸学院大学, 神戸市, 2006.8.24
- ・Toyoko Asami, Junko Takeshita, Junpei oba et al.: The training of myoelectric prosthetic arms in our hospital in japan, 10th Triennial Congress of the International Federation of Societies for Surgery of the Hand (IFSSH), 7th Triennial Congress of the International Federation of Societies for Surgery of the Hand Therapy (IFSHT), Sydney Australia, 2007.3.11
- ・早坂友成, 田中 繁, 橋本洋平 他2名: 室内照明が統合失調症の疲労に与える影響-フリッカー認知閾値と作業量変化による検討-, 第40回日本作業療法学会, 国立京都国際会館, 京都府, 2006.6.30

研究助成金(文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・北 徹(代表), 佐々木淳(分担): 心血管疾患のハイリスク患者スクリーニングのための新たな診断システムの構築とその臨床応用, 厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患等総合研究事業, 継続
- ・庄司紘史(分担研究): 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の臨床的研究, 急性脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明から新たな治療法確立に向けた研究, 厚生労働科学研究費, こころ-017, 継続
- ・大庭潤平, 後藤純信, 柴田八衣子, 他3名: 上肢切断者の就労・就学支援システム構築に関する研究-筋電義手使用者を中心に-, 三菱財団社会福祉事業研究助成, その他研究助成金, 採用
- ・神尾陽子, 飛松省三, 後藤純信, 他5名: 社会性の発達メカニズムの解明 自閉症スペクトラムと定型発達のコーホート研究, 社会技術研究事業, 継続
- ・石橋達朗, 米満吉和, 後藤純信, 他2名: 網膜変性疾患に対する国産遺伝子導入ベクターを用いた治療法の開発-臨床応用を目指した試み-, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤A(2)一般, 15209057, 継続
- ・飛松省三, 谷脇考恭, 後藤純信: モデル脳を用いたヒトの高次視覚認知調節機構の研究, 文部科学省科学研究費補助金, 基盤B(2)一般, 16390253, 継続

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・古川昭人: 日本地域作業療法研究会(代表理事), 日本作業療法学会(演題審査委員), 日本老年精神医学会
- ・佐々木淳: 日本内科学会(認定医), 日本循環器学会, (専門医)(二次予防ガイドライン改訂委員会委員), 日本動脈硬化学会(理事, 評議員, 動脈硬化診療・疫学委員会委員, 教育研修委員会委員, 学会賞選考委員会委員, 第7回動脈硬化教育フォーラム代表世話人, 生活習慣専門部会委員長, 学術プログラム委員, ありかた検討委員, 若手研究者奨励賞選考委員, 学会賞選考委員, 五島賞選考委員), 日本老年病学会(指導医)(評議員), 日本肥満学会(評議員), 体力医学会, 人間ドック学会, アメリカ心臓病学会(AHA), 日本医師会(認定産業医)
- ・庄司紘史: 日本神経感染症学会(理事長)

- ・ 杉森 甫：日本産科婦人科学会（専門医）（名誉会員），日本臨床細胞学会（細胞専門医）（名誉会員），日本癌治療学会（名誉会員），日本婦人科腫瘍学会（名誉会員），国際細胞学会（フェロー），国際婦人科腫瘍学会
- ・ 中山広宣：日本臨床神経生理学会，Psychiatry and Clinical Neurosciences学会，精神科デイ・ケア研究協議会，九州集団療法研究会
- ・ 奈良進弘：Asia Pacific Occupational Therapy regional group（Executive Team: Treasurer），Asian Journal Occupational therapy（Chief Editor）
- ・ 石井久敬：日本総合病院精神医学会（専門医）（評議員），日本精神神経学会，九州精神神経学会，日本精神科診断学会，日本精神科救急学会，日本医学教育学会
- ・ 後藤純信：日本脳神経外科学会（専門医）（評議員），日本臨床神経生理学会（認定医（脳波分野，筋電図・神経伝導分野））
- ・ 柴田 滋：日本社会保障法学会
- ・ 新川寿子：日本感覚統合学会，日本作業行動研究会，作業療法学基礎研究会，日本レクリエーション協会
- ・ 丹羽 敦：日本作業療法学会（査読委員），在宅ケア学会（査読委員），日本地域作業療法研究会，日本作業療法教育研究会
- ・ 日田勝子：日本発達障害学会，日本感覚統合学会（感覚統合認定セラピスト）（常任理事），日本LD学会（日本LD学会・特別支援教育認定協会認定 特別支援教育士スーパーバイザー（S.E.N.S-SV））
- ・ 大庭潤平：日本義肢装具学会，日本リハビリテーション工学学会
- ・ 早坂友成：日本精神障害者リハビリテーション学会，日本臨床神経生理学会

リハビリテーション学部（言語聴覚学科）

※2006年度は開設準備中。2007年4月1日付けで「福岡リハビリテーション学部言語聴覚学科」として開設。

原著論文

- ・ 安立多恵子，平林伸一，汐田まどか，鈴木周平，若宮英司，北山真次，河野政樹，前岡幸憲，小枝達也：比喩・皮肉文テスト（MSST）を用いた注意欠陥／多動性障害（AD/HD），Asperger障害，高機能自閉症の状況認知に関する研究，脳と発達，38(3)，15-19，2006.5.1

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 安立多恵子：日本音声言語医学会，日本小児神経学会

小田原保健医療学部（看護学科）

著書

- ・ 島内 節，栗盛須雅子，薬袋淳子（編著）：保健医療福祉の研究ナビゲーター，質問紙調査法，研究費申請方法，国際共同研究の進め方，特許について，金原出版，2007
- ・ 操 華子，生命倫理百科事典翻訳刊行委員会編：生命倫理百科事典（翻訳本），II 保健医療におけるケア倫理の歴史

- 的動向, III現代のケア倫理, 875-881, 881-890, 丸善株式会社, 2007
- ・ 村田恵子 (分担執筆) : 小児看護学 第2版, 病気の子どもと看護, 101-124, 廣川書店, 2007.3.10
 - ・ 井村真澄 (分担執筆) : ナーシンググラフィカ31 母性看護学 母性看護技術, 3. 褥婦の看護にかかわる技術, 105-119, メディカ出版, 2007.2.10
 - ・ 井村真澄 (分担執筆) : ナーシンググラフィカ30 母性看護学 母性看護実践の基本, 15. 母乳育児と看護, 268-301, メディカ出版, 2007.3.31
 - ・ 荻野 雅, 瀧川 薫 (編集) : 看護系標準教科書 精神看護学, 4章 精神看護学における関連知識, 49-68, オーム社, 2006
 - ・ 小林美亜 (編集) : 看護マネジメント, エルゼビア, 2006
 - ・ 小林美亜 : ナースのための個人情報保護法, メディカ出版, 2006
 - ・ 山寄 絆・小林美亜 (分担執筆) : 平成18年版 看護白書, 看護職の副院長が病院を変えるー患者中心のケアを実現する経営・運営・管理ー, 171-184, 日本看護協会出版会, 2006
 - ・ 小林美亜 (分担翻訳) : 患者の安全を守る 医療・看護の労働環境の変革, 第1章看護ー患者の安全を担っている職種ー, 25-64, 日本評論社, 2006
 - ・ 清水清美 (編集) : Male Infertility (冊子) AIDを選択するあなたへ, DI研究会, 2006

原著論文

- ・ 村上満子, 島内 節 : 大腿骨頸部骨折高齢者の自宅退院後2ヶ月間における歩行能力変化と必要なケア, 日本在宅ケア学会, 10(2), 75-82, 2007
- ・ Yoko Shimizu, Setsu Shimanouchi : Effective Components of Staff and Organizational Development for Client Outcomes by Implementation of Action Plan in Home Care, International Medical Journal, 13(3), 175-183, 2006
- ・ 内田陽子, 島内 節 : 在宅ケア利用者の転倒予防リスクアセスメントの開発, ケアマネジメント学会, 5, 65-72, 2006
- ・ 大木 実, 島内 節 : 訪問看護師が認識する病院から在宅への移行期におけるケア情報とその活用時期に関する研究ー脳血管疾患高齢者に焦点を当てて, 日本在宅ケア学会, 9(1), 94-103, 2006
- ・ 森田久美子, 島内 節 : 在宅要介護高齢者の自立度と経時的変化, 利用条件によるアウトカム評価, 日本在宅ケア学会, 9(2), 38-46, 2006
- ・ 丸山有紀, 村田恵子 : 養護学校における医療的ケア必要児の健康支援を巡る多職種間の役割と協働, 小児保健研究, 65(2), 255-264, 2006
- ・ 野村佳代, 村田恵子 : 子どものハイリスク治療受け入れに向けた促しのための親の方略, 日本看護科学会誌, 26(2), 3-11, 2006
- ・ 渡邊弥生, 小林美亜, 池田俊也, 池上直己 : 産科における有害事象に関する研究, 医療と社会, 16(1), 97-109, 2006
- ・ 小林美亜, 池田俊也, 武藤正樹 : インシデント・アクシデントにより発生する医療費推計の試み, 医療と社会, 16(1), 85-96, 2006
- ・ 池田俊也, 小林美亜 : 医療機関における医療安全への取組状況「患者安全推進年」から1年後の状況, 医療と社会, 16(1), 5-16, 2006
- ・ 小林美亜, 鈴木美穂, 坂口千鶴, Mitty Ethel, Norman Elizabeth, Mezey Mathy : 日本語版NWI-Rの開発 看護の専門性を発揮できる職場環境の評価のために, 看護管理, 16(11), 929-935, 2006
- ・ 小林美亜, 坂口美佐, 池田俊也, 田邊博子, 高橋陽一, 堺 秀人 : 有害事象・インシデントの頻度および医療費を把握する手法の検討ー入院中調査と退院後調査の比較を通してー, 医療の質と安全学会誌, 1(1), 23-29, 2006

- ・ Ikeda S, Kobayashi M, Fukuhara S, Esato K : Cost-effectiveness of Liple(R) (LipoPGE1) for arteriosclerosis obliterans patients in Japan: an economic evaluation using the EQ-5D instrument., International angiology : a journal of the International Union of Angiology, 25, 169-174, 2006
- ・ 清水清美, 日下和代, 長沖暁子 : 非配偶者間人工授精を選択した女性の体験—AIDを選択するまでの過程—, 日本生殖看護学会, 4(1), 2007.3

総説

- ・ 操 華子 : 感染対策に使える！ 特選海外文献 第11回 裂傷の処置時に着用するのは、滅菌手袋？それとも清潔な未滅菌手袋？, INFECTION CONTROL, 15(4), 103-108, 2006
- ・ 操 華子 : 臨床ナースは研究とどのように関わるべきか, 研究支援はどのようになされるべきか, インターナショナル・ナーシング・レビュー, 124, 38-44, 2006
- ・ 操 華子 : 臨床実践ガイドラインとは, 日本整形外科看護研究会誌, 1, 5-14, 2006
- ・ 操 華子 : 感染対策に使える！ 特選海外文献 第12回 病院感染（医療関連感染）にかかる費用は、いったいどのくらいなの？, INFECTION CONTROL, 15(5), 74-77, 2006
- ・ 我妻志保, 操 華子 : ナースが知っておくべき最新看護情報 看護師の静脈注射をめぐる現状と課題 日米の比較, 月刊ナーシング, 26(7), 72-79, 2006
- ・ 操 華子 : ナースが知っておくべき最新看護情報 患者安全のためのWHOによる全世界規模の初の取り組み, 月刊ナーシング, 26(10), 60-67, 2006
- ・ 黒柳貴子, 操 華子 : ナースが知っておくべき最新看護情報 皮下埋め込み型CVポートと有害事象, 月刊ナーシング, 26(14), 68-73, 2006
- ・ 操 華子 : サーベイランスデータ活用に役立つ統計学の基礎知識, INFECTION CONTROL, 16(2), 54-66, 2007
- ・ 井村真澄 : 「親子関係から見た子ども環境学」タッチケアと母乳育児, 保健の科学, 48(12), 882-886, 2006.12
- ・ 井村真澄 : タッチケアを学ぶ—赤ちゃんへのタッチケアの実践—, Aromatherapy Environment, 42, 13-16, 2006.12
- ・ 井村真澄 : 妊娠・出産・育児期の母親へのタッチとマッサージ, Touch Care Update, 7(4), 3, 2006.12
- ・ 井村真澄 : 乳幼児突然死症候群（SIDS）と添い寝と母乳育児, 日本ラクテーション・コンサルタント協会第23回母乳育児学習会 in 横浜, 23, 42-62, 2007.1
- ・ 井村真澄 : 母子相互作用を促す母乳育児とタッチケア, 周産期メンタルヘルス研究会（PSI-JAPAN）ニュースレター, 6, 1, 2007.3
- ・ 小林美亜 : 患者指向の医療を実現する患者満足, 臨床看護, 33(1), 102-108, 2007
- ・ 池田俊也, 小林美亜, 坂口美佐 : カルテレビューの歴史をひもとく, 医療安全, 4(1), 60-65, 2007
- ・ 池田俊也, 小林美亜 : 包括医療とクリニカルパス, 救急医学, 30, 1624-1628, 2006
- ・ 小林美亜, 池田俊也 : 電子カルテと個人情報保護法, 眼科, 48(8), 1141-1145, 2006
- ・ 池田俊也, 小林美亜 : 眼科と医療問題 個人情報保護法と医療現場, IOL&RS, 20(2), 183-186, 2006
- ・ 小林美亜 : カルテレビューによる有害事象の把握と医療の質改善, 日本病院会雑誌, 53, 1030-1053, 2006
- ・ 小林美亜 : 看護職員の需給に関する調査結果公表—今後の7対1に行方—, ナースマネジャー, 9(1), 1-2, 2007
- ・ 小林美亜 : 看護師獲得の競争激化—看護師確保の困難な状況続く—, ナースマネジャー, 8(12), 1-3, 2006
- ・ 小林美亜 : 保健医療福祉施設における暴力対策指針出される, ナースマネジャー, 8(11), 1-3, 2006
- ・ 小林美亜 : 療養病床再編にかかわる影響—介護難民—, ナースマネジャー, 8(10), 1-3, 2006
- ・ 小林美亜 : 第5次医療法改正, ナースマネジャー, 8(9), 1-3, 2006
- ・ 小林美亜 : 看護者が関与する医療事故, ナースマネジャー, 8(8), 1-3, 2006

- ・ 小林美亜：看護師の基礎教育年限を4年以上に，ナースマネジャー，8(6)，1-3，2006
- ・ 小林美亜：病院の1割が運営困難－看護師不足は深刻に，ナースマネジャー，8(5)，1-2，2006
- ・ 小林美亜：終末期医療に関する「ガイドライン」基準作りが進む，ナースマネジャー，8(4)，1-2，2006
- ・ 小林美亜：平成18年度資料報酬改定 局長通知，課長通知，懐疑解釈などが公開－看護部における4月に向けた準備と対策，ナースマネジャー，8(3)，1-3，2006
- ・ 小林美亜：平成18年度診療報酬改定案答申される，ナースマネジャー，8(2)，1-3，2006
- ・ 清水清美，仙波由加里：日本における生殖補助技術に関する法制化の一考察－国内・国外のFertility tourismの現状から－，日本生殖看護学会，4(1)，2007.3
- ・ 日下和代，清水清美，長沖暁子：非配偶者間人工授精で生まれた人の心理，日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション，37，93-101，2006
- ・ 仙波由加里，柘植あづみ，長沖暁子，清水清美，日下和代：AIDにおける「出自を知る権利」－AIDで生まれた人たちが求める提供者情報とは－，日本生命倫理学会，16(1)，147-153，2006
- ・ 村上満子，島内 節，佐々木明子：大腿骨頸部骨折高齢者の自宅退院後2ヶ月間における歩行能力変化と必要なケア，日本在宅ケア学会誌，10(2)，75-82，2007

研究報告

- ・ 藤村龍子，野村美香，天野志保：循環器疾患患者のための家族ケアプログラムの開発と成果の研究，国際医療福祉大学在宅地域ケア研究センター研究費による研究報告，42-58，2006
- ・ 河原宣子，法橋尚宏，村田恵子：日本家族看護学会および会員の社会貢献に関する活動，家族看護学研究，12(3)，196-200，2007
- ・ 荻野 雅 他：精神科看護における看護倫理教育プログラムの開発，平成15年度～17年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書，2006
- ・ 小林美亜：日本における有害事象の発生頻度に関する疫学研究－予備調査の結果を通して－，医療の質・安全学会設立記念講演記録集，58-61，2006
- ・ 清水清美，長沖暁子（主任研究者）：受療カップルの役割と責任－日本人女性のインタビュー調査から－，AID当事者の語りから見る配偶者・胚提供が性・生殖・家族観に及ぼす影響，平成15～17年度科学研究費補助金 基盤研究(B)研究成果報告書，46-57，2006
- ・ 朝倉寛之，長岡由紀子，清水清美，吉村泰典（主任研究者）：卵子提供者へのカウンセリング体制のあり方の検討，生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む総合的運用システムに関する研究，平成17年度総括・分担研究報告書，厚生労働科学研究費助成金子ども家庭総合研究事業，132-147，2006

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 藤村龍子：論理的思考・問題解決技法，岡山県看護協会研修会，岡山看護協会，岡山市，2006.9.16
- ・ 操 華子：看護研究 基礎編，福島県看護協会，福島グリーンパレス，福島市，2006.6.2
- ・ 操 華子：看護研究 実践編，福島県看護協会，福島県総合社会福祉センター，福島市，2006.8.11-12
- ・ 操 華子：血流感染サーベイランスをやってみよう，スリーエムヘルスケア株式会社，名古屋国際会議場，名古屋市，2006.6.3
- ・ 操 華子：看護実践改善のための研究課題，千葉県看護協会，千葉県看護協会，千葉市，2006.7.28，8.19，9.16，10.14
- ・ 操 華子：臨床看護研究を楽しくすすめるためには，宮城県看護協会，仙台市民会館，仙台市，2006.11.25

- ・ 操 華子：看護研究研修会，神奈川県看護協会湘南支部 看護研究研修会，MNビル，平塚市，2007.2.24
- ・ 操 華子：看護研究研修，静岡県看護協会東部地区支部第3ブロック，修善寺いきいきプラザ，伊豆市，2007.1.13
- ・ 操 華子：Evidenceに基づく臨床実践，静岡県立静岡がんセンター，静岡県立静岡がんセンター，静岡市，2007.1.19, 3.5
- ・ 操 華子：臨床看護研究における研究指導力と支援体制を高める，島根県看護協会，島根県看護研修センター，松江市，2007.2.18
- ・ 操 華子：臨床に活かせるリサーチクエストとは，日本がん看護学会教育研究活動委員会，東京八重洲ホール，東京都，2007.2.8
- ・ 操 華子：レクチャー アウトブレイク調査のプロセス 事例をもとに，第22回日本環境感染学会学術集会，パシフィコ横浜，横浜市，2007.2.23
- ・ 井村真澄：健常児へのタッチケア，日本タッチケア研究会，セミナーホールJ&J本社ビル，東京都文京区，2006.9.9
- ・ 井村真澄：妊娠・出産・育児期の母親へのタッチとマッサージ，日本タッチケア研究会，セミナーホールJ&J本社ビル，東京都文京区，2006.9.10
- ・ 井村真澄：あなたの赤ちゃんへの最高の贈り物ー親子の潜在力を引き出すタッチケアー，国際医療福祉大学小田原保健医療学部，小田原キャンパス，神奈川県小田原市，2006.10.25
- ・ 井村真澄：ロンドン母乳育児研修，小児保健研究会に参加して，日本ラクテーション・コンサルタント協会，ウィリントン横浜大会議室，神奈川県横浜市，2006.10.19
- ・ 井村真澄：母乳育児支援ガイド 母乳育児 世界中で優先すべきこと 母乳育児と子どもの健康，聖路加母乳育児研究会，聖路加国際病院大会議室，東京都中央区，2006.12.28
- ・ 井村真澄：母乳育児支援ガイド 赤ちゃんが乳房から母乳を飲むための仕組み，聖路加母乳育児研究会，聖路加国際病院大会議室，東京都中央区，2007.1.13
- ・ 井村真澄：乳幼児突然死症候群（SIDS）と添い寝と母乳育児，日本ラクテーション・コンサルタント協会第23回母乳育児学習会 in 横浜，新都市文化センター，神奈川県横浜市，2007.1.28
- ・ 井村真澄：母乳育児支援ガイド 妊娠出産を通じた母乳育児の促進 母乳育児の開始，聖路加母乳育児研究会，聖路加国際病院大会議室，東京都中央区，2007.2.9
- ・ 井村真澄：NICUにおける母乳育児支援小さい赤ちゃんへの母乳のお話，東京都東部地区新生児連絡会，聖路加国際病院トイスラーホール，東京都中央区，2007.3.15
- ・ 井村真澄：母乳育児の評価 乳房の早期の問題，聖路加母乳育児研究会，聖路加国際病院トイスラーホール，東京都中央区，2007.3.19
- ・ 荻野 雅：ワークショップ コンサルテーション，日本精神保健看護学会第16回学術集会，自治医科大学，栃木県，2006.6.16-17
- ・ 荻野 雅：看護研究講評，日本精神科看護技術協会千葉県支部 第31回看護研究発表会，千葉市ハーモニープラザ，千葉県，2006.10.7
- ・ 澤田和美：小児看護の基本的理解，社団法人全国訪問看護事業協会，全社連研修センター，東京都品川区，2007.1.13
- ・ 小林美亜：内科系クリニカルパスー標準化について考えるー，日本クリニカルパス学会，熊本県立劇場，熊本，2006.11.17
- ・ 小林美亜：クリニカルパスを活用した医療の標準化ー医療安全の推進に役立つツールにするためには？，日本クリニカルパス学会，熊本学園大学，熊本，2006.11.18
- ・ 小林美亜：DPCと医療材料マネジメント，日本医療マネジメント学会，横浜パシフィコ，神奈川，2006.6.16
- ・ 小林美亜：個人情報保護法，日本赤十字看護学会，日本赤十字秋田看護大学，秋田，2006.6.17

- ・ 小林美亜：地域連携クリティカルパス，宮城県在宅呼吸管理研究会，東北大学医学部，宮城，2006.11.4
- ・ 小林美亜：看護離職率に関連した研究NWI-Rの活用，東京自治研究センター看護労働研究会，東京自治研究センター，東京，2006.11.21
- ・ 小林美亜：個人情報保護法一臨地実習，教育に焦点をあてて，個人情報と倫理研究会，日本赤十字看護大学看護，東京，2007.1.31
- ・ 小林美亜：医療安全，日本心血管インターベンション学会 東北地方会，仙台国際センター，宮城，2007.1.27
- ・ 小林美亜：医療の質保証に向けたカルテレビューの活用，日本医療マネジメント学会 第1回兵庫地方大会，神戸国際会議場，兵庫，2007.2.24
- ・ 清水清美：助産師研修－助産師の地域コーディネートの強化事業－，東京都福祉保健局少子社会対策部子ども医療課母子保健係，東京都旧知事公館，東京都，2006.11.15
- ・ 清水清美：不妊治療の現状と看護，第11期開業助産師教育長期研修過程，日本助産師会，東京都，2007.3.5

学会発表

- ・ 島内 節，村上満子：在宅高齢者のターミナルケア経過時期別にみた緊急電話と訪問ニーズ，第9回日本地域看護学会学術集会，国立保健医療科学院，埼玉県，2006.7.29
- ・ 島内 節，村上満子，山岸暁美：在宅ホスピスにおけるクリニカルパスの利用者家族による有用性評価，第26回日本看護科学学会学術集会，神戸国際会議場，兵庫県，2006.12.3
- ・ 島内 節（座長）：在宅ケア5演題口演，第26回日本看護科学学会学術集会，神戸国際会議場，兵庫県，2006.12.3
- ・ 島内 節（座長）：ターミナルケア5演題口演，第11回日本在宅ケア学会学術集会，埼玉県立大学，埼玉県，2007.3.4
- ・ 井部俊子，江川隆子，T.H.Herdman，奥村淳子，藤村龍子（座長）：シンポジウム 質保証時代における看護診断の位置づけ，第12回日本看護診断学会学術大会，名古屋国際会議場，名古屋市，2006.6.25
- ・ 小桧山ルイ，月澤美代子，藤村龍子（座長），平尾真智子（座長）：シンポジウム 歴史研究の可能性女性史と科学史・医学史研究者の立場から，日本看護歴史学会第20回学術集会，東京慈恵医科大学西新橋校舎，東京都，2006.8.25
- ・ 藤村龍子，佐藤正美，小島善和，中嶋智子，石井まり子，北野雅子，五十嵐典子，東 利江，野村美香，天野志保：クリティカルケア，周手術期看護ケアと看護診断－看護診断・看護成果・看護介入のリンケージを志向して－，第12回日本看護診断学会学術大会，名古屋国際会議場，名古屋市，2006.6.25
- ・ 石山香織，藤村龍子：広汎・準広汎子宮摘出患者が体験する排尿障害の症状と対処方法，第26回日本看護科学学会学術集会，神戸国際会議場，神戸市，2006.12.2
- ・ 玉井奈緒，操 華子 他：皮膚転移を伴う乳癌患者の処置用品に求められる条件，第14回日本乳癌学会学術集会，石川県立音楽堂，金沢市，2006.7.7-8
- ・ 北村真理，操 華子 他：当院におけるB型肝炎ウイルスワクチン接種の検討，第51回日本透析医学界学術集会，パシフィコ横浜，横浜市，2006.6.23-25
- ・ 川崎朋範，操 華子 他：乳癌術前化学療法における治療効果の予測因子，第95回日本病理学会総会，京王プラザホテル，東京都，2006.4.30-5.2
- ・ 渡邊千登世，操 華子 他：終末期患者における褥瘡発生要因に関する調査研究，第8回日本褥瘡学会学術集会，大宮ソニックシティ，大宮市，2006.9.1-2
- ・ 森兼啓太，操 華子 他：末梢静脈留置型中心静脈カテーテル（PICC）と従来の中心静脈カテーテル（CVC）の使用状況に関する調査，第22回日本環境感染学会学術集会，パシフィコ横浜，横浜市，2007.2.23-24
- ・ 操 華子（シンポジウム企画，指定討論） 他：フィールドワークのプロセスをいかに記述するか？看護学のアプローチと心理学のアプローチ，日本質的心理学会研究交流委員会企画シンポジウム，愛媛大学，松山市，2006.5.27

- ・ 操 華子 (シンポジウム企画, 司会者) 他: がんと共存する人々との関わりにもみる専門職者としての質, 日本質的心理学会 第3回大会, 九州大学, 福岡市, 2006.8.5-6
- ・ 宮本陽子, 村田恵子: 病児の入院と付き添いにより分散した家族の絆と維持・再構築プロセス, 日本家族看護学会 第13回学術集会, 広島国際会議場, 広島, 2006.9.2
- ・ 河原宣子, 法橋尚宏, 村田恵子: 日本家族看護学会および会員の社会貢献に関する活動, 日本家族看護学会 第13回学術集会, 広島国際会議場, 広島, 2006.9.2
- ・ 村田恵子 (座長): 小児看護学教育, 日本小児看護学会, パシフィコ横浜, 横浜, 2006.7.30
- ・ Masumi Imura: SIDS Breastfeeding and co-sleeping, The 9th SIDS International Conference, パシフィコ横浜会議センター, 神奈川県横浜市, 2006.6.1
- ・ Masumi Imura: Full and Engorged Breast Pathology and Treatment, The 15th Breastfeeding conference in Institute of Child Health, Centre for International Child Health University College London, イギリス ロンドン, 2006.6.30
- ・ Masumi Imura: Maternal and Child Health Breastfeeding in Japan, The 15th Breastfeeding conference in Institute of Child Health, Centre for International Child Health University College London, イギリス ロンドン, 2006.7.6
- ・ 井村真澄 (座長): 母乳育児と補足, 第21回日本母乳哺育学会学術集会, 諏訪市文化センター, 長野県諏訪市, 2006.9.23
- ・ 井村真澄: 正常な初産後の母親へのアロマセラピーおよびマッサージセラピーの心理・生化学的効果に関するランダム化比較臨床試験, 第21回日本助産学会学術集会, ビーコンプラザ国際会議室, 大分県別府市, 2007.3.11
- ・ 岩田紘美, 来田美鈴, 金子美紀, 井村真澄 他: 産後早期の母親が抱える乳頭トラブル・乳頭損傷と乳頭痛との関連, 第21回日本助産学会学術集会, ビーコンプラザコンベンションホール, 大分県別府市, 2007.3.11
- ・ 酒井ひろ美, 来田美鈴, 金子美紀, 井村真澄 他: 産後早期の乳頭痛の実態調査, 第21回日本助産学会学術集会, ビーコンプラザコンベンションホール, 大分県別府市, 2007.3.11
- ・ 荻野 雅: 分科会3 病院における職種間連携「多職種チームでの集団力動」, 千葉看護学会第12回学術集会, 千葉大学, 千葉県, 2006.9.10
- ・ 荻野 雅: 分科会 看護倫理教育方法, 千葉大学21世紀COEプログラム 日本文化型看護学の創出・国際発信拠点ー実践知に基づく看護学の確立と展開 サブプロジェクト「日本型倫理的推論の特徴と看護基礎教育」企画ワークショップ アジア文化と看護倫理教育, 千葉大学, 千葉県, 2006.10.22
- ・ 野村美香, 永井眞由美, 戸村道子, 石井智子, 稲岡文昭: ヒューマン・ケアリングの実践力向上をめざした講義と実習の効果, 第26回看護科学学会学術集会, 神戸国際会議場, 神戸市, 2006.12.2
- ・ 綾部明江: 要介護高齢者の在宅生活継続に関する要因とケアの視点, 日本地域看護学会, 国立医療保健科学院, 埼玉県和光市, 2006.7.29
- ・ 小林美亜 (座長): 地域連携クリニカルパス, 日本クリニカルパス学会 クリニカルパス大会, 東北厚生年金病院, 宮城, 2006.10.13.
- ・ 兼児敏浩, 池田俊也, 小林美亜, 坂口美佐, 堺 秀人: 特定機能病院における有害事象把握のためのスクリーニングとしての入院中調査と退院後調査との比較・検討, 日本病院管理学会, 名古屋国際会議場, 愛知, 2006.10.20
- ・ 坂口美佐, 小林美亜, 池田俊也, 兼児敏浩, 堺 秀人: 有害事象把握のための入院中調査と退院後調査の比較, 日本病院管理学会, 名古屋国際会議場, 愛知, 2006.10.20
- ・ 藤田 茂, 長谷川友紀, 池田俊也, 小林美亜: 有害事象による追加的医療費のコスト構造に関する分析, 日本病院管理学会, 名古屋国際会議場, 愛知, 2006.10.19
- ・ 小林美亜, 池田俊也, 坂本すが, 山寄 絆: 看護の専門性を発揮できる職場環境に影響を与える要因, 日本病院管理学会, 名古屋国際会議場, 愛知, 2006.10.20

- ・ 清水清美 (座長) : 不妊治療の体験, 第4回日本不妊看護学会, 山梨大学, 山梨県, 2006.9.3
- ・ 清水清美, 長岡由紀子, 朝倉寛之, 久慈直昭, 吉村泰典: 米国在住の日系卵子提供者の卵子提供および生まれた子どもの出自を知る権利の意識について, 第51回日本生殖医学会, 大阪国際会議場, 大阪府, 2006.11.9-10
- ・ 清水清美 (主催) : 無精子症と診断されたカップルに寄り添うケア, DI研究会, 港区男女平等参画センター, 東京都, 2006.8.5
- ・ 清水清美 (主催) : 精子・卵子・胚の提供を望むカップルへのサポート, リプロ研究会, 港区男女平等参画センター, 東京都, 2007.1.6
- ・ 村上満子 : 地域で暮らす精神科入院経験者の入院生活と今の生活に関する意識, 日本看護科学学会, 神戸国際会議場, 神戸, 2006.12.2
- ・ 島内 節, 村上満子, 山岸暁美 : 在宅ホスピスにおける利用者家族のためのクリニカルパスの有用性評価, 日本看護科学学会, 神戸国際会議場, 神戸, 2006.12.3
- ・ 村上満子 : 精神科長期在院者の退院までの経緯からみた主体性概念に関する事例研究, 日本医学哲学・倫理学会大会, 大阪大学, 大阪, 2006.10.29
- ・ 島内 節, 村上満子 : 在宅高齢者のターミナルケア経過時期別にみた緊急電話と訪問ニーズ, 日本地域看護学会, 国立保健医療科学院, 埼玉, 2006.7.29

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 島内 節, 中谷久恵, 内田陽子, 田中 博: 在宅高齢者ホスピスケアのクリニカルパスとケアマネジメント方法の有用性評価と実用化, 平成17年~19年度文部科学基盤研究(B), 1740, 6033, 採
- ・ 島内 節, 山岸暁美, 福井小紀子, 村上満子 : 在宅がん終末期患者におけるペインマネジメント, 株式会社リブライフ社 平成18年度 地域ケア技術開発助成金, 採
- ・ 葉袋淳子, 島内 節, 中谷久恵: 在宅終末期ケア標準化のためのプログラム開発と実用化, 株式会社リブライフ社 平成18年度 地域ケア技術開発助成金, 採
- ・ 島内 節, 葉袋淳子, 村上満子 : 在宅軽度要介護高齢者の自立度アウトカム指標の利用とその効果, 株式会社リブライフ社 平成18年度 地域ケア技術開発助成金, 採
- ・ 伊集院昭彦, 島内 節 : 在宅ケアシステム普及ツールの開発, 千葉県産業振興財団 産学共同助成金, 採
- ・ 村田恵子, 法橋尚宏, 西山智春: ライフスキル育成による慢性病児・家族の健康増進プログラムの開発と活用法の確立, 日本学術振興会科学研究費, 基盤研究(B)(2), 17390580, 継続
- ・ 荻野 雅 他 : 大学院看護教育における日本文化を反映した看護倫理教育プログラムの開発, 科学研究費補助金, 基盤研究C, 18592306
- ・ 荻野 雅 他 : 長期在院精神障害者の退院援助評価スケールの開発と有効性の検証 (第1報), 在宅地域ケア研究センター費
- ・ 野村美香, 村田由香, 石井智子, 要田郁美: がん看護に携わる看護師の倫理的問題解決総力を高めるコーチングプログラムの開発, 日本学術振興会 科学研究費, 基盤研究C, 継続
- ・ 清水清美 : 非配偶者間生殖医療を用いて親になるカップルへの家族形成に関わる研究, 平成18~20年度文部科学研究費補助金, 基盤研究(C), 18592345, 採
- ・ 清水清美 : 非配偶者間人工授精を選択するカップルと生まれてくる子どもへの支援に関する研究—親になる方への情報提供用パンフレット作成と親の会「勉強会」を試みて, 平成17年度三菱財団研究助成金, 社会福祉, 継
- ・ ブリッジ志保, 藤村龍子 (代表) : 循環器疾患患者のための家族ケアプログラムの開発, 在宅地域ケア研究センター受託研究費

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 島内 節 他：特許申請No.1, 在宅ケアプログラム記録情報に媒体・ケアシステム用サーバ・利用者家族用（出願No.2006-55591），申請2006.3
- ・ 島内 節 他：特許申請No.2 上記に関連する事項，在宅ケアプログラム記録情報に媒体・ケアシステム用サーバ・利用者家族用と専門職用の統合システム（出願No.2006-299700），申請2006.9

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 島内 節：日本地域看護学会（理事），クリニカルパス学会（理事），日本在宅ケア学会（理事），ケアマネジメント学会（副理事長），日本私立看護系大学協会（理事），日本看護科学学会（評議員），日本看護系大学協議会（専門看護師在宅看護カリキュラム認定委員），Journal of Health and Nursing（編集査読委員）
- ・ 藤村龍子：日本看護診断学会（理事，国際交流委員会委員長，第12回学術大会企画委員），日本看護歴史学会（監事，学会誌査読委員），日本看護科学学会（評議委員，選挙管理委員会副委員長），日本POS医療学会（POS医療認定士）（評議委員，第29回学術大会 ファシリテータ），日本看護学教育学会，日本クリティカルケア看護学会，日本病院管理学会，日本がん看護学会，日本保健行動学会，日本緩和ケア学会，日本教育学会，ACENDIO（欧州共同体看護診断－看護介入－看護成果協議会）
- ・ 村田恵子：日本小児看護学会（監事，専任査読委員），日本家族看護学会（理事），日本看護学教育学会（評議員，専任査読委員），日本看護科学学会（専任査読委員），日本小児保健学会，日本ストレス学会
- ・ 井村真澄：International Lactation Consultant Association（International Board Certified Lactation Consultant Certification No.299-51499 1999, Recertified in 2004），International Board of Lactation Consultant Examiners（Asia-Pacific Region, Country coordinator Coordinator for Japan），Postpartum Support International-Japan（理事），日本看護科学学会，日本看護学教育学会，日本助産学会，日本母乳哺育学会（理事），日本ラクテーション・コンサルタント協会（役員），日本タッチケア研究会（幹事），日本家族心理学会，日本母乳育児三者協議会（日本母乳哺育学会・日本母乳の会・日本ラクテーション・コンサルタント協会）（事務局長），聖路加看護学会
- ・ 荻野 雅：日本精神保健看護学会（理事）
- ・ 澤田和美：日本国際保健医療学会，日本小児保健協会，聖路加看護学会，日本小児看護学会，日本看護科学学会
- ・ 野村美香：日本がん看護学会（評議員），日本看護科学学会，日本老年看護学会，更年期医学会，看護教育学学会，看護診断学会，日本赤十字看護学会（評議員），聖路加看護学会
- ・ 小林美亜：日本クリニカルパス学会（評議員，編集委員），日本ヘルスサポート学会（編集委員），日本医療マネジメント学会，日本病院管理学会，日本看護管理学会，日本地域看護学会（看保連対策委員），医療の質・安全管理学会
- ・ 清水清美：日本生殖看護学会（理事），第5回日本生殖看護学会学術集会（企画委員）
- ・ ブリッジ志保：日本看護科学学会，日本看護診断学会，The Joanna Briggs Institute: an international Research and Development Unit of Royal Adelaide Hospital, and an Affiliated Institute of the University of Adelaide
- ・ 村上満子：日本看護科学学会，日本地域看護学会，日本在宅ケア学会，日本公衆衛生学会，日本ケアマネジメント学会，日本病院・地域精神医学会，日本医学哲学・倫理学会，Sigma Theta Tau International Honor Society of Nursing

小田原保健医療学部（理学療法学科）

著書

- ・ 黒澤和生（分担執筆）：理学療法 特集 痛み、痛みの捕らえ方 臨床推論, 45-50, メディカルプレス, 2006.1.15
- ・ 丸山仁司, 竹井 仁, 黒澤和生, 網本 和, 望月 久（編集）：評価から治療手技の選択（中枢神経疾患編）, 文光堂, 2006.10.7
- ・ 黒澤和生（分担執筆（訳））：Assessment of Gait.（運動器リハビリテーションの機能評価Ⅱ）, 14. 歩行の評価, 355-380, エルゼビア・ジャパン, 2006.12.20
- ・ 黒澤和生（分担執筆）：運動器系疾患理学療法, リンパ浮腫 正中神経麻痺, 48-52, 144-148, アイペック, 2006.7.10

原著論文

- ・ 金 信敬, 黒澤和生：太極拳運動による地域高齢者の身体機能向上及び転倒予防に関する研究, 理学療法科学, 21(3), 275-279, 2006
- ・ 渡邊観世子, 谷 浩明：部分荷重課題に対する教示の効果, 理学療法科学, 22(1), 77-81, 2007
- ・ 下井俊典, 谷 浩明：遅発性筋痛測定における4種類の疼痛測定法の信頼性, 理学療法科学, 22(1), 125-131, 2007
- ・ Hiroshi NOBORI, Hitoshi MARUYAMA, Naoko TAKAHASHI：The Effect of a Toe-Heel Pedal Exercise Machine, J.Phys.Ther.Sci., 18(2), 143-148, 2006
- ・ Hiroshi NOBORI, Hitoshi MARUYAMA：Invention and Making of “Power Measure”, a Simple Instrument to Measure Muscular Strength-Validation of the Measurement Values, J.Phys.Ther.Sci., 19(1), 9-13, 2007
- ・ Momiyama H et al.：Dynamic movement of center of gravity with hand grip., Biomedical Research, 27(2), 55-60, 2006.4
- ・ 大澤諭樹彦, 初山日出樹, 石川隆志 他：在宅高齢者の身体機能向上と行動変容を促す体力づくりプログラムの検討 ホームエクササイズの継続を促すアプローチ, 理学療法ジャーナル, 41(1), 55-59, 2007.1
- ・ 上村さと美, 秋山純和：介護老人保健施設における集団運動実施時のモニタリングの現状, 理学療法科学, 22(1), 55-59, 2007
- ・ 上村さと美, 秋山純和：Zarit介護負担尺度日本語版（J-ZBI）を用いた家族介護負担感評価, 理学療法科学, 22(1), 61-65, 2007
- ・ 上村さと美, 秋山純和：在宅介護者の性差による介護負担感の違い—Zarit介護負担尺度日本語版を用いた介護負担感の比較—, 理学療法—技術と研究— 神奈川県, 35, 41-45, 2007

総説

- ・ 谷 浩明：運動学習の臨床応用, 理学療法, 24(2), 299-304, 2007

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 大嶽昇弘, 黒澤和生, 柳澤 勇：世界の理学療法テクニック入門（関節・軟部組織モビリゼーション）, 理学療法科学学会, 高崎医療福祉専門学校, 群馬県高崎市, 2006.5.13-14
- ・ 黒澤和生, 柳澤 勇：軟部組織モビリゼーション, 山口県理学療法士会特別講習会, 山口リハビリテーション病院, 山口県黒川, 2006.6.24-25
- ・ 黒澤和生, 浅田啓嗣, 瓜谷大輔：第62回技術講習会 触診セミナー（上肢編）, 日本徒手の理学療法研究会, 奈良県総合リハセンター, 奈良県磯城郡, 2006.8.5-6

- ・黒澤和生：第24回つくば地域リハ・セミナー，Palpationについて，筑波記念病院，茨城県つくば市，2006.9.2-3
- ・黒澤和生：軟部組織モビリゼーション，埼玉県理学療法士会，上尾中央医療専門学校，埼玉県上尾市，2007.1.28
- ・黒澤和生，浅田啓嗣，瓜谷大輔：第67回技術講習会 触診セミナー（下肢編），日本徒手の理学療法研究会，国際医療福祉大学小田原保健医療学部，神奈川県小田原市，2007.2.17-18
- ・谷 浩明：ポートフォリオ評価の医学教育への導入，第1回理学療法教育FD研究会，国際医療福祉大学小田原保健医療学部，神奈川県小田原市，2007.1.13
- ・昇 寛：理学療法士から見たリハビリテーションと工学 Toe-Heelペダル運動器の開発，2007年度精密工学会春季大会—リハビリテーションと生活支援の工学—，芝浦工業大学豊洲キャンパス，東京都，2007.3.20
- ・昇 寛：1. 日本のリハビリテーション医療の現況 2. リハビリテーション分野における検査装置の開発—皮膚圧感覚検査装置—，廈門大学大学院日本研究所主催2007年度公開教育講座，廈門大学大学院日本研究所，中国廈門，2007.3.28-29
- ・初山日出樹：FDを目的とした‘コミュニケーション・ペーパー’活用の紹介，第1回理学療法教育FD研究会，国際医療福祉大学小田原保健医療学部，神奈川県小田原市，2007.1.13

学会発表

- ・黒澤和生，杉田隆信，加賀美研，濱尾恵子，清水知佳，塚田志信，有浦有季子，上田 修，対馬栄輝：若年健康男性・女性と高齢健康女性における立位 足踏み時の注意需要の差異，第41回日本理学療法士学会大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋市，2006.5.25-27
- ・黒澤和生（座長）：第41回日本理学療法士学会大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋市，2006.5.25-27
- ・谷 浩明（座長）：理学療法基礎系，第41回日本理学療法学会大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋市，2006.5.26
- ・今井祐子，谷 浩明：車いすによるキャスター上げ獲得までの変化，第41回日本理学療法学会大会，グリーンドーム前橋，群馬県前橋市，2006.5.27
- ・渡邊観世子，谷 浩明：部分荷重課題において必要な試行数と学習者の荷重感覚の違いについて，第3回理学療法科学学会国際学会大会，中国リハビリテーションセンター，中国北京，2007.3.17
- ・谷 浩明（大会長）：循環器疾患領域における理学療法の可能性，第40回理学療法科学学会大会，国際医療福祉大学小田原保健医療学部，神奈川県小田原市，2007.1.14
- ・昇 寛：簡易筋力測定器“Power Measure”の考案と作製—測定値の妥当性の検討—，第3回中日リハビリテーション医学学会，中国リハビリテーション研究センター，中国北京市，2006.8.19
- ・昇 寛：姿勢・動作と立位バランスの関係について—疼痛，不快感，違和感からの回避動作の影響—，第16回人体科学学会，長岡大学，新潟県長岡市，2006.11.26
- ・昇 寛：失語症患者の漢字と仮名の文字能力について—多変量解析の試み—，第1回日中学术交流交際シンポジウム，中国廈門大学日本研究所，中国廈門市，2006.12.7
- ・昇 寛：下駄型ローラーペダル運動器の考案と作製，第3回理学療法科学学会国際学会大会，中国リハビリテーション研究センター，中国北京市，2007.3.17
- ・昇 寛（座長）：一般演題担当，第40回理学療法科学学会大会，国際医療福祉大学小田原保健医療学部，神奈川県小田原市，2007.1.14
- ・上村さと美，秋山純和：在宅介護者の介護負担感の違い—Zarit介護負担感評価尺度を用いた性差による比較—，第41回日本理学療法学会大会，グリーンドーム前橋，群馬県，2006.5.25
- ・上村さと美，秋山純和：介護老人保健施設における反復起立運動を用いた心肺機能評価，第37回理学療法科学学会，国際医療福祉大学，栃木県，2006.11.4

- ・ 上村さと美, 秋山純和, 霍 明 : 臨床経験年数の違いが臨床教育者としての責務の認識に与える影響, 第1回理学療法教育FD研究会, 国際医療福祉大学小田原保健医療学部, 神奈川県, 2007.1.13
- ・ 上村さと美, 秋山純和 : 車椅子タイヤ空気圧の違いが生理的運動強度に及ぼす影響, 第40回理学療法科学学会, 国際医療福祉大学小田原保健医療学部, 神奈川県, 2007.1.14

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 昇 寛 : 簡易圧感覚検査器“Sensory Measure”の考案と作製, 国際医療福祉大学在宅地域ケア研究センター研究費
- ・ 昇 寛 : 関節固有感覚運動装置“Roller Pedal”の考案と作製, 国際医療福祉大学在宅地域ケア研究センター研究費

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ Momiyama H : 博士（医学）, Dynamic movement of center of gravity with hand grip., (2006.3.20)
- ・ 上村さと美 : 修士（保健医療学）, 介護老人保健施設における集団運動と心肺機能評価, 2007.3.9

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 黒澤和生 : 日本整形徒手療法協会（OMT-DIPLOM）
- ・ 谷 浩明 : 日本人間工学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会, 理学療法科学学会（評議員）, 運動学習研究会, スポーツ心理学会, 日本物理療法学会, 日本私立医科大学理学療法士学会, 日本VR医学会
- ・ 昇 寛 : 理学療法科学学会, 人体科学会, 認知神経科学会, 発明学会, 日中学術交流研究振興学会
- ・ 初山日出樹 : 日本理学療法士学会, 日本体力医学会, 日本生理学会
- ・ 上村さと美 : 理学療法科学学会
- ・ 渡邊観世子 : 理学療法科学学会, 日本ボバース研究会, 日本赤ちゃん学会

小田原保健医療学部（作業療法学科）

著書

- ・ 菅原洋子（分担執筆）, 岩崎テル子（編集） 他 : 身体機能作業療法学, 頸髄損傷, 172-188, 医学書院, 2006.4
- ・ 菅原洋子（分担執筆）, 岩崎テル子（編集） 他 : 作業療法評価学, 頸髄損傷の評価, 323-332, 医学書院, 2006.6
- ・ 森田千晶（分担執筆） : 生活の場における移動の援助, 応用移動動作の援助 家事, 211-213, 医歯薬出版, 2006

原著論文

- ・ 森田千晶 : 片側上肢切断が姿勢に及ぼす影響について, 日本義肢装具学会誌, 23(1), 75-82, 2007
- ・ 窪田 聡 : 電動ギャッチベッドの背上げにおける座位姿勢評価手法の開発, 日本リハビリテーション工学協会誌, 2, 103-110, 2006

研究報告

- ・ 宮崎 泰, 曾根幸喜, 松村伸次, 芝田利生, 阿部浩美, 柳迫康夫 : 重症心身障害児（者）の座位保持装置満足度尺度（試案）の開発, 日本義肢装具学会誌, 22(2), 95-100, 2006.4

講演（学会、研究会、分科会、シンポジウム等の講演）

- ・ 菅原洋子：家事をして長生きしよう，小田原市生涯学習講座，小田原商工会館，小田原市，2006.11.2
- ・ 菅原洋子：介護保険と医療の連携を目指して，伊東・熱海地区高齢福祉課，熱海KKRホテル，静岡県，2007.2.15
- ・ 森田千晶：義肢学－作業療法の視点からの捉え方－，切断者の支援研究会，福岡国際医療福祉学院天神キャンパス，福岡県博多，2006.8.19
- ・ 森田千晶：義手の可能性，リハビリテーション工学協会義肢装具SIG，兵庫県立総合リハビリテーションセンター，兵庫県神戸市，2006.8.27
- ・ 山路博文：兵庫県障害福祉部，姫路市，2007.2.8
- ・ 山路博文：豊岡市合同庁舎，豊岡市，2007.2.15

学会発表

- ・ 鈴木嘉子，朝倉文子，菅原洋子：全人工関節置換術後の全埋め込み式浴槽への出入り方法の検討，日本作業療法学会，京都国際会館，京都市，2006.6
- ・ 鈴木嘉子，朝倉文子，菅原洋子：左片麻痺と大腿骨頸部骨折を呈した患者の入浴動作，日本作業療法学会，京都国際会館，京都市，2006.6
- ・ 森田千晶：片側上腕切断者の生活における姿勢，第40回日本作業療法学会，国立京都国際会館，京都市，2006.6.30
- ・ 森田千晶（座長）：一般口演 上肢切断，第22回日本義肢装具学会学術大会，くまもと県民交流館「パレア」，熊本市，2006.10.22
- ・ 阿部浩美：アテトーゼ型脳性麻痺児に対するスイッチ操作獲得に向けた取り組み，第40回日本作業療法学会，京都国際会議場，京都市，2006.6

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 窪田 聡：博士（保健医療学博士），電動ギャッチベッド背上げ時の姿勢評価，2007.3.19

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 菅原洋子：人間工学学会，リハビリテーション連携科学学会，質的心理学会
- ・ 森田千晶：日本義肢装具学会（評議員，学会誌編集委員）
- ・ 阿部浩美：日本作業療法士協会，日本感覚統合学会
- ・ 窪田 聡：日本リハビリテーション工学協会，バイオメカニズム学会
- ・ 三浦慈子：日本高次脳機能障害学会，日本作業療法士協会

小田原保健医療学部（医学一般教育）

著書

- ・ 貴邑富久子，根来英雄（分担執筆）：シンプル生理学（改訂第5版），神経系の機能，感覚の生理，内分泌系の機能，栄養と代謝，消化と吸収，血液の生理，循環の生理，全326の約2/3，南江堂，2006
- ・ 貴邑富久子，根来英雄（分担執筆），社団法人全国柔道整復学校協会（監修）：生理学（改訂第3版），血液の生理学，循環の生理学，消化の生理学，栄養と代謝，内分泌系の機能，生殖，骨の生理学，体液の生理学，神経系の機能，

感覚の生理学, 全336の約2/3, 南江堂, 2006

- ・ 貴邑富久子, 本間研一, 彼末一之 (編) : 環境生理学 Environmental Physiology, 環境としてのジェンダー, 419-429, 北海道大学出版会, 2007
- ・ 貴邑富久子, 美津島大, 遠藤 豊, 船橋利也, 高瀬堅吉 : 性差と医療, 飼育環境によって性差が生まれる海馬の空間認知機能 新脳の関わる認知機能には本来, 性差はない, 1289-1291, じほう, 2006

原著論文

- ・ Shimamura M, Shimizu M, Yagami T, Funabashi T, Kimura F, Kuroiwa Y, Misu Y, Goshima Y : 1-3, 4-Dihydroxyphenylalanine-induced c-Fos expression in the CNS under inhibition of central aromatic 1-amino acid decarboxylase., Neuropharmacology, 50, 909-916, 2006
- ・ Mitsushima D, Yamada K, Takase K, Funabashi T, Kimura F : Sex differences in the basolateral amygdala: the extracellular level of serotonin and dopamine and their responses to restraint stress in rats., Eur J Neurosci, 24, 3245-3254, 2006
- ・ Furuta M, Funabashi T, Kawaguchi M, Nakamura TJ, Mitsushima D, Kimura F : Effects of p-nonylphenol and 4-tert-octylphenol on the anterior pituitary functions in adult ovariectomized rats., Neuroendocrinology, 84, 14-20, 2006
- ・ Hagiwara H, Funabashi T, Mitsushima D, Kimura F : Effects of neonatal testosterone treatment on sex differences in formalin-induced nociceptive behavior in rats., Neurosci Lett, 412, 264-267, 2007
- ・ K. Harada, H. Lin, Y. Endo, N. Fujishiro, Y. Sakamoto, M. Inoue : Subunit composition and role of Na⁺, K⁺-ATPases in ventricular myocytes, Journal of Physiological Science, 56, 1-9, 2006
- ・ Y. Endo, K. Harada, N. Fujishiro, H. Funahashi, S. Shioda, G.D. Prestwich, K. Mikoshiba, M. Inoue : Organelles containing inositol triphosphate receptor type 2 in adrenal medullary cells, Journal of Physiological Science, 56, 415-423, 2006

総説

- ・ 貴邑 (田中) 富久子, 美津島大 : 女性ホルモンは脳機能の活性化によいか 更年期と加齢のヘルスケア, 5, 116-121, 2006
- ・ 貴邑富久子 : 脳の性 セックスとジェンダー, 医学のあゆみ, 219(5), 333-338, 2006
- ・ 貴邑富久子 : 脳の性 セックスとジェンダー, 総合臨床, 55(2), 242-244, 2006
- ・ 田中富久子 : 脳の性差 看護教育, 47(8+9), 719-722, 2006
- ・ 貴邑 (田中) 富久子, 山田達夫 : 認知機能に性差はあるかー最新のCogHealth法による検討, 性差と医療, 3(11), 43-47, 2006
- ・ 貴邑富久子 : これからのGSMに期待する セックスとジェンダーを区別した性差医学, 性差と医療, 3(12), 34-36, 2006
- ・ 貴邑富久子 : 脳内ストレス反応は性腺ステロイドホルモン依存性, 性差と医療, 3(12), 61-64, 2006
- ・ 貴邑 (田中) 富久子, 美津島大, 遠藤 豊, 船橋利也, 高瀬堅吉 : 飼育環境によって性差が生まれる海馬の空間認知機能 新脳の関わる認知機能には本来, 性差はない, 性差と医療, 3(12), 65-67, 2006
- ・ 船橋利也, 貴邑 (田中) 富久子 : ニコチンがパルス状黄体形成ホルモン分泌に及ぼす影響の性差, 性差と医療, 3(12), 69-73, 2006
- ・ 大野政人, 船橋利也, 野坂和則, 貴邑 (田中) 富久子 : 運動能力 (筋力・筋持久力・筋力発揮調節能力) の性差, 性差と医療, 3(12), 75-78, 2006

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 田中富久子：脳の性 セックスとジェンダー，日本学術会議・学術とジェンダー委員会のヒアリング，日本学術会議，東京都港区，2006.9.22
- ・ 田中富久子：性腺刺激ホルモン放出ホルモン分泌調節機序の性差—ラットからヒトまで，第376回日本産科婦人科学会神奈川地方部会・平成18年度神奈川母体保護法指定医師研修会，平塚プレジール，神奈川県平塚市，2006.11.19
- ・ 船橋利也，貴邑富久子：シンポジウム 環境ストレスに対する生理応答と性ホルモン 摂食行動の性差，第84回日本生理学会大会，大阪国際交流センター，大阪府大阪，2007.3.22

学会発表

- ・ 貴邑富久子（司会）：脳のはたらきを支えるシナプスの役割，第14回 脳の世紀シンポジウム，有楽町朝日ホール，東京都千代田区，2006.9.13
- ・ 北井勇也，船橋利也，萩原裕子，貴邑富久子：中脳腹側被蓋野から分界条床核外側部へ投射するドーパミンニューロン数の性差，第33回日本神経内分泌学会学術集会，パシフィコ横浜，神奈川県横浜，2006.10.28
- ・ 高瀬堅吉，美津島大，貴邑富久子：ラット内視索前野における24時間のアセチルコリン（Ach）分泌動態と性差，第33回日本神経内分泌学会学術集会，パシフィコ横浜，神奈川県横浜，2006.10.28
- ・ 吉岡 望，船橋利也，貴邑富久子：48時間絶食雄性ラットのメラニン凝集ホルモン（MCH）ニューロンのリン酸化 CREB（pCREB）発現に及ぼす甘味溶液飲水の影響，第33回日本神経内分泌学会学術集会，パシフィコ横浜，神奈川県横浜，2006.10.27
- ・ 船橋利也，小原亜加根，貴邑富久子：低濃度テストステロン（TP）投与の雌性ラットの脳の性分化に及ぼす影響 エストロジェンのポジティブフィードバック作用を指標に，第33回日本神経内分泌学会学術集会，パシフィコ横浜，神奈川県横浜，2006.10.28
- ・ 田中（貴邑）富久子，船橋利也：GID男女の性腺刺激ホルモン分泌調節機序，GID（性同一性障害）学会第9回研究大会，所沢市民文化センター ミューズ，埼玉県所沢，2007.3.17
- ・ 萩原裕子，船橋利也，貴邑富久子：ホルマリンテストに及ぼす新生仔期のテストステロン投与の影響，第84回日本生理学会大会，大阪国際交流センター，大阪府大阪，2007.3.20
- ・ 美津島大，山田香織，高瀬堅吉，船橋利也，貴邑富久子：扁桃体基底外側核の性差 セロトニン分泌とドーパミン分泌のストレス反応，第84回日本生理学会大会，大阪国際交流センター，大阪府大阪，2007.3.21

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 貴邑富久子：痛みの知覚の性差とそのメカニズム，文部科学省・基盤研究C，6903，17590208，継続

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 貴邑（田中）富久子：日本神経科学学会（監事），日本生殖内分泌学会（理事），日本生理学会（評議員），日本神経内分泌学会（評議員），日本抗加齢医学会，性差医療・性差医学研究会（評議員），更年期と加齢のヘルスケア研究会，神奈川県医師会（産業医）
- ・ 井上 豊：情報処理学会
- ・ 遠藤 豊：日本生理学会（評議員），日本神経科学学会，日本内分泌学会，歯科基礎医学会
- ・ 中村陽市：日本解剖学会（評議員），日本リンパ学会（評議員）

小田原保健医療学部（在宅地域ケア研究センター）

著書

- ・ 栗盛須雅子（分担執筆，編集）：保健医療福祉の研究ナビ，研究のタイムスケジュール 特許について，金原出版，2007
- ・ 薬袋淳子（監修）：食習慣の改善「外食・惣菜で整えるバランス食卓」，外食で栄養バランスを整える一選び方の工夫，DVD，日本家族計画協会，2006
- ・ 薬袋淳子（分担執筆，編集）：保健医療福祉の研究ナビ，倫理委員会にむけての書類作成 フィールドへの依頼文の書き方，金原出版，2007
- ・ 薬袋淳子（監修）：ポピュレーションアプローチを用いてすすめる「減塩対策実践マニュアル」，減塩対策マニュアル，DVD，日本家族計画協会，2007

原著論文

- ・ Sugako Kurimori, Yoshiharu Fukuda, Keiko Nakamura, Masafumi Watanabe, Takehito Takano : Calculation of prefectural disability-adjusted life expectancy (DALE) using long-term care prevalence and its socioeconomic correlates in Japan, Health Policy, 76, 346-358, 2006
- ・ Suzuki K, Hoshi K, Minai J, Yanaihara T, Takeda Y, Yamagata Z : Analysis of national representative opinion surveys concerning gestational surrogacy in Japan, European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology, 126, 39-47, 2006
- ・ 鈴木孝太, 薬袋淳子, 成 順月, 田中太一郎, 山縣然太郎 : 都道府県における母子保健統計情報の収集・利活用に関する研究, 厚生 の 指 標, 54(2), 14-17, 2007

研究報告

- ・ 島内 節, 薬袋淳子 他 : 在宅終末期ケア標準化のためのプログラム開発と実用化, 国際医療福祉大学 在宅地域ケア研究センター研究費による研究報告書ー平成18年度版ー, 120-131, 2007
- ・ 島内 節（主任研究者）, 薬袋淳子（分担研究者） 他 : 在宅終末期ケア標準化のためのプログラム開発と実用化, 株式会社リブライフ, 120, 2007
- ・ 島内 節（主任研究者）, 薬袋淳子（分担研究者） 他 : 在宅軽度要介護高齢者の自立度アウトカム指標の利用とその効果, 株式会社リブライフ, 110, 2007
- ・ 薬袋淳子 : 山梨大学医学部社会医学講座 介護予防早期発見早期予防モデル事業研究, 山梨県, 2007
- ・ 薬袋淳子 : 山梨大学医学部社会医学講座 健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究 (H16-子ども-001) , 厚生労働省母子保健課, 2007

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 薬袋淳子 : 健康長寿山梨の秘訣, 小田原市成人学校, 小田原市中央公民館, 小田原市, 2006.10.5
- ・ 薬袋淳子 : 地域包括支援センターのめざすもの, 小田原市社会福祉協議会, 小田原市合同庁舎, 小田原市, 2007.2.28
- ・ 薬袋淳子 : 認知症にならないために, なっても安心して暮らせるために, 小田原市シルバー人材センター, 小田原市シルバー人材センター, 小田原市, 2007.3.26

学会発表

- ・栗盛須雅子, 福田吉治, 中村桂子, 渡辺雅史, 高野健人: 介護保険統計を用いた都道府県別障害調整健康寿命の算出, 第65回日本公衆衛生学会, 富山県民会館・富山国際会議場, 富山県富山市, 2006.10.25-27
- ・栗盛須雅子, 福田吉治: 要介護認定率に関する地域相関研究, 第26回看護科学学会, 神戸国際展示場・神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2006.12.2-3
- ・葉袋淳子, 山縣然太郎, 鈴木孝太, 田中太一郎, 岡村智教, 上島弘嗣: 心の健康状態がその後の生活習慣病リスクに与える影響—青・壮年を対象とした生活習慣病予防のための長期介入研究—, 第17回日本疫学会, 広島市南区民文化センター, 広島市, 2007
- ・葉袋淳子, 山縣然太郎, 近藤尚己, 鈴木孝太, 島内 節: 介護予防早期発見・早期予防モデル事業—山梨県における中間報告—, 第65回日本公衆衛生学会, 富山県民会館, 富山市, 2006
- ・Kohta Suzuki, Junko Minai, Zentaro Yamagata: Maternal negative emotion towards pregnancy as an independent risk factor for low birth weight, American Public Health Association 134th Annual Meeting & Exposition, MA, Boston Convention & Exhibition Center 153A, Boston, 2006

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・栗盛須雅子: 第2回名桜大学懸賞作品コンクール論文の部最優秀賞受賞, 沖縄県の障害調整健康余命 (DALE) の現状と健康余命延伸のための提案, 2006.11.18

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・栗盛須雅子: 日本公衆衛生学会, 日本健康科学学会, 日本保健医療社会学会, 日本看護科学学会
- ・葉袋淳子: 日本看護科学学会, 日本地域看護学会, 日本公衆衛生学会, 日本疫学会

基礎医学研究センター

著書

- ・黒澤美枝子 (分担執筆): 老年学テキスト, I-F自律機能の加齢変化, 39-46, 南江堂, 2006
- ・黒澤美枝子 (編訳): トータル人体の構造と機能 [第2版], 第26章泌尿器系, 1012-1055, 丸善, 2007
- ・黒澤美枝子 (分担執筆): スタンダード生理学 [第2版], 第3章自律神経・内分泌, 29-53, 文光堂, 2007
- ・野首和人: コ・メディカルのための解剖学 (改訂・補正版), 犀書房, 2006

原著論文

- ・Kurosawa M, Watanabe O, Maruyama H, Budgell B: Responses of dorsal spinal cord blood flow to innocuous cutaneous stimulation in anesthetized rats, Auton Neurosci, 126, 185-192, 2006
- ・Stener-Victorin E, Fujisawa S, Kurosawa M: Ovarian blood flow responses to electro-acupuncture stimulation depends on estrous cycle, and on site and frequency of stimulation in anesthetized rats, J Appl Physiol, 101, 84-91, 2006
- ・Ichinomiya S, Watanabe H, Maruyama K, Toda H, Iwasaki H, Kurosawa M, Matsuda J, Suzuki Y: Motor and reflex testing in G(M1)-gangliosidosis model mice, Brain Dev, 29, 210-216, 2007

総説

- ・ 黒澤美枝子, 下重里江, 戸田寛子: 消化管機能の末梢性自律神経性調節—コレスチトキニンを中心として, 自律神経, 43(3), 218-223, 2006.6.15
- ・ 下重里江, 黒澤美枝子: 自律神経と血糖調節, Diabetes Frontier, 17(2), 1-11, 2006.8.20
- ・ 黒澤美枝子: 肝臓支配の自律神経, 日本医事新報, 4309, 91-92, 2006

研究報告

- ・ 黒澤美枝子, 一ノ宮悟史, 戸田寛子, 下重里江, 鈴木義之: G_{M1}-ガングリオシドーシスモデルマウスの神経学的評価におけるガラクトース類似誘導体NOEVの治療効果判定の検討, 厚生労働科学研究費補助金報告書

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 金野柳一, 岡村匡史, 笠井憲雪, Karl Summer, 丹羽 章: D-アミノ酸酸化酵素欠損ラットについて, 第2回D-アミノ酸研究会学術講演会, 京都大学, 京都市, 2006.9.9
- ・ 黒澤美枝子: 鍼灸の作用機序と自律神経, 全日本鍼灸学会近畿支部指定研修講座, 大阪医科大学, 大阪府高槻市, 2006.8.27
- ・ 黒澤美枝子: 脳腸相関と自律神経系—コレスチトキニンとインターロイキン—1に着目して, 第48回日本平滑筋学会総会シンポジウム, 岡山コンベンションセンター, 岡山県岡山市, 2006.7.20
- ・ 黒澤美枝子: 体性—自律神経反射, RMIT大学佐藤昭夫先生追悼式, 日赤会館, 東京都港区, 2006.11.27

学会発表

- ・ 金野柳一, 岡村匡史, 笠井憲雪, Summer K, 丹羽 章: D-アミノ酸酸化酵素欠損ラット, 第78回日本遺伝学会, つくば国際会議場, つくば市, 2006.8.25
- ・ 戸田寛子, バジエルブライアン, 黒澤美枝子: 侵害性機械的皮膚刺激によるラット脊髄血流の反応とその機序, 第59回日本自律神経学会総会, 都市センターホテル, 東京都千代田区, 2006.11.3
- ・ 下重里江, 戸田寛子, 黒澤美枝子: ニコチンの肝グルコース放出におよぼす影響とその自律神経性機序, 第59回日本自律神経学会総会, 都市センターホテル, 東京都千代田区, 2006.11.3
- ・ 東村幸枝, 下重里江, 黒澤美枝子: 骨格筋鍼通電刺激によるストレプトゾトシン糖尿病モデルラットの血糖反応とその求心性機序の検討, 第59回日本自律神経学会総会, 都市センターホテル, 東京都千代田区, 2006.11.2
- ・ 黒澤美枝子 (座長): 東洋医学, 第59回日本自律神経学会総会, 都市センターホテル, 東京都千代田区, 2006.11.2
- ・ 東村幸枝, 下重里江, 黒澤美枝子: 骨格筋鍼通電刺激が糖尿病モデルラットのインスリン感受性に与える影響, 第34回自律神経生理研究会, 日本光電本社研修センター, 東京都新宿区, 2006.12.2
- ・ 黒澤美枝子 (座長): セッション2, 第34回自律神経生理研究会, 日本光電本社研修センター, 東京都新宿区, 2006.12.2
- ・ 黒澤美枝子, 藤沢しげ子, エリザベートステナービクトリン: 鍼通電刺激によるラットの卵巣血流反応—性周期, 刺激部位ならびに刺激頻度の影響, 第84回日本生理学会, 大阪国際交流センター, 大阪府大阪市, 2007.3.22
- ・ 東村幸枝, 下重里江, 丸山仁司, 黒澤美枝子: ストレプトゾトシン糖尿病モデルラットのインスリン感受性に与える鍼通電刺激の影響—体性求心性神経の関与の検討—, 第84回日本生理学会, 大阪国際交流センター, 大阪府大阪市, 2007.3.22
- ・ Suzuki Y, Ichinomiya S, Maruyama K, Toda H, Watanabe H, Iwasaki H, Kurosawa M, Matsuda J: Mouse Neurology: neurological assessment of G_{M1}-gangliosidosis model mice, 35th Annual Meeting of the Child Neurology Society Meeting,

Davis L. Lawrence Convention Center, USA Pittsburgh, 2006.10.18

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 黒澤美枝子：遺伝子組み換えG_{MI}-ガングリオシドーシスモデルマウスの神経学的評価，厚生労働科学研究費補助金，こころの健康科学研究事業，継続（分担）
- ・ 黒澤美枝子：体性感覚刺激によって誘発される脊髄血流の反応とその神経機序，ライフサイエンス振興財団研究助成金，採択

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 神山隆一：日本病理学会（病理専門医，病理専門医研修指導医）（名誉会員），日本血液学会（功労会員），日本リンパ網内系学会（評議員），日本臨床血液学会，国際血液学会
- ・ 黒澤美枝子：日本生理学会（編集委員），日本自律神経学会（国際渉外委員，編集委員，広報委員），International Society for Autonomic Neuroscience（編集委員）
- ・ 長谷川薫：日本生理学会（評議員），日本細胞生物学会，日本組織培養学会，インビトロ・バイオロジー学会（USA），日本動物学会，New York Academy of Science（USA）
- ・ 下重里江：日本生理学会，日本自律神経学会，日本理学療法士協会

総合教育センター

著書

- ・ 田中美子，南井紀子，宮崎路子，千葉礼子：Clinical Scenes，マクミランランゲージハウス，2007.3.30
- ・ 野中 泉，工藤夕貴（監修）：工藤夕貴の発音革命，アスコム，2007.1

原著論文

- ・ Charles Kevin Dobbs：Two Free Years: Be Patient. Be Strong. Have Courage，Smoking Cessation，About.com，1-2，2006.12.23

総説

- ・ Charles Kevin Dobbs：Contractor，Maverick Magazine，San Francisco，13，8，2006
- ・ Charles Kevin Dobbs：Rice Paddies，Maverick Magazine，San Francisco，13，10，2006
- ・ Charles Kevin Dobbs：Steps，Maverick Magazine，San Francisco，13，12，2006

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 戸田榮輔：少子化と日本の未来，診療情報管理ネットワーク，東芝病院，東京，2006.11
- ・ 小林真理子：現代の子育て環境と母子関係，那須町教育委員会・子育てボランティア養成講座，那須町文化センター，那須町，2006.4.19
- ・ 小林真理子：心理学で自分探しをしてみませんか I．交流分析とエゴグラム，大田原市企画政策課・男女共同参画講座，大田原市総合文化会館，大田原市，2006.7.6

- ・ 小林真理子：希死念慮および摂食障害を訴える学生との面接過程，山王教育研究所研究会，山王教育研究所，東京，2006.7.11
- ・ 小林真理子：乳幼児期の子どものこころの発達，三島公民館講演会，那須塩原市三島公民館，那須塩原市，2006.7.14
- ・ 小林真理子：心理学で自分探しをしてみませんか II. 対人関係をふりかえる，大田原市企画政策課・男女共同参画講座，大田原市総合文化会館，大田原市，2006.8.2
- ・ 小林真理子：がん患者の心理療法，金町慈友クリニック研究会，金町慈友クリニック，東京，2006.8.5
- ・ 小林真理子：アタッチメント理論の臨床的応用，FOUR WINDSとちぎ乳幼児精神保健研修会，男女共同参画センターパーティ，宇都宮市，2006.9.10
- ・ 小林真理子：子どものこころの発達と家族，那須塩原市家庭教育学級，ハロープラザ公民館，那須塩原市，2006.9.30
- ・ 小林真理子：思春期・青年期について，NPO法人那須フロンティア精神保健福祉講座，国際医療福祉大学，大田原市，2006.11.1
- ・ 小林真理子：統合型HTP法ー子どもの問題の理解と対応ー，明治安田生命こころの健康事業団講座，明治安田生命こころの健康事業団研修所，東京，2006.11.26
- ・ 小林真理子：思春期・青年期のメンタルヘルス，ホットほっと電話相談員全体研修会，栃木県総合教育センター，宇都宮市，2006.12.16

学会発表

- ・ 小林真理子，木下愛子：最近の大学生の心理的特徴ー描画に現れた人物表現を中心にー，第28回栃木県心身医学研究会，自治医科大学，宇都宮市，2006.7.22
- ・ 田中美子，南井紀子，宮崎路子：Innovation in English Curriculum for Healthcare Professionals, Professional Communication Society, Hotel Saratoga Springs, NY州サラトガ市，2007.10.25
- ・ Budgell B, Millar N, O'Brien MA, Miyazaki M, Tanaka Y, Perkins B : Assessing and Addressing Professional Health Literacy Needs, 6th Asia-Pacific Conference on Problem-Based Learning, 東京女子医大，東京都，2006.5.26
- ・ Liao Chao-chih, Miyazaki M : Japanese attitudes toward pranks, 第18回国際ユーモア学会，デンマーク教育大学 (DPU) , コペンハーゲン，2006.7.5
- ・ 田中美子，南井紀子，宮崎路子：Innovation in English Curriculum for Healthcare Professionals, IEEE PCS 2006 (Professional Communication Society), Gideon Putnam Hotel, ニューヨーク，2006.10.25
- ・ Liao Chao-chih, Miyazaki M : Comparing Taiwanese and Japanese Humor - through Watching Patch Adams, Rocmelia 2006, 国立科学工芸博物館，台湾高雄市，2006.12.16
- ・ Miyazaki M, Liao Chao-chih : Taiwanese versus Japanese Sense of Humor, IWIC (International Workshop for Intercultural Collaboration), 京都大学，京都市，2007.1.25
- ・ Liao Chao-chih, Miyazaki M : Comparing Japanese, Taiwanese, and American Attitudes toward Pranks, IWIC (International Workshop for Intercultural Collaboration), 京都大学，京都市，2007.1.26
- ・ 宮崎路子：「イザベラ・バードの体格と性格」ー本当に太っていたのか？，日本英学史学会 第11回東日本支部大会，金谷ホテル，日光市，2007.3.28

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 田中美子，南井紀子，宮崎路子，千葉礼子：コメディカル大学における英語教育のニーズアナリシスに基づくカリキュラム開発，日本学術振興会，基盤研究(C)，17520393，継続

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 小林真理子：修士（学術），乳がんを抱えた母親の子育てに関する臨床心理学的考察，2007.3.24

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 戸田榮輔：自由企業研究会，日本記者クラブ
- ・ 森田耕喜：日本哲学会，ヘーゲル学会，西田哲学会，日本独文学会，臨床死生学会
- ・ 小林真理子：日本心理臨床学会，日本遊戯療法学会，日本芸術療法学会，FOUR WINDS乳幼児精神保健学会
- ・ 南井紀子：外国語教育メディア学会（LET），全大学語教育学会（JACET）
- ・ Charles Kevin Paul Dobbs：Japan Association of Language Teachers (JALT)，The Philosophical Society of England，Modern Language Association (MLA)，Solar NPO (Volunteer)
- ・ 野中 泉：大学英語教育学会（JACET），全国語学教育学会（JALT）
- ・ 宮崎路子：日本英学史学会（東日本支部委員（会計）），国際ユーモア学会（ISHS），大学英語教育学会（JACET），外国語教育メディア学会（LET），全国英語教育学会（JASELE），関東甲信越英語教育学会（KATE），日本実用英語学会（JAPE）
- ・ 千葉礼子：日本中世英語英文学会，日本中世英語英文学会東支部会，都立大学中世英語英文学研究会

情報教育センター

著書

- ・ 長谷川高志（分担執筆）：テレメンタリング，遠隔医療に利用される機器システムの種類，13-21，中山書店，2007

原著論文

- ・ 長谷川高志，村瀬澄夫：ヘルスケア・コンタクトセンターの概念，日本遠隔医療学会雑誌，2，255-256，2006
- ・ 長谷川高志，酒巻哲夫：健康セルフチェックテクノロジーの提案と健康情報基盤を立ち上げ広げてゆく試み，日本遠隔医療学会雑誌，2，190-191，2006

総説

- ・ 長谷川高志，外山比南子：経営状況を知るための情報収集－原価計算と経営指標－，看護展望，32，5，2007

研究報告

- ・ 長谷川高志：テレケアのモデルとしての医療・健康コールセンターの実態調査，厚生労働省科学研究費補助金・医療安全・医療技術評価総合研究 情報技術マネジメントによる高医療の質と効率化を可能にする遠隔医療（テレケア）モデルの開発と評価の研究 総括報告書，2007

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 長谷川高志：ブロードバンドへの期待と促進手段－遠隔医療を柱にして，朝日町で見た地域の明日の姿－，平成18年度地域情報化人材育成セミナー（主催 東北総合通信局 東北情報通信懇談会），ホテル・メトロポリタン仙台，宮城県仙台市，2006.6.28

- ・ 長谷川高志 : ブロードバンドへの期待と促進手段ー遠隔医療を柱にして, 朝日町で見た地域の明日の姿ー, 平成18年度地域情報化推進会議, 青森県庁, 青森県青森市, 2006.11.7
- ・ 長谷川高志 : 情報通信技術の研究開発による遠隔医療の充実, ATWC (次世代健康福祉・介護情報基盤・技術開発コンソーシアム) シンポジウム, 仙台市情報・産業プラザ, 宮城県仙台市, 2006.11.28

学会発表

- ・ 長谷川高志 : RFIDを用いた病院業務管理支援システムへのニーズ調査, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 北海道札幌市, 2006.11.2
- ・ 長谷川高志 : 医療機関CIO育成教育プログラムの実習教材の開発手法, 第26回医療情報学連合大会, 札幌コンベンションセンター, 北海道札幌市, 2006.11.1
- ・ 長谷川高志 : 医療機関CIO育成コースの患者別原価計算教育のための教材の開発, 第44回日本病院管理学会学術総会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.10.19

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 長谷川高志 : 情報技術マネジメントによる高医療の質と効率化を可能にする遠隔医療 (テレケア) モデルの開発と評価の研究, 厚生労働省科学研究費補助金・医療安全・医療技術評価総合研究事業, 分担研究者, 17-医療-054, 継続

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 長谷川高志 : 日本遠隔医療学会 (理事), 日本医療マネジメント学会 (評議員)

国際交流センター

著書

- ・ 陳 霞芬 (分担執筆), 日本病院管理学会用語委員会編: 医療・病院管理用語事典 (第3版), チーム医療, 158, エルゼビア・ジャパン株式会社ミクス, 2006.4

原著論文

- ・ Nara T, Iizumi K, Ohmae H, Sy O.S., Tsubota S, Inaba Y, Tsubouchi A, Tanabe M, Kojima S, Aoki T : Antibody isotype responses to paramyosin, a vaccine candidate for schistosomiasis, and their correlations with resistance and fibrosis in patients infected with *Schistosoma japonicum* in Leyte, the Philippines, *Am. J. Trop. Med. Hyg.*, 76(2), 384-391, 2007
- ・ 張 瑩, 陳 霞芬 他1名: 中国の心身不自由高齢者の介護に関する研究ー本溪市における在宅高齢者の心身不自由度及びその介護の実態ー, *北里医学*, 36(2), 75-84, 2007.2
- ・ 石鍋 浩 : 付加的語彙情報が韓国人日本語学習者の日本語破裂音識別に与える影響, *国際医療福祉大学紀要*, 11(2), 17-28, 2007

総説

- ・ Kojima S, Aoki Y, Ohta N, Tateno S, Takeuchi T : School-health-based parasite control initiatives: extending successful Japanese policies to Asia and Africa, *Trends in Parasitology*, 23(2), 54-57, 2007

講演（学会、研究会、分科会、シンポジウム等の講演）

- ・ 小島莊明：佐々 学先生の遺されたもの、東京大学医科学研究所創立記念シンポジウム、東京大学医科学研究所、東京、2006.6.1
- ・ 小島莊明：共に生きる－国際協力と人材育成－（対談）、第5回井植記念「アジア太平洋文化賞」記念対談、大阪国際会議場、大阪、2006.10.26

学会発表

- ・ 成 駿午, 陳 霞芬 他2名：韓国と日本の介護保険制度の比較研究－2007年実施の韓国介護保険制度を前提として－、第55回東北公衆衛生学会学術総会、岩手県医師会館、岩手県、2006.7
- ・ 張 瑩, 陳 霞芬 他2名：中国東北地方における高齢者の要介護の現況、第55回東北公衆衛生学会学術総会、岩手県医師会館、岩手県、2006.7
- ・ 角田正史, 陳 霞芬 他1名：在日外国人労働者におけるストレス、健康状況、健康管理－国籍による検討－、第22回日本ストレス学会学術総会、弘前大学医学部、秋田県、2006.11
- ・ 陳 霞芬, 角田正史 他2名：在日外国人就労者の身体及びメンタルヘルスの状況とその対策、第54回日本職業・災害医学会学術総会、新横浜プリンスホテル、横浜市、2006.11
- ・ 張 瑩, 陳 霞芬 他2名：中国東北部における高齢者介護を担当する就業者の悩み、ストレスについて、第54回日本職業・災害医学会学術総会、新横浜プリンスホテル、横浜市、2006.11
- ・ 辛 琳, 張 瑩, 石鍋 浩, 陳 霞芬, 水巻中正：中国における保健医療関連のミレニアム開発目標の達成状況、第18回岩手公衆衛生学会学術集会、岩手医科大学創立60周年記念館、岩手県盛岡市、2007.2.10
- ・ 李 準鎬, 石鍋 浩, 陳 霞芬, 水巻中正：韓国における韓方医療の普及現況と普及要因、第18回岩手公衆衛生学会学術集会、岩手医科大学創立60周年記念館、岩手県盛岡市、2007.2.10
- ・ 烏 雲嘎, 石鍋 浩, 陳 霞芬, 水巻中正：日中看護大学生のターミナルケアに関する意識調査、第18回岩手公衆衛生学会学術集会、岩手医科大学創立60周年記念館、岩手県盛岡市、2007.2.10
- ・ 張 瑩, 陳 霞芬 他3名：中国東北部在宅高齢者に対する老々介護の実態とその問題、第77回日本衛生学会総会、大阪国際交流センター、大阪府、2007.3
- ・ 石鍋 浩（発表者）：医療分野の専門用語に使用される漢字の出現傾向と頻度に関する調査、第9回専門日本語教育学会研究討論会、九州大学西新プラザ、福岡県福岡市、2007.3.10

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 小島莊明：桂田賞、日本住血吸虫症における防御免疫機構とワクチン開発に関する研究および住血吸虫症制圧への貢献、2006.5.19

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 小島莊明：日本寄生虫学会（評議員、小泉賞選考委員）、日本熱帯医学会（評議員）、日本免疫学会、韓国寄生虫学会、アメリカ熱帯医学衛生学会
- ・ 陳 霞芬：日本病院管理学会、日本公衆衛生学会、日本産業衛生学会、日本ストレス学会、栃木県マネジメント学会
- ・ 渡辺晴世：日本語教育学会
- ・ 石鍋 浩：日本語教育学会、日本教育工学会、専門日本語教育学会

大学院医療福祉学研究科

著書

- ・ 大井伸子, 江幡芳枝, 小原ルリ子: 新版 実習に役立つ母性看護技術, 分娩時の姿勢 (体位) 乳房ケア, 37-40, 59-73, ふくろう出版, 2006.6
- ・ Suzuki Y, Nanba E, Matsuda J, Oshima A: The Online Metabolic and Molecular Bases of Inherited Disease: Scriver CR, Beaudet AL, Sly WS, Valle D, Childs B, Kinzler KW, Vogelstein B (eds), β -Galactosidase deficiency (β -galactosidosis): G_{M1} -Gangliosidosis and Morquio B disease, <<http://genetics.accessmedicine.com/>>, McGraw-Hill New York, 2006
- ・ 日隈ふみ子 (分担執筆): 2007出題基準別助産師国家試験予想問題集, 助産診断・技術学 I 助産診断・技術学 II, 78-87, 133-138, 143-148, メディカ出版, 2006
- ・ 日隈ふみ子 (分担執筆): 2007出題基準別助産師国家試験問題過去5年分完全収録, 第89回国家試験問題解答・解説, 41-42, 51, 139, 141-143, 145, 148, 288-290, メディカ出版, 2006
- ・ 日隈ふみ子 (分担執筆): 産む・産まない・産めない—女性のからだと生き方読本, 第6章どこで, 誰と産みますか?, 107-131, 講談社現代新書, 2007
- ・ 兵頭明和 (分担執筆): 厚生の指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第1回, 36-38, 厚生統計協会, 2006.8
- ・ 兵頭明和 (分担執筆): 厚生の指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第2回, 39-42, 厚生統計協会, 2006.9
- ・ 兵頭明和 (分担執筆): 厚生の指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第3回, 35-38, 厚生統計協会, 2006.10
- ・ 兵頭明和 (分担執筆): 厚生の指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第4回, 36-39, 厚生統計協会, 2006.11
- ・ 兵頭明和 (分担執筆): 厚生の指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第5回, 43-46, 厚生統計協会, 2006.12
- ・ 兵頭明和 (分担執筆): 厚生の指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第6回, 43-47, 厚生統計協会, 2007.1
- ・ 兵頭明和 (分担執筆): 厚生の指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第7回, 28-32, 厚生統計協会, 2007.2
- ・ 兵頭明和 (分担執筆): 厚生の指標, よくわかる! すぐ使える統計学—検定 第8回, 42-45, 厚生統計協会, 2007.3
- ・ 山本澄子: リハビリテーション工学と福祉機器, 片麻痺者用短下肢装具, 78-82, 金原出版, 2006.6
- ・ 開原成允 (日本医学会医学用語管理委員会 委員長): 日本医学会医学用語辞典—英和—第3版, 南山堂, 2007
- ・ 水巻中正 (編集): マイナス診療報酬下の経営戦略, 医療保険制度の改革とマイナス診療報酬, 療養病床の大幅削減と課題, 11-23, 25-38, 日本医療企画, 2006
- ・ 水巻中正: 共済新報2007.3, 多様, 深刻化する「医療格差」, 2-9, 共済組合連盟, 2007
- ・ 岩下清子, 佐藤義夫, 島田千穂 (分担執筆): 「小規模多機能」の意味論, すでにあった「小規模多機能」—もうひとつの福祉システム, 10-88, 雲母書房, 2006
- ・ 木村哲彦: 生活環境論, 物理環境・福祉用具, 医歯薬出版, 2007.1
- ・ 木村哲彦, 二瓶隆一: 整形外科教科書, 総論, 南江堂, 2007.1
- ・ 竹内孝仁 (編著): 新版リハビリテーション概論, (株) 建帛社, 2006
- ・ 竹内孝仁 (監修): 地域リハビリテーションの源流—大田仁史と勇者たちの軌跡, 三輪書店, 2006
- ・ 竹内孝仁 (編著): 介護サービスの基礎知識, 自由国民社, 2006
- ・ 竹内孝仁 (監修): 図解老人介護の安心百科, 主婦と生活社, 2006
- ・ 竹内孝仁: 生活援助員等業務ハンドブック, (財) 高齢者住宅財団, 2006
- ・ 竹内孝仁 (分担執筆): 介護福祉士養成講座4 リハビリテーション論, 30-33, 中央法規, 2007
- ・ 竹内孝仁 (分担執筆): 改訂 高齢者看護学, 192-200, 中央法規, 2007
- ・ 坪井良子, 松田たみ子 (編著): 考える基礎看護技術 I . II 第3版, 自立への過程, 73-82, Nouvelle HIROKAWA, 2007.1

- ・ 野村 歡, 橋本美芽: PT・OTのための福祉住環境論, 三輪書店, 2007.1
- ・ 武藤正樹 (共著): ジェネリック医薬品導入実務マニュアル, 第2章 ジェネリック医薬品の導入法と留意すべきポイント, 104-171, ぱる出版, 2006
- ・ 武藤正樹 (共著): ジェネリック医薬品が分かる本, 第5章 実際のジェネリック医薬品の求め方, 58-66, 法研, 2006
- ・ 武藤正樹 (監修), 東京都連携実務者協議会 (編集): よくわかる医療連携Q&A, 第1部 医療連携とは 第2部 平成18年度診療報酬改定と連携, 3-12, 159-174, じほう, 2007
- ・ 武藤正樹: よくわかる病院の仕事のしくみ, 1-208, ぱる出版, 2007
- ・ 和田 勝 (編著): 介護保険制度の政策過程, 東洋経済新報社, 2007
- ・ 和田 勝, 社会福学習双書編集委員会: 医学一般, 医療保障, 260-280, 2007
- ・ 和田 勝, 唐沢 剛: 介護保険の手引き (平成18年版), ぎょうせい, 2006
- ・ 中原綾子 (分担執筆): CRCのための治験支援業務ガイド, 第1章 治験の業務に伴う支援業務, 20-43, 南山堂, 2006
- ・ 池崎清信 (分担執筆): 脳神経外科ケアマニュアル第4版, 脳腫瘍摘出術, 240-250, 照林社, 2006
- ・ 大橋昌夫: 内科学, 副腎皮質ステロイドホルモン, 2207-2211, 医学書院, 2006.7
- ・ 大橋昌夫: 内科学, 副腎皮質疾患の検査法, 2211-2214, 医学書院, 2006.7
- ・ 大橋昌夫: 臨床検査ガイド2007~2008, アンドロステンジオン, 422-426, 文光堂, 2007.2

原著論文

- ・ 江幡芳枝, 黒田 緑, 小田切房子, 熊澤美奈好, 渡邊典子: 大学・短大専攻科・専門学校における助産師教育の実態と分娩介助・継続事例実習指針 (その1) カリキュラム単位数および助産学実習の比較, 助産雑誌, 61(3), 226-232, 2007.3
- ・ 渡邊典子, 小田切房子, 熊澤美奈好, 江幡芳枝, 黒田 緑: 大学・短大専攻科・専門学校における助産師教育の実態と分娩介助・継続事例実習指針 (その2) 到達状況の比較および分娩介助・継続事例実習指針, 助産雑誌, 61(4), 344-351, 2007.4
- ・ Iwasaki H, Watanabe H, Iida M, Ogawa S, Tabe M, Higaki K, Nanba E, Suzuki Y: Fibroblast screening for chaperone therapy in β -galactosidosis, Brain Dev, 28, 482-486, 2006
- ・ Ichinomiya S, Watanabe H, Maruyama K, Toda H, Iwasaki H, Kurosawa M, Matsuda J, Suzuki Y: Neurological assessment of G_{M1}-gangliosidosis model mice, Brain Dev, 29, 210-216, 2007
- ・ 日隈ふみ子: 戦後の自然出産—女性と助産師との関係に焦点をあてて—, 健康科学 京都大学医学部保健学科紀要, 2007.3
- ・ 藤井真理子, 日隈ふみ子, 坪田明子: 「親となる力」を形成する過程の分析—初回健診で妊婦と助産師はどのような関係にあるのか—, 人間看護学研究, 5, 71-77, 2007
- ・ 松岡悦子, 日隈ふみ子, 菅沼ひろ子: 韓国におけるリプロダクションの変遷, 旭川医科大学紀要, 2007.3
- ・ 田中裕美子, 兵頭明和, 大石敬子 他2名: 読み書きの習得や障害と音韻処理能力との関係についての検討, LD研究, 15(3), 319-329, 2006.11
- ・ 窪田 聡, 勝平純司, 山本澄子: 電動ギャッジベッドの背上げにおける座位姿勢評価手法の開発, リハビリテーション・エンジニアリング, 21(2), 103-110, 2006.5
- ・ 櫻井愛子, 山本澄子, 田澤英二, 高橋正明, 関屋 昇: 装具の底屈制動モーメントが片麻痺者の歩行に及ぼす影響, 日本義肢装具学会誌, 22(4), 215-224, 2006.10

- ・ 櫻井愛子, 山本澄子, 田澤英二, 高橋正明, 関屋 昇, 石井美和子: 脳卒中片麻痺者の歩行時における体幹の動き, 日本義肢装具学会誌, 23(1), 54-64, 2007.1
- ・ 森田千晶, 山本澄子: 片側上肢切断が姿勢に及ぼす影響について, 日本義肢装具学会誌, 23(1), 75-82, 2007.1
- ・ 山本澄子, 萩原章由, 溝部朋文, 横山 修, 安井 匡: GaitSolutionのモニター使用評価-1. 医療関係者による評価と適応-, 総合リハビリテーション, 34(11), 1079-1086, 2006.11
- ・ 山本澄子, 萩原章由, 溝部朋文, 横山 修, 安井 匡: GaitSolutionのモニター使用評価-2. 使用者の主観的評価を中心として-, 総合リハビリテーション, 34(11), 1087-1091, 2006.11
- ・ 内山康子, 開原成允: 診療科名称の現状と標準化への提案, 病院管理, 43(2), 61-69, 2006
- ・ 松下年子, 島田千穂, 服部洋一, 千種あや, 開原成允: 当事者主体の講義が学習者に与える影響-患者会代表者を講師に, 医療者と学生を受講者とした試み-, 病院管理, 43(4), 51-61, 2006
- ・ 開原成允: 資格制度と人的資源の活用(特集 いい病院をつくりましょう), 病院, (1)66(1), 32-36, 2007
- ・ 開原成允, 平井健二, 菊池浩人, 星 久光: 「電子点数表」の作成 診療報酬請求の電子化のための最も緊急な課題, 社会保険旬報, 2306, 6-13, 2007.2.11
- ・ Seki C, Momose T, Kojima Y, Sasaki Y, Ohtomo K, Yokoyama I: Proposal of blood volume-corrected model for quantification of regional blood flow with H₂O-15-PET and its application to AVF, Radiation Medicine, 24, 260-268, 2006
- ・ Watanabe Y, Sawai H, Ogiwara-Umeda I, Tanada S, Kim EE, Yonekura Y, Sasaki Y: Molecular Therapy of Human Neuroblastoma cell using Auger electrons of In-111-labeled N-myc antisense oligonucleotide, The Journal of Nuclear Medicine, 47(10), 1670-1677, 2006
- ・ 木下晃一, 野村 歡, 八藤後猛: 医療施設内の水治療室における機器と室面積との関係に関する調査・研究, 日本建築学会計画系論文集, 602, 13-17, 2006.4
- ・ 橋本彼路子, 八藤後猛, 野村 歡: 聴覚障害者の建築物における障壁に関する研究, 日本建築学会技術報告集, 24, 339-344, 2006.12
- ・ 橋本彼路子, 野村 歡, 八藤後猛: ハートビル法の対象建築物の範囲, 義務化, 基準等の妥当性について, 日本建築学会計画系論文集, 608, 51-58, 2006.10
- ・ Kawano H, Soejima H, Kojima S, Kitagawa A, Ogawa H: Sex differences of risk factors for acute myocardial infarction in Japanese patients, Circ J., 70(5), 513-517, 2006
- ・ Sakamoto T, Kojima S, Ogawa H, Shimomura H, Kimura K, Ogata Y, Sakaino N, Kitagawa A: Effects of early statin treatment on symptomatic heart failure and ischemic events after acute myocardial infarction in Japanese, Am J Cardiol., 97(8), 1165-1171, 2006
- ・ 松下年子, 野口 海, 小林未果, 松田彩子, 松島英介: 我が国における尊厳死に関する研究-一般病院におけるがん告知の実態調査-, 日本総合病院精神医学会, 19(1), 61-71, 2007.1
- ・ 松下年子, 村田比奈子, 松島英介, 坂田 優, 宮坂尚幸, 麻生武志: Emotional state and coping style among gynecologic patients undergoing surgery, Psychiatry and Clinical Neurosciences, 61(1), 84-93, 2007.2
- ・ 鎌田澄子, 松下年子: 精神障害者小規模作業所利用者の生活満足感とセルフエスティーム, 日本社会精神医学会雑誌, 15(3), 209-217, 2007.3
- ・ Nagamitsu S, Nagano M, Yamashita Y, Takashima S, Matsuishi T: Prefrontal cerebral blood volume patterns while playing video games- a near-infrared spectroscopy study, Brain Dev., 28, 315-321, 2006
- ・ Takizawa Y, Takashima S, Itoh M: A histopathological study of premature and mature infants with pontosubicular neuron necrosis: Neuronal cell death in perinatal brain damage, Brain Res., 1095, 200-206, 2006
- ・ Kanaumi T, Takashima S, Iwasaki H, Mitsudome A, Hirose S: Developmental changes in the expression of GABA_A

- receptor alpha 1 and gamma 2 subunits in human temporal lobe, hippocampus and basal ganglia: An implication for consideration on age-related epilepsy, *Epilepsy Res.*, 71, 47-53, 2006
- ・小池文彦, 田中 良, 安徳恭演: 軽症脳梗塞急性期におけるglycyrrhizinの効果, *神経治療学*, 23(4), 421-424, 2006
 - ・Zhang H, Ozaki I, Yamamoto k et al.: Involvement of programmed cell death 4 in transforming growth factor- β 1-induced apoptosis in human hepatocellular carcinoma, *Oncogene*, 25, 6101-6112, 2006
 - ・Eguchi Y, Eguchi T, Yamamoto K et al.: Visceral fat accumulation and insulin resistance are important factors in nonalcoholic fatty liver disease, *J Gastroenterol*, 41, 462-469, 2006
 - ・Sakamoto T, Hara M, Yamamoto K et al.: Influence of alcohol consumption and gene polymorphisms of ADH2 and ALDH2 on hepatocellular carcinoma in a Japanese population, *Int J Cancer*, 118, 1501-1507, 2006
 - ・Mizuta T, Osaki I, Yamamoto k et al.: The effect of Menatetrenone, a vitamin K2 analog, on disease recurrence and survival in patients with hepatocellular carcinoma after curative treatment: a pilot study, *Cancer*, 106, 867-872, 2006
 - ・Ozaki I, Zhang H, Yamamoto k et al.: Menatetrenone, a vitamin K2 analogue, inhibits hepatocellular carcinoma cells by suppressing cyclin D1 expression through the NF- κ B activation inhibition, *Clin Cancer Res*, 13(7), 2236-2245, 2007
 - ・Tanaka K, Hara M, Yamamoto k et al.: Inverse association between coffee drinking and the risk of hepatocellular carcinoma: a case-control study in Japan, *Cancer Sci*, 2007 (Feb), 214-218, 2007
 - ・Sakamoto T, Higaki Y, Yamamoto k et al.: HOGG1 Ser326Cys polymorphism and risk of hepatocellular carcinoma among Japanese, *J Epidemiol*, 2006 (Nov), 233-239, 2006

総説

- ・Suzuki Y: β -Galactosidase deficiency: an approach to chaperone therapy, *J Inher Metab Dis*, 29, 471-476, 2006
- ・鈴木義之: ケミカルシャペロン, *小児科診療*, 69, 1710-1715, 2006
- ・日隈ふみ子, 高橋弘子, 鈴木美恵子, 湯舟邦子: 助産師の資格試験を考えるー変遷と展望②明治期以降敗戦までの資格試験についてー, *助産雑誌 (医学書院)*, 60(6), 526-531, 2006
- ・鈴木美恵子, 日隈ふみ子, 高橋弘子, 湯舟邦子: 助産師の資格試験を考えるー変遷と展望③第2次世界大戦後から現在までの助産師国家試験についてー, *助産雑誌 (医学書院)*, 60(7), 642-647, 2006
- ・湯舟邦子, 日隈ふみ子, 鈴木美恵子, 高橋弘子: 助産師の資格試験を考えるー変遷と展望④国家試験作成マニュアル案の紹介と現行試験の課題ー, *助産雑誌 (医学書院)*, 60(8), 725-729, 2006
- ・日隈ふみ子: 私のお産ー助産師が本物の助産師に向き合った瞬間ー, *ペリネイタルケア (メディカ出版)*, 25(7), 62-63, 2006
- ・日隈ふみ子: International Birth & Culture Study Group会議, *助産雑誌 (医学書院)*, 60(9), 811, 2006
- ・日隈ふみ子: 助産師養成教育1, 京都婦研連だより (女性研究者の会), 71, 137-138, 2006
- ・山本澄子: 短下肢装具の開発と臨床応用, *Japanese Journal of Rehabilitation Medicine*, 44(1), 11-17, 2007.1
- ・開原成允: 病院図書館における個人情報保護, *ほすぴらいぶらり*, 31(1), 2-11, 2006
- ・開原成允: 医療福祉施設における施設設備の現状と将来, *設備設計*, 42(5), 2-7, 2006
- ・開原成允, 土屋文人: HOT番号 (標準医薬品マスター基準番号), *日本医師会雑誌*, 135(3), 640-641, 2006
- ・開原成允: IT推進による医療の質の向上, *診療録管理*, 18(3), 10-14, 2007
- ・鎌倉矩子: プロフェッショナルの成長, *作業療法*, 25(5), 401-405, 2006
- ・佐々木康人: 国連科学委員会UNSCEAR, *Isotope News* 2006年7月号, 1, 2006
- ・佐々木康人: 放射線防護に用いる線量単位, *日本語版JNM/JNMT*, 4(1), 3, 2006
- ・佐々木康人: 世界核医学生物学会議 Masahiro Iio Award, *日本語版JNM/JNMT*, 4(2), 2, 2006

- ・ 佐々木康人：放射線・原子力の医学利用と放射線防護のバランス，医用原子力だより，5，1，2007
- ・ 佐々木康人：ICRPの活動と新勧告案の進捗状況，Isotope News 2007年3月号，12-15，2007
- ・ 竹内孝仁：生活の場と老年学，日本老年医学会雑誌，43(3)，297-298，2006
- ・ 竹内孝仁：医療，とくに高齢者医療のパートナー，ケアマネジャー—その役割と実態，週刊医学のあゆみ，218(3)，243-246，2006
- ・ 竹内孝仁：歩けば寝たきりも認知症も予防できる，(財)日本万歩クラブ，10，2，2006
- ・ 竹内孝仁：施設での高齢者虐待の構造—思いやりのある職員は育つのか—，介護保険情報，10，34-37，2006
- ・ 武藤正樹：地域連携室の新たな役割，保険診療，61(6)，136-137，2006
- ・ 武藤正樹：DPC時代の医療材料，保険診療，61(7)，104-105，2006
- ・ 武藤正樹：医療施設体系のあり方検討会，保険診療，61(8)，72-73，2006
- ・ 武藤正樹：医療需要とスキルミックス，保険診療，61(9)，88-89，2006
- ・ 武藤正樹：看護師リクルート大作戦，保険診療，61(10)，88-89，2006
- ・ 武藤正樹：後期高齢者医療制度の創設，保険診療，61(11)，88-89，2006
- ・ 武藤正樹：消えるDPC調整係数と日本版P4P，保険診療，61(12)，104-105，2006
- ・ 武藤正樹：院内カルテ・レビュー，保険診療，62(1)，62-63，2007
- ・ 武藤正樹：新治験活性化5ヵ年計画，保険診療，62(2)，46-47，2007
- ・ 武藤正樹：後期高齢者医療—CGAとGEMs—，保険診療，62(3)，88-89，2007
- ・ 武藤正樹：消えた紹介率と地域連携パス，メディカルクオール，137，26-31，2006
- ・ 武藤正樹：4月診療報酬改定のポイント，メディカルクオール，138，28-32，2006
- ・ 武藤正樹：代替調剤の開始，メディカルクオール，139，28-32，2006
- ・ 武藤正樹：消えた紹介率と地域連携室の新たな役，メディカルクオール，140，28-32，2006
- ・ 武藤正樹：DPC時代の医療材料，メディカルクオール，141，28-32，2006
- ・ 武藤正樹：医療施設体系のあり方検討会，メディカルクオール，142，28-32，2006
- ・ 武藤正樹：看護7 1—看護リクルート大競争時代—，メディカルクオール，143，28-32，2006
- ・ 武藤正樹：メタボリック・シンドロームと疾病管理，メディカルクオール，144，28-32，2006
- ・ 武藤正樹：がん激増時代とがん疾病マネジメント，メディカルクオール，145，26-31，2006
- ・ 武藤正樹：消えるDPC調整係数と日本版P4P，メディカルクオール，146，26-31，2007
- ・ 武藤正樹：院内カルテレビュー，メディカルクオール，147，26-29，2007
- ・ 武藤正樹：新治験活性化5ヵ年計画，メディカルクオール，148，26-30，2007
- ・ 武藤正樹：疾病管理 慢性閉塞性肺疾患（COPD），ミクス，2006年4月号，38-39，2006
- ・ 武藤正樹：疾病管理 うつ病，ミクス 2006年5月号，42-43，2006
- ・ 武藤正樹：疾病管理 がん，ミクス 2006年6月号，54-55，2006
- ・ 武藤正樹：疾病管理 喘息，ミクス 2006年7月号，74-75，2006
- ・ 武藤正樹：疾病管理 慢性腎疾患（CKD），ミクス 2006年8月号，62-63，2006
- ・ 武藤正樹：疾病管理 骨粗しょう症，ミクス 2006年9月号，52-53，2006
- ・ 武藤正樹：疾病管理 メタボリック・シンドローム，ミクス 2006年10月号，52-53，2006
- ・ 武藤正樹：疾病管理 慢性疼痛，ミクス 2006年11月号，68-69，2006
- ・ 武藤正樹：疾病管理 心血管疾患（CVD），ミクス 2006年12月号，56-57，2006
- ・ 武藤正樹：疾病管理 ハイリスク妊娠，ミクス 2007年1月号，50-51，2007
- ・ 武藤正樹：疾病管理 後期高齢者，ミクス 2007年2月号，44-45，2007

- ・ 武藤正樹：疾病管理 疾病管理プログラムの質評価，ミクス 2007年3月号，42-43，2007
- ・ 松下年子，湯沢八江：特別養護老人ホームにおける感染予防，早期発見，拡大防止の取り組み—ユニット型と従来型を対象としての実態調査，日本看護管理学会誌，10(2)，58-67，2007.3
- ・ 和田 勝（医療保障政策研究21）：医療構造改革の今日的課題，メディカルクォール，2006年5月号-2007年4月号（12回連載），2006-2007
- ・ 松下年子：私とアディクション看護 依存症者の内実を求めて—回復者との出会いから研究活動へ—，精神科看護，33(5)，68-72，2006.4.20
- ・ 松下年子：米国・英国と日本のアディクション看護<第1回>臨床（1），精神科看護，33(6)，49-53，2006.5.20
- ・ 松下年子：米国・英国と日本のアディクション看護<第2回>臨床（2）・教育，精神科看護，33(7)，47-52，2006.6.20
- ・ 松下年子：米国・英国と日本のアディクション看護<最終回>国際的な研究，精神科看護，33(8)，45-49，2006.7.20
- ・ 松下年子：特集 せん妄ケアはどこまで進んでいるか—有効な予防法・対処法のエビデンス—，せん妄のリスク要因 外科的治療における要因，EB Nursing，6(4)，16-21，2006.9.20
- ・ 松下年子：大会長講演 アディクション看護の現状—欧米と日本の比較—，日本アディクション看護学会学会誌（アディクション看護），3(1)，2-12，2006.9.25
- ・ 松島英介，野口 海，松下年子，小林未果，松田彩子：サイコオンコロジー告知に伴う問題—，臨床精神医学，35（増刊号），565-573，2006
- ・ 小沢愉理，高嶋幸男：乳幼児突然死症候群病院病態論 中枢神経系，母子保健情報，53，58-62，2006
- ・ 高嶋幸男，柴原哲太郎：新生児の神経系の評価 評価法の手順と長期伝達，周産期医学，36，1-3，2006
- ・ 戸苺 創，高嶋幸男：新生児医療からみたSIDS，日本未熟児新生児学会誌，18，17-18，2006
- ・ 水田敏彦，山本匡介：ビタミンK2による発癌予防とその理論的背景，肝胆膵，52(3)，405-411，2006
- ・ 尾崎岩太，張 浩，山本匡介 他：肝癌細胞の増殖に対するVitamin K2と抗癌剤の併用に関する基礎的検討，第9回 Vitamin K & Aging 研究会記録集，31-34，2006

研究報告

- ・ 田中 繁（委員長） 他：再委託研究調査研究成果報告書（移動補助器分野の国際規格適正化調査研究），経済産業省（日本福祉用具・生活支援用具協会），（2006.3）
- ・ 田中 繁（委員長） 他：次世代福祉・生活支援産業コーディネータ人材育成事業（テキスト作成検討会）報告書，経済産業省（特定非営利活動法人健康サービス産業振興機構），（2006.3）
- ・ 山内 繁（委員長），田中 繁 他：公的給付における福祉用具評価システムに係わる調査研究，（財）テクノエイド協会，（2006.3）
- ・ 田中 繁（委員長） 他：電動立ち上がり補助いすの認定基準及び基準確認方法（製品安全規格），財団法人 製品安全協会，2007.1.12
- ・ 田中 繁（委員長） 他：福祉用具JIS作成指針に関する調査研究，経済産業省（日本福祉用具・生活支援用具協会），2007.2
- ・ 田中 繁（委員長） 他：工業標準原案作成審議経過報告書（障害者リフトのJIS原案作成），経済産業省（日本福祉用具・生活支援用具協会），2007.2
- ・ 田中 繁（委員長） 他：平成18年国内人材育成等基盤体制強化事業成果報告書，経済産業省（日本規格協会），2007.3
- ・ 田中 繁（委員長） 他：福祉用具標準化体系案報告書，経産省（独立行政法人 製品評価技術基盤機構），

2007.3.19

- ・ 日隈ふみ子, 藤井真理子: 妊産婦が「親となる力」を形成する過程の分析, 平成15~17年度科学研究補助金 基盤研究C(2)研究成果報告書文部科学省, 1-116, 2007.3
- ・ 日隈ふみ子, 鈴木美恵子, 高橋弘子, 湯舟邦子: 助産師国家試験に関する検討, 全国助産師教育協議会平成17年度事業活動報告書, 18-33, 2006
- ・ 石田健司, 永野靖典, 谷 俊一, 木村哲彦, 越智和弘, 四宮葉一: 変形性膝関節症症例に対する他動的自動運動機器の有効性, 中部日本整形外科災害外科学会雑誌, 50 (春季学会号), 69, 2007.3.1
- ・ 越智和弘, 四宮葉一, 小澤尚久, 浜岡隆文, 下村浩祐, 木目良太郎, 村瀬訓生, 勝村俊仁, 石田健司, 木村哲彦: 大腿部を中心とした筋収縮を誘発可能な他動訓練機の運動負荷評価, 生活支援工学系学会連合大会講演予稿集, 4, 169, 2006
- ・ WNAG Shuoyu, 井上寛之, 河田耕一, 井上喜雄, 永野正展, 石田健司, 木村哲彦: 全方向移動型歩行訓練機 (Development of Omni-directional Mobile Walker for Rehabilitation), 日本ロボット学会学術講演会予稿集 (CD-ROM), 24, 2121, 2006.9.14
- ・ 四宮葉一, 木村哲彦, 佐藤祐造, 勝村俊仁, 石田健司, WANG Shuoyu: 大腿周囲の筋収縮を誘発可能な他動訓練機の開発と評価, インテリジェント・システム・シンポジウム講演論文集, 16, 67-68, 2006.9.25
- ・ 井上寛之, WANG Shuoyu, 河田耕一, 井上喜雄, 永野正展, 石田健司, 木村哲彦: 全方向移動型歩行訓練機の走行制御, 知能メカトロニクスワークショップ講演論文集, 11, 176-179, 2006.9.7
- ・ 高柳和江, 木村哲彦: NBMによるQOLおよびADL向上手術の結果—盲腸ポート手術 (順行性強制排便手術) による排便コントロール, 病院管理, 43, 193, 2006.8
- ・ 石田健司, 木村哲彦, WANG Shuoyu, 四宮葉一, 関根 修, 小澤尚久: 転倒予防 乗馬ロボット・家庭用「ジョーバ」の有用性, 運動療法と物理療法, 17(1), 17-23, 2006.5.31
- ・ 滝沢茂男, 武藤佳恭, 家本 晃, 高田 一, 長岡健太郎, 木村哲彦: 2種の創動運動用機器による運動のサーモグラフィによる分析, Biomed Thermology, 26(1), 26, 2006.6.8
- ・ 滝沢茂男, 武藤佳恭, 家本 晃, 高田 一, 長岡健太郎, 木村哲彦: リハビリテーションによる回復度評価データの標準化の為のデータベース構築と分析, Biomed Thermology, 26(1), 25, 2006.6.8
- ・ 石田健司, 木村哲彦, 王 碩玉, 四宮葉一, 関根 修, 小澤尚久: 運動器リハビリテーションの現況と展望 II. 筋力回復のリハビリテーション 家庭用乗馬ロボット “ジョーバ” の有用性—筋力増強効果・平衡機能効果の側面から— Utility of simulator “JOBA” for horse riding therapy, 関節外科, 25(6), 620-624, 2006.6.19
- ・ 松下年子, 安積美保, 伊藤美保, 大田春美, 新井清美: アルコール依存症患者の喫煙とニコチン依存, 日本アディクシオン看護学会学会誌, 3(1), 55-61, 2006.9.25
- ・ 松下年子, 島田千穂, 服部洋一, 千種あや, 開原成允: 当事者主体の講義が学習者に与える影響—患者会代表者を講師に, 医療者と学生を受講者とした試み—, 病院管理, 43(4), 51-61, 2006.10
- ・ 松下年子, 野口 海, 小林未果, 松田彩子, 松島英介: 特集 緩和医療におけるコミュニケーション 医師のがん告知におけるコミュニケーション, 緩和医療学, 1(1), 47-53, 2007.1.1
- ・ 松下年子, 島田千穂, 湯沢八江: 特別養護老人ホームにおける感染管理—ユニット型と従来型施設を対象とした実態調査—, 日本看護管理学会誌, 10(2), 58-67, 2007.3
- ・ 諸岡健雄: WHO健康開発総合研究センターの研究戦略及び2007-8年の研究計画について, WHO健康開発総合研究センター, 2007.3
- ・ 大塚公美子, 山本富士江, 島田友子: 男子大学生のパーソナリティ特性からみた父性意識に関する研究, 第47回母性衛生学会, 母性衛生47(3), 247, 2006.11

- ・ ゾ・ユヒヤング, キム・インホング, 山本富士江, 山崎不二子: 韓日看護大学生の臨床実習時患者の説明同意と記録管理と指導実態, 農村医学・地域保健, 31(1), 35-46, 2007.1
- ・ 大浦ゆう子, 湯沢八江: 要介護高齢者の皮膚状態と血清アルブミン値との関連—観察による低栄養状態の早期発見—, 日本老年看護学会誌, 11(2), 84-92, 2007
- ・ 大浦ゆう子, 有田久美, 太田美津子: 要介護高齢者の栄養評価—血清アルブミン値と身体計測および食事摂取状況との関連—, 九州生活福祉支援研究会, 1, 21-26, 2007

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 江幡芳枝: 新しい助産師教育, 静岡県立看護大学大学院, 静岡県立大学, 静岡県静岡市, 2006.11.2
- ・ Ohno K, Lei K, Zhuo L, Inoue T, Ninomiya H, Nanba E, Suzuki Y: Chemical chaperone therapy for Gaucher disease: N-octyl- β -valienamine increases the cellular activity of not only F213I but also N188S β -glucocerebrosidases, 10th International Child Neurology Congress, Montreal, 2006.6.12-17
- ・ Takamura A, Higaki K, Matsuda J, Suzuki Y, Nanba E: Impairment of Trk receptor-mediated signaling causes neuronal death in G_{M1}-gangliosidosis, 第29回日本神経科学大会, 京都市, 2006.7.19-21
- ・ 鈴木義之: 特別講演 遺伝性ライソゾーム病に対するケミカルシャペロン療法, 第25回分子病理学研究会・東京シンポジウム, 東京, 2006.8.4-5
- ・ Higaki K, Takamura A, Matsuda J, Ogawa S, Iida M, Iwasaki H, Suzuki Y, Nanba E: Analysis of the effect of chemical chaperone on human mutant β -galactosidase expressing mouse cells, 10th International Congress of Inborn Errors of Metabolism, Makuhari, 2006.9.12-16
- ・ Takamura A, Higaki K, Matsuda J, Suzuki Y, Nanba E: Impairment of Trk signaling in G_{M1}-gangliosidosis mice brains, 10th International Congress of Inborn Errors of Metabolism, Makuhari, 2006.9.12-16
- ・ 檜垣克美, 高村歩美, 山本浩一, 飯田真己, 小川誠一郎, 岩崎博之, 松田潤一郎, 鈴木義之, 難波栄二: β -ガラクトシダーゼ欠損症遺伝子変異とケミカルシャペロン療法の検討, 第29回日本人類遺伝学会大会, 米子市, 2006.10.17-20
- ・ 鈴木義之: モデルマウスを用いたG_{M1}-ガングリオシドーシスの新しい治療法開発 (シンポジウム), 第29回日本人類遺伝学会大会, 米子市, 2006.10.17-20
- ・ Suzuki Y, Ichinomiya S, Maruyama K, Toda H, Watanabe H, Iwasaki H, Kurosawa M, Matsuda J: Mouse Neurology: neurological assessment of G_{M1}-gangliosidosis model mice, 35th Annual Meeting of the Child Neurology Society Meeting, Pittsburgh, 2006.10.18-21
- ・ Suzuki Y: Chemical chaperone therapy for brain pathology in G_{M1}-gangliosidosis, NIH Seminar (NINDDS), Bethesda, 2006.10.23
- ・ 一ノ宮悟史, 渡辺浩史, 松田潤一郎, 丸山貴美子, 戸田寛子, 岩崎博之, 黒澤美枝子, 飯田真己, 小川誠一郎, 鈴木義之: シャペロン療法モニタリングのためのマウス神経学的評価法の開発, 第12回ライソゾーム病研究会, 東京, 2006.11.24-25
- ・ Suzuki Y: Molecular approaches to neurogenetic diseases: G_{M1}-gangliosidosis as a model target disease, International Congress of Genetics for Pediatrics, Luxor Egypt, 2007.1.25-26
- ・ 鈴木義之: ライソゾーム酵素欠損症の病態解析と新しい経口治療薬の開発, 平成18年度厚生労働科学研究・こころの健康科学 (神経分野) 研究成果発表会, 東京, 2007.1.30
- ・ 田中 繁: 栃木県における福祉用具ニーズとその商品化, 企業と大学のためのアフタヌーンセミナー, とちぎ産業創造プラザ, 栃木県宇都宮市, 2006.6.29
- ・ 田中 繁: 健康福祉介護のものづくり知識とノウハウ, ものづくり事業創出シンポジウム~健康福祉介護機器物作り

- に挑戦～、ホテルサンルート佐野、栃木県佐野市、2006.7.27
- ・ 田中 繁 他：パネルディスカッション 大田原市は産学連携を如何に進めるか、第1回大田原市産学官連携推進フォーラム、カシマウェディングリゾート、栃木県大田原市、2006.10.10
 - ・ 田中 繁：大学等の上手な活用の仕方、とちぎ産業創造プラザのつどい、とちぎ産業創造プラザ、栃木県宇都宮市、2006.12.12
 - ・ 山本澄子：片麻痺歩行のバイオメカニクスーGaitSolutionはなぜ歩きやすいかー、理学療法学会大会、グリーンドーム前橋、群馬県前橋市、2006.5.25
 - ・ 山本澄子：短下肢装具の開発と臨床、リハビリテーション医学会学会集会、東京プリンスホテルパークタワー、東京都港区、2006.6.5
 - ・ 山本澄子：歩行分析からみた継ぎ手付プラスチック装具の役割、日本義肢装具学会研修セミナー、ポートメッセ名古屋、愛知県名古屋市、2006.8.5
 - ・ 山本澄子：バイオメカニクスからみた片麻痺者の歩行と短下肢装具、大阪府理学療法士会研修会、大阪市社会福祉研修情報センター、大阪府大阪市、2006.9.10
 - ・ 山本澄子：バイオメカニクスからみた片麻痺者の歩行と短下肢装具、緑生館研修会、緑生館専門学校、佐賀県鳥栖市、2006.9.23
 - ・ 山本澄子：バイオメカニクスから見た片麻痺歩行の理解、文京学院大学理学療法士臨床ブラッシュアップコース、文京学院大学、東京都文京区、2006.11.4-5
 - ・ Yamamoto S：Gait analysis of hemiplegic patients and their improvement by AFOs, The 2006 Asian prosthetics and orthotics workshop, Seoul Womens' plaza, Seoul Korea, 2006.11.19
 - ・ 山本澄子：バイオメカニクスからみた片麻痺者の歩行と短下肢装具、近森リハビリテーション病院研修会、近森病院、高知県高知市、2006.11.25
 - ・ 山本澄子：ポリオの歩行と装具、ポリオの会研修会、シビックセンター、東京都文京区、2006.12.9
 - ・ 山本澄子：バイオメカニクスからみた片麻痺者の歩行と短下肢装具、千葉県理学療法士会研修会、三井ガーデンホテル柏、千葉県柏市、2007.2.18
 - ・ 山本澄子：バイオメカニクスからみた片麻痺者の歩行と短下肢装具、誠愛リハビリテーション病院研修会、誠愛リハビリテーション病院、福岡県大野城市、2007.3.17-18
 - ・ 山本澄子：バイオメカニクスからみた片麻痺者の歩行と短下肢装具、いきいきSMILE創刊記念講演会、川村義肢株式会社、大阪府大東市、2007.3.24
 - ・ 山本澄子：バイオメカニクスからみた片麻痺者の歩行と短下肢装具、横浜南部地区学術サークル、ウィリング横浜上大岡、神奈川県横浜市、2007.3.31
 - ・ 開原成允：医療を取り巻く環境と病院における情報化の意義、病院管理学会第244回例会、川崎医療福祉大学、岡山市、2006.4.15
 - ・ 開原成允：病院の情報化、富士通病院経営戦略フォーラム、国際フォーラム、東京、2006.5.19
 - ・ 開原成允：日本でデータベースはなぜ育たないのか？、SASユーザー会、品川・東京コンファレンスセンター、東京、2006.7.27
 - ・ 開原成允：医療の情報化ーその意義と展望ー、健康保険組合連合会・平成18年度新任常務理事・事務長研修会、はあといん乃木坂、東京、2006.11.1
 - ・ 開原成允：保健・医療における情報システムの役割、医療経済機構、経済機構会議室、東京、2007.2.5
 - ・ 鎌倉矩子：日本作業療法協会設立40周年記念講演 プロフェッショナルの成長、第40回日本作業療法学会、京都国際会議場、京都市、2006.6.30

- ・ 岩下清子：小規模多機能ケアの視点，宅老所・グループホーム全国ネットワーク，群馬県勤労福祉センター，群馬県前橋市，2007.2.6
- ・ 岩下清子：これからの福祉のあるべき姿 その「グランドデザイン」を描く，特定非営利活動法人NPO人材開発機構，板橋レインボービル，東京都新宿区，2007.2.5
- ・ 佐々木康人：UNSCEARの活動と国内対応，日本放射線安全管理学会，野依記念講堂 名古屋大学，愛知県，2006.11.30
- ・ 竹内孝仁：介護保険法の改正と介護支援専門員の役割，大分県介護支援専門員協会，大分市，2006.4
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，介護老人保健施設アメニティ国分，霧島市，2006.4
- ・ 竹内孝仁：認知症を治すケア，船井道場，東京，2006.4
- ・ 竹内孝仁：介護予防の基本と実際，パワーリハビリテーション研究会広島県支部，広島市，2006.4
- ・ 竹内孝仁：第3期介護保険事業のポイントについて，川崎市医師会，川崎市，2006.4
- ・ 竹内孝仁：介護予防の基本と実際，富山県パワーリハビリテーション研究会，富山市，2006.4
- ・ 竹内孝仁：介護予防におけるパワーリハビリテーション，社会福祉法人黒松内つくし園 介護老人保健施設湯の里・黒松内，北海道黒松内，2006.5
- ・ 竹内孝仁：高齢者ケアの理論と実践，竹内セミナー実行委員，北海道岩内町，2006.5
- ・ 竹内孝仁：介護力向上講習会①，全国老人福祉施設協議会，東京，2006.5
- ・ 竹内孝仁：ねたきり，認知症にならないために，特定非営利活動法人コンティゴ しまね，松江市，2006.5
- ・ 竹内孝仁：認知症のケアー認知症を治す理論と実際ー，島根県介護福祉士会，松江市，2006.5
- ・ 竹内孝仁：認知症を治すケアーその理論と実際ー，横浜市福祉サービス協会，横浜市，2006.5
- ・ 竹内孝仁：介護予防の基本戦略，全会津介護支援専門員連絡協議会，会津若松，2006.5
- ・ 竹内孝仁：在宅復帰のための実践的課題，富山在宅復帰をすすめる研究会，富山市，2006.5
- ・ 竹内孝仁：ケアマネリーダー講習会①，世田谷区役所，東京，2006.5
- ・ 竹内孝仁：ケアマネジャーに期待されるもの，岡山県介護福祉研究会 中国四国介護福祉学会，岡山，2006.6
- ・ 竹内孝仁：ケアマネリーダー講習会②，世田谷区役所，東京，2006.6
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，日本自立支援介護学会，東京，2006.6
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，高齢者リハビリテーション研究所，東京，2006.6
- ・ 竹内孝仁：ケアマネリーダー講習会③，世田谷区役所，東京，2006.6
- ・ 竹内孝仁：認知症患者の介護ケアについて，宮崎県南病院，串間市，2006.6
- ・ 竹内孝仁：介護予防の基本と実際，パワーリハビリテーション研究会 長野県支部，松本市，2006.7
- ・ 竹内孝仁：介護力向上講習会②，全国老人福祉施設協議会，東京，2006.7
- ・ 竹内孝仁：第1回自立支援介護研修会，特別養護老人ホームちいさがたの家，長野市，2006.7
- ・ 竹内孝仁：新しい介護の流れ，熊本女性施設長の会，熊本市，2006.7
- ・ 竹内孝仁：いきいきサロンは介護予防の切り札，長野県茅野市社会福祉協議会，茅野市，2006.7
- ・ 竹内孝仁：介護予防の基本と実際，パワーリハビリテーション研究会 兵庫県支部，神戸市，2006.7
- ・ 竹内孝仁：第53回広島県社会福祉夏季大学，広島県社会福祉協議会，広島市，2006.8
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，森本外科・脳神経外科医院，鳥取県琴浦町，2006.8
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，特定非営利活動法人日本コーディネーター協会，郡山市，2006.8
- ・ 竹内孝仁：自立支援につながる介護予防マネジメントとチームケアを考える，酒田市役所，酒田市，2006.8
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，十勝認知症研究会，北海道芽室町，2006.8
- ・ 竹内孝仁：認知症介護の理論と実際，釧路・根室地区グループホーム連絡協議会，釧路市，2006.8

- ・ 竹内孝仁 : パワーリハビリテーション認知症への効果, 加治木温泉病院, 鹿児島市, 2006.9
- ・ 竹内孝仁 : 介護力向上講習会③, 全国老人福祉施設協議会, 東京, 2006.9
- ・ 竹内孝仁 : 高齢者の閉じこもり (社会的孤立), 東京都民生児童委員連合会, 東京, 2006.9
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防の基本と実際, 労協センター事業団, 大宰府, 2006.9
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防と老人クラブー明るい長寿社会の実現のためにー, 全国老人クラブ連合会, 逗子市, 2006.9
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防の基本と実際, ケアマネット21, 北九州, 2006.10
- ・ 竹内孝仁 : 寝たきりや認知症にならない秘訣, 日本興亜福祉財団, 東京, 2006.10
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防と老人クラブー明るい長寿社会の実現のためにー, 川崎市役所, 川崎市川崎区, 2006.10
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防と老人クラブー明るい長寿社会の実現のためにー, 川崎市役所, 川崎市高津区, 2006.10
- ・ 竹内孝仁 : 認知症を治す理論と実際, 北海道介護福祉士会オホーツク支部, 網走市, 2006.10
- ・ 竹内孝仁 : 認知症を治す理論と実際, 介護老人保健施設愛生苑, 庄原市, 2006.10
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防の基本と実際, パワーリハビリテーション研究会東北支部, 仙台市, 2006.10
- ・ 竹内孝仁 : パワーリハビリテーション, 川崎市保健衛生事業団, 川崎市, 2006.10
- ・ 竹内孝仁 : 認知症を治す理論と実際, 特養彩華園地域介護実習・普及センター, 熊谷市, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : みんなで学ぶ認知症予防, 労協センター事業団, 薩摩川内, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 介護保険の改正が目指すもの, 友だちつくり会, 東京, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 在宅復帰支援の基礎理論, 富山市役所, 富山市, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 高齢者のリハビリテーションをとらえ直す, 酒井医療 (株), 名古屋市, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防とケアマネジメント, 岡山県老協, 岡山市, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 介護力向上講習会④, 全国老人福祉施設協議会, 東京, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 自立支援型ケアマネジメント, 森本外科・脳神経外科医院, 鳥取県琴浦町, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防と老人クラブー明るい長寿社会の実現のためにー, 川崎市幸区老人クラブ連合会, 川崎市, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 認知症を治す理論と実際, パワーリハビリテーション研究会新潟県支部, 長岡市, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : パワーリハビリテーションの介護予防効果, パワーリハビリテーション研究会長野県支部, 東御市, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 認知症を治す理論と実際, 高齢者リハビリテーション研究所, 酒田市, 2006.11
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防の基本と実際, パワーリハビリテーション研究会北海道支部, 函館市, 2006.12
- ・ 竹内孝仁 : パワーリハビリテーション, 川崎市保健衛生事業団, 川崎市, 2006.12
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防と老人クラブー明るい長寿社会の実現のためにー, 秋田県老人クラブ連合会, 秋田県大潟村, 2006.12
- ・ 竹内孝仁 : 介護予防の基本と実際, 日立市役所, 日立市, 2006.12
- ・ 竹内孝仁 : 在宅復帰支援の基礎理論, 船井道場, 東京, 2006.12
- ・ 竹内孝仁 : 在宅復帰支援の基礎理論, 独立行政法人福祉医療機構, 東京, 2006.12
- ・ 竹内孝仁 : パワーリハビリの効用と実践, 損保ジャパン, 東京, 2006.12
- ・ 竹内孝仁 : 介護力向上講習会⑤, 全国老人福祉施設協議会, 東京, 2007.1
- ・ 竹内孝仁 : パワーリハビリテーション上級指導員研修会, 特定非営利活動法人介護予防・自立支援パワーリハビリ研究会, 東京, 2007.1
- ・ 竹内孝仁 : 認知症のケアプランとケアについて, 北海道ケアマネジメント研究会, 札幌市, 2007.1
- ・ 竹内孝仁 : 介護知らずのススメ, 栄区役所, 横浜市, 2007.1

- ・ 竹内孝仁：みんなで支える介護予防－介護予防とわたしの町のすこやか活動，川崎市役所，川崎市，2007.1
- ・ 竹内孝仁：認知症を治すケアについて，二戸広域介護支援専門員協議会，岩手県二戸市，2007.2
- ・ 竹内孝仁：自立支援を目指したケアマネジメントとは，高知県リハビリテーション研究会，高知市，2007.2
- ・ 竹内孝仁：認知症や重度介護者への自立支援，NPO法人 長野県高齢者福祉協会，長野市，2007.2
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーション上級指導員研修会，特定非営利活動法人介護予防・自立支援パワーリハビリ研究会，東京，2007.2
- ・ 竹内孝仁：日常生活の自立と，とじこもりにならないために，川崎市麻生区老人クラブ連合会，川崎市，2007.2
- ・ 竹内孝仁：高齢者施設のこれからと課題，パワーリハビリテーション研究会東北支部，仙台市，2007.2
- ・ 竹内孝仁：介護予防の基本と実際，いわき地域リハビリテーション広域支援センター，いわき市，2007.2
- ・ 竹内孝仁：認知症を治す理論と実際，特別養護老人ホーム ラ ヴィータ ウーノ，西宮市，2007.3
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーションと認知症，岡山県パワーリハビリテーション研究会，倉敷市，2007.3
- ・ 竹内孝仁：地域で取組む介護予防 サロン活動の重要性，福岡県社会福祉協議会，福岡市，2007.3
- ・ 竹内孝仁：進化するパワーリハビリテーション，ケアパートナー（株），川崎市，2007.3
- ・ 竹内孝仁：介護力向上講習会⑥，全国老人福祉施設協議会，東京，2007.3
- ・ 竹内孝仁：介護予防と地域ケアについて，鹿嶋市役所，鹿嶋市，2007.3
- ・ 竹内孝仁：介護予防を効果的に進めるために，富山市役所，富山市，2007.3
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーションと介護予防，自立支援，パワーリハビリテーション研究会兵庫支部，豊中市，2007.3
- ・ 竹内孝仁：介護予防と老人クラブ－明るい長寿社会の実現のために－，徳島県老人クラブ連合会，徳島市，2007.3
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーション－活動力を高める介護予防・自立支援，三育大学，韓国ソウル，2007.3
- ・ 竹内孝仁：パワーリハビリテーション，パワーリハビリテーション研究会四国支部，高松市，2007.3
- ・ 野村 歡：障害者自立支援法と居住環境，日本生活支援工学会，東京理科大学，千葉県野田市，2006.9.12
- ・ 武藤正樹：21世紀の医療連携と連携パス，医療マネジメント学会長野地方会，佐久市，2006.5.20
- ・ 武藤正樹：21世紀の医療連携と連携パス，医療マネジメント学会青森地方会，青森市，2006.6.3
- ・ 武藤正樹：DPCと病院マネジメント7つのポイント，DPCマネジメント研究会，東京，2006.6.10
- ・ 武藤正樹：21世紀のジェネリック医薬品－DPCと代替調剤の新時代を迎えて－，日本医療マネジメント学会 ランチオンセミナー，横浜，2006.6.17
- ・ 武藤正樹：21世紀の医療連携と連携パス，日本病院学会，岡山市，2006.7.8
- ・ 武藤正樹：米国の疾病管理の現状とわが国への応用，日本疾病管理研究会，東京都，2006.7.29
- ・ 武藤正樹：QOLと医療政策－米国の疾病管理とQOL－，日本QOL学会，東京都，2006.9.16
- ・ 武藤正樹：21世紀のジェネリック医薬品－DPCと代替調剤の時代を迎えて－，日本ジェネリック研究会，東京都，2006.9.24
- ・ 武藤正樹：医療制度改革と今後の課題－DPCから地域連携パスまで－，日本病院薬剤師学会，金沢市，2006.9.26
- ・ 武藤正樹：クリニカルガバナンス最新事情，クリニカルガバナンス研究会，東京都，2006.10.14
- ・ 武藤正樹：DPCとクリティカルパス，茨城県クリティカルパス研究会，つくば市，2007.2.24
- ・ 武藤正樹：P4P研究会の方向性，医療の質に基づく支払い（P4P）研究会，東京都，2007.3.24
- ・ 湯沢八江：看護管理学研究，栃木県看護協会，栃木教育会館，宇都宮，2006.11.3
- ・ 湯沢八江：成人看護・地域看護，東京都放射線技師会アドバンスセミナー，国分寺労政会館，東京，2006.8.6
- ・ 和田 勝：介護・医療制度改革と入所施設の運営，長崎県社会福祉協議会，長崎市，2006.7.13
- ・ 和田 勝：医療制度改革と国保運営，滋賀県国民健康保険団体連合会，大津プリンスホテル，大津市，2006.12.1

- ・ 北川 明 : 熊本大学病院が参加したトルテロジンの国際共同治験を振り返って, 熊本大学, ニューオオタニ, 熊本, 2007.2.8
- ・ 松下年子 : 消化器癌患者の心理特性, 第19回日本総合病院精神医学会総会「金子賞」受賞講演, 栃木県総合文化センター, 宇都宮, 2006.12.2-3
- ・ 高嶋幸男 : 重症児(者)の健やかな生活向上と老化, 第28回九州地区重症心身医学研究会, 別府, (2006.3.11)
- ・ 高嶋幸男 : 脳室周囲性白質軟化症の成因, 画像と病理, アジアボバース指導者研修会, 大阪, 2006.10.28
- ・ 安徳恭演 : PT, OT, STに必要な神経内科の知識, メディカ出版セミナー, メディカホール, 大阪府, 2006.12.10
- ・ Kiyonobu Ikezaki : Rational approach to treatment of Moyamoya disease, 8th International Conference on Cerebrovascular Surgery, Taipei International Convention Center, 台北 台湾, 2006.12.2
- ・ Kiyonobu Ikezaki : How to manage the cerebrovascular disease in childhood, 12th ASEAN Congress of Neurological Surgeons, New World Hotel, Ho-Chi-Minh city, 2006.12.8
- ・ 山本富士江 : オレム看護論と看護過程, 看護研修会, 日本赤十字社諫早病院, 諫早市, 2006.9

学会発表

- ・ 武田江里子, 江幡芳枝, 田村一代 : 妊産婦の対児感情および気分の経時的変化とその関連, 第32回日本看護研究学会, 別府B-Conプラザ, 大分県別府市, 2006.8.25
- ・ 弓削美鈴, 江幡芳枝 : 看護学生の母性看護学実習前後における自尊感情の変化, 第32回日本看護研究学会, 別府B-Conプラザ, 大分県別府市, 2006.8.25
- ・ 武田江里子, 江幡芳枝 : 対児感情の低い妊産婦の気分の傾向と影響要因, 第53回日本小児保健学会, アピオ甲府, 山梨県甲府市, 2006.10.28
- ・ 武田江里子, 江幡芳枝, 田村一代, 上田千代乃, 大草 尚, 堀 裕雅 : 妊娠末期のストレス・気分が産褥1ヶ月の母親の対児感情に与える影響, 第47回日本母性衛生学会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.11.10
- ・ 武田江里子, 江幡芳枝, 田村一代 : 妊娠末期・入院中・産褥1ヶ月に「不安をストレスと感じている母親」の対児感情・気分との関連, 第21回日本助産学会, 別府B-Conプラザ, 大分県別府市, 2007.3.11
- ・ 弓削美鈴, 江幡芳枝 : 母性看護学実習における自尊感情変化と経験, 第21回日本助産学会, 別府B-Conプラザ, 大分県別府市, 2007.3.11
- ・ 神菌洋子, 江幡芳枝 : 若年で出産した母親の育児感情と育児を支える要因—その1. 栃木県北地域における育児実態—, 第21回日本助産学会, 別府B-Conプラザ, 大分県別府市, 2007.3.11
- ・ 神菌洋子, 江幡芳枝 : 若年で出産した母親の育児感情と育児を支える要因—その2. 育児を支える要因—, 第21回日本助産学会, 別府B-Conプラザ, 大分県別府市, 2007.3.11
- ・ Shigeru Tanaka et al. : Commodification of a device with the rotating table to help independent eating, 日本リハビリテーション工学協会 カンファレンス, 神戸学院大学, 神戸市, 2006.8.24-26
- ・ 田中 繁 他 : 歩行器型体重免荷歩行訓練装置の商品化, 日本リハビリテーション工学協会 カンファレンス, 神戸学院大学, 神戸市, 2006.8.24-26
- ・ 田中 繁 他 : トレッドミルを利用する簡易型体重免荷歩行訓練装置の商品化, 日本リハビリテーション工学協会 カンファレンス, 神戸学院大学, 神戸市, 2006.8.24-26
- ・ Shigeru Tanaka et al. (Convener) : Friction test for tips for assistive products for walking at low temperature, ISO/TC173/WG1/39th meeting, TUV Hannover, Hannover Germany, 2006.12.12
- ・ 日隈ふみ子 (主催者) : 第2回正常出産カンファレンス—女性と共にあるということ—, 正常出産研究会, クレオ大阪南ホール, 大阪市, 2006.11.25

- ・ 山本澄子（座長）：下肢装具，日本義肢装具学会，くまもと県民交流館，熊本県熊本市，2006.10.21
- ・ 開原成允：教育講演 IT推進による医療の質の向上，第32回診療録管理学会，フェニックス・プラザ，福井市，2006.8.24
- ・ 開原成允：医療分野におけるICTの過去，現在そして近未来，第60回国立病院総合医学会，京都国際会議場，京都市，2006.9.23
- ・ 開原成允（座長）：電子点数表ワークショップ，日本医療情報学会，市民会館，札幌市，2006.11.2
- ・ 開原成允：招待講演 慢性疾患をめぐる最近の動き－診療支援，疾病管理，特定健診，特定保健指導－，慢性疾患診療支援システム研究会，山梨大学臨床講堂，山梨市，2007.2.17
- ・ 鎌倉矩子：日本作業療法協会設立40周年記念講演，プロフェッショナルの成長，第40回日本作業療法学会，京都国際会議場，京都市，2006.6.30
- ・ 築嶋武彦，梅内拓生：「企業経営」と「自然科学・生態学・社会学」的な「場」での発展的調和を目指した「共存」へのアプローチ－「経営理念と企業実践」の素描－，日本評価学会 春季第3回全国大会，国際基督教大学，東京，2006.6.24
- ・ 羽根田潔，梅内拓生：医療法人医徳会の理念と活動の評価－東松島市地域の保健医療福祉の向上を目指して－，日本評価学会 春季第3回全国大会，国際基督教大学，東京，2006.6.24
- ・ 羽根田潔，梅内拓生：JICAブラジル母子保健プロジェクト終了後評価－プロジェクト経験の東松島市における展開から－，日本評価学会 春季第3回全国大会，国際基督教大学，東京，2006.6.24
- ・ 梅原貞臣，野口隆志，梅内拓生：適切な医薬品使用に関する考察－わが国における薬剤師のあり方について－，日本評価学会 春季第3回全国大会，国際基督教大学，東京，2006.6.24
- ・ 正木朋也，梅内拓生：ベキ法則に基づく健康と経済のマクロ指標を用いた政府開発援助政策評価法の基礎研究（V），日本評価学会 春季第3回全国大会，国際基督教大学，東京，2006.6.24
- ・ 佐藤辰夫，梅内拓生：地域健康資産形成に関するアプローチの評価－老人介護病院経営の視点から－，日本評価学会 第7回全国大会，東洋大学，東京，2006.11.10
- ・ 真壁道夫，羽根田潔，梅内拓生：地域保健資産形成へのアプローチの検討－医療法人と行政の協力の視点から－，日本評価学会第7回全国大会，東洋大学，東京，2006.11.10
- ・ 梅原貞臣，野口隆志，高他武始，梅内拓生：適切な医薬品使用に関する考察－地域ケア薬局に関するアンケート調査－（薬局薬剤師と薬学部学生との比較），日本評価学会第7回全国大会，東洋大学，東京，2006.11.10
- ・ 正木朋也，梅内拓生：ベキ法則に基づく健康と経済のマクロ指標を用いた政府開発援助政策評価法の基礎研究（VI）－国別の乳児死亡率と一人当たりのGDPのベキ法則関係上の世界レベルでの位置変化と国自身の経時的変化の評価学的意味の検討－，日本評価学会第7回全国大会，東洋大学，東京，2006.11.10
- ・ 佐藤公美子，坪井良子：占領期における地方の看護改革－地方軍政部公衆衛生課の陣容と看護教育政策の方法－，日本看護教育学会，名古屋国際会議場，名古屋市，2006.8.5
- ・ 佐藤公美子，坪井良子：占領期日本における地方軍政部からみた看護改革，日本看護科学学会第26回学術集会，神戸国際展示場・神戸国際会議場，神戸市，2006.12.2
- ・ Yuzawa Yae：Prevention of transmitted disease among elderly public，48th Western Social Science Association，Phoenix，USA，2006.4.21
- ・ 上川床満里子，湯沢八江：外来通院から直接訪問看護の対象となった療養者の特徴と問題点，第10回日本看護管理学会，都市センター，東京，2006.8.26
- ・ 山根美智子，渡邊カヨ子，湯沢八江：乳がん外来看護師の「医師の患者への説明時の同席」と入院前・退院後の関わりとの関連，第10回日本看護管理学会，都市センター，東京，2006.8.26

- ・渡邊カヨ子, 山根美智子, 湯沢八江: 乳がん外来看護師の患者関わりの現状, 第10回日本看護管理学会, 都市センター, 東京, 2006.8.26
- ・大浦ゆう子, 湯沢八江: 観察による低栄養状態の早期発見—要介護高齢者の栄養状態, 第11回日本老年看護学会, 東京女子医科大学, 東京, 2006.11.3
- ・江口裕美子, 湯沢八江: 手術室看護師の業務に対する重要さとやりがいについての意識調査, 第20回日本手術看護学会, 札幌, 2006.10.28
- ・有田久美, 湯沢八江: 在宅療養者の服薬プロセスに関する調査研究, 第11回日本老年看護学会, 東京女子医科大学, 東京, 2006.11.3
- ・太田美津子, 有田久美, 大浦ゆう子, 湯沢八江: 外来に通院する慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 患者の食事摂取状況と栄養状態との関連, 第11回日本老年看護学会, 東京女子医科大学, 東京, 2006.11.3
- ・和田 勝: 介護保険制度の政策過程, 第13回ヘルスリサーチフォーラム, 千代田放送会館, 東京都, 2006.12.2
- ・松下年子, 野口 海, 小林未果, 松田彩子, 松島英介: わが国におけるがん告知の実態調査, 第11回日本緩和医療学会総会, 神戸交際展示場, 神戸, 2006.6.23-24
- ・鎌田澄子, 松下年子: 精神障害者小規模作業所利用者における働く体験の意味, 第37回日本看護学会 精神看護, 仙台国際センター, 仙台, 2006.7.18-19
- ・神坂登代子, 大浦ゆう子, 松下年子: 認定看護師の有効活用を目指した看護管理者のアプローチとは—F県認定看護師に関する実態調査—, 第10回日本看護管理学会年次大会, 都市センターホテル, 東京, 2006.8.25-26
- ・松下年子, 原田美智, 大浦ゆう子: SOC (Sense of Coherence)とマタニティブルーズ, 第16回日本保健科学学会学術集会, 首都大学, 東京, 2006.9.2
- ・松下年子, 野口 海, 小林未果, 松田彩子, 松島英介: A survey of physicians' attitudes for cancer disclosure in Japan, IPOS (the International Psycho-Oncology Society), Conference Center RUSSOTT Hotel, イタリアベネチア, 2006.10.18-21
- ・光本いづみ, 松下年子, 大浦ゆう子: 訪問看護師の職場環境 業務特性および継続教育, 第37回日本看護学会 看護管理, 大宮ソニックシティ, 大宮, 2006.10.25-26
- ・河口朝子, 松下年子, 大浦ゆう子: 認知症患者の行動障害と看護介入—帰宅要求のある患者の行動変容に影響する諸要因—, 日本老年看護学会第11回学術集会, 東京女子医科大学, 東京, 2006.11.3-4
- ・原田美智, 田尻由貴子, 松下年子, 横山利枝: マタニティブルーズのスクリーニングを意図とした外来問診票作成に関する研究, 第47回日本母性衛生学会総会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2006.11.9-10
- ・米山和子, 松下年子, 大浦ゆう子: 看護主任の役割葛藤—主任の役割認識, 役割期待, 役割欲求, 役割行動間の「ずれ」に着眼して—, 第11回日本看護研究学会九州地方会学術集会, 九州大学, 九州, 2006.11.11
- ・山口 恵, 松下年子: 精神科看護師のアディクション問題, 第5回日本アディクション看護学会学術大会, 秋田大学, 秋田, 2006.11.11-12
- ・小林一裕, 松下年子, 松澤和正: 精神科医療における身体拘束の臨床的構成要因について, 第34回日本精神科病院協会精神医学会, 三重県総合文化センター, 三重, 2006.11.16-17
- ・山口 恵, 松下年子, 森山政子: 精神科看護師の喫煙に関する意識調査, 平成18年度東京都看護協会「看護研究学会」, 九段会館, 東京, 2006.11.28
- ・松下年子, 野口 海, 小林未果, 松田彩子, 松島英介: 一般病院臨床医におけるがん告知に関する意識調査, 第19回日本総合病院精神医学会総会, 栃木県総合文化センター, 宇都宮, 2006.12.2-3
- ・小倉邦子, 松下年子: 日本語版NEECHAM (混乱・錯乱状態スケール) の術後せん妄予測における有用性の検証, 第19回日本総合病院精神医学会総会, 栃木県総合文化センター, 宇都宮, 2006.12.2-3
- ・高柳京子, 松下年子: ブラッドパッチを受ける低髄液圧症候群患者における心理特性とコーピングスタイル, 第26回

- 日本看護科学学会学術集会, 神戸国際展示場・会議場, 神戸, 2006.12.2-3
- ・原田美智, 松下年子, 大浦ゆう子: マタニティブルーズの予測因子に関する研究, 第26回日本看護科学学会学術集会, 神戸国際展示場・会議場, 神戸, 2006.12.2-3
 - ・中原綾子 (座長): フレッシュCRC(1)ー治験関係者とCRCのコミュニケーションを考えるー, 第6回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 大宮ソニックシティ, 埼玉県, 2006.10.8
 - ・中原綾子 (座長): 臨床試験を考えるーCRCの視点からー, 第27回日本臨床薬理学会総会, 京王プラザホテル, 東京都, 2006.11.29
 - ・Fumiko Nagahama, Ayako Nakahara, Takashi Noguthi, Shigeyuki Nakano: Proposal of Competency Model for Clinical Study Manager, SoCRA学会, 米国, 2006.9.21
 - ・松田順子, 中原綾子, 北川 明, 野口隆志, 杉森 甫 他: 臨床試験における検査費所説明にCRCの果たす役割の研究, 第6回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 大宮ソニックシティ, 埼玉県, 2006.10.8
 - ・高松まゆみ, 野口隆志, 中原綾子, 北川 明, 中野重行: 病院における適正な臨床試験実施体制構築のための医師の意識調査, 第6回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 大宮ソニックシティ, 埼玉県, 2006.10.8
 - ・倉田典子, 中原綾子, 北川 明, 野口隆志, 佐々木淳 他: CRCの指導・教育担当者を対象とした面他リングプログラムの作成, 第6回CRCと臨床試験のあり方を考える会議, 大宮ソニックシティ, 埼玉県, 2006.10.8
 - ・福島芳子, 中原綾子, 野口隆志, 中野重行: CRC業務遂行上の不安傾向及びその要因, 日本臨床薬理学会総会, 京王プラザホテル, 東京都, 2006.11.29
 - ・糸数直哉, 瀬川芳恵, 長田陽一, 高嶋幸男, 松尾久美子: 入所者にみられた強い脳萎縮を示す4例の臨床的解析, 第28回九州地区重症心身医学研究会, 別府, (2006.3.11)
 - ・Ozawa Y, Takashima S: Developmental abnormalities of neurotransmitters in SIDS, 9th SIDS International Conference, Yokohama, 2006.6.4
 - ・Takashima S, Harper R: From genetic processes to integrative cardiovascular and breathing control, 9th SIDS International Conference, Yokohama, 2006.6.4
 - ・Kanaumi T, Takashima S, Iwasaki H, Hirose S, Mitsudome A: Development of GABA (A) receptor alpha1 and GAMMA2 subunit in human temporal lobe, hippocampus and basal ganglia, 10th International Child Neurology Congress, Montreal, 2006.6.11-16
 - ・Itoh M, Ide S, Takashima S, Nomura Y, Segawa M, Mori H, Tanaka S, Horie H, Tanabe Y, Kudo S, Kubota T, Goto Y: MeCCP2 directly regulates insulin-like growth factor binding protein 3 expression in brains, 10th International Child Neurology Congress, Montreal, 2006.6.11-16
 - ・Takashima S, Kanaumi T, Kimura H: Developmental and aging molecular pathology of Down syndrome, 4th Congress of Federation of Asian-Oceanian Neuroscience Societies, Hong Kong, 2006.11.30
 - ・Kanaumi T, Takashima S, Hirose S, Iwasaki H, Mitsudome A: Development of KCNQ2 and KCNQ3 in human brains, consideration on age-related epilepsy, 第48回日本小児神経学会, 東京, 2006.6.2
 - ・糸数直哉, 長田陽一, 金海武志, 小川 厚, 高嶋幸男: 重症心身障害児・者における頭部ヘリカルCTの有用性の再評価, 第48回日本小児神経学会, 東京, 2006.6.2
 - ・小川優美, 実藤雅文, 原 寿郎, 中島大介, 高嶋幸男: 片手および両手タイピングによる上肢機能の検討ー近赤外線分光法を用いた脳機能検査の検討, 第40回日本作業療法学会, 京都, 2006.6.2
 - ・瀬川芳恵, 糸数直哉, 鶴沢礼実, 村上奈央子, 廣瀬彰子, 中川慎一郎, 永光信一郎, 高嶋幸男: 14番染色体欠失を伴う全前脳胞症と水無脳症の合併と剖検例の再検討, 第32回日本重症心身障害学会学術集会, 熊本, 2006.9.29
 - ・池崎清信 (座長): 特別講演 脳卒中の治療戦略, アスピリンシンポジウム, ベストウエスタンプレミアホテル, 長

崎市, 2006.7.25

- ・有吉 瞳, 江頭優子, 丸林恵美子, 飯開めぐみ, 小関頭代, 池崎清信: 尿失禁患者の排泄動作における自立度を高めるアプローチ, 第4回日本神経疾患医療福祉従事者学会, 日航ホテル東京, 東京, 2006.9.1
- ・Kiyonobu Ikezaki: Classification of medullary venous malformation, 8th International Conference on Cerebrovascular Surgery, Taipei International Convention Center, 台北 台湾, 2006.12.2
- ・Kiyonobu Ikezaki (座長): Cerebrovascular Disease 3, 8th International Conference on Cerebrovascular Surgery, Taipei International Convention Center, 台北 台湾, 2006.12
- ・野見山真理 (主催者), 小島加代子: 福岡産婦人科内視鏡手術懇話会, 福岡国際医療学院, 福岡市, (2007.4.21)
- ・有馬 薫, 野見山真理, 藤井麻友子, 小島加代子: 当院における子宮鏡下子宮筋腫核出術の現況, 第二回福岡産婦人科内視鏡手術懇話会, 都久志会館, 福岡市, 2006.4.8
- ・野見山真理 (座長), 小島加代子: 子宮摘出術 子宮奇形, 第二回福岡産婦人科内視鏡手術懇話会, 都久志会館, 福岡市, 2006.4.8
- ・山田耕平, 西山和加子, 野見山真理, 大野恵里, 眞崎暁子, 江頭由佳子, 有馬 薫, 藤井麻友子, 小島加代子, 岩坂剛: Day3ETにおける過去6年間の多胎防止に対する取り組み, 第63回日本生殖医学会九州支部会, エルガーラホール, 福岡市, 2006.4.9
- ・大野恵里, 山田耕平, 野見山真理, 西山和加子, 眞崎暁子, 江頭由佳子, 有馬 薫, 藤井麻友子, 小島加代子, 岩坂剛: 当院におけるDay3選択的単一胚移植の臨床成績, 第63回日本生殖医学会九州支部会, エルガーラホール, 福岡市, 2006.4.9
- ・西山和加子, 野見山真理, 江頭由佳子, 眞崎暁子, 小島加代子: 前核期凍結胚移植後の余剰胚盤胞に対する再凍結の有用性, 第47回日本哺乳動物卵子学会, 砂防会館 シェーンバッハ・サポー, 東京, 2006.5.27-28
- ・眞崎暁子, 野見山真理, 江頭由佳子, 西山和加子, 小島加代子: 当センターにおけるDay3選択的単一胚移植の臨床成績, 第47回日本哺乳動物卵子学会, 砂防会館 シェーンバッハ・サポー, 東京, 2006.5.27-28
- ・有馬 薫, 野見山真理, 藤井麻友子, 小島加代子: 当院における子宮鏡下子宮筋腫摘出術の現況, 第46回日本産婦人科内視鏡学会学術講演会, 都市センターホテル, 東京, 2006.8.4-5
- ・大野恵里, 野見山真理, 山田耕平, 西山和加子, 眞崎暁子, 有馬 薫, 藤井麻友子, 小島加代子, 岩坂剛: 当センターにおける採卵周期あたりの単一胚移植の臨床成績, 第51回日本生殖医学会総会・学術講演会, リーガロイヤルホテル, 大阪, 2006.11.9-10
- ・山田耕平, 野見山真理, 西山和加子, 大野恵里, 眞崎暁子, 有馬 薫, 藤井麻友子, 小島加代子, 岩坂剛: 前核期凍結胚移植後の余剰胚盤胞に対する再凍結の有用性, 第51回日本生殖医学会総会・学術講演会, リーガロイヤルホテル, 大阪, 2006.11.9-10
- ・有馬 薫, 藤井麻友子, 野見山真理, 山田耕平, 西山和加子, 大野恵里, 眞崎暁子, 小島加代子, 岩坂剛: 当科におけるrecombinant FSH製剤の使用経験, 第51回日本生殖医学会総会・学術講演会, リーガロイヤルホテル, 大阪, 2006.11.9-10
- ・尾崎岩太, 張 浩, 山本匡介: 肝癌細胞の増殖に対するVitamin K2と抗癌剤の併用に関する基礎的検討, 第9回 Vitamin K & Aging 研究会, 東京, 2006.2.18
- ・尾崎岩太, 水田敏彦, 山本匡介: ビタミンK2による肝癌細胞増殖抑制作用の分子機構, 第42回日本肝臓学会総会, 京都, 2006.5.25-26
- ・I Ozaki, H Zhang, K Yamamoto: Vitamin K2 enhances 5-fluorouracil-induced growth inhibition of human hepatocellular carcinoma cells through inhibition of IKK/NF-kappaB/cyclin D1 activation, AASLD 57th Annual Meeting 2006, ボストン, 2006.10.27-31

- ・ 山本富士江（座長）：九州地区看護研究学会，メルパルク福岡，福岡県，2006.11
- ・ 有田久美，太田美津子，大浦ゆう子：看護学生がグループホーム実習での認知症高齢者への対応で困難を感じた場面，日本看護研究学会，別府市ビーコンプラザ，大分県，2006.8.25

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 鈴木義之：ライソゾーム酵素欠損症の病態解析と新しい経口治療薬の開発，厚生労働科学研究費補助金，こころの健康科学研究事業，H17-こころ一般-019，継
- ・ 鈴木義之：β-ガラクトシダーゼ欠損症に対する新しい分子治療法の開発，厚生労働科学研究費補助金，難治性疾患克服研究事業，16200201，継
- ・ 田中裕美子，兵頭明和，前川喜久雄 他4名：ことばの遅れか障害かを文法習得の躰きで判定する方法に関する研究，文部科学省科学研究費補助金，萌芽研究，18653121，採択
- ・ 開原成允（分担），上田慶二（主任研究者）：国際的な動向を踏まえた医薬品の新たな有効性及び安全性評価に関する研究，厚生労働科学研究費補助金，医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業，H16医薬-004，継続
- ・ 開原成允：UMLSと連携した日本語医学用語ソーラスの研究，厚生労働科学研究費補助金，医療技術評価総合研究事業，H14-医療-036，継続
- ・ 木村哲彦：厚生労働科学研究
- ・ 木村哲彦：文部科学省科学研究
- ・ 武藤正樹：地域に密着した薬局機能に関する研究，厚生労働科学研究費補助金
- ・ 湯沢八江：子世代からみた後期高齢者の健康変化と死までのプロセス，在宅医療助成勇美記念財団
- ・ 諸岡健雄：WHO健康開発総合研究センターの研究戦略及び2007-8年の研究計画について，WHO健康開発総合研究センター委託研究，委託研究，採択
- ・ 高嶋幸男：SIDSにおける睡眠・呼吸循環調節機構の発達神経病理学的研究，厚生労働科学研究費

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 開原成允：日野原賞，健診事業の普及，2007.1
- ・ 松下年子：日本総合病院精神医学会 金子賞，消化器癌患者の心理特性，2006.12.3

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 江幡芳枝：日本助産学会，日本看護研究学会，日本母性衛生学会，日本小児保健学会，日本性科学学会，日本思春期学会
- ・ 鈴木義之：日本小児科学会（専門医），日本小児神経学会（専門医）（名誉会員），日本神経学会（専門医）（評議員），日本先天代謝異常学会（理事），日本人類遺伝学会（評議員），日本新生児学会（功労会員），日本赤ちゃん学会（理事），日本遺伝子治療学会（幹事），International Child Neurology Association（Executive Board Member）（Nominating Committee Chair, etc），Child Neurology Society, USA（Active member），Society for the Study of Inborn Errors of Metabolism（Active member）
- ・ 田中 繁：日本リハビリテーション工学協会（理事），日本義肢装具学会（評議員），ISPO International Society of Prosthetics and Orthotics（終身フェロー），日本生活支援工学会（理事），日本バイオメカニズム学会（評議員）
- ・ 日隈ふみ子：日本助産学会（評議員），日本母性衛生学会，日本看護科学学会，日本看護歴史学会（査読委員），日本質的心理学会

- ・ 兵頭明和：日本統計学会
- ・ 山本澄子：日本義肢装具学会（理事，標準化委員会担当），国際義肢装具連盟（日本支部副会長），臨床歩行分析研究会（運営委員，事務局長），日本福祉工学会（理事），バイオメカニズム学会（評議員），日本生活支援工学会（評議員），日本リハビリテーション工学協会，日本理学療法科学会，日本リハビリテーション医学会，日本人間工学会，日本建築学会，日本臨床バイオメカニクス研究会
- ・ 武田江里子：日本助産学会，日本母性衛生学会，日本看護研究学会，日本看護学教育学会，日本小児保健学会，日本家族看護学会
- ・ 開原成允：日本医療情報学会（顧問），American College of Medical Informatics（Fellow），American Telehealth Association
- ・ 鎌倉矩子：日本神経心理学会（評議員），日本高次脳機能障害学会（評議員）
- ・ 梅内拓生：日本性感感染症学会（理事），日本評価学会（理事），日本国際保健医療学会（評議員），日本公衆衛生学会（評議員）
- ・ 木村哲彦：ライフサポート学会（顧問），生活支援工学会（理事），バイオフィリア・リハ学会（理事長），リハビリテーションネットワーク研究会（理事長）
- ・ 佐々木康人：日本核医学会（専門医，PET認定医）（代議員），日本医学放射線学会（専門医）（代議員），日本内科学会（認定内科医），日本消化器病学会（専門医），日本核磁気共鳴医学会（評議委員），The Society of Nuclear Medicine（機関紙JNM編集委員），The European Association of Nuclear Medicine and Molecular Imaging（機関紙EJNMMI編集委員）
- ・ 坪井良子：日本看護科学学会，日本看護研究学会，日本看護教育学会，日本生活支援工学会（評議員），日本看護歴史学会，日本医史学学会，聖路加看護学会
- ・ 野村 勲：日本福祉のまちづくり学会（会長），日本生活支援工学会（評議員）
- ・ 武藤正樹：日本医療マネジメント学会（理事），日本ジェネリック医薬品学会（会長），日本疾病管理研究会（会長），医療の質に基づく支払い（P4P）研究会（代表幹事），日本外科学会
- ・ 湯沢八江：日本在宅ケア学会，日本看護研究学会，日本老年看護学会，日本看護管理学会，日本公衆衛生学会，日本地域看護学会
- ・ 松下年子：日本アディクション看護学会（理事，編集委員長），日本嗜癮行動学会，日本公衆性衛生学会，日本社会精神医学会，日本看護科学学会，日本保健科学学会，日本外来精神医療学会，日本サイコオンコロジー学会（世話人），日本総合病院精神医学会，Psychiatry and Clinical Neurosciences，日本看護管理学会，日本高齢者虐待防止学会，日本緩和医療学会，日本病院管理学会，日本精神衛生学会，日本母性衛生学会，日本看護研究学会，日本老年看護学会，日本死の臨床研究会
- ・ 中原綾子：日本臨床薬理学会（認定CRC）（CRC認定制度委員，CRC認定試験委員，CRCと臨床試験のあり方を考える会議企画委員）
- ・ 高嶋幸男：日本小児科学会（専門医），日本小児神経学会（専門医），日本新生児学会（功労会員），日本神経病理学会（評議員）
- ・ 安徳恭演：日本内科学会（認定内科医），日本神経学会（神経内科専門医）（評議員）
- ・ 小島加代子：日本生殖医学会（生殖医療指導医）（評議員）
- ・ 山本富士江：日本看護研究学会（評議員，査読委員），日本協同教育学会（名誉会員），日本看護学教育学会（学会企画，実行委員，査読委員），日本看護協会九州地区学会（査読委員）
- ・ 野見山真理：日本生殖医学会（生殖医療指導医）（評議員）
- ・ 大浦ゆう子：日本看護研究学会，日本看護科学学会，日本老年看護学会，日本看護管理学会，日本老年社会科学会

国際医療福祉大学熱海病院

※2007年2月1日付けで、名称が「国際医療福祉大学附属熱海病院」から「国際医療福祉大学熱海病院」に変更となりました。

著書

- ・高梨吉則（分担執筆）：臨床病態学（総編集 北村 聖），心房中隔欠損症 心室中隔欠損症 動脈管開存症 アイゼンメンジャー症候群 ファロー四徴症，424-425，428-434，ヌーベルヒロカワ，2006.11.30
- ・寺田正次，高梨吉則（分担執筆）：小児輸血学（大戸 斉，遠山 博 編集），心臓手術，153-166，中外医学社，2006.5.10
- ・奥津芳人：ナーシングケアQ&A 第10号 手術室ナーシングQ&A，Q62 気管支喘息患者の手術中にはどんな点に注意したらよいのでしょうか，134-135，総合医学社，2006
- ・奥津芳人：ナーシングケアQ&A 第10号 手術室ナーシングQ&A，Q66 空気塞栓はどうしておこるのですか？その予防法は何ですか？，144-145，総合医学社，2006
- ・奥津芳人：人工呼吸療法 改訂4版，胸部外陰圧式人工呼吸，94-97，秀潤社，2006
- ・川口 実（分担）：消化器疾患ハンドブック，2006.12
- ・川口 実（分担）：臨床栄養学，U-CAN，2006.10
- ・川口 実（分担）：今日の治療指針，上部消化管内異物除去法，321，医学書院，2007
- ・中村治彦（分担，訳）：肺癌・MDアンダーソン癌センターに学ぶ癌診療，限局型小細胞肺癌の治療，123-135，シュプリンガー・ジャパン，2006
- ・中村治彦（編集）：呼吸器学用語集（改訂第4版），杏林社，2006
- ・伊藤 章（監修）：HIV／エイズはみんなの問題 あなたの行動が感染拡大を防ぎます，1-16，東京法規出版，2006
- ・岩崎博幸：救急医学エッセンス，救急医学総論，1-36，文光堂，2007
- ・岩崎博幸：救急医学エッセンス，急性腹症，157-175，文光堂，2007
- ・唐澤英偉：内科学，膀胱癌，1663-1668，金原出版，2006
- ・神崎 仁（編集）：耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療のコツと落とし穴 1.耳疾患，中山書店，2006
- ・神崎 仁（編集）：耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療のコツと落とし穴 2.喉頭咽頭疾患，中山書店，2006
- ・神崎 仁（編集）：耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療のコツと落とし穴 3.鼻副鼻腔疾患，中山書店，2006
- ・神崎 仁（著書）：耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療のコツと落とし穴 1.耳疾患，ステロイド依存性難聴 診断・治療の落とし穴，70-71，中山書店，2006
- ・神崎 仁（著書）：耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療のコツと落とし穴 1.耳疾患，内耳道内病変診断と患者対応のポイント，204-205，中山書店，2006
- ・神崎 仁（著書）：耳鼻咽喉科領域と未病 日本未病システム学会編，未病医学臨床，92-97，金芳堂，2006
- ・北洞哲治，（金澤一郎，北原光夫，山口 徹，小俣政男 編集）：内科学，虚血性病変，1395-1399，医学書院，2006.10
- ・北洞哲治，藤山佳秀，大森豊明（編集）：水，飲用アルカリ性電解水の検証と応用，184-196，技術教育出版社，2006.8
- ・栗山 学（分担執筆）：未病医学 臨床，泌尿器と未病，107-112，金芳堂，2006
- ・佐々木哲雄：皮膚科診療のコツと落とし穴② 疾患 I（西岡 清編集），皮膚線維腫を複数認めたら，全身性エリテマトーデス/Sjögren症候群を疑ってみる，106-107，中山書店，2006.8.30
- ・佐々木哲雄：皮膚科診療のコツと落とし穴② 疾患 I（西岡 清編集），萎縮性局面をみたらSjögren症候群を疑って

みる, 108-109, 中山書店, 2006.8.30

- ・ 篠永正道 : あなたのむち打ち症は治ります, 木を見て森を見ず いま, あなたの脳があぶない 患者さんから学んだ「脳脊髄液減少症」, 14-20, 20-38, 39-72, 日本医療企画, (2005)
- ・ 篠永正道 : むち打ち症はこれで治る!, 「むち打ち症の正体」脳脊髄液減少症のすべて, 60-79, 日本医療企画, 2006
- ・ 篠永正道 : 神経疾患最新の治療2006-2008, 低髄液圧症候群のブラッドパッチ治療, 39-41, 南江堂, 2006
- ・ 篠永正道 : 今日の治療指針2006年版, 低髄液圧症候群, 685-686, 医学書院, 2006
- ・ 篠永正道 : 今日の治療指針2007年版, 頭部外傷後遺症, 644-645, 医学書院, 2007
- ・ 高藤 繁 (分担執筆) : 研修医診療マニュアル (監修 阿部 薫), 第6章呼吸器疾患 気管支喘息, P-MET, 医療研修推進財団, 2007.3
- ・ 築山久一郎, 猿田享男 (監修), 植田真一郎 (編集) : ランダム化臨床試験を読み解く—高血圧・冠動脈疾患領域—, β 遮断薬, 180-191, メディカルトリビューン (東京), 2006
- ・ 築山久一郎, 猿田享男 (監修), 植田真一郎 (編集) : ランダム化臨床試験を読み解く—高血圧・冠動脈疾患領域—, STOP-Hypertension 2, Doctor's Comment, 134-135, メディカルトリビューン (東京), 2006
- ・ 都島基夫, 都島健介, 京谷晋吾 : PWVを知るPWVで診る (宗像正徳 編) : 臓器・機能障害とPWV 頸動脈病変とPWV, 116-121, 中山書店, 2006.8
- ・ 都島基夫 : 循環器疾患の予防に向けての炎症反応指標の応用に関する研究, 循環器疾患の予防に向けての炎症反応指標の応用に関する研究, 1-74, 生き生き健康増進財団, 2006.4
- ・ 都島基夫 : 次世代の医学・医療がわかる 未病医学入門, 序文, iii, 金芳堂, 2006.12
- ・ 都島基夫 : 次世代の医学・医療がわかる 未病医学入門, 疾患別未病値, 113-119, 金芳堂, 2006.12
- ・ 都島基夫 : 次世代の医学・医療がわかる 未病医学入門, 日本未病システム学会について, 191-197, 金芳堂, 2006.12
- ・ 都島基夫 : 次世代の医学・医療がわかる 未病医学入門, 未病認定医制について, 198-205, 金芳堂, 2006.12
- ・ 都島基夫 : 次世代の医学・医療がわかる 未病医学臨床, 動脈硬化症と未病, 12-18, 金芳堂, 2006.12
- ・ 都島基夫 : 次世代の医学・医療がわかる 未病医学臨床, 医療機関と未病, 118-122, 金芳堂, 2006.12
- ・ 都島基夫 : 次世代の医学・医療がわかる 未病医学臨床, 日本未病システム学会について, 247-253, 金芳堂, 2006.12
- ・ 都島基夫 : 次世代の医学・医療がわかる 未病医学臨床, 未病認定医制について, 254-261, 金芳堂, 2006.12
- ・ 都島基夫 : ジェロントロジースポーツ 成熟人生を“好く”生きる人のためのスポーツライフ, ジェロントロジースポーツと未病学, 156-166, 日本工業新聞社, 2007.2
- ・ 西川潤一 (分担執筆) : 内科学, 5.6 核医学検査 11 肝・胆・膵臓疾患, 1469-1470, 医学書院, 2006.10
- ・ 林 洋 (分担執筆) : トリグリセライドと動脈硬化 メタボリックシンドロームの観点から, 食事のトリグリセライドはどのように吸収されるのですか?, 17-19, 医薬ジャーナル社, 2006
- ・ 林 雅敏 (分担執筆) : 内分泌症候群 (第2版), 妊娠高血圧症候群, 509-512, 日本臨床社, 2006
- ・ 小林 泉 (分担執筆) : 救急医学エッセンス, 高血圧性緊急症・急性大動脈解離・大動脈瘤破裂・急性肺塞栓症, 127-156, 文光堂, 2007
- ・ 重政朝彦, 木村一雄 (分担執筆) : 臨床病態学【1巻】 (総編集: 北村 聖), 3 循環器疾患 虚血性心疾患, 442-452, ヌーヴェルヒロカワ, 2006.11.30
- ・ 重政朝彦 (分担執筆) : 救急医学エッセンス (編集: 岩崎博幸), 第3章 急性冠症候群, 81-96, 文光堂, 2007.1.24
- ・ 重政朝彦 (分担執筆) : 救急医学エッセンス (編集: 岩崎博幸), 第4章 不整脈, 97-113, 文光堂, 2007.1.24
- ・ 重政朝彦 (分担執筆) : 救急医学エッセンス (編集: 岩崎博幸), 第5章 急性心不全, 115-125, 文光堂, 2007.1.24

- ・高梨吉裕（分担執筆）：救急医学エッセンス，脳神経疾患，37-79，文光堂，2007.1
- ・中山 幸：視能学 増補版 丸尾敏夫（編），視器の機能解剖学 脳と神経，22-27，文光堂，2007

原著論文

- ・寺田正次，高梨吉裕：動脈スイッチ手術におけるは胃動脈再建法について，日本小児循環器学会雑誌，22(4)，8-9，2006.7.1
- ・須藤英一，川口 実：呼吸器教室開催による慢性呼吸器疾患患者への影響—心理面の評価を中心に，日本老年医学会雑誌，43(5)，630-634，2006
- ・北洞哲治，川口 実：Common disease インストラクションマニュアル 慢性便秘症，medicina，増刊号，136-139，2006
- ・川口 実：胃・十二指腸疾患鑑別診断，治療，88(1)，83-88，2006
- ・川口 実：消化管内視鏡治療 通過障害に対する内視鏡治療 ステンツ留置 上部消化管，胃と腸，41(4)，637-641，2006
- ・川口 実：HELICOBACTER PYORI 陽性と陰性の胃粘膜所見の特徴 内視鏡所見，胃と腸，41(7)，1009-1016，2006
- ・Fujiwara T，Nakamura H，Kato H et al.：Multicenter phase I study of repeated intratumoral delivery of adenoviral p53 in patients with advanced non-small-cell lung cancer，J Clin Oncol，24(11)，1689-1699，2006
- ・Nakamura H，Kawasaki N，Taguchi M et al.：Role of preoperative chemotherapy for non-small-cell lung cancer: a meta-analysis，Lung Cancer，54，324-329，2006
- ・Nakamura H，Kawasaki N，Taguchi M，Kitamura H：Pulmonary inflammatory myofibroblastic tumor resected by video-assisted thoracoscopic surgery: Report of a case，Surg Today，372，137-140，2007
- ・Nakamura H，Komagata M，Nishiyama M，Taguchi M，Kawasaki N：Resection of a dumbbell-shaped thoracic neurinoma by hemilaminectomy: A case report，Ann Thorac Cardiovasc Surg，13(1)，36-39，2007
- ・中村治彦，川崎徳仁，田口雅彦，北村 創：化学療法が著効を呈した胸腺未分化癌の1例，肺癌，46(6)，765-768，2006
- ・佐治 久，中村治彦，川崎徳仁，他5名：ナイーブ樹状細胞腫瘍内注入癌ワクチン療法前にRadiofrequency Ablationを施行することによる腫瘍局所免疫学的逃避克服の可能性，癌と化学療法，33(12)，1736-1738，2006
- ・神崎 仁：突発性難聴の可逆性について，Audiology Jpn，49，782-788，2006
- ・原田竜彦，神崎 仁：カルマンフィルタを用いたDPOAEの時間変動の測定，Audiology Jpn，49(4)，388-394，2006
- ・中嶋 弘，曾田研二，北村 敬，北村 創：某療養病床型病院における爪白癬の実態，Visual Dermatology，5(6)，598-603，2006
- ・佐々木哲雄，田中 躍，五來逸雄：ラロキシフェン（選択的エストロゲン受容体モジュレーター）が閉経後日本人女性の皮膚に及ぼす影響に関する研究，Osteoporosis Japan，14(2)，317-320，2006.4.30
- ・綾部原子，佐々木哲雄，池澤善郎：壊疽性膿皮症，Visual Dermatology，5(10)，1010-1011，2006.9.25
- ・都島基夫：老年医学における未病 未病医学の概念と高齢化社会における必要性—介護予防に向けて—，日本老年医学会誌，43，74-77，2006
- ・古井宏彦，石川富久，野村英雄，志貴一仁，都築雅人，宮地恭一，恒川 純，加藤和重，高濱信也，鈴木敏和，石原均，揚妻広隆，神田裕文，都島基夫，山内一信：ピタバスタチン（リバロ錠）の有効性・安全性に関する多施設共同症例集積報告（第二報），—2年間の長期使用成績を中心に—，Progress in Medicine，26(6)，1324-1333，2006
- ・仲森隆子，角田 裕，小幡一美，都島基夫：随時血糖と脈波速度法による血管老化に関する研究，日本未病システム学会誌，12(1)，195-198，2006

- Ikuyo Ichi, Kayoko Nakahara, Yayoi Miyashita, Atsuko Hidaka, Sahoko Kutsukake, Kana Inoue, Taro Maruyama, Yoshikazu Miwa, Mariko Harada-Shiba, Motoo Tsushima, Shosuke Kojo, Kisei Cohort Study Group : Association of ceramides in human plasma with risk factors of atherosclerosis, *Lipids*, 41(9), 859-863, 2006
- Yasuko Nakano, Sachiko Tajima, Ai Yoshimi, Haruyo Akiyama, Motoo Tsushima, Toshihiro Tanioka, Takaharu Negoro, Motowo Tomita, Takashi Tobe : A novel enzyme-linked immunosorbent assay specific for high-molecular-weight adiponectin, *J. Lipid Res.*, 47, 1572-1582, 2006
- Isao Saito, Shinichi Sato, Masakazu Nakamura, Yoshihiro Kokubo, Toshifumi Mannami, Hisashi Adachi, Masamitsu Konishi, Katsutoshi Okada, Hiroyasu Iso, Kazuomi Kario, Fumitaka Ohsuzu, Yukihiko Momiyama, Motoo Tsushima : A low level of C-reactive protein in Japanese adults and its association with cardiovascular risk factors: The Japan NCV-Collaborative Inflammation Cohort (JNIC) Study, *Atherosclerosis*, 188(7), E-pub ahead of print, 2006
- Takeshi Kujiraoka, Hiroaki Hattori, Yoshikazu Miwa, Mitsuaki Ishihara, Takahiro Ueno, Jun Ishii, Masahiro Tsuji, Tadao Iwasaki, Yoshiyuki Sasaguri, Takayuki Fujioka, Satoshi Saito, Motoo Tsushima, Taro Maruyama, Irina P. Miller, Norman E. Miller, Tohru Egashira : Serum apoprotein J in health, coronary heart disease and type 2 diabetes mellitus, *J Atheroscler Thromb*, 13, 314-322, 2006
- Hayashi H, Kanai S, Yamada Y, Tsushima M, Miyasaka K : Acute inhibition of lymphatic cholesterol transport in rat intestine, *J Atheroscler Thromb*, 13, 240-246, 2006
- Hayashi M, Fukasawa I, Inaba N : Thrombin-antithrombin complex and α_2 -plasmin inhibitor-plasmin complex levels in singleton and twin pregnancies, *Int J Clin Pract.*, 60(10), 1244-1249, 2006
- Hayashi M, Shibazaki M, Sohma R, Inaba N : Effects of histologic type on levels of macrophage colony-stimulating factor in liquid contents of benign ovarian tumors, *Am J Med Sci.*, 332(4), 181-185, 2006
- Sagesaka T, Juen H, Hayashi M : Influence of red blood cell concentration on the initiation time of blood coagulation: risk of thrombus formation in pregnant females with anemia, *Clin Hemorheol Microcirc.*, 36(2), 155-161, 2007
- 相馬良一, 林 雅敏, 五來逸雄, 提坂敏昭, 黄海文昌 : 妊娠高血圧症候群妊婦の羊水中macrophage colony-stimulating factorの動態, *日本妊娠高血圧学会雑誌*, 14(1), 101-102, 2006
- 後関利明, 石川 均, 浅川 賢, 陶山秀夫, 神山とよみ, 庄司信行, 清水公也 : ラタノプロスト点眼からウノプロストン点眼への切り替えにおける有効性, *臨床眼科*, 60(7), 1227-1230, 2006
- 緒方博子, 庄司信行, 陶山秀夫, 根本 徹, 鈴木宏昌, 清水公也 : ラタノプロスト単剤使用例へのプリンゾラミド追加による1年間の眼圧下降効果, *あたらしい眼科*, 23(10), 1369-1361, 2006
- Ishida T, Takanashi Y, Kiwada H : Safe and efficient drug delivery system with liposomes for intrathecal application of an antivasospastic drug, fasudil, *Biol Pharm Bull*, 29, 397-402, 2006
- Yamada Y, Sekihara H, Omura M, Yanase T, Takayanagi R, Mune T, Yasuda K, Ishizuka T, Ueshiba H, Miyachi Y, Iwasaki T, Nakajima A, Nawata H : Changes in Serum Sex Hormone Profiles after Short-term Low-dose Administration of Dehydroepiandrosterone (DHEA) to Young and Elderly Persons, *Endocr Journal*, 54, 153-162, 2007
- 須藤英一, 北出弘昭, 北川恒実, 川口 実 : 呼吸教室開催による慢性呼吸器疾患患者への影響～心理面の評価を中心に～, *老年医学*, 43(5), 630-634, 2006
- 羽鳥慎祐 : TS-1を前治療に有する進行再発胃癌患者に対するSecond-Line ChemotherapyとしてのPaclitaxel Weekly投与の有効性, *癌と化学療法*, 33(9), 1257-1260, 2006

総説

- 川島康生, 高梨吉則 : 座談形式 小児心臓疾患手術—川島康生先生に聞く—, *心臓*, 38(11), 1134-1144, 2006.11.15

- ・ 川口 実 : 日経メディクイズ胃GIST, 日経メディカル, 91-92, 2006.12
- ・ 川口 実 : 早期胃癌研究会, 胃と腸, 41(8), 1205-1208, 2006.7
- ・ 中村治彦 : 外国文献紹介 Tracheomalacia and Tracheobronchomalacia in Children and Adults, 日本気管食道科学会会報, 57(4), 403, 2006
- ・ 中村治彦 : トピック紹介 Survival impact of epidermal growth factor receptor overexpression in patients with non-small-cell lung cancer: a meta-analysis, Lung Cancer Update, 31, 4, 2006
- ・ 伊藤 章 : 人生のロスタイムを 臨床検査専門医として, JACLaP NEWS, 88, 5, 2006.4
- ・ 伊藤 章 : 労働衛生随想222 最近の話題から, 労務安全衛生 (かながわ), 51(4)686, 22-23, 2006.4
- ・ 伊藤 章 : 労働衛生随想226 最近のニュースから, 労務安全衛生 (かながわ), 51(8)690, 30-31, 2006.8
- ・ 伊藤 章 : 労働衛生随想230 冬場の健康管理2題, 労務安全衛生 (かながわ), 51(12)694, 24-25, 2006.12
- ・ 伊藤 淳, 藤田英彦 : 大腿骨頸部骨折術後の起立テストと術後の歩行能力について, リハビリテーション医学, 43, 756-761, 2006
- ・ Jun Ito, Tomoyuki Saito : Sex preference of ankylosis in collagen-induced arthritis in B10.RIII mice, APLAR J. of Rheumatology, 9, 56-59, 2006
- ・ 北洞哲治, 川口 実, 唐澤英偉 : 慢性便秘症, medicina, 43, 136-139, 2006.11
- ・ 川口 実, 野澤秀樹, 田中政道, 北洞哲治, 唐沢英偉, 坂井雄三, 和泉英彰 : Helicobacter pylori陽性と陰性の胃粘膜所見の特徴, 胃と腸, 41(7), 1009-1016, 2006.6
- ・ 築山久一郎, 栗山 学 : State of the Art 心腎疾患 (Cardiovascular disease) -慢性腎疾患と心血管疾患との連関-, Therapeutic Research, 24(4), 533-553, 2006
- ・ 栗山 学 : 前立腺肥大症とPSA, Current Therapy, 24(6), 384, 2006
- ・ 篠永正道 : むち打ち症後遺症と脳脊髄液減少症, からだの科学, 250, 13-20, 2006
- ・ 篠永正道 : 脈絡叢の脳脊髄液分泌機構, 日本医事新報, 4296, 89-90, 2006
- ・ 篠永正道 : 低髄液圧症候群 (脳脊髄液減少症), 救急医学, 30, 1825-1829, 2006
- ・ 篠永正道 : 脳脊髄液減少症の病態と治療, 日本医事新報, 4322, 117, 2007
- ・ 篠永正道 : 低髄液圧症候群, 神経内科, 66, 287-292, 2007
- ・ 築山久一郎, 岡田興造 : 第一選択薬としてのβ遮断薬の有用性, 内科, 98(3), 481-487, 2006
- ・ 築山久一郎 : 降圧目標とその達成に向けた上手な併用療法, 最新医学, 61(4), 833-839, 2006
- ・ 築山久一郎, 岡田興造 : 大規模臨床試験の臨床的意義・評価, 日本臨牀, 増刊号, 387-395, 2006
- ・ 築山久一郎, 重政朝彦, 小林 泉 : 降圧薬の併用療法, 日本臨牀, 増刊号, 328-332, 2006
- ・ 築山久一郎, 栗山 学 : 心腎疾患 (Cardiorenal Disease) -慢性腎疾患と心血管疾患の連関-, Ther Res, 27(4), 533-553, 2006
- ・ 築山久一郎, 小林 泉, 志村 岳 : 高尿酸血症と心血管疾患の連関-最近の臨床成績からみた評価と対策, Ther Res, 28(1), 9-29, 2007
- ・ 築山久一郎 : β遮断薬, 循環器科, 60(6), 518-528, 2006
- ・ 築山久一郎, 重政朝彦, 小林 泉 : 高齢者における薬物介入試験の一覧とまとめ-高血圧患者に関する検討-, 老年医学, 44(12), 1703-1714, 2006
- ・ 築山久一郎, 山田佳彦 : β遮断薬と糖尿病, 血圧, 13(6), 607-612, 2006
- ・ 築山久一郎, 折居 喬 : 高齢者高血圧に対する治療効果 大規模臨床試験からの検討, 血圧, 13(11), 1191-1197, 2006
- ・ 築山久一郎, 岡田興造, 金岡知彦 : 心腎疾患における今後の検討課題, 血圧, 14(3), 318-322, 2007

- ・ 築山久一郎：降圧薬開発の裏話 β 遮断薬（前編），*血压*，13(10)，1143-1149，2006
- ・ 築山久一郎：降圧薬開発の裏話 β 遮断薬（後編），*血压*，13(11)，1251-1258，2006
- ・ 築山久一郎：高血圧の診断と臨床評価，*Cefiro*，4，11-14，2006
- ・ 築山久一郎，重政朝彦：脳梗塞の予防ガイドライン（AHA/ASA），*血压*，13(10)，1052-1054，2006
- ・ 築山久一郎，岡田興造，糟谷 深：Ca拮抗薬と β 遮断薬の比較—ALLHAT，*血压*，13(12)，1294-1295，2006
- ・ 築山久一郎，糟谷 深：高血圧におけるアンジオテンシン II 受容体拮抗薬に関する大規模試験のメタアナリシス，*臨床高血圧*，12，212-215，2006
- ・ 築山久一郎，小林 泉：アンジオテンシン II 受容体拮抗薬は心筋梗塞を増加させるか，*臨床高血圧*，12，216-218，2006
- ・ 築山久一郎：Japanese Society of Hypertension guidelines for the management of hypertension (JSH 2004). *Hypertens Res* 2006;29 (suppl):S1-S105, Guidelines Subcommittee, 日本高血圧学会，2006.8
- ・ 都島基夫，川島由紀子，小山裕久，松田輝雄：賢者の休日，2006年春号，6-9，2006
- ・ 都島基夫：コレステロール・飽和脂肪酸摂取のコレステロール値への影響，*日本医事新報*，4281，90-91，2006.5.13
- ・ 都島基夫，都島健介：高齢者における薬物介入試験（高齢者による一次予防試験3）高脂血症への介入による脳血管障害の初発予防，*Geriatric Med.*，44(12)，1645-1652，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—1 主治医はあなた自身，*健康日本*，457(4)，4-7，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—2 メタボリックシンドローム時代は未病息災，*健康日本*，458(5)，4-7，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—3 糖尿病対策が血管の老化を防ぐ，*健康日本*，460(6)，4-7，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—4 メタボリックシンドロームと内臓脂肪，*健康日本*，461(7)，4-7，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—5 禁煙で血管の健康を守る，*健康日本*，462(8)，4-7，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—6 中性脂肪（トリグリセリド）と生活習慣病，*健康日本*，463(9)，4-7，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—7 症状の乏しい高血圧には「未病」としての自覚を，*健康日本*，464(10)，4-7，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—8 アテローム性動脈硬化による心疾患と急増する動脈硬化症，*健康日本*，465(11)，4-7，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—9 細動脈硬化の症状と対策，*健康日本*，466(12)，4-7，2006
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—10 「骨粗しょう症」を予防するための正しい食生活習慣，*健康日本*，467(1)，4-7，2007
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—11 がんの早期発見と未病，*健康日本*，468(2)，4-7，2007
- ・ 都島基夫：「未病」から始まる健康長寿—12 認知症の予防，*健康日本*，469(3)，4-7，2007
- ・ 都島基夫：メタボリックシンドロームは現代の未病 生活の改善で予防しよう，*あない人*，1(1)，12，2007
- ・ 林 洋：糖尿病患者の脂質管理，診断と治療，95 Suppl，262-269，2007
- ・ 築山久一郎，小林 泉（共著）： β 遮断薬と微量アルブミン尿，*血压*，13(3)，242-243，2006
- ・ 築山久一郎，小林 泉，志村 岳（共著）：高尿酸血症と心血管疾患の関連，*Therapeutic research*，28(1)，9-29，2007
- ・ 築山久一郎，重政朝彦，小林 泉：高血圧（第3版）困—最近の研究動向— V. 治療 薬物療法 降圧薬の併用療法，*日本臨床*，64（増刊号6），328-332，2006
- ・ 築山久一郎，重政朝彦：脳梗塞の予防ガイドライン（AHA/ASA），*血压*，13(10)，1052-1054，2006
- ・ 山田佳彦，寺内康夫：メタボリックシンドロームと腎疾患・糖尿病腎症 糖尿病腎症の適正な管理 糖尿病専門医か

らみた糖尿病腎症の適正な管理, *Mebio*, 23, 86-93, 2006

- ・ 山田佳彦: ホルモンリプレイスメント療法の現状 DHEA補充療法の現状, *アンチ・エイジング医学*, 2, 450-454, 2006
- ・ 山田佳彦, 寺内康夫: 糖尿病治療の新しい展開 糖尿病治療の展開 (インスリン作用の活性化) アディポネクチン関連物質, *ホルモンと臨床*, 54, 1129-1134, 2006

研究報告

- ・ 中村治彦: 分担研究課題「より良い医療情報の発信のあり方に関する研究」第1報・難治がんの総合的な対策に関する研究 (土屋班), 厚生労働省, 2006.11
- ・ 中村治彦: 分担研究課題「より良い医療情報の発信のあり方に関する研究」第2報・難治がんの総合的な対策に関する研究 (土屋班), 厚生労働省, 2007.3
- ・ 武林 亨, 西脇祐司, 北洞哲治, 松岡克善, 井上 詠: 難治性炎症性腸管障害の罹患, 有病, 予後に関する疫学研究, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」, 平成17年度研究報告書, 70-73, 2006.3
- ・ 桑名正隆, 佐藤隆司, 石川 治, 尹 浩信, 遠藤平仁, 川口鎮司, 佐々木哲雄, 後藤大輔, 高橋一夫, 高橋裕樹, 三崎義堅, 三森経世, 室 慶直, 矢澤徳仁, 佐藤伸一, 竹原和彦: 抗RNAポリメラーゼⅢ抗体ELISAの有用性の検討, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成18年度総括・分担研究報告書, 2007.3
- ・ 佐々木哲雄, 池澤善郎, 高橋一夫, 内田敬久, 山口由衣, 安嶋 桂, 近藤 恵: 抗RNAポリメラーゼⅢ抗体陽性全身性強皮症3例の臨床的検討, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成18年度 総括・分担研究報告書, 2007.3
- ・ 佐々木哲雄, 池澤善郎, 高橋一夫, 内田敬久, 山口由衣, 近藤 恵, 桑名正隆, 佐藤隆司: 抗Th/To抗体陽性強皮症5例の臨床的検討, 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」平成18年度 総括・分担研究報告書, 2007.3
- ・ 清川 浩, 高藤 繁, 米丸 亮, 川城丈夫: 気管支喘息の呼気中連続性ラ音とフローボリューム曲線との関連, *薬理と臨床*, 16(5), 73-82, 2006
- ・ 板倉敬乃: 新生児TSS様発疹症29例の臨床的検討, *周産期医学*, 37(2), 276-278, 2007
- ・ 志村 岳: CTガイド下腹腔ドレナージにより改善した難治性CAPD腹膜炎の一例, 第20回神奈川県CAPD研究会誌, 2007.3

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 川口 実: VaⅡからN260まで, 第14回胃と腸東部会, 三島, 2007.3.23
- ・ 川口 実: 胃炎の内視鏡診断, 第1回伊豆GUT研究会, 伊豆の国市, 2006.7.1
- ・ 川崎徳仁, 田口雅彦, 中村治彦: 胸水貯留で発症した悪性胸膜中皮腫の1例, 第3回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会, 国際医療福祉大学熱海病院, 熱海, 2006.5.19
- ・ 中村治彦: より良い医療情報の発信のあり方に関する研究, 厚生労働省 がん研究助成 土屋班「難治がんの総合的な対策に関する研究」・小班「より良い医療のための現状の検討と対策に関する研究」平成18年度第1回小班会議, 国立がんセンター, 東京, 2006.5.26
- ・ 中村治彦: CGH法による肺癌細胞ゲノム解析とその後の経過, 第15回日本癌病態治療研究会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.6.2

- ・ 中村治彦：肺癌・診断治療とEBM，東京医科大学・大学院特別講義，東京医科大学病院，東京，2006.7.14
- ・ 田口雅彦，川崎徳仁，中村治彦：頑固な咳を主訴とした肺小細胞癌の1例，第5回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2006.7.21
- ・ 田口雅彦，川崎徳仁，中村治彦：右上肺野の結節陰影を呈した1例，第6回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2006.9.15
- ・ 中村治彦：肺癌治療のEBMとは何か，第7回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2006.11.10
- ・ 中村治彦，川崎徳仁，田口雅彦：長期経過観察した肺小結節影の1例，第7回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2006.11.10
- ・ 中村治彦：当院のPET-CTによる肺癌診断，第8回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.1.19
- ・ 川崎徳仁，田口雅彦，中村治彦：右肋横隔膜角の異常影をきたした1例，第8回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.1.19
- ・ 中村治彦，川崎徳仁，田口雅彦：乳癌転移に対する胸骨亜全摘・人口胸壁再建術，第9回東伊豆病診連携呼吸器疾患研究会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2007.3.22
- ・ 伊藤 章：HIV・エイズ最近の動向，川崎市医師会 18年度エイズ対策講演会，川崎市ナースングセンター研修室，川崎市，2006.12.7
- ・ 神崎 仁：突発性難聴者へのケア，NHK教育テレビ「ろうを生きる，難聴を生きる」，2006.12.16
- ・ 神崎 仁：ABCテレビ「最終警告！たけしの本当は怖い家庭の医学」，2007.3.6
- ・ 北洞哲治：飲用アルカリ性電解水（アルカリイオン水）の検証と応用，独立行政法人 水資源機構「水の研究会」第12回研究会，水資源機構 東京事務所（氷川分室），赤坂，2006.5
- ・ 栗山 学：特別講演 前立腺癌の診断と治療，第4回静岡前立腺フォーラム，静岡第一ホテル，静岡市，2007.2.10
- ・ 佐々木哲雄：強皮症 20年間の歩みと最近の話題，静岡県東部皮膚科医会，沼津東急ホテル，沼津市，2006.7.13
- ・ 佐々木哲雄：小児の皮膚疾患の診療について～外用療法を中心にして～，三島市小児科医会，松韻，三島市，2007.1.17
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症の診断と治療，小川赤十字病院オープンセミナー，リリック小川，埼玉県，2006.5.25
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症について，山形県立中央病院講演会，山形県立中央病院，山形市，2006.6.9
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症による頭痛，第7回奈良頭痛治療研究会，奈良菊水楼，奈良市，2006.6.17
- ・ 篠永正道：低髄液圧症候群，第9回熊本麻酔フォーラム，三井ガーデンホテル，熊本市，2006.6.24
- ・ 篠永正道：外傷性脳脊髄液減少症，日本神経外傷学会作業部会，慈恵医科大学，東京，2006.7.27
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症の診断と治療，第37回中部脊髄外科ワークショップ，エーザイ株式会社6階ホール，名古屋，2006.9.2
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症の診断と治療，日本カイロプラクティック徒手医学会第8回学術大会，品川区立総合区民会館，東京，2006.9.3
- ・ 篠永正道：低髄液圧症候群／脳脊髄液減少症，2006年度PAAC国際セミナー，かんぽヘルスプラザ，東京，2006.9.18
- ・ 篠永正道：低髄液圧症候群／脳脊髄液減少症，西島病院講演会，西島病院，沼津市，2006.9.21
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症の診断と治療，第1回大阪機能性神経疾患研究会，グランキューブ大阪10階，大阪市，2006.10.21
- ・ 篠永正道：交通事故後遺症と脳脊髄液減少症，静岡県自賠責研修会，静岡商工会議所，静岡市，2007.1.20
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症とは，国際医療福祉大学熱海病院院内学術懇話会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海市，

2007.1.26

- ・ 篠永正道：交通事故後遺症と脳脊髄液減少症，高知県自賠責研修会，高知県医師会館，高知市，2007.1.27
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症とは，東京地方検察庁交通部研修会，東京地検会議室，東京都，2007.2.23
- ・ 篠永正道：脳脊髄液減少症におけるRI脳槽・髄液腔シンチグラフィの役割，第39回福岡RIカンファレンス，福岡国際会議場，福岡市，2007.3.3
- ・ 高藤 繁：気管支喘息とCOPD－病態と治療を中心に，三菱ウェルファーマ学術研修会，三菱ウェルファーマ株式会社沼津営業所，沼津，2006.7.7
- ・ 高藤 繁：COPDの病態・診断・治療，第5回東伊豆肺を見る会，国際医療福祉大学熱海病院大会議室，熱海，2006.7.21
- ・ 高藤 繁：禁煙のすすめ，第24回熱海病院院内学術懇話会，国際医療福祉大学熱海病院大会議室，熱海，2006.11.24
- ・ 高藤 繁：COPDの病態・診断・治療，静岡東部EAP Meeting，KKRホテル，熱海，2006.12.22
- ・ 築山久一郎：特別講演 心不全発症リスク因子として的高血圧治療，富士心不全フォーラム，富士市，2006.9.15
- ・ 築山久一郎：特別講演 厳格な血圧管理を目指した降圧薬の併用療法，第5回キドニーフォーラム，横浜ホテルベイシェラトン，横浜市，2007.2.8
- ・ 築山久一郎：心腎疾患（Cardiorenal Disease）－慢性腎疾患と心血管疾患との連関－，第21回静岡県東部透析勉強会，沼津市，2006.7.8
- ・ 築山久一郎：特別講演 厳格な血圧管理を目指した降圧薬の併用療法，高血圧シンポジウム－厳格な降圧を求めて－，沼津東急ホテル，沼津市，2007.2.10
- ・ 築山久一郎：最近の降圧薬治療とβ遮断薬の評価，郡山学術講演会，郡山ビューホテルアネックス，郡山市，2006.10.13
- ・ 築山久一郎：特別講演 厳格な血圧管理を目指した降圧薬の併用療法，学術講演会（三重県厚生連薬剤師会），ホテルグリーンパーク津，津市，2007.1.20
- ・ 築山久一郎：高尿酸血症を合併した高血圧の治療，田方医師会学術講演会，ホテルサンバレー富士見，伊豆の国市，2006.10.19
- ・ 築山久一郎：特別講演 最近の高血圧治療戦略とβ遮断薬の評価，田方医師会学術講演会，ホテルサンバレー富士見，伊豆の国市，2007.3.15
- ・ 角田 裕，都島基夫，石田良雄，京谷晋吾：高トリグリセリド（TG）血症は細動脈血管抵抗時の細動脈シャントによる毛細管LPLへの基質供給低下による空転でおこる－perfusion metabolism theory 第6報－，第103回日本内科学会講演会，パシフィコ横浜，神奈川県横浜市，2006.4.14-16
- ・ 都島基夫，大原せつ，池田康行：リポ蛋白リパーゼ（LPL）欠損症における低アンチトロンビン（AT）III 活性とアテローム硬化性血管障害の多発－高脂血症と血栓に関する研究（8）－，第103回日本内科学会講演会，パシフィコ横浜，神奈川県横浜市，2006.4.14-16.
- ・ 都島基夫，仲森隆子：糖尿病未病外来における週1時間の医師講義と栄養指導だけによるHbA1cの変動－治療に対する動機づけの重要性－，第49回日本糖尿病学会年次学術集会，東京国際フォーラム，東京，2006.5.25-27
- ・ 仲森隆子，都島基夫：糖尿病とメタボリックシンドローム，第49回日本糖尿病学会年次学術集会，東京国際フォーラム，東京，2006.5.25-27
- ・ 林 洋，山田佳彦，都島基夫：蔗糖摂取後の小腸リンパ脂肪酸組成の変化，第28回日本臨床栄養学会総会 第27回日本臨床栄養協会総会 第4回大連合大会，学術総合センター，一ツ橋記念講堂会議室，東京都神田，2006.9.2-4
- ・ 仲森隆子，中野泰子，都島基夫，中野里美，丸山太郎，丸山千寿子，角田 裕，戸部 徹，京谷晋吾：高分子多量体アディポネクチンの疫学的検討，第38回日本動脈硬化学会総会学術集会，東京国際フォーラム，東京，2006.7.13-14

- ・中野泰子, 都島基夫, 仲森隆子, 中野里美, 丸山太郎, 丸山千寿子, 京谷晋吾, 戸部 徹: 総アディポネクチンと高分子アディポネクチンの測定意義に関する研究, 第38回日本動脈硬化学会総会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京, 2006.7.13-14
- ・南雲彩子, 槇野久士, 吉政康直, 都島基夫, 千葉喜英, 池田智明, 横山信治, 山本 章, 友池仁暢, 斯波真理子: LDLアフェレシスを行いながら, 妊娠, 出産を行ったFHホモ接合体2例について, 第38回日本動脈硬化学会総会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京, 2006.7.13-14
- ・市 育代, 中原佳代子, 宮下弥生, 日高篤子, 杓掛佐保子, 井上佳奈, 三輪宜一, 丸山太郎, 都島基夫, 小城勝相: 血漿セラミドと動脈硬化指標との関連性, 第38回日本動脈硬化学会総会学術集会, 東京国際フォーラム, 東京, 2006.7.13-14
- ・市 育代, 宮下弥生, 中原佳代子, 日高篤子, 杓掛佐保子, 井上佳奈, 三輪宜一, 丸山太郎, 都島基夫, 小城勝相: 血漿セラミドと動脈硬化発症因子との関係, 第60回日本栄養食糧学会大会, 静岡グランシップ静岡県立大学, 静岡県, 2006.6.19-21
- ・都島基夫, 林 洋, 山田佳彦, 原納 優, 池田康行, 石田良雄, 角田 裕: リポ蛋白リパーゼの臨床 微小循環とLPL-AVシャント?, 第39回脂質代謝異常症例検討会, 経団連会館クリスタルルーム, 東京, 2006.9.9
- ・市 育代, 中原佳代子, 宮下弥生, 日高篤子, 杓掛佐保子, 井上佳奈, 三輪宜一, 丸山太郎, 都島基夫, 小城勝相: ヒトにおける血漿セラミドとLDL酸化物との関係について, バイオ関連化学合同シンポジウム (21回生体機能関連化学部会, 9回バイオテクノロジー部会, 9回生命化学研究会), 京都大学工学研究科桂キャンパス, 京都, 2006.9.28-30
- ・都島基夫, 京谷晋吾, 鈴木正昭, 原納 優, 池田康行, 石田良雄, 角田 裕: メタボリックシンドロームは高カテコラミン血症を伴う微小循環障害が一因である—perfusion metabolism theory—, 第4回中日友好循環器病シンポジウム, 神戸ポートピアホテル, 兵庫県神戸市, 2008.10.7-8
- ・都島基夫: 未病における末梢細胞の栄養代謝と微小循環, 第28回日本臨床栄養学会総会第27回 日本臨床栄養協会総会 第4回大連合大会, 学術総合センター, 一ツ橋記念講堂会議室, 東京都神田, 2006.9.2-4
- ・都島基夫 (パネルディスカッション座長の言葉): 少子高齢化時代における臨床栄養学の役割, 第28回日本臨床栄養学会総会 第27回日本臨床栄養協会総会 第4回大連合大会, 学術総合センター, 一ツ橋記念講堂会議室, 東京都神田, 2006.9.2-4
- ・都島基夫 (市民公開講座座長の言葉): 「未病」メタボリックシンドロームの制圧に向けて, 第28回日本臨床栄養学会総会 第27回日本臨床栄養協会総会 第4回大連合大会, 学術総合センター, 一ツ橋記念講堂会議室, 東京都神田, 2006.9.2-4
- ・仲森隆子, 角田 裕, 小幡一美, 都島基夫: 体脂肪率はメタボリックシンドロームの危険因子になりうる, 第28回日本臨床栄養学会総会 第27回日本臨床栄養協会総会 第4回大連合大会, 学術総合センター, 一ツ橋記念講堂会議室, 東京都神田, 2006.9.2-4
- ・市 育代, 小城勝相, 都島基夫: 血漿セラミドとLDL酸化物との関係, 第28回日本臨床栄養学会総会 第27回日本臨床栄養協会総会 第4回大連合大会, 学術総合センター, 一ツ橋記念講堂会議室, 東京都神田, 2006.9.2-4
- ・都島基夫: スタートする未病認定制度, 第13回日本未病システム学会学術総会, 東京コンファレンスセンター・品川, 東京都品川区, 2006.12.2-3
- ・仲森隆子, 角田 裕, 小幡一美, 都島基夫: 食習慣が身体へ及ぼす影響, 第13回日本未病システム学会学術総会, 東京コンファレンスセンター・品川, 東京都品川区, 2006.12.2-3
- ・中野里美, 中野泰子, 仲森隆子, 京谷晋吾, 丸山千寿子, 丸山太郎, 都島基夫: 高感度CRP(hsCRP), High-molecular-weight (HMW) adiponectinと動脈硬化および加齢の関与—紀勢町研究/動脈硬化第7報—, 第48回日本老年医学会学術集会・総会, 金沢・石川県立音楽堂ほか, 金沢, 2006.6.7-8

- ・ M. Tsushima, Y. Kakuta, Y. Ishida, Y. Ikeda, S. Kyotani : Hypertriglyceridemia occurs through arterio-venous shunt Followed by microcirculation disturbances in arterioles.-perfusion metabolism theory-, 第14回 国際動脈硬化学会, ローマ, イタリアローマ, 2006.6.18-22
- ・ 林 洋: 糖尿病に合併した高脂血症の管理, 三島市医師会内科部会学術講演会, みしまプラザホテル, 静岡県三島市, 2006.8.23
- ・ 林 洋: 高齢者の脂質管理, 第5回神奈川高齢者医学セミナー, 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ, 神奈川県横浜市, 2006.12.7
- ・ 林 洋: 糖尿病と脂質吸収, 第2回伊豆糖尿病懇話会, ニューフジヤホテル, 静岡県熱海市, 2007.2.17
- ・ Hayashi M : Procedures for vaginal hysterectomy, International Workshop of Obstetrics and Gynecology in Beijing, 首都医科大学 (大学講堂), 中国北京市, 2006.10.29
- ・ Hayashi M : Chemotherapy for ovarian cancer and endometrial cancer of the uterus, International Workshop of Obstetrics and Gynecology in Beijing, 首都医科大学 (大学講堂), 中国北京市, 2006.10.29
- ・ Hayashi M, Pregnancy and cytokines, International Workshop of Obstetrics and Gynecology in Beijing, 首都医科大学 (大学講堂), 中国北京市, 2006.10.29
- ・ 重政朝彦: 本態性高血圧患者に対する少量利尿薬追加投与の有用性, 第3回静岡県東部心不全懇話会, 沼津東急ホテル, 静岡県沼津市, 2007.3.9
- ・ 高梨吉裕: 4D-CTA angiographyによる未破裂脳動脈瘤の質的診断, 第15回日本脳ドック学会総会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.7.1
- ・ 中山 幸: 眼のかすみについて, 熱海市民公開講座, 熱海市民会館, 熱海, 2006.6.11
- ・ 中山 幸: 白内障手術の視能矯正学, 白内障眼内レンズ学会, 東京フォーラム, 東京, 2006.6.18
- ・ 中山 幸: Recent advance of vitreo-retinal surgery in Japan, He Eye Hospital, He Eye Hospita, 中国瀋陽市, 2006.12.3
- ・ 板倉敬乃: 卒乳について, 周産期連絡会, 国際医療福祉大学熱海病院, 静岡県熱海市, 2007.1.22
- ・ 藤川 考: 失われた口腔機能の再生, 第10回公開講座, 熱海市観光会館, 熱海市, 2006.6.11

学会発表

- ・ 高梨吉則, 丹羽公一郎 (座長) : 会長要望演題「フォンタン手術予後」, 第42回日本小児循環器学会総会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2006.7.14
- ・ 高梨吉則 (主催) : 第139回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, ヨコハマインターコンチネンタルホテル, 横浜市, 2006.9.2
- ・ 高梨吉則, 井本 浩 (座長) : 要望演題「心室-大血管の再建術 (2)」, 第37回日本心臓血管外科学会, 新宿京王プラザホテル, 東京都, 2007.2.23
- ・ 川口 実 (座長) : 胃癌 臨床 (3), 第48回日本消化器病学会大会, 札幌, 2006.10.11
- ・ 田中政道, 唐澤英偉, 野澤秀樹, 河村晴信, 北洞哲治, 川口 実, 宮谷美行: VGPを用いた64列MDCTによるCtcolonographyの試み, 第48回日本消化器病学会大会, 札幌国際会議場, 札幌, 2006.10
- ・ 河村晴信, 川口 実: AFPおよびPIVKA-2高値を示した胃癌の1例, 第104回日本消化器病学会東海支部例会, 津, 2006.6.17
- ・ 川口 実, 新井英二, 河村晴信, 野澤秀樹, 北洞哲治, 唐澤英偉, 小林 泉: 僧帽弁置換後のため抗凝固薬を必要とする患者に胃ポリペクトミーを行った一例, 第49回日本消化器内視鏡学会東海地方会, 名古屋国際会議場, 名古屋, 2006.12
- ・ 川口 実 (座長) : アメーバ性大腸炎の1例, 第13回胃と腸東部会, 三島, 2007.1.26

- ・ 川口 実 : アメーバ性大腸炎ーアフタ様小潰瘍の鑑別診断, 第12回伊豆消化器病懇話会, 小田原, 2007.2.8
- ・ 鈴木高弘, 伊藤 章, 鈴木由香, 三須莉恵, 篠永正道, 佐々木隆, 川口 実, 河村晴信, 竹島 望, 井上輝世, 笹渡幸枝, 高橋峰子, 高梨吉則, 石井良和, 山口恵三, 廣井みどり : 同一病棟内における*VanA*型VREの伝播とICTの活動, 第22回日本環境感染学会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2007.2.23
- ・ 鈴木由香, 三須莉恵, 柳川裕美, 鈴木高弘, 伊藤 章, 川口 実, 河村晴信, 竹島 望 : 初めてのVRE検出への対応, 第1回感染症診断・治療・制御研究会 (主催者), 三島プラザホテル, 三島市, 2007.3.17
- ・ 川口 実 (司会) : 大腸内視鏡検査の挿入困難例の克服, 第14回東部内視鏡手技懇話会, 沼津, 2006.11.30
- ・ 重政朝彦, 川口 実 : 当院における本態性高血圧患者に対する降圧利尿薬 (トリクロルメチアジド) の使用状況, 第103回日本内科学会講演会, 横浜, 2006.4.14
- ・ 早坂 佑, 川口 実 : 黄疸, 肝脾腫, 発熱, 意識障害を来し, 14日の経過で死亡した77歳女性例, 第25回熱海病院内学術懇話会プログラム, 熱海病院, 2007.3.23
- ・ 須藤英一, 北出弘昭, 北川恒実, 川口 実, 奥澤 健, 奥仲哲弥 : 呼吸器専門医赴任による新病院, 呼吸器疾患患者への影響, 第16回日本呼吸管理学会学術集会, 札幌コンベンションセンター, 北海道札幌市, 2006.7.29
- ・ 川口 実 (司会) : ワークショップ2 内視鏡的消化管瘻造設の管理と工夫の問題点, 第71回日本消化器内視鏡学会総会, 東京, 2006.5.16
- ・ 竹島 望, 川口 実 : 7人兄弟のうち5人が肝癌に罹患している75歳男性例, 第24回熱海病院院内学術懇話会, 熱海病院, 2006.11
- ・ 川口 実 (司会) : 症例検討, 第11回胃と腸東部会, 三島, 2006.7.28
- ・ 川口 実 (司会) : 症例検討, 第12回胃と腸東部会, 三島, 2006.11.17
- ・ 河村晴信, 川口 実 : VRE感染性腸炎に注腸造影を施行した1例, 日本消化器病学会東海支部第105回例会, 2006.6
- ・ Kagawa S, Fujiwara Y, Nakamura H et al. : A multicenter phase I study of adenoviral p53 in Japanese patients with advanced non-small-cell lung cancer, ASCO Annual Meeting, 米国, アトランタ, 2006.6.3
- ・ 中村治彦, 田口雅彦, 川崎徳仁 : 非小細胞肺癌に対する術前化学療法の有効性 メタアナリシスによる評価, 第23回日本呼吸器外科学会総会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京, 2006.5.25
- ・ 田口雅彦, 中村治彦, 川崎徳仁 : 高齢者肺癌治療 特に外科治療における問題点と課題, 第23回日本呼吸器外科学会総会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京, 2006.5.25
- ・ 中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦, 清川 浩, 北村 創 : 胸膜疾患に対する胸腔鏡検査の有用性, 第29回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, つくば国際会議場, 茨城, 2006.6.8
- ・ 中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦 : 乳癌胸骨転移に対し胸骨亜全摘兼胸壁再建術を施行した1例, 第139回日本胸部外科学会・関東甲信越地方会, 横浜インターコンチネンタルホテル, 横浜, 2006.9.3
- ・ 早坂 佑, 川崎徳仁, 田口雅彦, 中村治彦 : 肋骨原発海綿状血管腫の1切除例, 第140回日本胸部外科学会・関東甲信越地方会, 虎ノ門パストラル, 東京, 2006.12.2
- ・ 河合貞幸, 川崎徳仁, 田口雅彦, 中村治彦 : 小腫瘍径で発見された末梢型小細胞肺癌の1切除例, 第147回日本肺癌学会関東支部会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.12.2
- ・ 竹島 望, 川崎徳仁, 田口雅彦, 清川 浩, 高藤 繁, 中村治彦 : 結核性気管・気管支狭窄を疑った1例, 第119回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.12.2
- ・ 中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦 : 胸膜疾患における胸水腫瘍マーカー測定の意義, 第47回日本肺癌学会総会, 京都国際会議場, 京都, 2006.12.15
- ・ 中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦, 西山 誠, 駒形正志 : 半椎弓切除による後方アプローチで摘出した胸椎部ダンベル型神経鞘腫の1例, 第141回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 都道府県会館, 東京, 2007.2.3

- ・ 中村治彦, 川崎徳仁, 田口雅彦 : FDG-PETが診断に有用であった肺癌と喉頭癌の同時重複癌, 第26回日本画像医学会, 東京国際フォーラム, 東京, 2007.2.24
- ・ 中村治彦, 中島瑠美子, 川崎徳仁, 田口雅彦, 北村 創 : 同一肺葉内に多発するGGOを呈した1例, 第148回日本肺癌学会関東部会, 新潟コンベンションセンター, 新潟, 2007.3.17
- ・ 中村治彦 (座長) : 要望口演 分子標的治療, 第23回日本呼吸器外科学会総会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京, 2006.5.25
- ・ 中村治彦 (座長) : 一般口演 マイクロサンプリング, 第29回日本呼吸器内視鏡学会学術集会, つくば国際会議場, 茨城, 2006.6.8
- ・ 中村治彦 (座長) : ポスターセッション 胸部・他, 第26回日本画像医学会, 東京国際フォーラム, 東京, 2007.2.24
- ・ 杉下和行, 山田佳彦, 玉城充彦, 北村 創, 伊藤 章 (座長), 鈴木由香 : 肺炎が疑われ経過中に突然窒息を来した一例, 第3回東部感染症研究会 (主催者), 熱海病院, 熱海市, 2006.9.15
- ・ 鈴木由香, 伊藤 章, 柳川裕美, 三須莉恵, 鈴木高弘, 山口恵三, 石井良和 : Teicoplanin感受性VanA型VREの病棟内伝播例の経験, 第18回日本臨床微生物学会, 長崎ブリックホール, 長崎市, 2007.2.17
- ・ 鈴木由香, 伊藤 章, 柳川裕美, 三須莉恵, 鈴木高弘, 山口恵三, 石井良和 : ESBLs産生菌の病棟内伝播例の経験, 第18回日本臨床微生物学会, 長崎ブリックホール, 長崎市, 2007.2.17
- ・ 鈴木高弘, 佐々木隆, 鈴木由香, 三須莉恵, 伊藤 章 : 当院におけるLinezolid使用症例の検討と今後の課題, 第1回感染症診断・治療・制御研究会 (主催者), 三島プラザホテル, 三島市, 2007.3.17
- ・ 清川 浩, 高藤 繁, 中島留美子, 鈴木由香, 伊藤 章 : 注射用アムホテリシンBリポゾーム製剤が著効を示した侵襲性肺アスペルギルス症の一例, 第1回感染症診断・治療・制御研究会 (主催者), 三島プラザホテル, 三島市, 2007.3.17
- ・ 伊藤 淳, 腰野富久, 岡本連三, 三ツ木直人, 齋藤知行 : 膝蓋骨非置換人工膝関節術後のpseudo-patella altaと膝蓋骨追加置換について, 第50回日本リウマチ学会総会・学術集会, 長崎ブリックホール, 長崎, 2006.4.26
- ・ 伊藤 淳, 藤田英彦 : 大腿骨頸部骨折術後の荷重によるラグスクリューのtelescopingと術後歩行能力の関係について, 第43回日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京プリンスホテル, 東京, 2006.6.1
- ・ H. Iwasaki : Adverse effect of long-term TSH suppression therapy in patients with differentiated thyroid cancer, 77th Annual meeting of American thyroid association, Sheraton Hotel, Phoenix USA, 2006.10.12
- ・ S. Hatori, H. Iwasaki : Functional bone metastasis from follicular thyroid carcinoma, 77th Annual meeting of American thyroid association, Sheraton Hotel, Phoenix USA, 2006.10.12
- ・ 河合貞幸, 岩崎博幸 (座長) : サルコイドーシスと甲状腺乳頭癌合併例, 第39回日本甲状腺外科学会, 東京ドームホテル, 東京, 2006.10.25
- ・ 唐澤英偉 (座長) : 第20回超音波ドプラ研究会, 学術総合センター, 東京都, 2006.4.1
- ・ 唐澤英偉 (司会) : 第37回日本膵臓学会大会, パシフィコ横浜, 横浜, 2006.6.29
- ・ 唐澤英偉 (世話人) : 第43回東京膵癌研究会, ルークホール (四谷), 東京都, 2006.10.20
- ・ 唐澤英偉 (座長) : 第18回日本超音波医学会関東甲信越地方会, シェーンバッハ・サボー, 東京都, 2006.10.29
- ・ 新井英二, 唐澤英偉 : CT colonographyが有用であった腹壁ヘルニアを伴う多発大腸癌の1例, 第1143回千葉医学会例会, 三井ガーデンホテル千葉, 千葉市, 2007.1.27
- ・ 唐澤英偉 (会長) : 第26回日本画像医学会, 東京国際フォーラム, 東京都, 2007.2.23-24
- ・ 韓 仁燮, 唐澤英偉 : 術前診断にCT colonographyが有用であった横行結腸悪性神経鞘腫の1例, 第26回日本画像医学会, 東京国際フォーラム, 東京都, 2007.2.23-24
- ・ 桐原真梨子, 唐澤英偉 : 多発性肝転移で来院し超音波で下行結腸癌を診断した1例, 第26回日本画像医学会, 東京国

際フォーラム，東京都，2007.2.23-24

- ・伊能智隆，唐澤英偉：64列MDCTによるCT colonography(CTC)の検討（第二報），第26回日本画像医学会，東京国際フォーラム，東京都，2007.2.23-24
- ・松崎真也，唐澤英偉：胃静脈瘤に対しBRTOに3DCT-angiographyが有用であった一例，第26回日本画像医学会，東京国際フォーラム，東京都，2007.2.23-24
- ・井上のだみ，渡部まき，桐原真梨子，織田寛子，重政朝彦，小林 泉，岡田興造，糟谷 深，唐澤英偉：偶然発見された肝外門脈瘤の1例，第26回日本画像医学会，東京国際フォーラム，東京都，2007.2.23-24
- ・井上泰宏，齊藤秀行，神崎 晶，小川 郁，神崎 仁：当科における聴神経腫瘍経過観察例の臨床像と問題点，第107回日耳鼻総会，2006.5.11-13
- ・神崎 仁：突発性難聴の正しい理解，第21回熱海病院内学術懇話会，国際医療福祉大学熱海病院，熱海，2006.5.26
- ・北洞哲治（座長）：炎症3，第71回日本消化器内視鏡学会総会，京王プラザホテル，新宿，2006.5
- ・北村 創（座長）：毛囊系腫瘍，第3回横須賀皮膚科専門医会講演会，エクセル東急ホテル，横浜市，2006.11.4
- ・船橋宏幸，井川名記，提坂敏昭：Hemolysisを伴うDIC初期課程における血液凝固促進機序について－過凝固状態にあるHELLP症候群早期診断のための基礎研究，第58回日本産科婦人科学会，パシフィコ横浜，横浜市，2006.4.24
- ・提坂敏昭，渡邊剛也：過凝固状態にあるHELLP症候群早期発見のための基礎研究，第29回日本バイオレオロジー学会，九州大学健康科学センター，福岡市，2006.6.15
- ・提坂敏昭（座長）：若年妊娠・中絶・避妊・性犯罪，第25回日本思春期学会総会・学術集会，大阪市中央公会堂，大阪市，2006.8.25
- ・提坂敏昭，渡邊剛也：妊娠・産褥における妊婦血液の過凝固状態およびその回復について，第54回レオロジー討論会，九州大学筑紫キャンパス，福岡市，2006.10.6
- ・佐々木哲雄（座長）：第38回日本結合組織学会学術大会，前橋商工会議所会館，前橋市，2006.5.11-12
- ・佐々木哲雄，田中 躍，五來逸雄：ラロキシフェン（選択的エストロゲン受容体モジュレーター）が閉経後日本人女性の皮膚に及ぼす影響に関する研究，第31回日本研究皮膚科学会年次学術大会・総会，国立京都国際会館，京都市，2006.5.31-6.1
- ・高橋一夫，山口由衣，内田敬久，近藤 恵，山口絢子，山根裕美子，佐々木哲雄，池澤善郎：高齢発症であるシェーグレン症候群合併全身性エリテマトーデスの5例，第18回日本アレルギー学会春季臨床大会，京王プラザホテル，東京都，2006.5.30-6.1
- ・中島瑠美子，重政朝彦，小林 泉，岡田興造，糟谷 深，志村 岳，金岡知彦，佐々木哲雄：アロプリノールによる薬剤性過敏症候群が疑われた心不全患者の1例，第200回日本内科学会東海地方会，名古屋国際会議場，名古屋市，2006.10.7
- ・矢田佳子，佐々木哲雄，伊東祥雄，小林照子：顔面に多発した局面型サルコイドーシスの1例，第86回日本皮膚科学会静岡地方会，三島市民文化会館，三島市，2006.10.21
- ・佐々木哲雄（座長）：第86回日本皮膚科学会静岡地方会，三島市民文化会館，三島市，2006.10.21
- ・高橋一夫，山口由衣，内田敬久，近藤 恵，安嶋 桂，山根裕美子，佐々木哲雄，池澤善郎：皮膚筋炎の発疹学・皮膚病理組織学的検討および自己抗体検索の試み，第56回日本アレルギー学会秋季学術大会，東京国際フォーラム，東京都，2006.11.2-4
- ・白橋菜美，伊東祥雄，重松 愛，井上輝世，米澤美津子，吉野由美子，種市敏子，鈴木美保子，平野澄子，野中麻奈弥，矢田佳子，小林照子，佐々木哲雄：陰圧持続吸引療法を施行した難治性褥瘡の3例，第3回日本褥瘡学会中部地方会学術集会，東レ総合研修センター，三島市，2006.11.26
- ・佐藤隆司，桑名正隆，石川 治，尹 浩信，遠藤平仁，川口鎮司，佐々木哲雄，後藤大輔，高橋一夫，高橋裕樹，三

- 崎義堅, 三森経世, 室 慶直, 矢澤徳仁, 佐藤伸一, 竹原和彦: 抗RNAポリメラーゼIII抗体ELISAの有用性の検討, 厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班2006年度班会議・第10回強皮症研究会議 合同会議, エーザイ本社, 東京都, 2007.1.13
- ・ 内田敬久, 高橋一夫, 安嶋 桂, 山口由衣, 近藤 恵, 池澤善郎, 佐々木哲雄: 抗RNAポリメラーゼIII抗体陽性全身性強皮症3例の臨床的検討, 厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班2006年度班会議・第10回強皮症研究会議 合同会議, エーザイ本社, 東京都, 2007.1.13
 - ・ 山口由衣, 高橋一夫, 安嶋 桂, 内田敬久, 近藤 恵, 佐々木哲雄, 池澤善郎: 抗Th/To抗体陽性強皮症5例の臨床的検討, 厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班2006年度班会議・第10回強皮症研究会議 合同会議, エーザイ本社, 東京都, 2007.1.13
 - ・ 佐々木哲雄 (座長): 一般演題VI 厚生労働省「強皮症における病因解明と根治的治療法の開発」研究班2006年度班会議・第10回強皮症研究会議 合同会議, エーザイ本社, 東京都, 2007.1.13
 - ・ 加藤英明, 広門未知子, 山口由衣, 内田敬久, 近藤 恵, 高橋一夫, 池澤善郎, 佐々木哲雄: 顆粒球吸着療法が奏効したと考えられた血管ベーチェット病の1例, 第30回皮膚脈管膠原病研究会, メルパルク横浜, 横浜市, 2007.1.25-26
 - ・ 杉下和行, 佐々木哲雄, 矢田佳子, 伊東祥雄, 小林照子: ツツガムシ病の1例, 第87回日本皮膚科学会静岡地方会, 浜松プレスタワー, 浜松市, 2007.2.10
 - ・ 伊東祥雄, 矢田佳子, 佐々木哲雄: 四肢の多発性稗粒腫様石灰沈着を伴ったダウン症候群の1例, 第12回東部臨床皮膚科研究会, 三島商工会議所, 三島市, 2007.3.3
 - ・ 佐々木哲雄 (座長): 症例検討・特別講演, 第12回東部臨床皮膚科研究会, 三島商工会議所, 三島市, 2007.3.3
 - ・ 篠永正道: 脳脊髄液減少症の現状と問題点 病態と治療法, 第65回日本脳神経外科学会総会, 国立京都国際会館, 京都市, 2006.10.20
 - ・ 篠永正道: 脳脊髄液減少による頭痛の診断とブラッドパッチ治療の効果について, 第34回日本頭痛学会総会, 米子コンベンションセンター, 米子市, 2006.11.25
 - ・ 篠永正道: 頻会の生理食塩水硬膜外注入により症状の改善が得られた痙性対麻痺の一例, 第5回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学熱海病院, 熱海市, 2007.2.17
 - ・ 篠永正道: ブラッドパッチ 私のやり方, 第5回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学熱海病院, 熱海市, 2007.2.17
 - ・ 篠永正道: 小児例と高齢者のRI脳槽シンチグラムにおけるRIクリアランスの比較, 第5回脳脊髄液減少症研究会, 国際医療福祉大学熱海病院, 熱海市, 2007.2.18
 - ・ 高藤 繁 (座長): 薬物アレルギー・薬剤性障害3, 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.5.30
 - ・ Takafuji S: Effects of lipid mediators on the activation of human lung fibroblasts, Collegium Internationale Allergologicum, 26th Symposium, Cellular and Molecular Targets in Allergy and Clinical Immunology, Westin Dragonara Resort Conference Center, Malta, 2006.5.9
 - ・ 高藤 繁 (主催): 第1回呼吸器教室, 国際医療福祉大学熱海病院大会議室, 熱海, 2006.10.7
 - ・ 高藤 繁 (主催): 第2回呼吸器教室, 国際医療福祉大学熱海病院大会議室, 熱海, 2006.11.18
 - ・ 高藤 繁 (主催): 第3回呼吸器教室, 国際医療福祉大学熱海病院会議室4,5, 熱海, 2007.2.24
 - ・ 玉城允之: 慢性腎不全を伴うパーキンソン病患者でみられた原因不明の意識障害, 第18回横浜パーキンソン病の治療を考える研究会, 横浜クレイトンホテル, 神奈川県横浜市, 2006.12.8
 - ・ 玉城允之: 痙攣重積後, 人格変化, 変動の多いパーキンソニズムをきたした1例, 第19回横浜パーキンソン病の治療を考える研究会, 横浜崎陽軒本店, 神奈川県横浜市, 2007.2.16

- ・ 築山久一郎 (座長) : メタボリックシンドロームの病態と治療におけるインスリン抵抗性と高尿酸血症, 第79回日本内分泌学会ランチョンセミナー, 神戸ポートピアホテル, 神戸市, 2006.5.19
- ・ 山川 正, 木村一雄, 重松 洋, 遠山慎一, 林 洋, 道下一朗, 安田 元 : Yokohama Multicenter Crestor Anti-atherosclerosis (YMCA) Trial 1: 新規HMG-CoA RIロバスタチンの有用性の検討, 第38回日本動脈硬化学会総会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2006.7.14
- ・ 林 洋 (座長) : 第38回日本動脈硬化学会総会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2006.7.14
- ・ Hayashi H, Kanai K, Yamada Y, Tsushima M, Miyasaka K : Fatty acids composition of intestinal lymph in diabetic rats, FASEB Summer Research Conferences “Molecular Biology of Intestinal Lipid Transport and Metabolism”, Omni Tucson National Golf Resort and Spa, Tucson Ariona USA, 2006.7.15
- ・ 林 洋, 山田佳彦, 都島基夫 : 蔗糖摂取後の小腸リンパ脂肪酸組成の変化, 第28回日本臨床栄養学会総会, 学術総合センター, 東京都千代田区, 2006.9.1
- ・ 林 洋 (座長) : 第28回日本臨床栄養学会総会, 学術総合センター, 東京都千代田区, 2006.9.1
- ・ 都島基夫, 林 洋, 山田佳彦, 原納 優, 池田康行, 石田良雄, 角田 裕 : リポ蛋白リパーゼの臨床 微小循環とLPL-AVシャント? , 第39回脂質代謝異常症例検討会, 経団連会館, 東京都千代田区, 2006.9.9
- ・ 林 洋 (座長) : 第47回日本人間ドック学会学術集会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県宜野湾市, 2006.9.14
- ・ 林 洋, 山田佳彦, 都島基夫 : 代謝内科に外来通院する高齢患者の特徴について, 第44回日本老年医学会関東甲信越地方会, 東京医科歯科大学, 東京都文京区, 2006.9.30
- ・ 山田佳彦, 林 洋, 都島基夫 : 家族性高コレステロール血症と思われた一卵性双生児の症例, 第25回神奈川脂質研究会学術集会, 横浜エクセルホテル東急, 神奈川県横浜市, 2006.10.14
- ・ 林 雅敏 (座長) : Group 106 Perinatology2 (英語での発表), 第58回日本産科婦人科学会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.4.24
- ・ 林 雅敏 (座長) : 第5群一臨床解析 (2) 一, 第27回日本妊娠高血圧学会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2006.10.7
- ・ 林 雅敏, 矢追正幸, 星本和倫, 太田順子, 深澤一雄, 大藏健義, 稲葉憲之 : 妊娠高血圧症候群患者の胎盤組織内および末梢血中でのIL-4, IL-6, IL-10の動態, 第58回日本産科婦人科学会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.4.24
- ・ 相馬良一, 林 雅敏, 梶坂敏昭, 五來逸雄, 黄海文昌 : 妊娠高血圧症候群妊婦の羊水中macrophage colony- stimulating factorの動態, 第27回日本妊娠高血圧学会, 朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2006.10.7
- ・ 梶坂敏昭, 五來逸雄, 林 雅敏 : 過剰な体重増加を経て難産に至った2症例, 秋季日本産科婦人科学会静岡地方部会, 観光会館, 静岡県熱海市, 2006.11.19
- ・ Hiroshi Kiyokawa, Shigeru Takafuji, Makoto Yonemaru, Takeo Kawashiro : Relationship between flow-volume curve and expiratory wheeze in bronchial asthma, The 31st annual conference of the International Lung Sound Association, ポルトカラス, ギリシアテサロニキ, 2006.9.8
- ・ 清川 浩, 中島瑠美子, 高藤 繁, 鈴木由香, 伊藤 章 : 注射用アムホテリシンBリポソーム製剤が著効を示した慢性壊死性肺アスペルギルス症の一例, 感染症診断・治療・制御研究会, 三島プラザホテル, 静岡県三島市, 2007.3.17
- ・ 重政朝彦, 築山久一郎, 小林 泉, 生駒英子, 岡田興造, 押川 仁, 藤川哲也, 川口 実 : 当院における本態性高血圧症患者に対する降圧利尿薬 (トリクロルメチアジド) の使用状況, 第103回日本内科学会講演会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.4.14
- ・ 岡田興造, 重政朝彦, 生駒英子, 小林 泉 : QT延長を契機に確定診断にいたった褐色細胞腫の1例, 第79回日本内分泌学会学術総会, 神戸ポートピアホテル, 兵庫県神戸市, 2006.5.21
- ・ 岡田興造, 重政朝彦, 小林 泉, 糟谷 深 : 心電図が低体温の重症度を含めた診断 治療効果判定に有用であった1

- 例, 第199回日本内科学会東海地方会, アクトシティ浜松, 静岡県浜松市, 2006.6.10
- ・ 小林 泉, 重政朝彦, 生駒英子, 岡田興造, 糟谷 深: 64列MDCTによる心電図同期画像にて僧帽弁後尖に付着する疣腫を確認し得た感染性心内膜炎の一例, 第127回日本循環器学会東海地方会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.6.17
 - ・ 岡田興造, 重政朝彦, 小林 泉, 糟谷 深, 志村 岳, 金岡知彦: 重症低体温症で来院した高齢男性で診断に苦しめたS状結腸憩室穿孔の1例, 第17回日本老年医学会東海地方会, 名古屋市中心企業振興会館(吹上ホール), 愛知県名古屋市, 2006.9.9
 - ・ 岡田興造, 重政朝彦, 小林 泉, 糟谷 深: 64列MDCTによる左室壁厚および左室容積と心電図指標との関連, 第54回日本心臓病学会学術集会, 鹿児島市民文化ホール 他, 鹿児島県鹿児島市, 2006.9.25
 - ・ 重政朝彦, 小林 泉, 岡田興造, 糟谷 深: 本態性高血圧症患者に対する降圧利尿薬(トリクロルメチアジド)少量併用療法の有用性, 第54回日本心臓病学会学術集会, 鹿児島市民文化ホール 他, 鹿児島県鹿児島市, 2006.9.25
 - ・ T. Shigemasa, H. Tsukiyama, I. Kobayashi, K. Okada, F. Kasuya, G. Shimura, T. Kanaoka: Efficacy and tolerability of low dose trichlormethiazide added to the combination therapy of amlodipine and losartan in patients with essential hypertension, The 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension (ISH2006), 福岡国際会議場, 福岡県博多市, 2006.10.19
 - ・ 小林 泉, 重政朝彦, 岡田興造, 糟谷 深: 非Q波心筋梗塞発症前にMSCTおよび冠状動脈造影所見が得られ, retrospectiveに不安定プラークを有していたと考えられた虚血性心疾患患者の一例, 日本心血管インターベンション学会第16回東海北陸地方会, ナディアパーク・デザインホール, 愛知県名古屋市, 2006.10.21
 - ・ 糟谷 深, 重政朝彦, 小林 泉, 岡田興造: 治療に難渋した化膿性脊椎炎合併感染性心内膜炎の1例, 日本循環器学会第128回東海・第113回北陸合同地方会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2006.11.5
 - ・ 伊藤真紀, 重政朝彦, 小林 泉, 岡田興造, 糟谷 深, 林 輝明, 北川恒実: 当院における心臓リハビリテーションの現状と問題点, 第40回理学療法科学大会学術集会, 国際医療福祉大学小田原保健医療学部, 神奈川県小田原市, 2007.1.14
 - ・ 竹島 望, 重政朝彦, 小林 泉, 岡田興造, 糟谷 深, 志村 岳, 金岡知彦: アミオダロンによる肺障害をきたした1例, 第201回日本内科学会東海地方会, 三重大学医学部, 三重県津市, 2007.2.10
 - ・ 重政朝彦, 小林 泉, 志村 岳, 岡田興造, 糟谷 深, 金岡知彦: 僧帽弁に付着する疣腫を64列MDCTにて確認した感染性心内膜炎の2例, 第26回日本画像医学会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.2.23
 - ・ 重政朝彦(座長): 一般演題 心臓, 第26回日本画像医学会, 東京国際フォーラム, 東京都千代田区, 2007.2.23
 - ・ 陶山秀夫: 低髄液圧症候群と眼, 第1回東海道眼科研究会, 神奈川歯科大学附属横浜クリニック, 横浜, 2006.6.24
 - ・ 幸村百理男, 中山 幸, 片倉知博, 陶山秀夫: 限局性, 境界明瞭な網脈絡膜萎縮を認め, 一過性の視力低下を認めた乳頭コロボーマの2症例, 第2回東海道眼科研究会, 神奈川歯科大学附属横浜クリニック, 横浜, 2007.2.17
 - ・ 陶山秀夫: 傷の初期治療-消毒とガーゼの撲滅を目指して-, 第2回東海道眼科研究会, 神奈川歯科大学附属横浜クリニック, 横浜, 2007.2.17
 - ・ 高梨吉裕: 未破裂脳動脈瘤の質的画像診断, 第26回日本画像医学会, 東京国際フォーラム, 東京, 2007.2.24
 - ・ 田口雅彦: 高齢者肺癌治療 特に外科治療における問題点と課題, 第23回日本呼吸器外科学会総会, 東京プリンスホテル, 東京, 2006.5.25
 - ・ 田口雅彦: 肺癌患者における症状緩和を目的とした胸水管理について, 第11回日本緩和医療学会総会, 神戸国際展示場, 神戸, 2006.6.23
 - ・ 中山 幸: Pit-macular症候群への硝子体手術, 第7回硝子体クリニック, 京都グランドホテル, 京都, 2007.10.5
 - ・ 片倉知博, 中山 幸, 篠永正道: 脳脊髄液減少症と眼科的異常, 第5回脳脊髄液減少症研究会, 熱海病院, 熱海,

2007.2.17

- ・幸村百理男, 中山 幸, 片倉知博, 陶山秀夫: 視神経乳頭コロボーマの2例, 第2回東海道眼科研究会, 神奈川福祉大, 神奈川, 2007.2.24
- ・片倉知博, 中山 幸, 高野雅彦: 真菌性眼内炎をきたしたアレルギー性紫斑病の一例, 第48回静岡県眼科医会集談会, グランシップ静岡, 静岡, 2007.2.24
- ・原田竜彦, 神崎 仁: ERA/OAE研究会, エーザイ講堂, 東京, 2006
- ・原田竜彦, 神崎 仁: 日本聴覚医学会総会, メトロポリタン山形, 山形, 2006
- ・藤井本晴: 最近経験した急性期内頸動脈閉塞症－異なる経過をとった2例－, 第9回静岡脳神経血管内手術懇話会, アクトシティ浜松, 静岡, 2006.5.27
- ・藤井本晴: 最近経験した急性期内頸動脈閉塞症－異なる経過をとった2例－, 第7回脳血管内治療琉球セミナー, サンライズ知念, 沖縄, 2006.7.6-9
- ・藤井本晴: 椎骨動脈狭窄症に対して血流改善を目的に脊髄硬膜外電極を挿入した1例, 大磯セミナー, 湘南プリンスホテル, 神奈川, 2006.7.15
- ・藤井本晴: ハイリスク患者に施行した頸動脈ステント治療の1例, 第7回近畿脳神経血管内治療学会, 橿原プリンスホテル, 奈良, 2006.9.8-9
- ・藤井本晴: 未破裂脳動脈瘤に対する脳血管内コイル塞栓術 4D-CTAに基づいた治療戦略, 第65回日本脳神経外科学会総会, 京都国際会議場, 京都, 2006.10.18-20
- ・藤井本晴: rt-PA治療経験に基づく脳主幹動脈閉塞症に対する血管内治療, 第22回日本脳神経血管内治療学会総会, アスティとくしま, 徳島, 2006.11.16-18
- ・藤井本晴: A treatment strategy of endovascular coil embolization for unruptured aneurysms using the 4-dimensional computed tomography, The 8th International Conference on Cerebrovascular Surgery, Taipei International Conference Hall, Taipei Taiwan, 2006.11.30-12.3
- ・板倉敬乃: 乳児健診におけるアンケート調査, 第53回日本小児保健学会, アピオ甲府, 山梨県甲府市, 2006.10.28
- ・板倉敬乃: 新生児用ミルクの加温方法について, 第31回静岡小児保健学会, 静岡駅ビル・パルシェ, 静岡県静岡市, 2006.12.9
- ・須藤英一, 北出弘昭, 北川恒実, 川口 実, 永田真一, 奥澤 健, 奥仲哲弥: 呼吸教室開催による慢性呼吸器疾患患者への影響 アンケート調査結果を中心に, 第48回日本老年医学会学術集会, 石川県立音楽堂, 石川県金沢市, 2006.6.8
- ・田中 躍: 医原性卵巣成熟奇形腫破裂による産褥期化学腹膜炎の一例, 第26回熱海病院院内学術懇話会, 熱海病院大会議室, 静岡県熱海市, 2007.3.23
- ・羽鳥慎祐: TS-1治療後のSecond-Line ChemotherapyとしてのWeekly Taxol療法, 第78回 日本胃癌学会総会, 大阪国際会議場, 大阪, (2006.3.9-11)
- ・羽鳥慎祐: CDDP・5-FU療法にてCRが得られた小細胞型未分化癌の1, 第48回 静岡癌治療研究会, 静岡商工会議所, 静岡県静岡市, 2006.11.4

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・川口 実: H.pylori陰性胃粘膜所見の検討, 東京医大ガンセンターがん研究助成金
- ・中村治彦: 分担研究課題「より良い医療情報の発信のあり方に関する研究」難治がんの総合的な対策に関する研究（土屋班）, 平成18年度 厚生労働省がん研究助成金, 18㊟-1
- ・佐々木哲雄（研究協力者）, 竹原和彦（主任研究者）: 強皮症における病因解明と根治的治療法の開発, 厚生労働科

学研究費補助金難治性疾患克服研究事業，継続

- ・ 林 雅敏：異常妊娠の胎盤のトロホプラスト機能に与える各種サイトカインの影響，日本学術振興会科学研究費補助金，基盤研究(C)，16591681，継続

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 高梨吉則：日本外科学会（指導医，専門医）（評議員），日本胸部外科学会（指導医），日本心臓外血管科学会（専門医），日本小児循環器学会（評議員），日本小児外科学会（評議員），日本輸血学会（認定医）（評議員），日本循環器学会（専門医），日本胸部外科学会関東甲信越地方会（幹事），日本小児外科学会関東甲信越地方会（幹事）
- ・ 川口 実：日本消化器病学会（指導医），日本消化器内視鏡学会（指導医）（学会賞選考委員）
- ・ 中村治彦：日本外科学会（認定医，専門医，指導医），日本胸部外科学会（認定医）（正会員），日本呼吸器外科学会（専門医，指導医）（評議員，評議員資格選定委員会委員，安全教育部会委員，呼吸器外科専門医試験実務委員）
日本呼吸器学会（専門医，指導医）（用語委員会委員），日本呼吸器内視鏡学会（専門医，指導医）（理事，評議員，規則改訂委員会委員長，保険委員会委員，専門医認定小委員会委員，選挙委員会委員），日本呼吸器内視鏡学会関東支部会（幹事），日本肺癌学会（評議員，会則改定委員会委員），日本肺癌学会関東支部会（幹事），日本気管食道科学会（評議員，編集委員会委員，診療ガイドライン委員会委員），日本外科系連合学会（評議員），日本レーザー医学会（評議員），日本癌病態治療研究会（世話人），日本癌学会，日本癌治療学会，日本臨床外科学会，日本外科感染症学会，日本遺伝子治療学会，国際肺癌学会（International Association for the Study of Lung Cancer, IASLC），静岡県東部地区肺癌研究会（幹事），Association of Thoracic and Cardiovascular Surgery of Asia（査読委員）
- ・ 伊藤 章：日本感染症学会（感染症専門医，感染症指導医，ICD(Infection Control Doctor)）（功労会員），日本化学療法学会（抗菌薬臨床試験指導医）（評議員），日本臨床検査医学会（臨床検査専門医，臨床検査管理医）（功労会員），日本臨床検査専門医会（臨床検査専門医），日本医真菌学会（医真菌学専門医）（功労会員），日本環境感染学会（評議員），日本臨床微生物学会（評議員），日本内科学会（認定内科医），日本産業衛生学会（産業医），日本抗生物質学術協議会（機関紙審査委員），神奈川県感染症医学会（幹事），神奈川県臨床検査医学会（監事），神奈川県医真菌研究会（顧問），神奈川県性感染症医学会（評議員），日本エイズ学会，静岡県東部感染症研究会（代表世話人，事務局），感染症診断・治療・制御研究会（代表世話人，事務局），Int.Society of Human and Animal Mycology
- ・ 伊藤 淳：日本医師会（産業医），日本手の外科学会（専門医）
- ・ 唐澤英偉：日本消化器病学会（指導医）（評議員，社会保険委員会委員，専門医制度審議委員会委員），日本画像医学会（理事），日本超音波医学会（指導医，専門医）（評議員，編集委員），日本膵臓学会（評議員，社会保険委員会委員），日本胆道学会（評議員，学術賞選考委員），日本消化器内視鏡内視鏡学会（専門医），日本肝臓学会（専門医），日本内科学会（認定医），日本癌治療学会，日本放射線医学会，超音波ドプラ研究会（副代表），東京膵臓研究会（世話人），腹部放射線研究会（世話人）
- ・ 北洞哲治：日本消化器病学会（専門医）（評議員），日本消化器内視鏡学会（専門医）（評議員），日本消化器免疫学会（評議員），日本消化器病学会東海地方支部会（評議員），日本内視鏡学会関東地方支部会（評議員），日本内科学会（認定医），日本大腸肛門病学会，日本癌治療学会，日本腹部救急医学会，日本ヘリコプター学会，日本実験潰瘍学会，日本救急医学会関東地方会，日本消化吸収学会，日本臨床栄養学会（評議員），日本機能水学会（理事）
- ・ 北村 創：日本病理学会（指導医，専門医）（評議員）
- ・ 栗山 学：日本泌尿器科学会（指導医）（Voting Member），日本透析療法学会（指導医）
- ・ 提坂敏昭：日本思春期学会（理事）
- ・ 佐々木哲雄：日本皮膚科学会（専門医），日本研究皮膚科学会（評議員），日本結合組織学会（評議員），日本臨床

- 免疫学会（評議員），日本リンパ網内系学会（評議員），日本アレルギー学会，日本リウマチ学会，マトリックス研究会，神奈川県皮膚科医会，横浜市皮膚科医会，静岡県皮膚科医会
- ・篠永正道：日本脳神経外科学会（専門医）（評議員），日本脊髄外科学会（専門医），日本頭痛学会（専門医），日本神経モジュレーション学会（評議員），日本神経外傷学会，日本神経学会
 - ・高藤 繁：日本内科学会（認定内科医），日本呼吸器学（呼吸器専門医），日本アレルギー学会（認定指導医）（代議員）
 - ・玉城允之：日本神経学会（専門医）（評議員），日本臨床神経生理学会（認定医（脳波分野と筋電図・神経伝導分野）），日本内科学会（認定内科医）
 - ・築山久一郎：日本高血圧学会（功労会員，FJSH），日本臨床生理学会（評議員），日本内科学会（内科医），日本循環器学会（循環器専門医）
 - ・都島基夫：日本内科学会（認定医，指導医）（東海支部評議員），日本循環器学会（専門医），日本糖尿病学会（専門医，指導医），日本臨床栄養学会（認定臨床栄養指導医）（理事（財務担当委員長），第28回（06年度）学会長），日本未病システム学会（学会理事長（常任）），日本老年医学会（専門医，指導医）（評議員（社員）），日本動脈硬化学会（評議員），日本脈管学会（評議員），日本臨床生理学会（評議員），日本肥満学会（評議員），日本病態栄養学会（評議員），日本アフェレンス学会，日本血栓止血学会，日本医師会（スポーツ医学認定医，産業医）
 - ・西川潤一：日本核医学会（認定医，PET核医学認定医），日本医学放射線学会（専門医）
 - ・林 洋：日本内科学会（認定内科医），日本動脈硬化学会（評議員），日本人間ドック学会（人間ドック認定医）（評議員），日本臨床栄養学会（認定臨床栄養指導医）（評議員）
 - ・林 雅敏：日本産科婦人科学会（専門医），日本婦人科腫瘍学会（暫定指導医），日本妊娠高血圧学会（理事），日本母性衛生学会（幹事，評議員），日本産婦人科・新生児血液学会（評議員），日本胎盤学会（評議員），日本女性心身症学会（評議員），日本更年期医学（評議員），日本癌学会，日本癌治療学会，日本不妊学会，日本受精着床学会，日本生殖外科学会，婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構（JGOG）
 - ・清川 浩：日本内科学会（指導医，認定医，専門医），日本呼吸器学会（指導医，認定医，専門医），日本呼吸器内視鏡学会（指導医，専門医），日本呼吸管理学会，日本リハビリテーション学会，日本音響学会，日本臨床腫瘍学会，日本CT検診学会
 - ・重政朝彦：日本内科学会（認定内科医，認定内科専門医，指導医）（病院教育責任者，東海地方会評議員），日本循環器学会（循環器専門医），日本心臓病学会（特別正会員（FJCC）），日本高血圧学会（特別正会員（FJSH）），日本老年医学会（老年病専門医，老年病指導医），日本内分泌学会（内分泌代謝科（内科）専門医，内分泌代謝科（内科）指導医），日本超音波医学会（超音波専門医，超音波指導医），日本画像医学会（評議員），日本心臓リハビリテーション学会（心臓リハビリテーション指導士），日本心血管インターベンション学会，日本心血管内分泌代謝学会，日本不整脈学会，日本心エコー図学会，日本臨床検査医学会，米国内科学会（American College of Physicians），米国高血圧学会（American Society of Hypertension），日本医師会（認定産業医，認定健康スポーツ医），身体障害者福祉法指定医（心臓機能障害）
 - ・陶山秀夫：日本眼科学会（専門医），日本神経眼科学会（評議員），日本緑内障学会，日本眼科手術学会，日本自律神経学会，日本温泉気候物理医学会，日本旅行医学会
 - ・高梨吉裕：日本脳神経外科学会（脳神経外科専門医），日本脳神経外科コンgres，日本脳卒中の外科学会，日本脳卒中学会（専門医），スパズム・シンポジウム，日本神経内視鏡学会，日本脳ドック学会，日本人間ドック学会，日本画像医学会（評議員）
 - ・田口雅彦：日本外科学会（専門医），日本呼吸器外科学会（専門医），日本胸部外科学会（認定医）
 - ・中山 幸：日本眼科学会（眼科専門医），日本神経眼科学会（評議員），網膜硝子体学会（PDT認定医），日本眼科

手術学会

- ・ 原田竜彦：日本聴覚医学会（編集部会委員）
- ・ 藤井本晴：日本脳神経血管内治療学会（専門医），日本神経内視鏡学会（神経内視鏡技術認定医）
- ・ 山田佳彦：日本内科学会（認定医），日本内分泌学会（特例指導医），日本糖尿病学会（専門医），米国糖尿病学会
- ・ 板倉敬乃：日本小児科学会（小児科専門医），日本小児保健学会，日本小児科医会（子どもの心相談医），日本周産期・新生児医学会，日本未熟児新生児学会，日本小児感染症学会（インфекションコントロール ドクター），日本小児呼吸器疾患学会
- ・ 川崎徳仁：日本外科学会（専門医），日本呼吸器外科学会（専門医）
- ・ 北川恒実：日本リハビリテーション医学会（運動器リハビリテーション研修修了認定医，義肢装具等適合判定医師）
日本内科学会，日本産業衛生学会，日本老年医学会，日本リウマチ学会，日本リハビリテーションネットワーク研究会，中部リハビリテーション医学会
- ・ 志村 岳：日本内科学会（内科認定医），日本透析医学会（透析専門医），厚生労働省（初期臨床研修指導医），日本腎臓学会，日本アフエレーシス学会
- ・ 田川崇正：日本耳鼻咽喉科学会（専門医）
- ・ 羽鳥慎祐：日本外科学会（専門医），日本胸部外科学会，日本胃癌学会，日本消化器外科学会，日本乳癌学会，日本臨床外科学会，日本食道外科学会，日本癌治療学会，

国際医療福祉大学三田病院

※2007年2月1日付けで，名称が「国際医療福祉大学附属三田病院」から「国際医療福祉大学三田病院」に変更となりました。

著書

- ・ 福井康之：腰痛スッキリ！，角川書店，2006.7.10
- ・ 安達実樹（武藤徹一郎，幕内雅俊 監修）：新臨床外科学 第4版，7 イレウス，807-818，医学書院，2006
- ・ Ikedo N（分担）：Autofluorescence Bronchoscopy, Principles of Autofluorescence Bronchoscopy, 9-17, Uni-Med, 2006
- ・ 池田徳彦（監修）：MDアンダーソンに学ぶ癌診療 肺癌，シュプリンガー・ジャパン，2006
- ・ 池田徳彦（分担）：呼吸器診療のコツと落とし穴 びまん性肺疾患・肺腫瘍，肺腫瘍の検査法，32-33，中山書店，2006
- ・ 池田徳彦，林 和，岩澤俊一郎，加藤治文，本多英俊：MOOK「肺癌の臨床」2005-2006，蛍光内視鏡検査，145-149，篠原出版，2006
- ・ 池田徳彦（分担）：肺癌診療を安全に行うために，胸腔穿刺，86-89，中外医学社，2006
- ・ 池田徳彦（分担）：肺癌診療マニュアル，確定診断方法，99-103，中外医学社，2006
- ・ 太田恵一朗：臨床研修医のための漢方医学入門，十全大補湯，50-53，協和企画，2006
- ・ 草野修輔（監訳） 他：運動器リハビリテーションの機能評価，I巻・4章・顎関節，167-188，エルゼビア・ジャパン，2006
- ・ 高山 豊（分担執筆）：老年期認知症ナビゲーター，2-16前頭葉機能検査 11-1もの忘れ外来，66-67，300-301，メディカルレビュー社，2006
- ・ 田島康夫：看護学大辞典，医学書院，2007

- ・ 武田克彦, 宮崎裕子, 今井真紀, 鷺崎一成, 海野聡子 : 失語症治療へのアプローチ, 1章 歴史を振り返って 4章 失語治療の有効性 8章 失語治療の理論を求めて, 3-33, 82-113, 202-222, 中外医学社, 2006
- ・ 武田克彦 : 新版脳のリハビリQ&A, 1-220, 講談社, 2006
- ・ 武田克彦, 波多野和夫 (編集) : 高次脳機能障害 その概念と画像診断, 1章 今さら神経心理学, 1-8, 中外医学社, 2006
- ・ 海野聡子, 武田克彦 : 家庭のドクター 標準治療, アルツハイマー病 パーキンソン病, 143-146, 147-150, 日本医療企画, 2006
- ・ 服部一紀 : 臨床病態学第3巻, 前立腺肥大症, ヌーヴェルヒロカワ, 2006
- ・ 松井猛彦 (共著) : 喘息予防・管理ガイドライン2006, 喘息予防・管理ガイドライン2006作成委員, 日本アレルギー学会喘息ガイドライン専門部会, 協和企画, 東京, 2006.5
- ・ 久保田啓介, 折口信人, 真船健一, 上西紀夫 (分担執筆) : 実地診療のためのプロトンポンプ阻害薬ハンドブック (浅香正博, 千葉 勉 編), ゴリンジャー・エリソン症候群におけるプロトンポンプ阻害薬の適応と処方の実際をみる, 146-152, 先端医学社, 2006
- ・ 林 和 (分担執筆), 加藤治文 (監修), 西條長宏 (監修), 坪井正博 (編集), 久保田馨 (編集) : 肺癌診療を安全に行なうために, 胸腔鏡, 58-65, 中外医学社, 2006
- ・ 林 和 (翻訳), 加藤治文 (監訳), 池田徳彦 (監訳), 坪井正博 (監訳), Fossella f.v. (編集), Komaki R. (編集), Putnam j.b. Jr. (編集) : MDアンダーソン癌センターに学ぶ癌診療 肺癌, 第2章 肺癌が疑われる患者の臨床検査, 15-20, シュプリンガー・ジャパン, 2006
- ・ 長束美貴, 林 和, 坪井正博, 加藤治文 : MOOK「肺癌の臨床」2005-2006, OCT (optical coherence tomography : 光干渉断層法) による気管支病変の診断, 151-156, 篠原出版, 2006
- ・ 増田 敬 (分担執筆) : 喘息 小児アレルギーシリーズ, アレルギー検査, 40-45, 診断と治療社, 2006

原著論文

- ・ M.Shibuya, H.Okamoto, T.Nozawa, J.Utsumi, V.N.Reddy, H.Ethizen, Y.tanaka, T.Iwata : Proteomic and Transcriptomic Analysis of Retinal Pigment Epithelial Cells Exposed to REF-1/TFPI-2, Investigative Ophthalmology & Visual Science, 48, 516-521, 2007
- ・ 水口 齊, 矢島 賢, 井手協太郎, 青島正浩, 寺田総一郎 : 劇症1型糖尿病の一例, 浜松赤十字病院医学雑誌, 7(1), 18-21, 2006
- ・ Hiroyuki Jimbo, Yasuyuki Fukui et al. : Spinal chronic subdural hematoma in association with anticoagulant therapy, Spine, 31, 184-187, 2006
- ・ Ikeda N : Early detection of bronchial lesions using newly developed videoendoscopy-based autofluorescence bronchoscopy, Lung Cancer, 52(1), 21-27, 2006
- ・ Ikeda N : Comprehensive diagnostic bronchoscopy of central type early stage lung cancer, Lung Cancer, 2007
- ・ 池田徳彦 : 中心型早期肺癌の内視鏡治療, 日本胸部臨床, 65, 137-142, 2006
- ・ 池田徳彦 : 中心型早期肺癌の内視鏡所見, 呼吸, 25, 691-695, 2006
- ・ Shintaro Sugita, Tatsuo Iijima, Shuichiro Furuya, Junko Kano, Akinori Yanaka, Keiichiro Ohta, Hiroshi Kojima, Masayuki Noguchi : Gastric T-cell Lymphoma with cytotoxic phenotype, Pathology International, 57, 108-114, 2007
- ・ 大隈 統, 網本 和, 高倉保幸, 高橋佳恵, 草野修輔 : 脳血管障害例の座位姿勢制御における視覚的垂直定位の影響, 理学療法学, 21(3), 261-265, 2006
- ・ 西中須淳子, 川口弘子, 市場恵利子, 大森加奈子, 吉川有香, 高橋佳恵, 高倉保幸, 草野修輔 他 : 注意障害に配慮

- した作業療法の工夫—トイレ動作の自立を目標として—, 埼玉圏央リハビリテーション研究会雑誌, 6(1), 32-35, 2006
- ・市場恵利子, 大井直往, 草野修輔 他: 頸椎マイクロパチー患者の術後上肢運動機能評価, 運動療法と物理療法, 17(3), 228-232, 2006
 - ・高橋佳恵, 高倉保幸, 大住崇之, 大隈 統, 小牧隼人, 河原育美, 草野修輔 他: 意識評価としての反応時間測定の適応, 日本私立医科大学理学療法学会誌, 23, 35-37, 2006
 - ・河村つや子, 高倉保幸, 国澤洋介, 大武 聖, 北村直美, 中村紋子, 藪崎 純, 草野修輔 他: 脊髄不全麻痺例における膝屈伸トルク値の特性, 日本私立医科大学理学療法学会誌, 23, 28-31, 2006
 - ・大住崇之, 高倉保幸, 高橋佳恵, 大隅 統, 小牧隼人, 河原育美, 草野修輔 他: ラクナ梗塞12例の検討, 日本私立医科大学理学療法学会誌, 23, 25-27, 2006
 - ・高倉保幸, 高橋佳恵, 大住崇之, 大隈 統, 小牧隼人, 河原育美, 草野修輔 他: 被殻・視床出血例のCT分類と急性期の基本動作能力の関係, 日本私立医科大学理学療法学会誌, 23, 22-24, 2006
 - ・国澤洋介, 高倉保幸, 大武 聖, 河村つや子, 北村直美, 中村紋子, 藪崎 純, 山本 満, 草野修輔 他: 脊髄不全麻痺例の歩行自立に必要な膝伸展筋力値の推定 ROC曲線を用いて, 日本私立医科大学理学療法学会誌, 23, 19-21, 2006
 - ・酒井成身: 乳房再建の功罪, 乳癌診療 IPRS&TRAPS, 16, 5, 2006.7
 - ・酒井成身, 酒井成貴: ここまできた乳房再建, 医学のあゆみ, 222(4), 328-329, 2007.1.27
 - ・植田 恵, 高山 豊, 小山美恵, 長田久雄: ごく軽度アルツハイマー病およびMCI検出のための日常生活に関する質問項目の検討—もの忘れ外来質問表から, 脳と神経, 58, 865-871, 2006
 - ・Tajima Y et al.: Detection and grouping of human papillomavirus on cervical Pap smears, Modern Pathology, 19(3), 104, 2006
 - ・山田正人, 田島康夫 他: FileMaker Proを用いた病理支援システムの構築, 医学検査, 53(12), 1366-1372, (2005)
 - ・浜本鉄也, 田島康夫 他: 子宮adenomatoid tumorの2手術症例, 臨床婦人科産科, 58(5), 723-728, (2005)
 - ・Matsuno A, Tajima Y et al.: A diagnostic pitfall: Angiosarcoma of the brain mimicking cavernous angioma, Journal of Clinical Neuroscience, 12(6), 688-691, (2005)
 - ・Sato M, Takeda M, Nagata K, Shimosegawa E, Kuzuhara S: Positron-Emission tomography of brain regions of familiar music, American Journal of Neuroradiology, 27(5), 1101-1106, 2006
 - ・Sato M, Furukawa K, Takeda K, Kuzuhara S: Left hemianomia of musical symbols caused by callosal infarction, Journal of Neurology, Neurosurgery, Psychiatry, 77(4), 705-706, 2006
 - ・Miyazaki J, Kawai K, Oikawa T, Joraku A, Hattori K, Shimazui T, Akaza H: Uroepithelial cells can directly respond to Mycobacterium bovis bacillus Calmette-Guerin through toll-like receptor signaling, BJU Int, 97, 860-864, 2006
 - ・Hattori K, Joraku A, Miyagawa T, Kawai K, Oyasu R, Akaza H: Bladder reconstruction using a collagen patch prefabricated within the omentum, Int J Urol, 13, 529-537, 2006
 - ・松井猛彦: 小児喘息の治療—小児科からのアドバイス, 内科, 97(2), 291-298, 2006
 - ・松井猛彦: 小児喘息の病態について, Pediatric Allergy for Clinicians, 2(2), 15-17, 2006.4
 - ・松井猛彦, 赤坂 徹, 鳥居新平, 西間三馨, 三河春樹: 喘息死委員会レポート2005, 日小ア誌, 20(3), 244-251, 2006.8
 - ・松井猛彦: 喘息死の現状, 小児科臨床, 59 (増刊号), 1355-1362, 2006.10
 - ・松井猛彦: 呼吸不全に対する治療 (人工換気を含めて), 小児内科, 38(11), 1901-1906, 2006.11
 - ・松井猛彦: 喘息死から学んだこと, アレルギー, 55(12), 1509-1514, 2006.12

- ・松井猛彦：巻頭言 湾岸戦争と疫学研究，アレルギー・免疫，13(11)，1519，2006.11
- ・Yamashita H, Nakagawa K, Tago M, Nakamura N, Shiraiishi K, Mafune K, Kaminishi M, Ohtomo K：The intergroup/RTOG 85-01 concurrent chemoradiation regimen for Japanese esophageal cancer, Hepatogastroenterology, 53(72), 863-868, 2006
- ・Nozaki K, Nomura S, Shimizu N, Hiki N, Yoshizawa N, Aikou S, Kubota K, Yamaguchi H, Kurosaka H, Shinozaki A, Mafune K, Fukayama M, Kaminishi M：Helicobacter pylori-negative/API2-MALT1 translocation-negative low-grade MALT lymphoma, Gastric Cancer, 9(3), 229-234, 2006
- ・Hiroko Nishida, Mitsuru Murata, Koichi Miyaki, Kazuyuki Omae, Kiyoaki Watanabe, Yasuo Ikeda：Gorog Thrombosis Test: analysis of factors influencing occlusive thrombus formation., Blood Coagulation and Fibrinolysis, 17(3), 203-207, 2006.4
- ・Sato A, Saruta T, Funder JW：Combination therapy with aldosterone blockade and renin-angiotensin inhibitors confers organ protection, Hypertens. Res., 28, 211-216, 2006
- ・Sato A：Clinical significance of aldosterone breakthrough during renin-angiotensin inhibitors, J. Hypertens., 24, S17, 2006
- ・Sato A：Pleiotrophic effects of angiotensin-converting enzyme (ACE) inhibitors; differentiation among ACE inhibitors may lead to further organ protection, J. Hypertens., 24, S423, 2006
- ・中村一博, 渡邊雄介, 渡嘉敷亮二, 岡本伊作, 吉田知之, 鈴木 衛：日本気管食道科学会会報, 57(1), 20-27, 2006
- ・渡邊雄介：内転型痙攣性発声障害に対する喉頭微細手術下両側甲状披裂筋切除術, 日経メディクイズ on the Web 反回神経麻痺症例, 日経メディカル, 5, 100-101, 2006
- ・本橋 玲, 渡邊雄介, 渡嘉敷亮二, 中村一博, 鈴木 衛：Laryngopharngal Reflux diseaseとHelicobacter pylori感染の関連について, 日本気管食道科学会会報, 57(3), 268-272, 2006
- ・細川清人, 渡邊雄介, 笹井久徳, 熊田政信：両側甲状披裂筋切除後にボツリヌストキシン注射を受けた痙攣性発声障害例, 喉頭, 18, 23-26, 2006
- ・渡邊雄介：咽喉頭酸逆流症 診断の指針・治療の指針, 総合臨床, 56(3), 583-584, 2007
- ・望月隆一, 牟田 弘, 渡邊雄介, 川本将浩, 山本圭介：難治性喉頭肉芽腫に対する声帯内自家脂肪注入術の治療成績, 日本気管食道科学会会報, 58(1), 30-37, 2007
- ・Asano T, Kaneko E, Shinozaki S, Imai Y, Shibayama M, Chiba T, Ai M, Kawakami A, Asaoka H, Nakayama T, Mano Y, Shimokado K：Hyperbaric oxygen induces basic fibroblast growth factor and hepatocyte growth factor expression, and enhances blood perfusion and muscle regeneration in mouse ischemic hind limbs., Circulation Journal, 71(3), 405-411, 2007
- ・朝本俊司：胸椎椎間板病変に対する経胸膜的開胸前側方アプローチによる手術, 脳神経外科ジャーナル, 15, 444-449, 2006
- ・Mitsuharu Yoshiyama, Shunji Asamoto：Spinal cord decompression sickness associated with scuba diving: correlation of immediate and delayed magnetic resonance imaging findings with severity of neurologic impairment. A report on 3 cases, Surgical Neurology, 67, 283-287, 2007
- ・Asano Y, Ihn H, Kubo M, Jinnin M, Mimura Y, Ashida R, Tamaki K：Clinical significance of serum matrix metalloproteinase-13 levels in patients with localized scleroderma., Clin Exp Rheumatol., 24, 394-399, 2006
- ・Kubo M, Ihn H, Yamane K, Tamaki K：The expression levels and the differential expression of transforming growth factor-beta receptors in dermatofibroma and dermatofibrosarcoma protuberans, Br J Dermatol, 154, 919-925, 2006
- ・和泉里江子, 久保正英, 前川武雄, 門野岳史, 佐伯秀久, 朝比奈昭彦, 菊池かな子, 玉置邦彦：猫ひっかき病の1例, 皮膚臨床, 48, 1019-1022, 2006
- ・嶋津苗胤, 前川武雄, 門野岳史, 久保正英, 渡邊孝宏, 佐伯秀久, 尹 浩信, 菊池かな子, 玉置邦彦：側頸部異所性

- 甲状腺の1例, 皮膚臨床, 48, 679-682, 2006
- Hiki N, Shimizu N, Yamaguchi H, Imamura K, Kami K, Kubota K, Kaminishi M : Manipulation of the small intestine as a cause of the increased inflammatory response after open compared with laparoscopic surgery, Br J Surg, 93, 195-204, 2006
 - Hiki N, Shimoyama S, Yamaguchi H, Kubota K, Kaminishi M : Laparoscopy-assisted pylorus-preserving gastrectomy with quality controlled lymph node dissection in gastric cancer operation, J Am Coll Surg, 203, 162-169, 2006
 - Dohi K, Jimbo H : Positive selective brain cooling method: a novel, simple, and selective nasopharyngeal brain cooling method, Acta Neurochir, 96, 409-412, 2006
 - Dohi K, Jimbo H, Ikeda Y, Shioda S : Pharmacological brain cooling with indomethacin in acute hemorrhagic stroke: antiinflammatory cytokines and antioxidative effects, Acta Neurochir, 96, 57-60, 2006
 - Schneider JG, Finck BN, Ren J, Standley KN, Takagi M, Maclean KH, Bernal-Mizrachi C, Muslin AJ, Kastan MB, Semenkovich CF : ATM-dependent suppression of stress signaling reduces vascular disease in metabolic syndrome, Cell Metabolism, 4, 377-389, 2006
 - Ikeda N, Honada H, Hayashi A, Usuda J, Kato Y, Tsuboi M, Ohira T, Hirano T, Kato H, Serizawa H, Aoki Y : Early detection of bronchial lesions using newly developed videoendoscopy-based autofluorescence bronchoscopy, Lung Cancer, 52, 21-27, 2006
 - S.Maeno et al. : Patellar impingement against the tibial component after total knee arthroplasty, Clin Orthop Relat Res, 452, 265-269, 2006.11
 - 前野晋一 他 : 膝十字靭帯ガングリオンによる可動域制限の一考察, 関節鏡, 31(2), 177-181, 2006.10
 - 前野晋一 他 : MD-CTが局在診断に有用であった小児足関節色素性絨毛結節性滑膜炎の1例, 日本足の外科学会誌, 27(2), 93-97, 2006

総説

- 松田圭二, 安達実樹, 味村俊樹, 山田英樹, 大見琢磨, 荒井武和, 矢後尋志, 白 京訓, 野澤慶次郎, 小平 進, 冲永功太 : 5. 静脈瘤に対する内視鏡治療 3) 直腸・肛門静脈瘤 (内痔核), 胃と腸, 41(4), 687-689, 2006
- 味村俊樹, 野澤慶次郎, 松田圭二, 安達実樹, 冲永功太 : 便失禁の診断と治療, 消化器科, 42(5), 427-435, 2006
- 荒川 孝 : 手術手技—尿路内視鏡手術 経尿道の手術, 臨床泌尿器科, 60(7), 29-36, 2006
- 荒川 孝 : 教育システムと医療経済が危ない, JJEE, 19(2), 172-177, 2006
- 荒川 孝 : 尿路結石症 診療ガイドラインと治療, 腎と透析, 増刊号(60), 434-439, 2006
- 池田徳彦 : 末梢小型肺癌に対する外科治療, 外科治療, 95, 299-300, 2006
- 池田徳彦 : 臨床病期II期およびIII期小細胞肺癌患者の外科治療成績 討論, 胸部外科, 59, 884-886, 2006
- 池田徳彦 : 肺癌診療ガイドラインに関する考察, 臨床外科, 62, 465-468, 2007
- 太田恵一朗 : 外科学温故知新17 胃癌外科, 臨床外科, 62(2), 249-253, 2007
- 酒井成身, 酒井成貴 : 乳房再建のコツ—整容的観点から—人工物を用いない広背筋皮弁による乳房再建, PEPARS, 10, 22-31, 2006.7.15
- 酒井成身, 酒井成貴 : 乳房再建のコツ—整容的観点から—縦軸型拡大腹直筋皮弁による乳房再建, PEPARS, 10, 42-50, 2006.7.15
- 酒井成身 : 乳房のrejuvenation 乳頭・乳輪縮小術, 形成外科, 49(12), 1344-1351, 2006.12
- 酒井成身, 酒井成貴 : 乳頭・乳輪の再建, 手術, 61(2), 192-196, 2007.2.15
- 高山 豊 (分担執筆) : 軽度認知症とは—超早期からの診断, からだの科学, 251, 60-64, 2006
- 武田克彦, 海野聡子 : 高齢者の視覚と関連した失認, 老年精神医学, 17(8), 838-843, 2006

- ・ 武田克彦, 宮崎裕子: 視覚失認について, 神経心理学, 22(2), 95-104, 2006
- ・ 松井猛彦: 小児アレルギー疾患はなぜ増加しているのかー統計調査からみた動向と要因, Pediatric Allergy for Clinicians 2(4), 5-12, 2006.11
- ・ 松井猛彦: 喘息死ゼロを目指して, 呼吸, 26(1), 9-22, 2007.1
- ・ 真船健一: 食道胃接合部扁平上皮癌の外科的治療, 消化器の臨床, 9(5), 559-565, 2007
- ・ 渡辺清明: 混合診療と臨床検査, 検査と技術, 34(10), 983-984, 2006.10
- ・ 渡辺清明: 標準的な健診保健指導プログラム(暫定版)のポイント, アークス, 28, 3-7, 2006.10
- ・ 渡辺清明: 医療制度改革に伴う新しい健診体制と臨床検査, 医学検査, 55(11), 1187-1195, 2006.11
- ・ 佐藤敦久, 西本光宏: 内分泌高血圧症をめぐる新たな展開 ステロイドホルモンの心血管作用, 日本内科学会雑誌, 95, 709-715, 2006
- ・ 佐藤敦久: 腎疾患とアルドステロン受容体拮抗薬, 治療学, 40, 875-879, 2006
- ・ 佐藤敦久, 猿田享男: ACE阻害薬のPleiotropic effects, 循環器科, 60, 107-113, 2006
- ・ 佐藤敦久: 明らかになってきたACE阻害薬の心・腎保護作用, Care Net, 1-7, 2006.9.11
- ・ 佐藤敦久: 心臓保護を考慮した降圧薬の選択, 町田市医師会報, 401, 12-15, 2006
- ・ 佐藤敦久, 齋藤宣彦: アルドステロンブレイクスルー 概念から治療対象へ, 内分泌・糖尿病科, 23, 648-656, 2006
- ・ 佐藤敦久, 齋藤宣彦: 心血管リスクとしての糖尿病性腎症 診断と治療の進め方, Angiotensin Frontier, 5, 310-318, 2006
- ・ 佐藤敦久, 磯部伸介: アンジオテンシンII受容体拮抗薬とアンジオテンシン変換酵素阻害薬の臨床的差異, ホルモンと臨床, 55, 67-78, 2006
- ・ 佐藤敦久: レニン・アンジオテンシン系の新展開, With Pharma, 14-15, 2007
- ・ 佐藤敦久: ACE阻害薬か, ARBか, あるいは併用か?, BIO Clinica, 22, 49-53, 2007
- ・ 朝本俊司: 脳神経外科 専門医に聞く最新の臨床, 中外医学社, 441-443, 2006
- ・ 林 和, 岩崎賢太郎, 池田徳彦: 胸腔鏡下肺部分切除術におけるベリプラストの使用経験, MEDICAL TORCH, 2, 42-43, 2006
- ・ 林 和, 奥仲哲弥, 池田徳彦, 岩崎賢太郎, 奥澤 健, 佐治 久, 長束美貴, 長瀬清亮, 坪井正博, 加藤治文: コンベックス走査式超音波気管支鏡と気管支鏡下OCTの現状, 気管支学, 28(7), 487-493, 2006
- ・ 池田徳彦, 林 和, 岩崎賢太郎: 中心型肺癌の内視鏡所見, 呼吸, 25(7), 691-695, 2006

研究報告

- ・ 田島康夫: 平成16年度かながわがん対策本部調査研究事業報告書, かながわ健康財団, 2006

講演(学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 寺田総一郎: 健康食品, NHK「おはよう日本」土曜特集, 2006.5.27
- ・ 福井康之: 脊椎変性疾患の診断と治療ー特に手術適応の決め方についてー, 第256回東京都臨床整形外科医会, コクヨホール, 東京都, 2006.4.22
- ・ 福井康之: 腰部脊柱管狭窄症の診断と治療, 日本リハビリテーション医学会学術集会, 東京プリンスホテル, 東京都, 2006.6.3
- ・ 福井康之: 脊椎変性疾患の診断と治療, 腰痛セミナー in 城南, パシフィックホテル, 東京都, 2006.6.8
- ・ 福井康之: 腰部脊柱管狭窄症の診断と治療, 中央区港区整形外科医会, 東京プリンスホテル, 東京都, 2007.2.9
- ・ 福井康之: 腰部脊柱管狭窄症の診断と治療, 佐賀県臨床整形外科医会研修会, ホテルニューオータニ佐賀, 佐賀市,

2007.3.31

- Adachi M : Laparoscopic Surgery for Colorectal Cancer -Recent trends in Japan-, International Forum of Colorectal Surgery Nanjing China, Mandarin Garden Hotel Nanjing, Nanjing China, 2006.9.8
- Ikeda N : Diagnostic and Interventional Bronchoscopy (Invited), Annual Asian Pacific Conference Perspective in Lung Cancer, 上海, 2006.8.4
- Ikeda N : Present Status of Early Detection and Treatment of Lung cancer in Japan (Invited), Monday Noon Seminar in British Columbia Cancer Agency, British Columbia Cancer Research Centre, Vancouver, 2006.2.20
- Ikeda N : Screening for Lung Cancer in Japan (Invited), European Congress for Surgical Endoscopy, Verona, 2006.6.1
- Ikeda N : Endoscopic Diagnosis of Lung Cancer, Japanese Experience, European Congress for Surgical Endoscopy, Verona, 2006.6.1
- Ikeda N : Optical Coherence Tomography, European Congress for Surgical Endoscopy, Verona, 2006.6.1
- 池田徳彦 : 自家蛍光気管支鏡の新たな進歩 (ランチョンセミナー), 第29回日本呼吸器内視鏡学会, つくば, 2006.6.8
- 池田徳彦 : 気管支鏡検査の基礎 (ハンズオンコーディネーター), 第29回日本呼吸器内視鏡学会, つくば, 2006.6.8
- 池田徳彦, 林 和, 三宅真司, 佐野弘子, 阿部仁美, 垣花昌俊, 大平達夫, 平野 隆, 芹澤博美, 加藤治文 : 肺の小結節病変の臨床と形態学の接点, 第47回日本臨床細胞学会春期大会, パシフィコ横浜, 横浜, 2006.6.9
- 池田徳彦 : 肺癌の胸腔内再発に対する外科治療の検討 (ワークショップ), 第47回日本肺癌学会総会, 京都, 2006.12.15
- 池田徳彦 : 新世代の自家蛍光内視鏡による早期病変のマネジメント (ランチョンセミナー), 第15回クリニカルビデオフィォーラム, 東京, 2007.2.17
- 池田徳彦 : 肺癌の診断と治療の現状, 港区医師会学術講演会, 東京, 2007.3.16
- 太田恵一郎 : 皆様の健康を守るために, 茨城わくわく学園生きがい創造過程, 茨城県総合福祉会館, 水戸市, (2006.1.13)
- 太田恵一郎 : 臨床研修医のための漢方処方シリーズ 外科領域における十全大補湯, BSラジオNIKKEIツムラメディアカルトゥデイ, ラジオNIKKEI, 東京都, 2006.3.15
- 太田恵一郎 : 胃癌治療ガイドラインと癌の代替療法, ヤンセンファーマ社内勉強会, ヤンセンファーマ本社, 東京都, 2006.4.12
- 太田恵一郎 : 癌の補完代替医療について, 虎の門病院レジデント同窓会講演会, 虎の門病院講堂, 東京都, 2006.6.10
- 太田恵一郎 : がんの補完代替医療ー日本緩和医療学会ガイドライン (案) を中心としてー, 国際医療福祉大学公開講座, 大学院乃木坂教室, 東京都, 2006.9.22
- 太田恵一郎 : 最新がん治療の実際, MDC (医療決断支援師) 基礎講座, 東大学士会館, 東京都, 2006.9.30
- 太田恵一郎 : 胃癌リンパ節郭清の歴史と癌の補完代替療法, 第25回千葉胃癌研究会, 京成ホテル, 千葉市, 2006.10.6
- 太田恵一郎 : 外科と漢方, 筑波大学アドヴァンストコース「今日の医療としての東洋医学」, 筑波大学臨床講堂, つくば市, 2006.11.21
- 太田恵一郎 : がんの補完代替医療, 鶴陵会関東支部会総会, ホテルメトロポリタン, 東京都, 2006.11.25
- 太田恵一郎 : 消化器外科医が求める胃X線検査, 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第39回放射線部会総会, 横浜市民文化会館, 横浜市, 2007.2.17
- 草野修輔 (シンポジスト) : 障害のある人のスポーツとメディカルサポート, 日本臨床スポーツ医学会, 新潟コンベンションセンター, 新潟県, 2006.11.3
- 酒井成身 : 乳房再建と乳癌乳房温存手術, 乳癌学術講演会, 国際館パミール, 札幌, (2006.2.25)

- ・ 酒井成身：（特別講演）乳腺疾患と形成外科（陥没乳頭を含む），第12回良性乳腺疾患研究会，横浜市開港記念会館，横浜，（2006.3.18）
- ・ 酒井成身：乳房再建手術（乳癌をとっても怖くない），第65回日本医学放射線学会総会 市民公開講座，パシフィコ横浜，横浜，2006.4.9
- ・ 酒井成身：ランチョンセミナー 傷跡を目立たなくする手術，第58回日本産科婦人科学会総会，パシフィコ横浜，横浜，2006.4.25.
- ・ 酒井成身：特別講演 乳房形成術，第45回山口形成外科研究，霜仁会館，山口，2006.5.18
- ・ 酒井成身：特別講演 乳房再建術の最近の話題，乳癌学術講演会，ホテル青森，青森，2006.5.27
- ・ 酒井成身：乳房再建について，浜松外科医会講演会，県西部浜松医療センター，浜松，2006.6.20
- ・ Shigemi Sakai：Cosmetic breast reconstruction after breast cancer，2006 International college of cosmetic surgery，Seoul，2006.6.24.
- ・ Shigemi Sakai：Postoperative complication of Augmentation Mammoplasty and my experiences in treatment of it，2006 International college of cosmetic surgery，Seoul，2006.6.24
- ・ 酒井成身：形成外科医からみた乳腺外科手術，第14回日本乳癌学会 座談会「これからの乳腺外科に望まれる医療」，金沢都ホテル，金沢，2006.7.7
- ・ 酒井成身：乳癌術後の乳房再建，ひまわり会講演会，ウェルサンピア和歌山，和歌山，2006.9.9
- ・ 酒井成身：眼瞼眼窩形成術，乳房形成術，横浜市大形成外科講演会，横浜市大医療センター，横浜，2006.9.13
- ・ 酒井成身：外科医に役に立つ乳房再建と形成外科，第19回城南乳癌研究会，ゆうぽーと「福寿の間」，東京，2006.9.22
- ・ 酒井成身：乳房再建術，あけぼの会講演会，ファイザービル，東京，2006.10.9
- ・ 酒井成身：記念講演 わたしの歩んでいる美容形成というアート，第55回新潟大学医学部整形外科学教室同窓会（新潟大学形成外科10周年記念），新潟グランドホテル，新潟，2006.11.18
- ・ 酒井成身：特別講演 乳房再建術，第12回千葉県形成外科研究会，ペリエホール，千葉，2006.11.25
- ・ 酒井成身：乳房再建，講演会「乳癌トピック in Oita 2006」，大分全日空ホテル，大分，2007.1.12
- ・ 酒井成身：シンポジウム 眼窩の再建術－義眼床形成を主体として－，第30回日本眼科手術学会総会，京都国際会館，京都，2007.1.26
- ・ 酒井成身（座長）：乳房再建，第12回形成外科手術手技研究会，ばるるぶらざ，京都，2007.2.10
- ・ 田島康夫 他：シンポジウム2 細胞診とHPV-DNA検査に基づく子宮頸部前癌病変の取り扱い Koilocyteの出現形態に注目してHPV感染頸部異形成の予後を予測する試み，第45回日本臨床細胞学会秋期大会，東京ビックサイト国際会議場，東京都，2006.11
- ・ 田島康夫 他：ワークショップ1 コイロサイトーシス 診断および子宮頸部異形成との関係，第95回日本病理学会総会，京王プラザホテル，東京都，2006.4
- ・ 武田克彦：高次脳機能障害の画像診断について，平成18年度国際医療福祉大学言語聴覚科 卒後研修会，ハートフルセンター，東京都港区，2006.8.6
- ・ 武田克彦：高次脳機能障害の新展開，秋田脳研，秋田脳血管研究所，秋田県秋田市，2006.12.1
- ・ 武田克彦：高次脳機能障害の新展開，三重神経心理研究会，ホテルグリーンパーク津，三重県津市，2007.2.2
- ・ 松井猛彦：特別講演 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005とその問題点，第63回小児アレルギー同好会，ホテルグランドパレス，東京，（2006.2.4）
- ・ 松井猛彦：基調講演2 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005，日本医師会生涯教育協力講座セミナー慢性呼吸器疾患講座，日本医師会・山梨県医師会，アピオタワー館，甲府市，（2006.2.22）

- ・ 松井猛彦：基調講演2 小児気管支喘息の治療・管理ガイドライン，日本医師会生涯教育協力講座セミナー慢性呼吸器疾患講座，日本医師会・新潟医師会，新潟市医師会館，2006.4.15
- ・ 松井猛彦：教育講演 喘息死から学んだこと，第18回日本アレルギー学会春季臨床大会，京王プラザホテル，東京 2006.5.30-6/1
- ・ 松井猛彦：シンポジウム3 小児科領域からみたアレルギー診療のあり方，アレルギー科としての教育・診療のありかた，第18回日本アレルギー学会春季臨床大会，京王プラザホテル，東京，2006.5.30-6.1
- ・ 松井猛彦：特別講演 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005，山形吸入療法研究会，ホテルメトロポリタン山形，山形市，2006.7.14
- ・ 松井猛彦：特別講演 小児喘息ガイドラインを考える，第5回ちば喘息セミナー，ホテルニューオータニ幕張，幕張市，2006.9.29
- ・ 松井猛彦：特別講演 喘息死の現状と対策ー日本と世界の比較，第48回新潟アレルギー研究会，新潟ワシントンホテル，新潟市，2006.10.7
- ・ 松井猛彦，中澤次夫：司会の言葉 シンポジウム9 年齢から見た喘息死の問題点と対策，第56回日本アレルギー学会総会，東京国際会議場，東京，2006.10.20-22
- ・ 松井猛彦：特別講演 小児喘息ガイドラインを考える，庄内小児科医会，ホテルリッチ&ガーデン，酒田市，2006.10.27
- ・ 松井猛彦，西間三馨：司会の言葉 シンポジウム6 小児気管支喘息治療管理ガイドライン2005の使い方とその問題点ー薬物療法を中心に，第42回日本小児アレルギー学会，幕張メッセ，千葉，2006.11.25-26
- ・ 松井猛彦：小児喘息死 下げ止まりから微増の傾向に，第55回日本アレルギー学会秋季学術大会特集，67-68，Medical Tribune，（2006.1.5）
- ・ 松井猛彦：特集 喘息死委員会報告ー思春期喘息層での増加傾向に注意を，第42回日本小児アレルギー学会，37，Medical Tribune，（2006.1.5）
- ・ 松井猛彦：15～19歳男子の喘息死亡率が上昇 松井猛彦氏に聞く，教育医事新聞，257，1，（2006.1.25）
- ・ 松井猛彦：アレルギーと学校生活ーぜん息，アナフィラキシーを中心に，ぜん息予防等に関する講習会，独立行政法人環境再生保全機構，東京都健康局・病院経営本部研修センター，東京，（2006.2.14）
- ・ 松井猛彦：ぜんそくとアトピー性皮膚炎 自己管理への道，NPO法人アレルギー友の会，東医健保会館，東京，2006.6.11
- ・ 松井猛彦：トピックス 乳幼児の50%以上にアレルギー症状，生活と自治，14，2006.7
- ・ 松井猛彦：アレルギー性疾患総論，平成18年度東京都アレルギー事業推進員研修，東京都健康局・病院経営本部研修センター，東京都，2006.9.5
- ・ 松井猛彦：思春期喘息の特徴と問題点，平成18年度保健指導研修 独立行政法人環境再生保全機構，KKR HOTEL OSAKA，大阪，2006.9.12
- ・ 松井猛彦：医心伝心#41，小児喘息を考えるー新ガイドラインを中心に，医療福祉チャンネル774，2006.9.17
- ・ 松井猛彦：病を知る 子どもの病② 喘息，日本経済新聞（夕刊），14，2006.9.19
- ・ 松井猛彦：思春期喘息の特徴と問題点，平成18年度保健指導研修 独立行政法人環境再生保全機構，虎ノ門パストラル，東京，2006.10.17
- ・ 松原 哲：心電図の基礎知識，東京都臨床検査技師会，フクダ電子本社研修センター，東京都，2006.6.9
- ・ 真船健一：食道癌，第1回三田がんフォーラム，三田病院会議室，東京，2006.8.4
- ・ 佐藤敦久：ACE阻害薬とARBのエビデンスを考える，糖尿病・腎臓専門医が考える循環器疾患を考慮する会，ホテルニューオータニ，東京都千代田区，2006.4.3

- ・ 佐藤敦久：心臓保護を考慮した降圧薬の選択，徳島市医師会学術講演会，ホテルクレメント徳島，徳島県徳島市，2006.4.6
- ・ 佐藤敦久：心臓保護を考慮した降圧薬の選択，高知県医師会産業医学研修会，高知県医師会館，高知県高知市，2006.4.22
- ・ 佐藤敦久：臓器保護効果をねらった高用量ARBの使い方，第179回もとす医師会臨床研究会，朝日大学，岐阜県本巣市，2006.4.28
- ・ 佐藤敦久：最新の高血圧治療，墨東循環器談話会，東武ホテルレパント東京，東京都墨田区，2006.5.13
- ・ 佐藤敦久：アルドステロン 新しい概念で再び腎臓へ，第9回 New Horizon for Nephrology，京王プラザホテル，東京都新宿区，2006.5.23
- ・ 佐藤敦久：腎疾患と高血圧，県央Expert Meeting，三条ロイヤルホテル，新潟県三条市，2006.5.26
- ・ 佐藤敦久：高性能ACE阻害薬のエビデンス，公開講座 RA系阻害薬を再考する会，マーキュリーホテル，群馬県前橋市，2006.5.31
- ・ 佐藤敦久：臓器保護とARB，金沢循環器学術講演会，金沢全日空ホテル，石川県金沢市，2006.6.16
- ・ 佐藤敦久：進化する高血圧治療，高血圧セミナー in 福岡，ホテルオークラ福岡，福岡県福岡市，2006.6.6
- ・ 佐藤敦久：さらなる臓器保護にはACE阻害薬の差別化へ，国際シンポジウム－RA系阻害薬のメカニズムと臨床的意義－，赤坂プリンスホテル，東京都千代田区，2006.6.17
- ・ 佐藤敦久：心臓保護を考慮した降圧薬の選択，横浜内科学会例会学術講演会，ホテルキャロットジャパン，神奈川県横浜市，2006.6.22
- ・ 佐藤敦久：最新の高血圧治療，高血圧学会 高血圧治療学術講演会，アピオ甲府，山梨県甲府市，2006.6.28
- ・ 佐藤敦久：心臓保護を考慮した降圧薬の選択，日本高血圧学会 生涯教育講演会，プラザ洞津，三重県津市，2006.6.29
- ・ 佐藤敦久：最も有効な心・腎保護治療，ACE阻害薬を再考する立川学術講演会，パレスホテル立川，東京都立川市，2006.7.1
- ・ 佐藤敦久：アルドステロン 新しい概念で心臓から再び腎臓へ，第1回 アルドステロン ベイサイド カンファレンス，横浜ベイシェラトン，神奈川県横浜市，2006.7.4
- ・ 佐藤敦久：脂肪細胞とアルドステロン，第8回東京アルドステロンフォーラム，野村コンファレンスプラザ，東京都新宿区，2006.7.14
- ・ 佐藤敦久：最も有効な心・腎保護治療，RA系阻害薬の使い方を考える－降圧療法の新展開－，リーガロイヤルホテル堺，大阪府堺市，2006.7.8
- ・ 佐藤敦久：ACE阻害薬は差別化へ，富山県医師会生涯教育企画認定講座，富山全日空ホテル，富山県富山市，2006.7.13
- ・ 佐藤敦久：循環器疾患を考慮したRA系薬剤の選択，東邦RA系阻害薬を再考する会，東邦大学医療センター大森病院，東京都品川区，2006.7.20
- ・ 佐藤敦久：最も有効な高血圧治療，徳山医師会学術講演会，ホテルサンルート徳山，山口県周南市，2006.7.27
- ・ 佐藤敦久：腎機能障害患者の高血圧をどう診るか，Minato Hypertension Forum 2006，ホテルオークラ東京，東京都港区，2006.7.28
- ・ 佐藤敦久：高性能ACE阻害薬のエビデンス，後志循環器カンファレンス，小樽グランドホテル，北海道小樽市，2006.8.1
- ・ 佐藤敦久：高血圧治療概論，北勢地区学術講演会，四日市都ホテル，三重県四日市市，2006.8.4
- ・ 佐藤敦久：循環器疾患を考慮したRA系抑制薬の選択，循環器治療研究会，水戸プラザホテル，茨城県水戸市，

2006.8.9

- ・ 佐藤敦久 : 臓器保護とmax dose, 臓器保護とRAS抑制, 東京会館, 東京都千代田区, 2006.8.10

- ・ 佐藤敦久 : 腎機能障害患者における治療と病診連携, Roundtable Seminar, パレスホテル立川, 東京都立川市, 2006.8.28

- ・ 佐藤敦久 : ACE阻害薬の良さを再認識する, 十日町市中魚沼郡学術講演会, ラポート十日町, 新潟県十日町市, 2006.9.12

- ・ 佐藤敦久 : 高性能ACE阻害薬の選択とそのエビデンス, 新居浜市医師会学術講演会, リーガロイヤルホテル新居浜, 愛媛県新居浜市, 2006.9.15

- ・ 佐藤敦久 : 最も有効な心・腎保護作用, 銚子市医師会学術講演会, 銚子プラザホテル, 千葉県銚子市, 2006.9.21

- ・ 佐藤敦久 : アルドステロン 新しい概念で心臓から再び腎臓へ, Meet The Specialist, 浦和ロイヤルパインズホテル, 埼玉県さいたま市, 2006.9.28

- ・ 佐藤敦久 : アルドステロン RAA系の中心へ, 佐久・小諸循環器フォーラム, 佐久グランドホテル, 長野県佐久市, 2006.10.27

- ・ 佐藤敦久 : 最も有効な心・腎保護作用, Hypertension Meeting with Specialist in 鹿児島, ホテルレクストン鹿児島, 鹿児島県鹿児島市, 2006.10.28

- ・ 佐藤敦久 : アルドステロン RA系の中心へ, 滋賀アルドステロンフォーラム, 草津エストピアホテル, 滋賀県草津市, 2006.11.4

- ・ 渡邊雄介 : 特別講演 耳鼻咽喉科医が診る胃食道逆流症についてー咽喉頭酸逆流症ー, 第33回多摩耳鼻咽喉科臨床研究会, 東京, 2006.10.28

- ・ 渡邊雄介 : 特別講演 耳鼻咽喉科医が診る胃食道逆流症, LPRD学術勉強会, 札幌, 2006.11.11

- ・ 渡邊雄介 : 特別講演 胃食道逆流症と耳鼻咽喉科疾患, 天草医師会 学術講演会, 天草, 2006.11.7

- ・ 渡邊雄介 : 特別講演 耳鼻咽喉科医も知っておかなくてはならない胃食道逆流症, 日本耳鼻咽喉科学会熊本地方連合会, 熊本, 2006.11.8

- ・ Yusuke Watanabe : Long-term histological outcomes of injected autologous fat into human vocal folds after secondary laryngectomy, Eastern Asian Phonosurgery Conference, Seoul Korea, 2006.12.3

- ・ 久保田啓介 : 消化管間質系腫瘍 (GIST) について, 第1回三田がんフォーラム, 三田病院, 東京, 2006.8.4

- ・ 神保洋之, 朝本俊司, 畑山和己 : 未破裂大型脳動脈瘤の直達手術, 脳卒中の外科学会, シーホーク, 福岡, 2007.3.24

- ・ Jimbo H, Asamoto S, Hatayama K, Mitsuyama T, Fukui Y : Spinal chronic subdural hematoma in association with anticoagulant therapy, Neurospine 2006, Jaipur India, 2006.9.28

- ・ 高木正稔 : p53 mRNA 翻訳制御機構の解析, 千葉県がんセンター研究局集談会, 千葉県がんセンター, 千葉, 2006.5.10

- ・ Masatoshi Takagi, Shiho Horibe, Tomohiro Morio, Masanobu Kitagawa, Shuki Mizutani : DNA damage Check point prevents leukemic transformation in MDS, 2006 International workshop on Ataxia Telangiectasia (A-T) and ATM, Banff Center, Banff Canada, 2006.9.9

- ・ 高木正稔, 森尾友宏, 北川昌伸, 水谷修紀 : 骨髄異形成症候群 (MDS) の白血病への進展過程におけるDNA損傷チェックポイントの役割の解析, 第65回日本癌学会学術総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2006.9.29

- ・ 高木正稔, 堀部志保, 森尾友宏, 北川昌伸, 水谷修紀 : 骨髄異形成症候群 (MDS) の白血病への進展過程におけるDNA損傷応答の関与, 第68回日本血液学会総会・第48回日本臨床血液学会総会, 福岡国際会議場 福岡サンパレス マリンメッセ福岡, 博多, 2006.10.6

- ・ 高木正稔, 堀部志保, 森尾友宏, 北川昌伸, 水谷修紀 : 骨髄異形成症候群 (MDS) の白血病への進展過程における

- DNA損傷チェックポイントの役割の解析, 平成18年度厚生労働省がん研究助成金中畑班 班会議, 国立名古屋病院, 名古屋, 2006.10.22
- ・高木正稔, 堀部志保, 森尾友宏, 北川昌伸, 水谷修紀: 骨髄異形成症候群 (MDS) の白血病 (overt leukemia) への進展過程におけるDNA損傷応答経路の関与について, 第48回日本小児血液学会・第22回日本小児がん学会総会, グランキューブ大阪, 大阪, 2006.11.26
 - ・山田公人, 緒方昭彦, 長東美貴, 臼田実男, 林 和, 大平達夫, 坪井正博, 加藤治文, 河野範男: 新たな乳管病変の診断, 治療の可能性~PDTとOCTの応用, 第11回日本乳管内視鏡研究会, 神戸, 2006.9.9
 - ・増田 敬: 小児喘息の管理ーガイドラインの使い方, 和光堂喘息講演会, 和光堂会議室, 東京, 2006.6.16
 - ・増田 敬: 思春期喘息の問題点を理解し, 乳幼児喘息の管理を考える, 萬有製薬学術講演会, 萬有製薬講堂, 東京, 2006.12.7

学会発表

- ・ T.Iwata, Y.Tanaka et al.: Characterization of Drusen Component and Possible Involvement of Autoimmunity in Early and Late Onset Macular Degeneration Cynomolgus Monkey(Macaca Fascicularis), Annual Meeting of ARVO, Convention Hall, Port Forderdele Miami USA, 2006.4.30
- ・ M.Shibuya, Y.Tanaka et al.: Proteome Analysis of Retinal Pigment Epithelial Cells Treated with Growth Promotive Factor; REF-1/TFPI-2, Annual Meeting of ARVO, Convention Hall, Port Forderdele Miami USA, 2006.4.30
- ・ 泉加奈子, 黒坂大次郎, 田中靖彦 他: 角膜創傷治癒過程におけるIGF-1とIGFBP-3の発現動態と機能, 第110回日本眼科学会, 大阪国際会議場, 大阪市, 2006.4.13
- ・ 矢島 賢, 大久保浩司, 島田 朗, 水口 斉, 井手協太郎, 寺田総一郎: 耐糖能異常が疑われた「受診者」のGAD65抗体の陽性頻度とその意義, 第103回日本内科学会講演会, パシフィコ横浜, 横浜市, 2006.4.15
- ・ 三並 敦, 寺田総一郎, 水口 斉, 繼 敏光, 西脇 眞, 伊藤 亮: 診断に苦慮した腓頭部腫瘍, 第33回肝胆膵治療研究会, エーザイ株式会社6階ホール, 名古屋, 2006.8.5
- ・ 寺田総一郎, 大久保浩司, 日比紀文: 人間ドックにおいて高頻度に胃十二指腸ファイバーを行った症例の解析, 第47回日本人間ドック学会学術大会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県宜野湾市, 2006.9.14
- ・ 繼 敏光, 矢島 賢, 寺田総一郎, 井手協太郎, 小出まさよ, 池谷茂樹: 尋常白斑に悪性貧血を合併した1例, 第113回遠江医学会, グランドホテル浜松, 浜松, 2006.11.1
- ・ 三並 敦, 寺田総一郎, 水口 斉, 繼 敏光, 西脇 眞, 伊藤 亮: 主題 膵腫瘍との鑑別が困難だった十二指腸GISTの1症例, 潰瘍病態研究会第15回フォーラム, スクワール麴町, 東京, 2006.8.19
- ・ 斉藤憲太, 福井康之 他: 特発性脊髄ヘルニアの2症例, 第638回関東整形災害外科学会 月例会, 興和ビル, 東京都, 2007.2.24
- ・ 味村俊樹, 山田英樹, 大見琢磨, 荒井武和, 白 京訓, 野澤慶次郎, 松田圭二, 安達実樹, 沖永功太: 便失禁の診断と治療, 第19回老年泌尿器科学会, 都市センターホテル, 東京都千代田区, 2006.6.22
- ・ 安達実樹 (座長): 大腸悪性1, 第31回日本外科系連合学会学術集会, ホテル日航金沢, 石川県立音楽堂, 金沢市アートホール, 石川県金沢市, 2006.6.22
- ・ 松田圭二, 安達実樹, 山田英樹, 大見琢磨, 荒井武和, 白 京訓, 野澤慶次郎, 味村俊樹, 小平 進, 沖永功太, 渡邊聡明, 高田忠敬: ドキシフルリジンとイリノテカンが奏効したS状結腸癌の一例, 第31回日本外科系連合学会学術集会, ホテル日航金沢, 石川県立音楽堂, 金沢市アートホール, 石川県金沢市, 2006.6.23
- ・ Adachi M: Functional end-to-end anastomosis increases the risk of anastomotic recurrence of colon cancer, XXIth Biennial Congress of the International Society of University Colon and Rectal Surgeons, Istanbul Hilton Convention Center, Istanbul

Turkey, 2006.6.25-28

- ・松田圭二, 中村圭介, 青柳賀子, 端山 軍, 山田英樹, 大見琢磨, 白 京訓, 野澤慶次郎, 味村俊樹, 小平 進, 沖永功太, 安達実樹, 渡邊聡明: 直腸癌に対する術前放射線療法の功罪, 第65回大腸癌研究会, ホテルニューキャッスル, 青森県弘前市, 2006.7.7
- ・味村俊樹, 山田英樹, 大見琢磨, 荒井武和, 白 京訓, 野澤慶次郎, 松田圭二, 安達実樹, 小平 進, 沖永功太, 渡邊聡明: 機能的端々吻合術後に吻合部再発をきたした結腸癌の2例, 第61回日本消化器外科学会定期学術総会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.7.13
- ・松田圭二, 安達実樹, 山田英樹, 大見琢磨, 荒井武和, 白 京訓, 野澤慶次郎, 味村俊樹, 小平 進, 沖永功太: 大腸重複癌症例の検討, 第61回日本消化器外科学会定期学術総会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.7.14
- ・野澤慶次郎, 大見琢磨, 白 京訓, 山田英樹, 松田圭二, 味村俊樹, 安達実樹, 小平 進, 沖永功太: 終末期癌患者に対する手術例の検討, 第61回日本消化器外科学会定期学術総会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.7.14
- ・松田圭二, 中村圭介, 青柳賀子, 端山 軍, 山田英樹, 大見琢磨, 白 京訓, 野澤慶次郎, 味村俊樹, 小平 進, 沖永功太, 安達実樹, 渡邊聡明: 臨床病理学的検討から得られた大腸sm癌治療法の選択—内視鏡治療か腹腔鏡下手術か, 第61回日本大腸肛門病学会総会, 弘前文化センター, ホテルニューキャッスル, 弘前商工会議所, 青森県弘前市, 2006.9.29
- ・安達実樹 (座長): 手術手技2, 第61回日本大腸肛門病学会総会, 弘前文化センター, ホテルニューキャッスル, 弘前商工会議所, 青森県弘前市, 2006.9.30
- ・野澤慶次郎, 大見琢磨, 白 京訓, 青柳賀子, 中村圭介, 松田圭二, 味村俊樹, 安達実樹, 小平 進, 沖永功太, 高田忠敬: 大腸癌術後肺転移症例に対する術前CPT-11/5'-DFUR併用療法の経験, DDW-Japan 2006, 札幌コンベンションセンター, 道立総合体育センター, 北海道札幌市, 2006.10.12
- ・松田圭二, 安達実樹, 山田英樹, 大見琢磨, 荒井武和, 白 京訓, 野澤慶次郎, 味村俊樹, 小平 進, 沖永功太, 渡邊聡明, 高田忠敬: 大腸がん検診における注腸X線検査の意義と役割—外科の立場から, DDW-Japan 2006, 札幌コンベンションセンター, 道立総合体育センター, 北海道札幌市, 2006.10.12
- ・山田英樹, 味村俊樹, 中村圭介, 青柳賀子, 端山 軍, 大見琢磨, 白 京訓, 野澤慶次郎, 松田圭二, 安達実樹, 沖永功太: サイトメガロウイルス腸炎による下行結腸狭窄に対して手術を施行した1例, DDW-Japan 2006, 札幌コンベンションセンター, 道立総合体育センター, 北海道札幌市, 2006.10.12
- ・飯沼久恵, 沖永功太, 安達実樹, 渡邊聡明, 高田忠敬, 三森功士, 長崎光一, 三木義男, 森 正樹, 笹子三津留: 大腸癌症例における血中遊離癌細胞の再発予測因子としての臨床的エビデンス, 第44回日本癌治療学会総会, 京王プラザホテル, 東京都新宿区, 2006.10.18
- ・安達実樹 (座長): 小腸5, 第68回日本臨床外科学会総会, 広島国際会議場, 広島厚生年金会館, 広島全日空ホテル, 広島県広島市, 2006.11.9
- ・加藤亜裕, 久保田啓介, 三浦敬史, 出口倫明, 黒田純子, 折口信人, 太田恵一朗, 安達実樹, 真船健一: 胃全摘後の再建に用いた間置空腸の腸間膜リンパ節に転移をきたした食道癌の1例, 第68回日本臨床外科学会総会, 広島国際会議場, 広島厚生年金会館, 広島全日空ホテル, 広島県広島市, 2006.11.9
- ・松田圭二, 渡邊聡明, 中村圭介, 青柳賀子, 端山 軍, 山田英樹, 大見琢磨, 白 京訓, 野澤慶次郎, 味村俊樹, 沖永功太, 安達実樹, 高田忠敬: 当科のデータからみた直腸癌における腹腔鏡下手術の問題点, 第68回日本臨床外科学会総会, 広島国際会議場, 広島厚生年金会館, 広島全日空ホテル, 広島県広島市, 2006.11.10
- ・出口倫明, 安達実樹, 三浦敬史, 加藤亜裕, 黒田純子, 久保田啓介, 折口信人, 山本夏代, 樋口良太, 小山秀彦, 太田恵一朗, 遠藤久子, 真船健一: 腹腔鏡補助下に切除し得た十二指腸GISTの1例, 第292回日本消化器病学会関東支部例会, 海運クラブ, 東京都千代田区, 2006.12.16

- ・三浦敬史, 出口倫明, 加藤亜裕, 黒田純子, 久保田啓介, 折口信人, 太田恵一朗, 安達実樹, 真船健一: 下咽頭癌術後の肺塞栓症の1例, 第41回日本成人病(生活習慣病)学会学術集会, 都市センターホテル, 東京都千代田区, 2007.1.14
- ・安達実樹(座長): 大腸④, 第43回日本腹部救急医学会総会, 京王プラザホテル, 東京都新宿区, 2007.3.9
- ・三浦敬史, 安達実樹, 折口信人, 出口倫明, 加藤亜裕, 黒田純子, 久保田啓介, 太田恵一朗, 真船健一: 手術時の腹膜欠損孔から腹膜下空隙内に小腸が嵌頓して絞扼性イレウスをきたした2例, 第43回日本腹部救急医学会総会, 京王プラザホテル, 東京都新宿区, 2007.3.9
- ・荒川 孝(座長): 感染症・尿路結石症(ポスター), 第94回日本泌尿器科学会総会, 福岡国際会議場, 福岡, 2006.4
- ・荒川 孝(座長): ミニワークショップ6 困難症例に対するESWL, 第20回日本EE学会総会, 大阪国際会議場, 大阪, 2006.10
- ・荒川 孝: ミニワークショップ6 困難症例に対するESWL Keynote Lecture, 第20回日本EE学会総会, 大阪国際会議場, 大阪, 2006.10
- ・荒川 孝: ディベート「尿路結石」ステロイド処方例, 第49回日本腎臓病学会総会, 京王プラザ, 東京, 2006.6
- ・Ikeda N(座長): European Congress for Surgical Endoscopy, Verona, 2006.6.1
- ・池田徳彦(座長): 第29回日本呼吸器内視鏡学会, つくば, 2006.6.8
- ・池田徳彦(座長): 第23回日本呼吸器外科学会総会, 東京, 2006.5.25
- ・池田徳彦(座長): 第45回日本臨床細胞学会秋期大会, 東京, 2006.11.10
- ・池田徳彦(座長): 第22回肺癌集検セミナー, 京都, 2006.12.16
- ・岩崎康夫(座長): 頭蓋縫合早期癒合症, 第24回日本こども病院神経外科医会, 宮城県立こども病院, 仙台市, 2006.11.18
- ・遠藤久子, 佐藤敦久, 大山邦雄: ANCA関連腎炎で治療中腹腔内出血で突然死した1症例, 第11回血管病理研究会, 順天堂大学医学部会議室, 東京都文京区, 2006.10.14
- ・遠藤久子 他: 多発性血管病変のある患者, 血管病理研究会, 順天堂大学, 東京, 2006.10.14
- ・佐野弘子, 阿部仁美, 中村純子, 羽鳥 努, 池田徳彦, 遠藤久子: 胸水中に出現したPleural epithelioid hemangioendotheliomaの1例, 第45回日本臨床細胞学会秋期大会, 東京ビッグサイト, 東京, 2006.11.11
- ・羽鳥 努, 佐野弘子, 遠藤久子, 鎌田信悦, 三浦弘規, 多田雄一郎 他: 側頭骨に発生した骨巨細胞腫の一例, 第96回日本病理学会, 国際会議場, 大阪, 2007.3.15
- ・太田恵一朗(司会): 要望演題 噴門部癌の治療, 第78回日本胃癌学会, 大阪国際会議場, 大阪市, 2006.3.10
- ・太田恵一朗(司会): ポスターセッション 胃癌, 第106回日本外科学会, 東京国際フォーラム, 東京都, 2006.3.29
- ・太田恵一朗(座長): 一般演題 胃癌, 第31回日本外科系連合学会, 日航金沢ホテル, 金沢市, 2006.6.22
- ・太田恵一朗(座長): 一般演題ポスター 胃診断, 第61回日本消化器外科学会, 横浜パシフィコ, 横浜市, 2006.7.13
- ・太田恵一朗(世話人代理): 各種癌における取扱い規約およびガイドラインの諸問題, 第38回癌とリンパ節研究会, 京王プラザホテル, 東京都, 2006.10.18
- ・太田恵一朗(座長): 一般演題 胃十二指腸(悪性), 第68回日本臨床外科学会, 広島全日空ホテル, 広島市, 2006.11.10
- ・太田恵一朗(司会): 合同シンポジウム 術後消化器症状等に及ぼすTJ-43六君子湯の効果, 第68回日本臨床外科学会第16回外科漢方研究会, 広島全日空ホテル, 広島市, 2006.11.10
- ・Keiichiro Ohta(Chairman): Gastric Cancer: Session II, Japan-Poian Society for Exchange in Surgery The 9th Symposium, ANA Hotel Hiroshima, Hiroshima, 2006.11.11

- ・ Ryo Ushijima, Shogo Kikuchi, Toshifusa Nakajima, Keiichiro Ohta, Masahiro Kikuichi, Osamu Kobayashi, Akira Tsuburaya : The characteristics of H. pylori - negative gastric cancers., Western Pacific Helicobacter Congress, バンコク, 2006.11.12
- ・ 菊地正悟, 牛嶋 良, 小幡由紀, 中島聰總, 小林 理, 菊一雅弘, 円谷 彰, 太田恵一朗, 柳生聖子, 林 櫻松 : 血管内皮増殖因子 (VEGF) と胃癌の予後, 第65回日本癌学会, 横浜パシフィコ, 横浜市, 2006.9.28
- ・ 草野修輔 : 下肢切断者における心理評価ー日本版POMSを用いた検討ー, 日本リハビリテーション医学会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京都, 2006.6.2
- ・ 山田睦雄, 草野修輔 他 : スポーツ用弾性ストッキングの運動時着用の効果について (第1報), 日本リハビリテーション医学会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京都, 2006.6.2
- ・ 山本 満, 陶山哲夫, 草野修輔 他 : 体重免荷式装置を用いた多段階運動負荷試験の試み (第1報), 日本リハビリテーション医学会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京都, 2006.6.2
- ・ 大井直往, 板橋 明, 草野修輔 他 : 腰椎椎間板ヘルニアに対する脊椎減圧装置 (DRX9000) の効果, 日本リハビリテーション医学会, 東京プリンスホテルパークタワー, 東京都, 2006.6.2
- ・ 酒井成身, 安藤和正, 小林秀行 : 義眼床作成と眼瞼下垂の修正, 第17回義眼床手術研究会, 神緑会館, 神戸, (2006.2.11)
- ・ 酒井成身, 安藤和正 : 眼瞼の再建, 瘢痕修正・植皮・皮弁, 第49回日本形成外科学会総会, 岡山コンベンションセンター, 岡山, 2006.4.12
- ・ 酒井成身 (座長) : 教育セミナー 私の行っている乳房再建, 第49回日本形成外科学会総会, 岡山コンベンションセンター, 岡山, 2006.4.12
- ・ 酒井成身, 安藤和正 : 拡大広背筋皮弁の乳房再建における血行, 第49回日本形成外科学会総会, 岡山コンベンションセンター, 岡山, 2006.4.14
- ・ 酒井成身 (発表, 座長), 安藤和正, 酒井成貴 : 拡大広背筋皮弁による乳房再建の実践, 第31回日本外科系連合学会, ホテル日航金沢, 金沢, 2006.6.22
- ・ 酒井成身 : 乳房再建における乳頭・乳輪作成, 第14回日本乳癌学会, 金沢市アートホール, 金沢, 2006.7.7
- ・ 酒井成身 : 他院にて乳頭縮小を行い乳管閉塞をきたした症例の分泌機能回復術, 日本美容外科学会 第96回学術集会, ホテルJALシティー仙台, 仙台, 2006.7.17
- ・ 酒井成身 : 「眼瞼下垂」筋膜移植法と挙筋短縮法, 第29回日本美容外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2006.10.9
- ・ 酒井成身 (座長) : 乳房2, 第29回日本美容外科学会総会, パシフィコ横浜, 横浜, 2006.10.9
- ・ 酒井成身, 安藤和正, 酒井成貴 : 拡大広背筋皮弁による乳房再建, 第68回日本臨床外科学会総会, 広島全日空ホテル, 広島, 2006.11.9
- ・ 酒井成身 : 眼瞼陥凹における修正術, 第18回眼瞼義眼床研究会, 京都国際会館, 京都, 2007.2.24
- ・ 酒井成身, 酒井成貴 : 分裂乳頭の治療法, 第13回良性乳腺疾患研究会, 倉敷市芸文館, 倉敷, 2007.3.24
- ・ 小山美恵, 植田 恵, 高山 豊 : MCIと加齢 記憶その他の認知能力の検討, 第30回日本神経心理学会総会, 名古屋国際会議場, 名古屋市, 2006.9.23
- ・ 田島康夫 : 死産児および新生児の剖検時エックス線撮影 オートプシー・イメージングのプロトタイプとしての9例, 第94回日本病理学会総会, 横浜国際会議場, 横浜市, (2005.4)
- ・ 田島康夫 他 : 高リスク群ヒトパピローマウイルス感染所見と子宮頸部細胞診による予後の推定, 第46回日本臨床細胞学会総会, 福岡国際センター, 福岡市, (2005.5)
- ・ 湯澤和彦, 田島康夫 他 : 脱落模様変化を伴った子宮体部癌肉腫の一例, 第46回日本臨床細胞学会総会, 福岡国際センター, 福岡市, (2005.5)

- ・ 田島康夫 他：網膜芽細胞腫におけるニューロトロフィンの発現と細胞分化について 24例の組織化学的検討，第22回日本脳腫瘍病理学会，朱鷺メッセ，新潟市，（2005.5）
- ・ 田島康夫：聴覚障害を持つ医学生のためのプレゼンテーションソフトを用いた講義，平成17年度全国大学IT活用教育方法研究発表会，アルカディア市ヶ谷，東京都，（2005.6）
- ・ 田島康夫 他：Koilocyteの出現形態に注目して頸部異形成の予後を予測する試み，第47回日本臨床細胞学会総会，京王プラザホテル，東京都，2006.6
- ・ 田島康夫 他：ヒトパピローマウイルス感染リスク評価，第52回神奈川県公衆衛生学会，神奈川県立保健大学，横浜市，2006.11
- ・ Tajima Y et al.：Detection and grouping of human papillomavirus on cervical Pap smears, XXVI International Congress of the International Academy of Pathology, Montreal Convention Center, Montreal Canada, 2006.9
- ・ 田島康夫（主催）：第82回神奈川県病理医会，帝京大学医学部附属溝口病院，川崎市，（2006.1）
- ・ 田島康夫（主催）：第18回臨床検査医学会関東甲信越支部総会，かながわサイエンスパークKSPホテル，川崎市，2006.9
- ・ 武田克彦，森 悦朗（座長）：言語の神経科学的基盤，第47回日本神経学会総会，京王プラザ，東京都新宿区，2006.5.12
- ・ 武田克彦，萬年 徹：語流暢性について－健常者での検討－，第47回日本神経学会総会，京王プラザ，東京都新宿区，2006.5.13
- ・ 武田克彦（座長）：前頭葉機能と事象関連電位，第11回認知神経科学学術集会，慶応大学，東京都港区，2006.7.29
- ・ 満田 大，武田克彦，山門 実：脳ドッグの神経心理検査と面接の有用性，第47回日本人間ドッグ学会学術大会，沖縄コンベンションセンター，沖縄，2006.9.15
- ・ 海野聡子，武田克彦，海田賢一：仮名に強い失読と同時に失認様の視覚失認を認めた1例，第30回日本神経心理学会，名古屋国際会議場，愛知県名古屋市，2006.9.22
- ・ 江村正博，木村将貴，荒川 孝，服部一紀：腹腔鏡下副腎摘除術を施行した悪性褐色細胞腫の1例，第69回日本泌尿器科学会茨城地方会，茨城県医師会館，水戸市，2006.10.28
- ・ 藤崎 勉，木村将貴，荒川 孝，服部一紀：副腎偶発腫瘍として診断手術を施行したサブクリニカルクッシング症候群の1例，第71回日本泌尿器科学会茨城地方会，エポカルつくば，つくば市，2007.3.10
- ・ 松原 哲（座長）：第31回東京不整脈フォーラム，日本都市センター，東京都，2006.12.8
- ・ 真船健一（座長）：一般演題 胃手術，第92回日本消化器病学会総会，北九州国際会議場，北九州，2006.4.21
- ・ 真船健一（座長），加藤元嗣：シンポジウム1，第71回日本消化器内視鏡学会総会，京王プラザホテル，東京，2006.5.16
- ・ 真船健一（座長）：分子生物学4，第60回日本食道学会学術集会，東京ドームホテル，東京，2006.7.1
- ・ 真船健一（座長）：一般演題 食道癌術後管理2 他，第61回日本消化器外科学会定期学術総会，パシフィコ横浜，横浜，2006.7.14
- ・ 真船健一：食道癌，第1回三田がんフォーラム，三田病院，東京，2006.8.4
- ・ 真船健一（座長）：食道癌 基礎，第48回日本消化器病学会大会，札幌コンベンションセンター，札幌，2006.10.11
- ・ 真船健一（座長）：一般演題（口演160） 消化器全般(3)，第44回日本癌治療学会総会，京王プラザホテル，東京，2006.10.20
- ・ 真船健一（座長）：口演5 長期生存例，胃癌学会，名古屋国際会議場，東京，2007.3.1
- ・ 真船健一（座長）：一般演題 食道，第43回腹部救急医学会総会，京王プラザホテル，東京，2007.3.7
- ・ 真船健一（司会）：臨床研究，上部消化管外科研究会，ホテルオークラ，東京，2007.3.24

- ・及川哲郎, 伊藤 剛, 星野卓之, 小山秀彦, 花輪壽彦: 腸管ガス量に及ぼす半夏厚朴湯の効果 FD患者を中心とした検討, 第92回日本消化器病学会, 北九州国際会議場, 福岡市, 2006.4.20
- ・小山秀彦, 久保田啓介, 三浦敬史, 樋口良太, 折口信人, 真船健一, 羽鳥 努, 近藤福雄, 笠貫順二: 潰瘍性大腸炎粘膜に発生したpyogenic granuloma, 第71回日本消化器内視鏡学会総会, 京王プラザホテル, 東京都, 2006.5.14
- ・佐藤敦久: アルドステロンブレイクスルー 抗アルドステロン薬の追加投与の必要性, 第79回日本内分泌学会学術総会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2006.5.20
- ・佐藤敦久: 明らかになってきたACE阻害薬の心・腎保護作用—さらなる臓器保護にはACE阻害薬の差別化へ—, 第49回日本腎臓学会学術総会, 京王プラザホテル, 東京都新宿区, 2006.6.16
- ・佐藤敦久: 最も有効な心・腎保護治療—なぜACE阻害薬を使わなければならないのか—, 第71回日本循環器学会総会・学術集会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2007.3.16
- ・Sato A: Clinical significance of aldosterone breakthrough during renin-angiotensin inhibitors, Breakfast Topical Workshop, The 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2006.10.16
- ・Sato A: Pleiotrophic effects of angiotensin-converting enzyme (ACE) inhibitors; differentiation among ACE inhibitors may lead to further organ protection, Luncheon Seminars, The 21st Scientific Meeting of the International Society of Hypertension, 福岡国際会議場, 福岡県福岡市, 2006.10.18
- ・磯部伸介, 佐藤敦久, 大山邦雄, 小野雅史, 羽鳥 努, 秋間道夫: 維持血液透析患者の不明熱精査中, 心外膜炎と大動脈破裂を合併した1症例, 第36回日本腎臓学会東部学術大会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.11.3
- ・佐藤敦久 (座長): 一般演題, 第10回日本心血管内分泌代謝学会学術総会, 福井フェニックスプラザ, 福井県福井市, 2006.11.18
- ・磯部伸介, 佐藤敦久: ACE阻害薬イミダプリル治療中の咳の副作用についての健闘—継続投与, 併用療法による咳の軽減・消失—, 第12回東京アンジオテンシン カンファレンス, 都市センターホテル, 東京都千代田区, 2007.2.3
- ・磯部伸介, 佐藤敦久: 腎不全患者におけるWhole PTH測定の有用性, 第14回愛宕山腎疾患カンファレンス, 東京プリンスホテル パークタワー, 東京都港区, 2006.7.21
- ・磯部伸介, 佐藤敦久: シルニジピン就寝前投与の効果と安全性—CARTER研究に準じて—, 心臓病と糖尿病 研究会, 東京ガーデンパレス, 東京都文京区, 2006.9.21
- ・磯部伸介, 佐藤敦久: ACE阻害薬治療中の咳について, Young Investigator's Hypertension Council, フォーシーズンズホテル丸の内東京, 東京都中央区, 2006.11.2
- ・渡邊雄介: 一側声帯麻痺におけるFalccid arytenoidに対する特別発言 声帯麻痺と診断して良いのか?, 第28回東日本音声外科研究会, 東京, 2006.4.8
- ・渡邊雄介, 笹井久徳, 熊田政信, 久保 武: 破裂軟骨内転術における牽引方向の工夫と効果, 第28回東日本音声外科研究会, 東京, 2006.4.8
- ・金林秀則, 渡嘉敷亮二, 渡邊雄介, 平松宏之, 本橋 玲, 鈴木 衛: 咽喉頭異常感 (globus sensation) と胃排出能の関係および六君子湯の有用性, 第6回喉頭アレルギー異常感症研究会, 熊本, 2006.4.14
- ・渡邊雄介 (座長): 第5群 肉芽腫, 第18回日本喉頭科学会, 熊本, 2006.4.13
- ・小川 真, 喜井正士, 竹中幸則, 杉山視夫, 渡邊雄介, 山本佳史, 猪原秀典: 外来音声障害症例における声門上部圧迫所見, 第18回日本喉頭科学会, 熊本, 2006.4.14
- ・渡邊雄介: ワークショップ1 耳鼻咽喉科におけるLPRDの概念, 第22回日本耳鼻咽喉科漢方研究会, 東京, 2006.10.14
- ・渡邊雄介, 岩切勝彦 (座長): ランチョンセミナー4 逆流性食道炎 (RE) ・非びらん性胃食道逆流症 (NERD) の病態と治療, 第58回日本気管食道科学会, 札幌, 2006.10.6

- ・ 渡邊雄介 (座長) : 一般演題 GERDと咽喉頭疾患研究会, 第58回日本気管食道科学会, 東京, 2006.6.10
- ・ 渡邊雄介 : 逆流性食道炎と咽喉頭疾患－耳鼻咽喉科医に逆流性食道炎は治療できるのか?－, 兵庫県耳鼻咽喉科医会 学術講演会, 神戸, 2006.6.24
- ・ Yusuke Watanabe, Asako Miyagi : New Surgical Technique For Spasmodic Dysphonia, 4th EUROPEAN Laryngology Society, Nottingham, 2006.9.1
- ・ 秋山義隆, 木棚 究, 由井克昌, 浅岡 弘, 浅野哲一 (座長), 洪 秀樹, 斎藤宣彦, 母家正明 : 歯科治療により炎症所見改善を得た高齢2型糖尿病の一症例, 日本老年医学会関東甲信越地方会, 東京医科歯科大学歯学部臨床講堂, 東京都, 2006.9.30
- ・ Shunji Asamoto : Surgical treatment for cervical spondylodiscitis, 57th Annual Meeting of the German Society of Neurosurgery, Congress center, Essen Germany, 2006.5
- ・ Shunji Asamoto : Diagnosis and surgical strategy for sacral meningeal cysts with check-valve mechanism, Spine 2006, Conference center, Jaipur India, 2006.9
- ・ 朝本俊司 : Meningeal cyst Type2に対する新しい手術法, 第21回日本脊髄外科学会, 全日空ホテル, 金沢, 2006.5.25
- ・ 朝本俊司 : 頸髄症に対する手術式選択に関する統計 アンケート調査の結果報告, 第21回日本脊髄外科学会, 全日空ホテル, 金沢, 2006.5.25
- ・ 朝本俊司 (座長) : 第21回日本脊髄外科学会, 全日空ホテル, 金沢, 2006.5.25
- ・ Masayuki Ishikawa, Oheneba Boachie-Adjei Matthew Cunningham, Gina Charles : Surgical outcomes of revision surgery extended to sacrum for post-surgical junctional degeneration in adults, 41th Scoliosis Research Society, Monterey convention center, Monterey California USA, 2006.9.14
- ・ 石川雅之, 朝本俊司, 福井康之, 斉藤憲太, 前野晋一, 神保洋之, 土居 浩 : 脊椎術後感染に対する高圧酸素療法の治療経験, 2007 Authentic Spinal Surgeon Summit, 品川プリンスホテル, 東京, 2007.3.17
- ・ 久保田啓介, 三浦敬史, 黒田純子, 折口信人, 太田恵一郎, 真船健一, 樋口良太, 小山秀彦, 山田和彦, 上西紀夫 : 食道癌に対するDCF療法に放射線照射を組み合わせた化学放射線療法の経験, 第60回日本食道学会学術集会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.6.30
- ・ Tsuboi M, Takahashi M, Saji H, Hayashi A, Uchida O, Tsusui H, Suzuki A, Iwasaki K, Kubota M, Yamaguchi G, Matsubayashi J, Ohira T, Irano T, Kato H : Emerging technique; Endobronchial enucleation for endobronchial hamartoma; report of a case, 14th World Congress for Bronchology, Argentina, 2006.6.27
- ・ Tsuboi M, Nagatsuka Y, Saji H, Usuda J, Honda H, Maeda J, Ichinose S, Hayashi A, Ikeda N, Kato H : Optical Coherence Tomography (OCT) for diagnosis of bronchial lesions; preclinical and clinical experiences: preliminary data, 14th World Congress for Bronchology, Argentina, 2006.6.28
- ・ 池田徳彦, 林 和, 岩崎賢太郎, 梶原直央, 大平達夫, 坪井正博, 平野 隆, 加藤治文 : 肺癌の胸腔内再発に対する外科治療の検討, 第47回日本肺癌学会総会, 国立京都国際会館, 京都, 2006.12.15
- ・ 佐治 久, 高橋 充, 宮島邦治, 林 和, 梶原直央, 大平達夫, 坪井正博, 平野 隆, 加藤治文 : 悪性胸膜中皮腫の外科を中心とした治療経験と今後の課題, 第44回日本癌治療学会総会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.10.18
- ・ 長東美貴, 坪井正博, 林 和, 白田実男, 及川武史, 菅 康博, 大平達夫, 池田徳彦, 加藤治文 : 気管支断端に対するOCT (Optical Coherence Tomography: 光干渉断層法) の有用性, 第29回日本呼吸器内視鏡学会総会, 筑波国際会議場, 茨城, 2006.6.9
- ・ 岩崎賢太郎, 池田徳彦, 林 和, 岩澤俊一郎, 本多英俊, 長東美貴, 坪井正博, 大平達夫, 平野 隆, 加藤治文 : 中心型早期肺癌に対する新しいアプローチと質的診断の向上, 第47回日本肺癌学会総会, 国立京都国際会館, 京都, 2006.12.14

- ・ 山口 学, 岩崎賢太郎, 佐治 久, 高橋 充, 林 和, 宮島邦治, 内田 修, 大平達夫, 坪井正博, 平野 隆, 加藤治文: 硬性気管支内視鏡下手術を行った気管良性腫瘍の3例, 第23回日本呼吸器外科学会, 東京プリンスホテル, 東京, 2006.5.26
- ・ 長束美貴, 林 和, 坪井正博, 臼田実男, 内田 修, 梶原直央, 大平達夫, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: OCT (Optical Coherence Tomography: 光干渉断層法) による気管支断端の評価, 第15回日本癌病態治療研究会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.6.1
- ・ 岩崎賢太郎, 林 和, 岩澤俊一郎, 佐藤圭一, 中野邦夫, 池田徳彦: 軟性気管支鏡下に摘出した気管膠原繊維腫の一例, 第117回日本呼吸器内視鏡学会関東支部会, アステラス製薬本社, 東京, 2006.7.8
- ・ 長瀬清亮, 長束美貴, 坪井正博, 林 和, 臼田実男, 大平達夫, 池田徳彦, 平野 隆, 加藤治文: OCT (Optical Coherence Tomography: 光干渉断層法) による中枢気道病変の診断, 第15回クリニカル・ビデオフォーラム (CVF), 大手町サンケイプラザ, 東京, 2007.2.17
- ・ 前野晋一 他: 脛骨顆部骨折におけるデブスゲージによる整復法, 日本関節鏡学会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県那覇市, 2006.6.8
- ・ 前野晋一 他: 膝前十字靭帯帯損傷における関節液中マトリックスメタロプロテアーゼ-3測定の意義, 日本臨床スポーツ医学会, 新潟朱鷺メッセ, 新潟県新潟市, 2006.11.2
- ・ 川崎俊樹, 前野晋一 他: Hauser変法術後に軽微な外力で脛骨骨幹部骨折を起こした1例, 日本膝関節学会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県那覇市, 2006.6.8
- ・ 増田 敬 (座長): 特別講演 赤坂 徹「こどもの喘息をキャリアオーバーさせないために」, 第6回小児吸入療法フォーラム, 経団連会館, 東京, 2006.4.15
- ・ 増田 敬 (座長): 一般演題 小児喘息4, 第18回日本アレルギー学会春季臨床大会, 京王プラザホテル, 東京, 2006.5.31
- ・ 増田 敬 (司会): 荒井康男「ネブライザー療法ガイドライン」, 乳幼児アズマスタディグループ, 赤坂プリンスホテル, 千葉, 2006.9.21
- ・ 増田 敬 (座長): 講演2 荒川浩一「小児慢咳含嗽の診断と病態」, 第14回ニューロペプチド研究会, 幕張メッセ, 千葉, 2006.11.24
- ・ 増田 敬 (座長): ワークショップ 患者教育, 第43回日本小児アレルギー学会, 幕張メッセ, 千葉, 2006.11.25
- ・ 増田 敬: キャリアオーバーした気管支喘息患者の母親が総括した小児期の問題点, 第43回日本小児アレルギー学会, 幕張メッセ, 千葉, 2006.11.26
- ・ 増田 敬 (座長): 特別講演 足立雄一「小児の喘息発作治療～外来および入院管理の実際」, 第7回小児吸入療法フォーラム, 東京ガーデンパレス, 東京, 2007.1.25
- ・ 宮本礼子: 進行・再発乳癌に対するCEF (500/100/500 mg/m²) 療法の安全性と認容性, 2006年乳癌学会
- ・ 師田 暁 (発表者): 原発性乳癌の術前病期診断におけるFDG-PETの有用性, 第14回日本乳癌学会学術総会, 石川県立音楽堂, 石川県金沢市, 2006.7.8

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 池田徳彦: 運営委員, 厚生労働省「がん対策のための戦略研究」運営委員会
- ・ 池田徳彦: 肺癌検診対象の最適化および要精査例に対するマネジメント向上の研究, 厚生労働省第3次対がん戦略事業齊藤班
- ・ 池田徳彦: 悪性胸膜中皮腫の病態の把握と診断法, 治療法の確立に関する研究, 厚生労働省がん臨床研究事業
- ・ 太田恵一郎: 進行胃癌に対する漢方治療の有用性, 平成18年度厚生労働科学研究費補助金 (医療安全, 医療技術評価)

総合研究事業), H18-医療, 一般-038, 継続

- ・ 田島康夫: 子宮頸部細胞診によるHPV発癌の予後予測因子の探索, かながわ健康財団がん対策推進本部助成金, H15-18, 継続
- ・ 田島康夫: 子宮頸部細胞診によるヒトパピローマウイルス感染の発がんリスク評価, 神奈川公衆衛生協会研究助成金, 採択
- ・ 松田晋也, 渡辺清明: 診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する研究, 平成18年度厚生労働科学研究費補助金, 政策科学推進研究事業, H18-政策-027, 継続
- ・ 渡辺清明, 奈良昌治, 吉田勝美: 健康診査の精度管理に関する研究, 平成18年度厚生労働科学研究費補助金, 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業, H18-循環器等(生習)-一般-013, 継続
- ・ 久保正英: 転写因子Flt-1の発現低下状態でのマトリックス蛋白の産生と細胞成長因子の関連, 文部科研費, 若手研究, B
- ・ 高木正稔: 遺伝性毛細血管拡張性小脳失調症責任遺伝子ATMと糖代謝, 翻訳制御に関する研究, 科学研究費補助金 萌芽的研究
- ・ 高木正稔: 遺伝性毛細血管拡張性小脳失調症における糖代謝異常の発生機構に関する研究, 母子保健協会 小児医学研究助成
- ・ 高木正稔: 遺伝性毛細血管拡張性小脳失調症における糖代謝異常の発生機構に関する研究, 住友財団 基礎科学研究助成

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 三浦誠一(研究生), 田島康夫(副査): 博士(医学)(帝京大学), The comparative effects of single intravenous doses of famotidine, omeprazole, and pirenzepine on the secretion of gastric acid in rats (各酸分泌抑制注射剤(famotidine, omeprazole, pirenzepine)の酸分泌抑制作用の比較—ラット胃内灌流系を用いた検討), 2007.3
- ・ 新川弘樹(大学院生), 田島康夫(副査): 博士(医学)(帝京大学), 胃癌におけるE2F-1の発現と臨床病理学的検討, 2006.6

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 寺田総一郎: 日本内科学会(認定内科医, 指導医), 日本肝臓学会(専門医)(東部肝臓学会評議員), 日本消化器病学会(専門医)(関東地方会評議員), 日本消化器内視鏡学会(専門医, 指導医)(関東地方会評議員), 日本感染症学会(指導医), 日本人間ドッグ学会(認定指定医), 日本消化器免疫学会(評議員), 日本臨床分子形態学会(評議員), 日本医師会(認定産業医)
- ・ 福井康之: 日本整形外科学会(整形外科専門医), 日本整形外科学会(脊椎脊髄病医), 日本脊椎脊髄病学会(脊椎脊髄外科指導医)
- ・ 安達実樹: 日本外科学会(指導医, 専門医), 日本消化器外科学会(指導医, 認定医), 日本大腸肛門病学会(指導医, 専門医)(評議員), 日本消化器病学会(指導医, 専門医), 日本消化器内視鏡学会(認定医), 日本臨床外科学会(評議員), 日本外科系連合学会(評議員), 日本腹部救急医学会(評議員), 日本臨床腸内微生物学会(評議員), 日本成人病(生活習慣病)学会(評議員), International Society of University Colon and Rectal Surgeons, 日本癌学会, 日本癌治療学会, 日本内視鏡外科学会, 日本胃癌学会, 日本救急学会, 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会, 日本自己血輸血学会, 日本家族性腫瘍学会, 日本消化器病学会関東支部会(評議員), 日本消化器内視鏡学会関東地方会
- ・ 荒川 孝: 日本尿路結石症学会(理事)
- ・ 池田徳彦: 日本外科学会(指導医, 専門医), 日本胸部外科学会(指導医, 専門医)(評議員, 広報委員), 日本呼

- 吸器外科学会（指導医，専門医）（評議員，学術委員），日本肺癌学会（評議員，ガイドライン検討委員，集団検診委員），日本呼吸器内視鏡学会（指導医）（評議員，専門医試験委員），日本臨床細胞学会（指導医）（評議員，学術委員，細胞検査士試験委員），日本外科系連合学会（評議員，国際交流委員），世界気管支学会（理事），日本臨床腫瘍学会（暫定指導医），International Academy of Cytology（Fellow），日本レーザー医学会（専門医）（評議員）
- ・ 岩崎康夫：社団法人 日本脳神経外科学会（専門医），日本脳神経外科コンgres，日本小児神経外科学会（世話人，機関紙査読委員），日本こども病院神経外科医会（世話人），日本小児神経学会
 - ・ 遠藤久子：日本病理学会（認定病理医）（評議員），日本臨床細胞学会（細胞診指導医），日本臨床検査医学会（認定医），国際細胞学会（認定医）
 - ・ 太田恵一郎：日本外科学会（指導医，専門医，認定医），日本消化器外科学会（指導医，専門医，認定医）（評議員），日本胃癌学会（評議員，企画広報委員，規約委員），日本臨床外科学会（評議員），日本緩和医療学会（評議員，ガイドライン作成委員），日本リンパ学会（評議員），日本東洋医学会（指導医，専門医），日本癌治療学会（臨床試験登録医），日本死の臨床研究会（世話人），癌とリンパ節研究会（幹事）
 - ・ 鎌田信悦：日本耳鼻咽喉科学会（認定専門医），日本気管食道学会（認定専門医）
 - ・ 草野修輔：日本リハビリテーション医学会（専門医，認定医），日本脊髄障害学会（評議員），日本リハ・ネットワーク研究会（評議員，事務局長），生活支援工学会（評議員），日本ライフ・サポート学会，日本運動器学会，日本海洋療法研究会（理事）
 - ・ 酒井成身：日本形成外科学会（専門医）（評議員，生涯教育委員），日本美容外科学会（専門医）（理事，広報委員長），日本外科系連合学会（評議員），日本乳癌学会（評議員），日本頭蓋顎顔面外科学会（評議員）
 - ・ 高山 豊：日本老年精神医学会（認定専門医）（広報委員），日本精神神経学会，日本神経心理学会，日本高次脳機能学会，日本核医学会
 - ・ 田島康夫：日本病理学会（病理専門医，病理研修指導医）（学術評議員），日本臨床細胞学会（細胞診専門医，細胞診指導医）（評議員，検査士委員会委員），日本臨床検査医学会（臨床検査専門医）（評議員，「臨床病理」査読委員），オートプシーイメージング学会（理事），International Academy of Pathology，American Registry of Pathology，日本癌学会，日本医学放射線学会，日本脳腫瘍病理学会，日本消化管学会
 - ・ 棚田修二：日本核医学会（核医学専門医）（評議員），日本核医学会（PET核医学認定医），日本医学放射線学会（放射線科専門医），日本磁気共鳴医学会（評議員）
 - ・ 武田克彦：日本神経学会（専門医）（学会誌臨床神経編集幹事），日本内科学会（認定専門医），日本リハビリテーション学会（認定医），日本高次脳機能障害学会（理事，学会誌編集委員），日本神経心理学会（理事，学会誌編集委員），日本認知神経科学会（理事，学会誌編集委員）
 - ・ 服部一紀：日本泌尿器科学会（専門医，指導医），日本泌尿器科学会・日本EE学会（腹腔鏡技術認定医）
 - ・ 真船健一：日本外科学会（指導医，専門医，認定医（終身）），日本胸部外科学会（指導医，認定医（終身）），日本消化器外科学会（指導医，専門医，認定医）（評議員，編集委員会査読委員），日本消化器病学会（指導医，専門医，認定医）（関東支部会評議員），日本消化器内視鏡学会（指導医，専門医，認定医（終身））（評議員），日本癌治療学会（臨床試験登録医），日本臨床腫瘍学会（暫定指導医），日本消化器癌発生学会（評議員），日本臨床外科学会（評議員），日本外科系連合学会（評議員），日本消化管学会（評議員），日本食道学会（評議員），日本胃癌学会（評議員，財務委員），日本癌学会，日本大腸肛門病学会，日本外科感染症学会，日本静脈経腸栄養学会，日本環境感染学会，日本内視鏡外科学会，日本腹部救急医学会，日本乳癌学会，日本超音波学会，日本高齢消化器医学会，American College of Surgeons（Fellow），American Association for Cancer Research，American Society of Clinical Oncology（Active Member），Society of Surgical Oncology，New York Academy of Science（Active Member），International Society for Diseases of Esophagus，International Society of Surgery，International College of Surgeons（Fellow），

International Gastric Cancer Association

- ・ 渡辺清明：日本臨床検査医学会（専門医）（理事長），日本血液学会（指導医，認定医）（功労会員），日本臨床血液学会（功労会員），日本検査血液学会（理事），日本臨床化学会（監事），日本内科学会（指導医），日本人間ドック学会（理事），日本臨床検査標準協議会（評議員），日本臨床検査振興協議会（理事），日本血栓止血学会（名誉会員），日本臨床検査専門医会（監事），American Society of Hematology, International Society of Thrombosis and Haemostasis, International Society of Laboratory Hematology (Board member), CLSI Global Advisory Committee
- ・ 小山秀彦：日本超音波医学会（指導医），日本消化器内視鏡学会（指導医），日本肝臓学会（専門医），日本消化器病学会（専門医），日本内科学会（認定医）
- ・ 折口信人：日本脈管学会（評議員），日本血管外科学会，日本外科学会（専門医），日本静脈学会，日本心臓血管外科学会（国際会員），日本消化器外科学会
- ・ 佐藤敦久：日本内科学会（指導医，専門医，認定医，認定医試験問題作成委員），日本腎臓学会（専門医）（学術評議員），日本内分泌学会（指導医，専門医，第80回学術総会一般演題選定委員）（代議員），日本高血圧学会（評議員），日本心血管内分泌代謝学会，日本結合組織学会（評議員）
- ・ 浅野哲一：日本老年精神医学会（指導医，専門医），日本核医学会（PET核医学認定医）
- ・ 石川雅之：日本整形外科学会（脊椎脊髄病医），日本脊椎精髄病学会（指導医），日本側弯症学会
- ・ 久保正英：日本皮膚科学会（専門医），日本結合組織学会
- ・ 久保田啓介：日本外科学会（指導医，認定医），日本消化器外科学会（指導医，認定医，専門医），日本消化器内視鏡学会（指導医，認定医，専門医），日本消化器病学会（専門医），日本食道学会（評議員），東京UGI研究会（世話人），日本内視鏡外科学会，日本癌治療学会，日本胃癌学会，日本乳癌学会，日本腹部救急医学会，日本外科感染症学会，日本ヘルニア研究会
- ・ 神保洋之：日本脳神経外科学会（専門医），日本脳卒中学会（専門医）（評議員），日本脳卒中の中の外科学会，日本頭蓋底外科学会，日本脳腫瘍の外科学会，日本脊髄外科学会
- ・ 高木正稔：日本小児科学会（専門医），日本血液学会（専門医，指導医），日本がん学会，日本小児血液学会（評議委員），小児がん学会，日本分子生物学会，臨床血液学会（評議委員），家族性腫瘍学会
- ・ 林 和：日本外科学会（専門医，指導医），日本胸部外科学会（認定医），日本呼吸器外科学会（専門医），日本呼吸器内視鏡学会（専門医，指導医），日本肺癌学会，日本移植学会，日本呼吸器学会，日本癌学会，日本癌治療学会，日本気管食道科学会，日本臨床外科学会，日本レーザー学会，日本内視鏡外科学会，日本臨床細胞学会，日本乳癌学会，日本臨床腫瘍学会，日本外科感染症学会，日本緩和医療学会
- ・ 前野晋一：日本整形外科学会（日本整形外科学会認定リウマチ医）
- ・ 増田 敬：日本小児科学会（専門医），日本アレルギー学会（専門医，指導医）（代議員），日本小児アレルギー学会（評議員），日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会，日本小児呼吸器疾患学会，ニューロペプチド研究会（幹事），小児吸入療法フォーラム（代表世話人）

国際医療福祉大学病院

※2007年2月1日付けで、「国際医療福祉病院」の経営を学校法人国際医療福祉大学が承継し、その位置付けが「臨床医学研究センター」から大学の附属病院に変わりました。これに伴い、名称を「国際医療福祉大学病院」に変更しました。

著書

- ・谷 禮夫：ケアマネジャー受験講座2006，高齢者保健医療の基礎知識，177-247，医療福祉総合研究所，2006.5
- ・谷 禮夫：臨床検査データブック2007～2008，検査計画の進め方ー消化管疾患，62-63，医学書院，2007.3
- ・加藤宏之（分担執筆）：Annual Review神経2007，Microbleedsの臨床的意義とその対応，133-140，中外医学社，2007
- ・橋本雅章：わたしのここから第3号，めまいはどこから，20-21，オフィス東和，2006.4
- ・橋本雅章：わたしのここから第4号，音楽のある生活ー癒しと興奮のひみつ，24-25，オフィス東和，2006.10
- ・橋本律夫，田中康文（分担執筆）：高次脳機能障害ーその概念と画像診断（武田克彦，波多野和夫 編），脳損傷と記憶障害，133-155，中外医学社，2006
- ・柳田 薫，藤倉洋子：図説ARTマニュアル，体外受精・顕微授精，79-85，永井書店，2006.6
- ・柳田 薫，笠井 剛，星 和彦：新編精子学，第21章 男性不妊の治療，414-434，東京大学出版会，2006.7
- ・樗木隆聡（分担執筆）：腎とフリーラジカル第8集，電子スピン共鳴（ESR）法を用いたアドリアマイシン腎症の腎局所での還元能低下の証明，45-49，東京医学社，2006

原著論文

- ・小野澤瑞樹，内田克紀：前立腺系統的16か所生検の臨床的検討，臨床泌尿器科，60(9)，659-665，2006
- ・Himeda T, Watanabe Y, Tounai H, Hayakawa N, Kato H, Araki T : Time dependent alterations of co-localization of S100 β and GFAP in the MPTP-treated mice, J Neural Transm., 113, 1887-1984, 2006
- ・Lee T-H, Yang J-T, Kato H, Wu JH : Hypertension downregulates the expression of brain-derived neurotrophic factor in the ischemia-vulnerable hippocampal CA1 and cortical areas after carotid artery occlusion, Brain Res., 1116, 31-38, 2006
- ・Tounai H, Hayakawa N, Kato H, Araki T : Immunohistochemical study on distribution of NF-kB and p53 in gerbil hippocampus after transient cerebral ischemia: effect of pitavastatin, Metab Brain Dis., 22, 89-104, 2007
- ・武田湖太郎，五味幸寛，今井 樹，下田信明，加藤宏之：慢性期脳卒中患者の麻痺手運動時における同側大脳半球の活性化ー近赤外分光法による検討ー，脳科学とリハ，7，15-20，2007
- ・村上厚文：手術当日の朝発見されたハイリスク静脈・血栓塞栓症の1例，THERAPEUTIC RESEARCH, 27(6), 1042-1044, 2006
- ・村上厚文：慢性静脈鬱滞症に起因する13年に及ぶ両側難治性下腿海洋の1例，静脈学，17(5)，287-291，2006
- ・柳田 薫，K Yanagida, K Morozumi, H Katayose, A Sato : Successful pregnancy after ICSI with strontium oocyte activation in low rates of fertilization, Reproductive BioMedicine Online, 13, 801-806, 2006.11
- ・末永香緒里，桑田知之，種市明代，高山 剛，山田哲夫，柳田 薫，松原茂樹，佐藤郁夫：妊娠36週胎動消失感で来院した1症例 胎動カウント法試用経験に基づいて，栃木県産婦人科医報，33，24-27，2006.11
- ・片寄治男，伊藤明子，熊耳敦子，高山智子，菅沼亮太，林章太郎，小宮ひろみ，佐藤 章，柳田 薫：GnRH Clinical Report COSにおけるGnRHa long protocolの有用性に関する検討，HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY, 13, 289-294, 2006.9
- ・伊藤博道，山本達生，小貫琢哉，酒井光昭，石川成美，鬼塚正孝，榊原 謙：急速増大後に自然縮小を示した胸腺腫の1例，日本呼吸器外科学会雑誌，20(7)，88-93，2006
- ・内藤浩美，大橋一之，池田 薫，草間幹夫：長期経管栄養者における口腔環境に関する検討ー唾液分泌量についてー，

日本障害者歯科学会誌, 27(1), 23-27, 2006

- Ouyang Y, Takiyama Y, Sakoe K, Shimazaki H, Ogawa T, Nagano S, Yamamoto Y, Nakano I : Saccin-related ataxia (ARSACS) :Expanding the genotype upstream from the gigantic exon, *Neurology*, 66(7), 1103-1104, 2006
- 原 英子, 落合美紀, 瀬沼喜江, 吉田厚子, 石塚恵子, 塩沢久恵, 恩田浩一 : 佐野厚生総合病院精神神経科病棟における前面禁煙への取り組み, *栃木精神医学*, 26, 2006
- Ebihara I, Hirayama K, Usui J, Seki M, Higuchi F, Oteki T, Kobayashi M, Yamagata K : Tubulointerstitial nephritis and uveitis syndrome associated with hyperthyroidism, *Clinical and Experimental Nephrology*, 10(3), 216-221, 2006

総説

- 加藤宏之 : fMRIによる脳卒中後の運動・言語機能回復機序の解明と臨界期の同定, *INNERVISION*, 21, 57, 2006
- 加藤宏之 : 高脂血症治療による老年認知障害予防のエビデンス, *Mebio*, 23, 6-13, 2006
- 加藤宏之 : 脳機能再構築に関する脳機能画像診断の実際, *理学療法科学*, 22, 7-12, 2007
- 武田湖太郎, 加藤宏之 : Near-infrared spectroscopy—計測原理と臨床応用, *脳科学とリハ*, 7, 5-14, 2007
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (1)なぜ物忘れ外来を開設したか, *下野新聞*, 2006.4.25
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (2)数多くある認知症の原因, *下野新聞*, 2006.5.2
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (3)「良性」と「病的」の違い, *下野新聞*, 2006.5.9
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (4)せん妄, *下野新聞*, 2006.5.16
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (5)ぼんやりとしているうつ病, *下野新聞*, 2006.5.23
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (6)認知症に似ているてんかん, *下野新聞*, 2006.5.30
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (7)認知症に似ている一過性全健忘, *下野新聞*, 2006.6.6
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (8)幻を見るシャルル・ボネ症候群, *下野新聞*, 2006.6.13
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (9)記憶障害がはじめにあらわれるアルツハイマー病, *下野新聞*, 2006.6.20
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (10)色々な記憶, *下野新聞*, 2006.6.27
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (11)エピソード記憶と海馬, *下野新聞*, 2006.7.4
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (12)遠い昔—いずこに, *下野新聞*, 2006.7.11
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (13)作業記憶に関係する今感覚, *下野新聞*, 2006.7.18
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (14)鍋焦がしと予定記憶, *下野新聞*, 2006.7.25
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (15)つながることから生まれる意味, *下野新聞*, 2006.8.1
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (16)体が覚えた? 手続き記憶, *下野新聞*, 2006.8.8
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (17)モザイク状の記憶, *下野新聞*, 2006.8.15
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (18)内容記憶と情動記憶, *下野新聞*, 2006.8.22
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (19)登録障害による物忘れ, *下野新聞*, 2006.8.29
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (20)物忘れの自覚 (メタ記憶), *下野新聞*, 2006.9.5
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (21)認知症の中核症状と周辺症状, *下野新聞*, 2006.9.12
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (22)中核症状としての見当識障害, *下野新聞*, 2006.9.19
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (23)動作の障害—失行症, *下野新聞*, 2006.9.26
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (24)視覚失認, *下野新聞*, 2006.10.3
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (25)半側空間無視, *下野新聞*, 2006.10.17
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (26)問題解決能力, *下野新聞*, 2006.10.24
- 橋本律夫 : こちら物忘れ外来 (27)周辺症状—金盗られ妄想, *下野新聞*, 2006.10.31

- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (28)嫉妬妄想，下野新聞，2006.11.7
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (29)周辺症状としての易怒性，下野新聞，2006.11.14
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (30)心の旅「徘徊」，下野新聞，2006.11.21
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (31)食の異常，下野新聞，2006.11.28
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (32)不潔行為，下野新聞，2006.12.5
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (33)鏡に映るのは誰，下野新聞，2006.12.12
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (34)心が通うということ，下野新聞，2006.12.19
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (35)心の理論と認知症，下野新聞，2006.12.26
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (36)アルツハイマー病の発症まで，下野新聞，2007.1.9
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (37)黒に近い灰色ー軽度認知障害，下野新聞，2007.1.16
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (38)アルツハイマー病の薬，下野新聞，2007.1.23
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (39)脳血管性認知症，下野新聞，2007.1.30
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (40)脳損傷の陰性症状と陽性症状，下野新聞，2007.2.6
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (41)視床梗塞と認知症，下野新聞，2007.2.20
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (42)レヴィー小体型認知症，下野新聞，2007.2.27
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (43)特発性正常圧水頭症，下野新聞，2007.3.6
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (44)認知症と診断されたら，下野新聞，2007.3.13
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (45)みんなで支えあうことー介護保険，下野新聞，2007.3.20
- ・ 橋本律夫：こちら物忘れ外来 (46)つながり広がる記憶，下野新聞，2007.3.27
- ・ 遠藤 克，柳田 薫，香山浩二，吉村泰典，野田洋一，井上正人：わが国における生殖補助医療胚培養士の現状，日本哺乳動物卵子学会誌，23，176-182，2006.11
- ・ 柳田 薫：エイジングと生殖医療，卵細胞質移植法の現状と問題点，臨床婦人科産科，11，1388-1391，2006.11
- ・ 吉野肇一（企画）：消化器がん治療法のいろいろ，消化器外科NURSING，11(10)，見出し，2006

研究報告

- ・ 内藤浩美，石下透江，永元彩子，大橋一之，草間幹夫：長期経管栄養者における口腔環境に関する検討ーカリエスリスクについてー，日本障害者歯科学会誌，27(3)，289，2006
- ・ Yamashita M, Ueno Y, Okada N, Jinbu Y, Ohashi K, Kusama M : A case of two lymphoepithelial cysts bilaterally occurring on the ventral surface of the tongue and review of the literature, Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 18(3), 61, 2006

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 内田克紀：栃木県北地域の前立腺癌検診 国際医療福祉病院における二次検診の現況，第8回前立腺癌検診懇話会，ホテル東日本宇都宮，栃木県宇都宮市，2006.6.1
- ・ 内田克紀：下部尿路疾患における最近の知見 過活動膀胱に対する診療の進め方を中心に，那須郡市医師会西那須野地区学術講演会，いとう，栃木県那須塩原市，2006.7.20
- ・ 内田克紀：下部尿路疾患における最近の知見 過活動膀胱に対する診療の進め方を中心に，那須郡市医師会大田原地区学術講演会，ニュー勝田屋，栃木県大田原市，2006.9.6
- ・ 内田克紀：前立腺癌検診 前立腺癌の診断と治療の実際，那須中央病院院内勉強会，那須中央病院，栃木県大田原市，2006.10.16

- ・ 内田克紀：栃木県の前立腺癌検診の現状，アストラゼネカ株式会社社内勉強会，いわいや，栃木県大田原市，2007.1.26
- ・ 内田克紀：国際医療福祉病院における前立腺癌の診断と治療 前立腺全摘症例を中心に，筑波大学人間総合科学研究科大学院講義，つくば国際会議場，茨城県つくば市，2007.3.3
- ・ Kato H：Reorganization of cortical motor network during motor functional recovery after hemiparetic stroke，第29回日本神経科学大会Symposium on Rearrangements of neuronal circuits during recovery and development，京都，2006.7.19
- ・ 加藤宏之：パーキンソン病の病態及びその診断と治療，キッセイ薬品・ファイザー社勉強会，宇都宮，2006.9.25
- ・ 加藤宏之：脳血管障害，平成18年度東北大学医学部4年次神経内科通論講義，仙台，2006.10.12
- ・ 加藤宏之：脳卒中予防における脂質管理の意義，那須郡市医師会学術講演会，那須塩原，2006.11.22
- ・ 加藤宏之：栃木県北の神経難病医療の現状，第6回宮城神経内科医会学術講演会，仙台，2007.2.24
- ・ 加藤宏之：脳機能再構築に関する脳機能画像診断の実際，第7回理学療法科学学会春季研修会，那須町，2007.3.24
- ・ 橋本雅章：脳卒中にならないために一脳出血，那須郡市医師会，栃木県医師会共催，黒磯市文化会館，那須塩原市，2006.10.15
- ・ 橋本律夫：脳と物忘れ，市民公開講座，国際医療福祉大学，2006.6.29
- ・ 橋本律夫：認知症の周辺症状，市民公開講座，宇都宮総合文化センター，宇都宮市，2006.8.12
- ・ 橋本律夫：パーキンソン病の周辺症状，イーライ・リリー研修会，宇都宮市，2006.7.26
- ・ 橋本律夫：パーキンソン病の治療，難病従事者研修会，西那須野保健センター，那須塩原市，2006.8.31
- ・ 橋本律夫：ALSと在宅支援，難病従事者研修会，西那須野保健センター，那須塩原市，2006.10.19
- ・ 橋本律夫：パーキンソン病と進行性核上性麻痺，難病従事者研修会，西那須野保健センター，那須塩原市，2006.12.21
- ・ 村上厚文：外科医が行うPTAとその位置づけ，第22回北関東血管外科研究会，済生会病院，宇都宮市，2007.3.7
- ・ 村山史雄：急性期における呼吸管理と病態の基礎，第3回那須呼吸リハビリ研究会，オオシマフォーラム，栃木県，2007.2.17
- ・ 柳田 薫：シンポジウム ICSIの現状と問題点，第47回日本哺乳動物卵子学会，砂防会館，東京，2006.5.27
- ・ 柳田 薫：生殖補助医療（受精），日本生殖医学会生殖医療指導者講習会，都市センターホテル，東京，2006.6.11
- ・ 柳田 薫：卵活性化法の現状と実際，第6回RMB（生殖医学・生物学）研究会シンポジウム，持田ルークホール，東京，2006.7.8
- ・ 柳田 薫：生殖医療の最近の進歩，福島県立医科大学大学院特別講演，福島県立医科大学，福島市，2006.9.11
- ・ 柳田 薫：シンポジウム 受精率・妊娠率向上のための工夫，第24回日本受精着床学会，軽井沢プリンスホテル，軽井沢，2006.9.21
- ・ 柳田 薫：特別講演 生殖医療とART，福島Reproduction 研究会，コラッセ福島，福島市，2006.10.28
- ・ 柳田 薫：不妊治療の最前線，特別講演 不妊治療の現状と問題点，第1回福島県医療福祉機器フォーラム，ビッグパレット，郡山市，2006.11.16
- ・ 柳田 薫：特別講演 不妊症と精子機能，第1回茨城男性リプロダクションシンポジウム，つくば三井ビル，つくば市，2006.12.2
- ・ 柳田 薫：Fertilization Failure in ICSI，International Symposium " Cell Signaling in Gamete Activation—from Basic Research to ART—，東京女子医大，東京，2006.11.15
- ・ 大橋一之，内藤浩美，牛山美江，石下澄江：口腔ケアについて，栃木県看護協会研修会，コンセーレ アイリスホール，栃木県宇都宮市，2006.11.28
- ・ 大橋一之：口腔ケア，あしかがの森足利病院看護部看護研究会，あしかがの森足利病院，栃木県足利市，2006.12.8

- ・小川朋子, 橋本律夫: 片側性の不随意運動と痙性を呈した一例, 第5回栃木県大脳基底核研究会, 宇都宮グランドホテル, 栃木県宇都宮市, 2006.11.24

学会発表

- ・大森洋平, 内田克紀: 腹腔鏡下摘除術を施行した副腎骨髄脂肪腫の一例, 第7回日本泌尿器科学会栃木・群馬地方会, 自治医科大学, 栃木県下野市, 2006.7.2
- ・内田克紀(座長): 第7回日本泌尿器科学会栃木・群馬地方会, 自治医科大学, 栃木県下野市, 2006.7.2
- ・樋之津史郎, 内田克紀: 茨城県前立腺癌健診におけるPSA増過度の有用性, 第15回日本腎泌尿器疾患予防医学研究会, 京都ホテルオークラ, 京都府京都市, 2006.7.7
- ・内田克紀(座長): 前立腺癌 化学療法, 第44回日本癌治療学会総会, 京王プラザホテル 新宿NSビル, 東京都新宿区, 2006.10.19
- ・内田克紀(座長): メタボリックシンドロームによる尿路結石の形成と予防, 第3回栃木県泌尿器疾患懇話会, 栃木県総合文化センター, 栃木県宇都宮市, 2006.11.11
- ・山本貴大, 内田克紀: 自然破裂した腎血管筋脂肪腫の一例, 第55回日本泌尿器科学会栃木地方会, 自治医科大学, 栃木県下野市, 2006.11.18
- ・山本貴大, 内田克紀: 婦人科手術が原因と思われた膀胱肉芽腫の一例, 第56回日本泌尿器科学会栃木地方会, 独協医科大学, 栃木県下都賀郡, 2007.3.3
- ・Shimoda N, Takeda K, Shiomi T, Kaneko J, Imai I, Gomi Y, Kato H: Comparison of local cerebral hemodynamic response in frontal and parietal cortices during a mental rotation task between normal left- and right-handed subjects: a NIRS study, Neuroscience 2006, Atlanta GA USA, 2006.10.15
- ・Takeda K, Gomi Y, Imai I, Shimoda N, Hiwatari M, Kato H: An involvement of secondary motor areas during recovery from mild hemiparetic stroke: An NIRS study, Neuroscience 2006, Atlanta GA USA, 2006.10.15
- ・武田湖太郎, 五味幸寛, 今井 樹, 下田信明, 加藤宏之: 脳卒中片麻痺の回復過程における手運動時の脳賦活領域の変化—NIRSによる検討—, 第29回日本神経科学大会, 京都, 2006.7.19
- ・武田湖太郎, 今井 樹, 前田眞治, 樋渡正夫, 渡辺英寿, 加藤宏之: 広範な外傷性大脳半球損傷で失語が生じなかった右手利き者の一症例—NIRSによる言語優位半球の同定—, 第12回脳機能とリハビリテーション研究会, 横浜, 2007.3.11
- ・武田湖太郎, 金子純一郎, 下田信明, 潮見泰蔵, 橋本律夫, 樋渡正夫, 加藤宏之: 脳卒中片麻痺患者の麻痺手運動時における脳血流変化パターン—NIRSを用いた経時的変化の計測—, CREST「脳の機能発達と学習メカニズムの解明」第4回領域内報告会, 大阪, 2007.3.6
- ・武田湖太郎, 五味幸寛, 今井 樹, 下田信明, 加藤宏之: NIRS計測による脳卒中片麻痺の回復過程における手指運動時の脳活動領域変化, 第9回日本ヒト脳機能マッピング学会大会, 秋田, 2007.3.16-17
- ・下田信明, 武田湖太郎, 金子純一郎, 今井 樹, 五味幸寛, 谷口敬道, 潮見泰蔵, 加藤宏之: 健常左手利き者と右手利き者の空間認知課題における局所脳血流量変化の比較—NIRSによる検討—(第2報), 第9回日本ヒト脳機能マッピング学会大会, 秋田, 2007.3.16-17
- ・加藤宏之(座長): Symposium on Rearrangements of neuronal circuits during recovery and development, 第29回日本神経科学大会, 京都, 2006.7.19
- ・加藤宏之(座長): 一般演題 第1回下野神経疾患研究会, 宇都宮, 2006.10.5
- ・加藤宏之(総括): 栃木県北ストロークセミナー, 大田原, 2007.2.27
- ・小森規代, 藤田郁代, 橋本律夫: 顕著な漢字失書が残存した側頭葉型失読失書の一例, 第30回日本神経心理学会総会,

名古屋, 2006.9.22-23

- ・ 村上厚文：下肢の閉塞性動脈硬化症に対するハイブリッド治療を行った奨励の検討, 第34回日本血管外科学会, 都市センターホテル, 東京, 2006.5.12
- ・ 村上厚文：慢性静脈鬱滞症における重症例の検討, 第26回日本静脈学会, 旭川グランドホテル, 旭川, 2006.6.16
- ・ 村上厚文：シンポジウム 静脈鬱滞を原因とする難治性下腿潰瘍の治療方針, 第68回日本臨床外科学会総会, 広島国際会議場, 広島, 2006.11.9
- ・ 村上厚文：高齢者に対する重症虚血肢の外科治療の工夫, 第68回日本臨床外科学会総会, 広島国際会議場, 広島, 2006.11.9
- ・ 村上厚文：人工血管による大腿静脈ブラッドアクセス作成後の重症虚血肢に対する血管内手術を施行した1例, 第14回日本血管外科学会関東甲信越地方会, 東京医大, 東京, 2006.11.25
- ・ 村上厚文：肺塞栓症予防対策施行下にPE, DVTを発症した抗リン脂質抗体要請症候群の1例, 第13回肺塞栓症研究会学術集会, パシフィコ横浜, 横浜, 2006.12.2
- ・ 村上厚文：3回におよぶ開腹術後の腹部大動脈瘤に対する治療方針, 第132回血管外科症例検討会, 東京医大, 東京, 2007.2.17
- ・ 椎野王久, 齊藤紀子, 山本達生, 村山史雄：一病巣増大により肺癌と鑑別を要した多発珪肺結節の一例, 第141回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 都道府県会館, 東京都, 2007.2.3
- ・ 菅沼亮太, 高野倫世, 伊藤明子, 熊耳敦子, 高山智子, 林章太郎, 小宮ひろみ, 片寄治男, 柳田 薫, 柳町隆造, 佐藤 章：重症男性不妊症例に対する, 精子形成障害過程に応じた生殖補助医療 (ART) の選択基準, 及び, 精巣精子AO染色法を用いた精子機能評価法に関する検討 ICSIが有効か, TESEが必要か, 日本生殖医学会, 大阪国際会議場, 大阪, 2006.11.10
- ・ 林章太郎, 片寄治男, 熊耳敦子, 高山智子, 両角和人, 呉竹昭治, 小宮ひろみ, 佐藤 章, 柳田 薫, 柳町隆造：精子核蛋白置換蛋白Transition nuclear protein 1,2欠損雄マウスにおける生殖能の検討, 第119回日本産科婦人科学会東北連合地方部会, 青森国際ホテル, 青森市, 2006.6.11
- ・ 菅沼亮太, 片寄治男, 小宮ひろみ, 林章太郎, 高山智子, 伊藤明子, 熊耳敦子, 佐藤 章, 柳田 薫, 柳町隆造：奇形精子マウスモデルを用いた, 重症男性不妊症例に対する生殖補助医療の選択方法についての考察, 第25回日本アンドロロジー学会, 河鹿荘ロイヤルホテル, 加賀市, 2006.7.15
- ・ 柳田 薫 (座長)：ART1, 第51回日本生殖医学会, 大阪国際会議場, 大阪, 2006.11.9
- ・ 柳田 薫 (座長)：ICSI2, 第24回日本受精着床学会, 軽井沢プリンスホテル, 北佐久郡軽井沢町, 2006.9.22
- ・ 山本達生 (座長)：胸部一般3, 第141回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 都道府県会館, 東京, 2007.2.3
- ・ 吉野 肇一：特別企画 治療ガイドラインの功罪『診療ガイドライン』総論からみた『胃癌治療ガイドライン』の評価と今後の課題, 第61回日本消化器外科学会定期学術集会, パシフィコ横浜, 神奈川県横浜市, 2006.7.13-15
- ・ 吉野 肇一 (司会)：特別講演 胃癌手術の今昔, 第79回日本胃癌学会総会, 名古屋国際会議場, 愛知県名古屋市, 2007.3.1-3
- ・ 内藤浩美, 石下透江, 永元彩子, 大橋一之, 草間幹夫：長期経管栄養者における口腔環境に関する検討ーカリエリスクについてー, 第23回日本障害者歯科学会総会, 仙台国際センター, 宮城県仙台市, 2006.10.20-21
- ・ Yamashita M, Ueno Y, Okada N, Jinbu Y, Ohashi K, Kusama M：A case of two lymphoepithelial cysts bilaterally occurring on the ventral surface of the tongue and review of the literature., 7th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, Hong Kong Convention and Exhibition Centre, Hong Kong, 2006.11.5-9
- ・ 恩田浩一, 野口正行, 杉山 久, 倉持素樹, 羅田 亨：刃物を用いた重篤な自傷行為により入院した7事例の検討, 第17回日本総合病院精神医学会総会, 宇都宮文化センター, 栃木県, 2006.12.2

- ・ 恩田浩一, 野口正行, 杉山 久, 倉持素樹: 佐野厚生総合病院精神科病棟における他害・暴力事例の検討, 第102回日本精神神経学会総会, 福岡国際会議場, 福岡県, 2006.5.13
- ・ 樗木隆聡, 永瀬宗重, 平山 暁, 植田敦志, 井上真理子, 横山秀克, 吉村哲彦, 草野英二: INOS由来のNOはアドリアマイシンによる尿細管間質障害を増悪させない, 第28回日本フリーラジカル学会学術集会, アストプラザ アスト津, 三重県津市, 2006.5.13
- ・ 樗木隆聡, 永瀬宗重, 平山 暁, 植田敦志, 井上真理子, 横山秀克, 吉村哲彦: INOS由来のNOによるアドリアマイシン誘発性尿細管障害の保護効果, 第18回腎とフリーラジカル研究会, つくば国際会議場 エポカルつくば, 茨城県つくば市, 2006.9.23
- ・ Oteki T, Nagase S, Hirayama A, Ueda A, Yokoyama H, Yoshimura T: Nitric oxide from inducible nitric-oxide synthase does not exacerbate adriamycin-induced tubulointerstitial injury, XIIIth Biennial Congress of the International Society for Free Radical Research, Davos Congress Center, Switzerland Davos, 2006.8.16

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 加藤宏之, 鍋倉淳一（研究代表者）: 研究領域「脳の機能発達と学習メカニズムの解明」「発達期および障害回復期における神経回路の再編成機構」, 科学技術振興機構（JST）, 戦略的創造研究推進事業, チーム型研究CREST, 継続
- ・ 加藤宏之: fMRIによる脳卒中後の運動・言語機能回復機序の解明と臨界期の同定, 科学研究費補助金, 基盤研究(C)(2)16500352, 継続
- ・ 柳田 薫: 生殖補助医療の安全管理および心理的支援を含む統合的運用システムに関する研究, 胚培養技術の安全管理ガイドラインに関する研究, 厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）, 継続
- ・ 柳田 薫: 生殖補助医療の適応を決定する精子受精能評価法の確立に関する研究, 科学研究費補助金, 採択
- ・ 山本達生: HER2導入マウスによる胆道発癌・癌進展因子の探索と新規イムノトキシン療法の開発, 萌芽の研究

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 谷 禮夫: 日本内科学会（認定内科医）, 日本消化器病学会（認定専門医, 認定指導医）, 日本消化器内視鏡学会（認定専門医, 認定指導医）（評議員, 和文誌査読委員, 関東支部会運営委員）, 日本消化管学会（評議員）, 日本潰瘍学会（評議員）, 日本肝臓学会, 日本神経消化器病学会, 日本老年医学会, 壁細胞研究会（消化器病関連学会）（代表幹事）
- ・ 内田克紀: 日本泌尿器科学会（専門医, 指導医）（評議員）, 日本腎臓学会（専門医, 指導医）, 米国泌尿器科学会, 国際泌尿器科学会, 日本癌学会, 日本癌治療学会, 日本ESWL and Endourology学会, 日本超音波医学会
- ・ 江口光興: 日本小児科学会（認定専門医）, 日本血液学会（認定専門医, 認定指導医）, 栃木県小児保健会（常任理事）, 日本小児科学会栃木県地方会（常任幹事）, 日本小児血液学会（名誉会員）, 乳幼児精神保健学会（第11回全国大会大会長）
- ・ 加藤宏之: 日本神経学会（専門医）（評議員）, 日本脳卒中学会（専門医）（評議員）, 日本脳循環代謝学会（評議員）, 日本内科学会（認定内科医）, 日本神経治療学会, International Society of Cerebral Blood Flow and Metabolism（Editorial board）, Society for Neuroscience, 県北脳卒中研究会（世話人）, 下野神経疾患研究会（世話人）, 栃木脳梗塞フォーラム（世話人）
- ・ 橋本雅章: 日本脳神経外科学会（専門医）, 日本脳神経外科コンgres（評議員）, 栃木県勤務医会（理事）
- ・ 橋本律夫: 日本神経学会（専門医）, 日本内科学会（認定医）, 日本神経心理学会（評議員）, 日本高次脳機能障害学会（評議員）
- ・ 村上厚文: 日本胸部外科学会（指導医）, 日本循環器学会（専門医）, 日本外科学会（指導医）, 日本心臓血管外科学

- 会（専門医），日本血管外科学会（評議員，症例検討会幹事，学会誌“血管外科”幹事），日本静脈学会（評議員）
- ・ 村山史雄：日本呼吸器外科学会（指導医，専門医）（評議委員），日本外科学会（認定医），日本胸部外科学会（認定医），日本臨床細胞学会（指導医，専門医），日本呼吸器内視鏡学会（指導医，専門医）
 - ・ 柳田 薫：日本産科婦人科学会（専門医），日本生殖医学会（生殖医療指導医），日本受精着床学会（常務理事），日本哺乳動物卵子学会（常任理事），日本IVF学会（会長），日本生殖外科学会，日本アンドロロジー学会（評議員），日本生殖免疫学会，日本産科婦人科内視鏡学会，Journal of Mammalian Ova Research（Chief editor），European Society of Human Reproduction and Embryology
 - ・ 山田哲夫：日本産科婦人科学会（専門医），日本産婦人科医会（優生保護法指定医）
 - ・ 吉野肇一：日本消化器病学会（専門医）（財団評議員，功労会員），日本消化器内視鏡学会（専門医）（評議員），日本癌治療学会（臨床試験登録医）（監事，評議員），日本外科学会（指導医，専門医）（定款委員会委員），日本胃癌学会（名誉会員），日本内視鏡外科学会（専門医）（特別会員），日本結合織学会（評議員），日本東洋医学会（専門医），北西ドイツ外科学会（評議員），
 - ・ 大橋一之：日本口腔診断学会（指導医，認定医），日本小児口腔外科学会（評議員），日本歯科医療福祉学会（評議員），日本口腔外科学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本障害者歯科学会，日本有病者歯科医療学会，日本口腔腫瘍学会，日本歯科薬物療法学会，日本歯科麻酔学会
 - ・ 小川朋子：日本内科学会（内科専門医，内科認定医），日本神経内科学会（神経内科専門医）
 - ・ 恩田浩一：日本精神神経学会，日本総合病院精神医学会（専門医），日仏医学会，栃木精神医学会，日本精神病理・精神療法学会
 - ・ 樗木隆聡：日本内科学会（認定内科専門医）
 - ・ 福留 潤：日本医学放射線学会，日本放射線腫瘍学会，米国放射線治療・腫瘍学会

臨床医学研究センター

国際医療福祉リハビリテーションセンター

著書

- ・ 松本和則（分担）：内科学，胆道ジスキネジー，胆道の術後障害，1630-1632，医学書院，2006
- ・ 松本和則（分担）：介護福祉士受験講座，医学一般 I，II，160-176，（株）医療福祉総合研究所，2006
- ・ 下泉秀夫，桃井真里子（編著）：小児虐待 医学的対応マニュアル（医療現場で子どもを守るために），ネグレクトを疑うとき，69-80，真興交易（株）図書出版部，2006
- ・ 下泉秀夫，桃井真里子（編著）：小児虐待 医学的対応マニュアル（医療現場で子どもを守るために），障害児医療と虐待，109-119，真興交易（株）図書出版部，2006

総説

- ・ 下泉秀夫：児童虐待の調査から見るこれからの保育園のあり方「子ども虐待」について考える 子どもを被害者にしないために，保育通信（全国私立保育園連盟），613，6-9，2006
- ・ 下泉秀夫：児童虐待を減らすために，我々ができること，小児保健栃木，23，14-17，2006
- ・ 下泉秀夫：発達障害と虐待，発達障害医学の進歩，18，59-67，2006
- ・ 下泉秀夫：小児科

研究報告

- ・ 下泉秀夫：栃木県の5歳児相談 大田原市の5歳児健診，厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「軽度発達障害児の発見と対応システムおよびそのマニュアル開発に関する研究」平成17年度総括・分担研究報告書，99-144，2006

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 下泉秀夫：乳幼児健診と児童虐待，宇都宮市小児科医会研修会，宇都宮市医師会館，栃木県宇都宮市，2006.5.18
- ・ 下泉秀夫：発達障害と虐待－関係するすべての者が理解しておくこと，神奈川学習障害教育研究協会，ウィリング横浜，神奈川県横浜市，2006.8.20
- ・ 下泉秀夫：医療的ケア，平成18年度「医療的ケアに関する体制充実事業」地区別研修会（県北地区），国際医療福祉リハビリテーションセンター，栃木県大田原市，2006.10.19
- ・ 下泉秀夫：保育所・幼稚園をベースとした軽度発達障害児への気づきと対応，第53回日本小児保健学会，アピオ甲府，山梨県昭和町，2006.11.28
- ・ 下泉秀夫：バイタルチェックの観点，那須養護学校「医療的ケアに関する体制拡充事業」校内検討委員会研修，那須養護学校，栃木県那須塩原市，2006.12.14
- ・ 下泉秀夫：発達障害児への薬物療法について，栃木県作業療法士会研修会，とちぎリハビリテーションセンター，栃木県宇都宮市，2006.12.14
- ・ 下泉秀夫：虐待された子どもの心理～発達段階をめぐる問題～，子どもの心の健康相談事業講演会，さいたま市大宮区役所，埼玉県さいたま市，2007.2.7
- ・ 下泉秀夫：発達障害児の対応と配慮～集団の中で～，那珂川町幼稚園・保育園・小学校連絡会議・発達障害児支援事業研修会，那珂川町馬頭総合福祉センター，栃木県那珂川町，2007.2.22
- ・ 下泉秀夫：栃木県の5歳児相談，大田原市の5歳児健診の現状と今後～発達障害児早期発見，早期対応のために，平成18年度第2回発達障害児支援に係わる保健・医療等従事者研修会，群馬県庁舎，群馬県前橋市，2007.3.8
- ・ 下泉秀夫：栃木県の5歳児相談，大田原市の5歳児健診，平成18年度発達心理学会自主シンポジウム，大宮ソニックシティ，埼玉県さいたま市，2007.3.25
- ・ 大橋一之，内藤浩美：口腔ケア，栃木県看護協会研修会，コンセーレ，宇都宮，2006.11.28

学会発表

- ・ 松本和則（座長）：小規模化・ユニットケアへの取り組み 他，第31回全国身体障害者施設協議会研究大会，大宮ソニックシティ，埼玉県大宮市，2006.6.22
- ・ 下泉秀夫，岩崎博之，渡辺浩史，滝口慎一郎，藤田ひとみ：栃木県における5歳児健診の試み，第48回日本小児神経学会，東京ベイホテル東急，千葉県浦安市，2006.6.1
- ・ 飯田和美，岩崎博之，下泉秀夫，滝口慎一郎，井出義顕：当院において在宅支援を行っている重症児の現状，日本小児科学会栃木県地方会，自治医科大学，栃木県下野市，2006.7.22
- ・ 下泉秀夫：Roles of protective care homes for abused children in Japan，XVIth ISPCAN International congress on child abuse and neglect，ヨーク大学，イギリスヨーク市，2006.9.5
- ・ 飯田和美，岩崎博之，渡辺浩史，滝口慎一郎，下泉秀夫：当院において在宅支援を行っている重症児の現状，日本小児神経学会関東地方会，帝京大学，東京，2006.9.30
- ・ 下泉秀夫，岩崎博之，関戸真理恵，後藤珠子：染色体異常を伴った先天性筋ジストロフィー症の1例，第5回塩原セミナー，かもしか荘，栃木県那須塩原市，2006.11.25

- ・ 内藤浩美, 石下透江, 永本彩子 他：長期経管栄養者における口腔環境に関する検討ーカリエスリスクについてー，第23回障害者歯科学会，仙台国際センター，仙台，2006.10.20-21

研究助成金（文部科学省，厚生労働省，公的研究費，その他研究助成金）

- ・ 下泉秀夫（分担研究者）：軽度発達障害児の発見と対応システムおよびそのマニュアル開発に関する研究，平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業），H16ー子ども，019，継続
- ・ 下泉秀夫（研究協力者）：子どものライフステージにおける社会的養護サービスのあり方に関する研究，平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業），H17ー子どもー一般，004，継続

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 松本和則：日本消化器病学会（指導医，専門医）（学会評議員），日本肝臓学会（指導医，専門医）（東部会評議員），日本消化器内視鏡学会（指導医，専門医），日本生活習慣病学会（評議員），日本内科学会（認定医），日本老年病学会，日本消化器病関東地方会（地方会評議員）
- ・ 下泉秀夫：日本小児科学会（専門医），日本小児神経学会（専門医）（評議員），日本子ども虐待防止学会（評議員，ニューズレター副編集委員長）

臨床医学研究センター

健康管理センター

著書

- ・ 川内基裕（編集）：心肺移植と遺伝子導入法，日本医学館，2006.9
- ・ 川内基裕（分担執筆）：心肺移植と遺伝子導入法，実験的に用いられるヒヒ・ニホンザルの血液型判定法，11-13，日本医学館，2006.9
- ・ 川内基裕（分担執筆）：心肺移植と遺伝子導入法，異所性心臓移植，31-39，日本医学館，2006.9
- ・ 川内基裕（分担執筆）：心肺移植と遺伝子導入法，同所性心肺移植，40-52，日本医学館，2006.9
- ・ 川内基裕（分担執筆）：心肺移植と遺伝子導入法，同所性異種心臓移植，20-30，日本医学館，2006.9
- ・ 川内基裕（分担執筆）：心肺移植と遺伝子導入法，遺伝子導入実験法，60-66，日本医学館，2006.9

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 川内基裕：中高年のスポーツ水泳と死亡事故，富山県水泳医・科学シンポジウム，富山健康科学専門学校，富山県富山市，2006.11.23

学会発表

- ・ 川内基裕, 村上厚文：心臓血管外科術後精神身体回復状態の経時的評価法，第31回日本外科系連合学会，ホテル日航金沢，金沢市，2006.6.22
- ・ 川内基裕（プログラム委員）：第59回日本胸部外科学会，東京国際フォーラム，東京都，2006.10.1

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 川内基裕：日本外科学会（認定医，指導医，専門医），日本胸部外科学会（認定医，指導医）（評議員，学会誌査読委員），日本心臓血管外科学会（専門医）（評議員，国際会員），日本外科系連合学会（評議員），日本呼吸器外科学会（指導医）（評議員），日本心臓病学会（特別正会員），臨床研修協議会・財団法人医療研修推進財団（臨床研修指導医），日本体育協会（公認スポーツドクター），日本循環器学会，日本小児外科学会，日本移植学会，日本小児循環器学会，日本人工臓器学会，The Transplantation Society，The International Society for Heart and Lung Transplantation

臨床医学研究センター

言語聴覚センター

学会発表

- ・ 畦上恭彦，遠藤重典：INREAL研修における「母子遊び場面の評価」の検討—言語聴覚士はコミュニケーションをどう評価するか—，第7回日本言語聴覚学会，石川県立音楽堂，金沢市，2006.5.20
- ・ 石田 孝，遠藤重典 他5名：新生児聴覚スクリーニング後に当施設を受診した患児の検討，第51回日本聴覚医学会，ホテルメトロポリタン山形，山形市，2006.9.28

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 遠藤重典：日本言語聴覚学会，日本コミュニケーション障害学会，日本音声言語医学会，日本特殊教育学会，日本聴覚医学会，日本高次脳機能障害学会，日本教育心理学会，日本LD学会

臨床医学研究センター

山王病院

著書

- ・ 岡崎 勲（編集）：標準公衆衛生・社会医学，序章，食と健康，飲酒，肥満，糖尿病，血清脂質異常，地域住民の健康管理，地域保健法と保健所の役割，健康危機管理，学校保健，高齢者保健，1-410（編集），1-7，28-36，97-101，115-1120，121-125，125-130，188-191，191-194，195-197，211-216，216-221，医学書院，2006
- ・ 岡崎 勲，古屋博行：内科学（金沢一郎 他編），アルコールと内科疾患，2943-2949，医学書院，2006
- ・ 奥仲哲弥：肺がん・MDアンダーソン癌センターに学ぶ癌診療，第6章 早期（I期，II期）非小細胞肺癌の治療，65-76，シュプリンガー・ジャパン，2006
- ・ 奥仲哲弥：がん治療の正しい知識，第6章 これからのがん治療，光線力学的療法，286-293，エクスナレッジ，2006
- ・ 奥仲哲弥：共用試験CBTコアカリキュラム再現問題集，医学評論社，2006
- ・ 奥仲哲弥：第100回医師国家試験問題解説集，医学評論社，2006
- ・ 川合陽子（分担執筆）：内科学II，5. 血小板増加症，6. 血小板減少症，7. 出血傾向，8. 血栓傾向，1893-1898，医学書院，2006.10.1

- ・川合陽子 (分担執筆) : 造血器腫瘍治療これは困ったぞ, どうしよう!, 3. APL患者が緊急入院してきた DICを合併しているが, ヘパリンはしようすべきか, さてどうしよう?, 10-15, 中外医学社, 2006.9.1
- ・川合陽子 (分担執筆) : コンパクト福祉系講義 医学一般, 第6章 造血器疾患と止血凝固の機序 第9章 良性腫瘍と悪性腫瘍 第10章 生殖と発達・成長, 53-58, 69-74, 金芳堂, 2007.3.20
- ・Anna Basso, 武田克彦 (監訳), 鷺崎一成 (共訳) : 失語症, 中外医学社, 2006
- ・小松真理 : 標準医療, 白内障, 1373-1376, 日本医療企画, 2006
- ・須藤英一, 大内尉義 (監修, 編集) 他 : 日常診療に活かす老年病ガイドブック8 高齢者の退院支援と在宅医療, 高齢者在宅医療の実際人工呼吸器の管理, 124-129, メジカルビュー社, 2006.6.20
- ・須藤英一, 大内尉義 (監修, 編集) 他 : 日常診療に活かす老年病ガイドブック8 高齢者の退院支援と在宅医療, 高齢者在宅医療の実際酸素療法の管理, 130-135, メジカルビュー社, 2006.6.20
- ・須藤英一, (長瀬隆英, 永田泰自編著) : 図解 呼吸器内科学テキスト, 主要症候の病態と鑑別 痰, 12-14, 中外医学社, 2006.7.10
- ・須藤英一, 四元秀毅, (金澤一郎, 北原光夫, 山口 徹, 小俣政男総編集) : 内科学, 呼吸器疾患の検査法 血液・生化学・免疫学的検査 肺機能検査 血液ガス 酸塩基平衡, 992-1000, 医学書院, 2006.10.1
- ・須藤英一, (高久文鷹監修) : 臨床検査データブック 2007-2008, 胸水, 肺胞洗浄液, 654-655, 662-663, 医学書院, 2007.3.1
- ・横山郁夫 : スタチンの多面的心血管保護作用, Medical Tribune, 2006.8.3
- ・倉島一浩 (分担執筆) : 標準治療 最新版 (第3版), 突発性難聴, メニエール病, 良性発作性頭位眩暈症 (BPPV), 前庭神経炎, 前庭代償, 1328-1340, 日本医療企画, 2006

原著論文

- ・Masaki T, Matsuura T, Ohkawa K, Miyamura T, Okazaki I, Watanabe T, Suzuki T : All-trans retinoic acid down-regulates human albumin gene expression through the induction of C/EBP b-LIP, Biochemical Journal, 397, 345-353, 2006
- ・Komaki Y, Furuya H, Higashiyama R, Kinoue T, Ito S, Inagaki Y, Watanabe T, Honma Y, Okazaki I : Detection of individual over-smoking using conventional laboratory tests, Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine, 31, 17-28, 2006
- ・Fukasawa K, Aikawa H, Okazaki I, Haratani T, Takahashi M, Nakata A, Otsuka Y, Kaida K, Hanada T : Perceived sleepiness of non-shift working men in two different types of working organization, Journal of Occupational Health, 48, 230-238, 2006
- ・Higashiyama R, Inagaki Y, Hong YY, Kushida M, Nakao S, Niioka M, Watanabe T, Matsuzaki Y, Okano H, Shiota G, Okazaki I : Contribution of bone marrow-derived cells to the spontaneous regression of liver fibrosis in mice, Hepatology, 45, 213-222, 2007
- ・横山公通, 宮崎康文, 水田嘉美, 松木秀明, 岡崎 勲 : 中学生の自覚症状と生活習慣に関する研究, 日本公衆衛生雑誌, 53, 471-479, 2006
- ・Tetsuya Okunaka, Harubumi Kato : Safety guidelines of PDT for early stage lung cancer, Laser Therapy, 15(3), 101-104, 2006
- ・Inagaki M, Mori T, Kawai Y et al. (5 authors) : Use of recombinant activated factor VII to control bleeding in a young child with qualitative platelet disorder: a case report, Blood Coagulation and Fibrinolysis, 17, 317-322, 2006
- ・小木曾智美, 森吉百合子, 長原 光 : 脂肪肝における閉経の影響, 人間ドック, 21, 16-21, 2006
- ・志賀智子, 大和田潔, 星野達夫, 長原 光, 白鳥敬子 : 当院健康管理センターでの脳ドック成績の検討 無症候性脳

- 梗塞の危険因子としての眼底検査の重要性, 人間ドック, 21, 695-703, 2006
- ・ 保科 清, 鈴木葉子, 仁志田博司, 門井伸暁: 最近6年間のB群レンサ球菌 (GBS) 感染症についてのアンケート調査結果, 日本周産期・新生児学会雑誌, 42(1), 7-11, 2006
 - ・ 柳原 泰: 手指のしびれ, 肘部管症候群, 総合臨床, 55, 2232-2236, 2006
 - ・ 須藤英一, 奥澤 健, 奥仲哲弥, 鷺崎一成: 陽・陰圧体外式人工呼吸器 (RTX) 使用により気管切開部位からの人工呼吸器の離脱が可能となったと考えられる多系統萎縮症の1症例, Geriat Med, 44, 419-423, 2006
 - ・ 飯田嘉彦, 清水公也, 小松真理 他: Laser in situ keratomileusis術後に発症した眼圧依存性角膜層間混濁の一例, IOL&RS, 20, 158-162, 2006
 - ・ 五十嵐章史, 小松真理, 相澤大輔 他: Wavefront-guided keratomileusis術後3年の経過, IOL&RS, 20, 452-456, 2006
 - ・ 須藤英一, 北出弘昭, 北川恒実 他1名: 呼吸教室開催による慢性呼吸器疾患患者への影響～心理面の評価を中心に～, 日老医誌, 43(5), 630-634, 2006
 - ・ Yokoyama I, Inoue Y, Moritan T, Ohtomo K, Nagai R: Myocardial glucose utilisation in type II diabetes mellitus patients treated with sulphonylurea drugs, Eur J Nucl Med, 33, 703-708, 2006
 - ・ Seki C, Momose T, Kojima Y, Ohtomo K, Yokoyama I: Proposal of Blood Volume Corrected Model for Quantification of Regional Cerebral Blood Flow with H2 15-O-PET and its Application to VF, Radiation Med., 24, 260-268, 2006
 - ・ Nomura Y, Inoue Y, Yokoyama I, Nakaoka T, Itoh D, Okubo T, Ohtomo K: Evaluation of left ventricular function from cardiac magnetic resonance imaging using Fourier fitting, Magn Reson Imaging, 24, 1333-1339, 2006

総説

- ・ 山沖和秀: 【心電図の読み方】心電図の基礎: 電気軸とその偏位, 診断と治療, 94(9), 1458-1463, 2006.9
- ・ 杉本恒明 (編集), 矢崎義雄, 百村伸一, 山沖和秀: Heart Failure Today (心不全関連の諸論文の紹介), Excerpta Medica Newsletter, 54, 2006.4, 55, 2006.8, 56, 2006.12
- ・ 古屋博行, 小牧葉子, 岡崎 勲: 胎児期アルコール暴露による神経行動学的影響について—動物モデルでの研究動向—, 日本アルコール・薬物医学会雑誌, 41, 15-22, 2006
- ・ 岡崎 勲, 稲垣 豊: 序 肝線維化—肝線維化と再生医学, 医学と薬学, 56, 297-301, 2006
- ・ 岡崎 勲, 稲垣 豊: 高齢者の肝線維化, 肝胆膵, 53, 81-86, 2006
- ・ 稲垣 豊, 岡崎 勲: 肝線維化マーカー, 医学のあゆみ別冊消化器疾患 ver 3. II. 肝・胆・膵, 269-272, 2006
- ・ 岡崎 勲, 稲垣 豊: モノアミンオキシダーゼ (MAO), 日本医師会雑誌, 135 (特別号2), S118, 2006
- ・ 岡崎 勲, 稲垣 豊: PIIP (プロコラーゲンIIIペプチド), 日本医師会雑誌, 135 (特別号2), S167, 2006
- ・ 岡崎 勲, 稲垣 豊: IV型コラーゲン・7S, 日本医師会雑誌, 135 (特別号2), S168, 2006
- ・ 岡崎 勲, 稲垣 豊: ヒアルロン酸, 日本医師会雑誌, 135 (特別号2), S169, 2006
- ・ 岡崎 勲, 渡辺 哲, 稲垣 豊, 東山礼一: コラゲナーゼから肝線維化と肝癌を考える, G. I. Research, 14, 543-551, 2006
- ・ Inagaki Y, Okazaki I: Emerging insights into transforming growth factor b and smad signaling in hepaticfibrogenesis., GUT, 56, 284-292, 2007
- ・ 川合陽子: 健診におけるCBC検査の有用性, 日本検査血液学会雑誌, 7(3), 514, 2006
- ・ 川合陽子: 症例に学ぶスクリーニング検査から診断へのプロセス, 日本検査血液学会雑誌, 7(3), 478-479, 2006
- ・ 川合陽子: 教育および技能向上のためのプログラム—一般血液学のためのUK NEQAS—, 医療と検査機器・試薬, 29(6), 616-637, 2006
- ・ 保科 清: 少子時代の子育ち親育ち, 小児歯科臨床, 11(9), 18-21, 2006

- ・ 鷺崎一成, 武田克彦: 視床性失語, Clinical Neuroscience, 24(10), 1142-1144, 2006
- ・ 小松真理: 眼内レンズ屈折手術学会を終えて, IOL&RS, 20, 412, 2006
- ・ Yokoyama I: Heart and Musculoskeletal muscle ¹⁸fluorine-fluoro-2-deoxy-D-glucose (¹⁸FDG) positron emission tomography (PET) imaging to characterize metabolic syndrome and systemic inflammatory disorders, 9th World Congress of Nuclear Medicine and Biology, 2006

研究報告

- ・ 岡崎 勲: 編集委員長任期修了にあたって, 日本公衆衛生雑誌, 53, 163-166, 2006
- ・ 岡崎 勲: 日本とタイのNGO調査にみる国際感染症への対応およびネットワークのあり方, 平成17年度厚生労働科学研究費補助金国際健康危機管理ネットワーク強化研究推進事業研究成果発表会記録集「国際的な健康危機への備えと対応」(ヒューマンサイエンス振興財団) 1-11, 2006
- ・ 岡崎 勲: 国民健康保険料滞納問題に関する研究—平成17年度全国市町村保健組合報告を中心に—, 日本医師会, 1-84, 2007

講演(学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 岡崎 勲: 基調講演 コラゲナーゼ研究から肝線維症と肝発癌を考える, 第6回肝疾患フォーラム学術集会, ホテルグランヴィア大阪, 大阪市, 2006.10.7
- ・ 岡崎 勲: イブニングセミナー 肝類洞壁微小環境の改善—HGFの関与を中心に—, 第20回肝類洞壁細胞研究会, ホテルハイランドリゾート, 山梨県大月市, 2006.12.2
- ・ 奥仲哲弥: 会長講演 PDTの適応拡大と問題点, 第16回日本光線力学学会, 東京医大病院臨床講堂, 東京都, 2006.5.13
- ・ Tetsuya Okunaka: The History of Photodynamic therapy, The 1st Meeting of the International Phototherapy Association, Rakohanno Hotel, Suwa City Nagano, 2006.7.1-2
- ・ Tetsuya Okunaka: Photodynamic diagnosis for early stage bronchogenic carcinoma and application of PDD for sentinel node navigation, The 6th annual meeting of Korean Photodynamic association, Seoul National University Hospital, Seoul Korea, 2006.8.26
- ・ 川合陽子: 凝血学的検査の標準化の現状と問題点—FDP測定を中心に—, 第25回日本臨床化学会夏期セミナー シンポジウム「凝固線溶検査の現在と招来」, ガトーキングダムサッポロ, 北海道札幌市, 2006.8.4
- ・ 川合陽子: 血液学検査における精度管理の問題点と対策, 全国労働衛生団体連合会平成18年度臨床検査技術向上研修会, 芝弥生会館, 東京, 2006.7.3-4
- ・ 川合陽子: 貧血と検査, 第53回日本臨床検査医学会学術集会 市民公開講座「健康診断と臨床検査」, 弘前市民会館・文化センター, 青森県弘前市, 2006.11.9-11
- ・ 川合陽子: 造血器腫瘍における凝血学的異常を中心に, 第19回博多シンポジウム学術講演会「ハードをソフトに学ぶ血液学」, TNC放送会館, 福岡県博多市, 2006.11.25-26
- ・ 川合陽子: 造血器腫瘍における凝血学的異常, 日本検査血液学会沖縄支部第4回学術集会, 琉球大学講堂, 沖縄県中頭郡, 2006.12.2
- ・ 川合陽子: 血液学検査の内部・外部精度管理の進め方と結果の評価, 全国労働衛生団体連合会平成18年度臨床検査技術講習会, 芝弥生会館, 東京, 2007.2.26-27
- ・ 中村雄二(座長): 健康指導 143-1から143-5まで, 第35回日本総合健診医学会, 第四会場, 岡山, 2007.1.26
- ・ 鷺崎一成: 一般内科感染症としてのHIV感染症, 日本感染症学会シンポジウム, 東京, 2006.4.20

- ・ 小松真理 : 白内障手術後眼内炎の診断と治療, 第29回日本眼科手術学会総会, 京都国際会議場, 京都市, 2007.1
- ・ 小松真理 : 近視矯正手術の選択2006, International refractive Society in Japan, パシフィコ横浜, 横浜市, 2006
- ・ 小松真理 : 白内障手術後眼内炎, 山形市, 2006.10
- ・ Mari Komatsu : Nes Aspheric IOL, XXIV Congress of ESCRS, London, 2006
- ・ 須藤英一 : すぐれた口腔ケアと嚥下リハビリテーション, ナースネット, 東京大学農学部 弥生講堂, 東京, 2006.6.25
- ・ 須藤英一 : 誤嚥性肺炎と嚥下リハビリの実際, 高齢者肺炎フォーラム, ホテルいとう, 和歌山, 2006.9.23
- ・ 須藤英一 : 肺の病気総論~冬へ向けてかぜをひかないために, 山王病院第4回呼吸教室, 山王病院, 東京, 2006.12.8
- ・ 横山郁夫 : 座談会 スタチンの多面的な心血管保護作用, 福岡JALシーホークリゾート, 福岡市, 2006.6.2
- ・ 横山郁夫 : 教育講演, 第9回世界核医学会総会 (WCNMB), ソウル市 大韓民国, 2006.10.25

学会発表

- ・ Isao Okazaki (座長) : Session V “Stellate Cell Biology and Fibrosis (5)”, The 13th International Symposium on Cells of the Hepatic Sinusoid, 新潟大学医学部講堂, 新潟市, 2006.9.3-6
- ・ Isao Okazaki (座長) : Session II “Inflammation and Fibrogenesis (2)”, Minophagen International Symposium 2006, 海運クラブ, 東京都, 2006.9.8
- ・ 稲垣 豊, 東山礼一, 渡辺 哲, 岡崎 勲 : グリチルリチンおよびその代謝産物による肝線維化抑制機序の解明, 第42回日本肝臓学会ワークショップ2 (WS2-1), 京都国際会議場, 京都市, 2006.5.25
- ・ 東山礼一, 稲垣 豊, 渡辺 哲, 岡崎 勲, 汐田剛史 : 自家骨髄細胞の肝内移行とMMP発現誘導にもとづく肝線維症の治療戦略, 第42回日本肝臓学会ワークショップ2 (WS2-1), 京都国際会議場, 京都市, 2006.5.25
- ・ Higashiyama R, Inagaki Y, Hong YY, Kushida M, Nakao S, Niioka M, Watanabe T, Okano H, Matsuzaki Y, Okazaki I : Contribution of bone marrow-derived cells to the spontaneous regression of liver fibrosis in mice, AASLD Single Topic Conference, Warrenton Convention Center, U. S. A. Virginia, 2006.6.9-11
- ・ Higashiyama R, Inagaki Y, Shimoyama Y, Kushida M, Hong YY, Nakao S, Watanabe T, Inoue H, Okazaki I : Glycyrrhizin and its metabolite suppress smad3-stimulated collagen gene expression and hepatic fibrosis in mice, The 38th Annual Meeting of Japanese Society for Connective Tissue Research, 前橋市民ホール, 群馬県前橋市, 2006.5.11-12
- ・ 稲垣 豊, 東山礼一, 岡崎 勲 : Transgenic dual reporter mouseを用いたコラーゲン合成と分解の包括的解析, 第20回肝臓洞壁細胞研究会学術集会, ホテルハイランドリゾート, 山梨県大月市, 2006.12.2
- ・ Reiichi Higashiyama, Yutaka Higashiyama, Yun Yu Hong, Miwa Kushida, Sachie Nakao, Maki Niioka, Tetsu Watanabe, Hideyuki Okano, Yumi Matsuzaki, Goshi Shiota, Isao Okazaki : Contribution of bone marrow-derived cells to the spontaneous regression of liver fibrosis in mice, 17th Asian Pacific Association for the Study of Liver Diseases (APASL) Conference, 京都国際会議場, 京都市, 2007.3.27-30
- ・ 奥仲哲弥 (会長) : 学会主催 第16回日本光線力学学会, 東京医大病院臨床講堂, 東京都, 2006.5.12-13
- ・ 奥仲哲弥 (座長) : 緊急症例 第23回日本呼吸器外科学会, 東京プリンスホテル, 東京都, 2006.5.25-26
- ・ 奥仲哲弥 (座長) : 呼吸器・消化器疾患の最新の光診断, 第27回日本レーザー医学会, 幕張メッセ, 千葉県幕張市, 2006.11.2-3
- ・ 奥仲哲弥 (座長) : ランチョンセミナー Photodynamic therapy for lung cancer, 第27回日本レーザー医学会, 幕張メッセ, 千葉県幕張市, 2006.11.2-3
- ・ Tetsuya Okunaka (Chair) : Photodynamic diagnosis, The 1st Meeting of the International Phototherapy Association, Rokohananoi Hotel, Suwa City Nagano, 2006.7.1-2

- ・柳本 繁, 金子博徳, 川合陽子 他4名: 人工股関節手術後の静脈血栓栓症診断における凝固線溶系分子マーカー (FDP D-dimer, SFMC) スクリーニングの有用性, 第6回TTMフォーラム, 大手町サンケイプラザ, 東京, (2006.3.11)
- ・川合陽子, 本間 優 (座長): テクニカルセミナー2. 症例に学ぶスクリーニング検査から診断へのプロセス, 第7回日本検査血液学会学術集会, 東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス, 東京, 2006.7.22-23
- ・中村雄二, 長原 光, 川合陽子 他6名: 頸動脈エコー所見と動脈硬化危険因子との関連について, 第47回日本人間ドック学会学術大会, 沖縄コンベンションセンター, 沖縄県宜野湾市, 2006.9.14-15
- ・川合陽子 (座長): 朝長万左男講演 FAB分類から新WHO分類へーその後の展開ー, ヘマトロジー講演会, 仙台北法華クラブ, 宮城県仙台市, 2006.9.16
- ・柴田 文, 越野裕子, 川合陽子 他8名: 新規造血幹細胞マーカーRobo4の解析, 第68回日本血液学会・第48回日本臨床血液学会合同窓会, 福岡国際会議場, 福岡県博多市, 2006.10.6-8
- ・川合陽子 (座長): 血液凝固・線溶 (I) セッション, 日本臨床検査自動化学会第38回大会, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, 2006.10.11-13
- ・中村雄二: 頸動脈エコー有所見者の動脈硬化危険因子との関連について (第2報), 第35回日本総合健診医学会, 岡山, 2007.1.27
- ・長原 光, 小木曾智美, 白鳥敬子: チロシンリン酸化阻害剤とプロテアゾーム阻害剤による肝癌治療の可能性, 日本肝臓学会大会, 札幌市, 2006.10.12
- ・長原 光, 中村雄二, 下條ふみ: 健診により発見されたNon-Alcoholic Steatohepatitis (NASH) とと思われる4症例, 日本消化器病学会, 札幌市, 2006.10.13
- ・戸部正博, 水谷一裕, 甲斐秀顕, 津布久義人, 金子和夫, 柳原 泰: 橈骨遠位端骨折変形治療骨折の治療経験, 第20回東日本手の外科研究会, 甲府市, (2006.2.10)
- ・戸部正博, 水谷一裕, 甲斐秀顕, 津布久義人, 柳原 泰: 方形回内筋を温存した掌側locking plateによる橈骨遠位端骨折の小侵襲手術, 第49回日本手の外科学会, アクトシティ浜松, 浜松, 2006.4.21
- ・奥澤 健: 新しいEvidenceに基づいた創傷治療 (湿潤療法), 第68回日本臨床外科学会総会, 広島厚生年金会館, 広島県広島市, 2006.11.11
- ・奥澤 健: 慢性関節リウマチに合併し, FDG-PETでFDG集積像を示したBALTOMAと思われた一切除例, 第47回日本肺癌学会総会, 国立京都会館, 2006.12.14
- ・小松真理 (座長): 緑内障の診断と治療, レディスサージャンの会, 京都市ウエスティン都ホテル, 京都市, 2006
- ・相澤大輔, 清水公也, 鈴木雅信, 藤沢邦俊, 五十嵐章史, 小松真理: 乱視度数いりPhakic IOL挿入術の臨床成績, 第29回日本眼科手術学会総会2006, 京都国際会議場, 京都市, 2006
- ・五十嵐章史, 小松真理, 相澤大輔 他: Wavfront-guided LASIK後のregressionの検討, 第60回日本臨床眼科学会総会, 京都国際会議場, 京都市, 2006
- ・須長 桂, 相澤久美子, 五十嵐章史, 小松真理: WFG-LASIK vs ICL, 第47回日本視能矯正学会, 宮崎シーガイアリゾート, 宮崎市, 2006
- ・相澤久美子, 須長 桂, 五十嵐章史, 小松真理: LASIKの照射方法による術後収差の違い, 第47回日本視能矯正学会, 宮崎シーガイアリゾート, 宮崎市, 2006
- ・相澤大輔, 神谷和孝, 清水公也, 藤沢邦俊, 五十嵐章史, 小松真理: 乱視矯正後房型ICL, wavefront-guided LASIK術後のコントラスト感度の定量的検討, 第60回日本臨床眼科学会総会, 京都国際会議場, 京都市, 2006
- ・神谷和孝, 相澤大輔, 清水公也, 藤沢邦俊, 五十嵐章史, 小松真理: 強度近視における有水晶体内レンズ (ICL), wavefront-guided LASIK術後のコントラスト感度の定量的検討, 第60回日本臨床眼科学会総会, 京都国際会議場, 京都市, 2006

- ・ 疋田朋子, 清水公也, 五十嵐章史, 相澤大輔, 半田知也, 小松真理: LASIKにおけるモノビジョンの臨床成績, 第46回日本眼内レンズ屈折手術学会総会, 東京フォーラム, 東京, 2006
- ・ 五十嵐章史, 小松真理, 相澤大輔 他: LASIK後の追加矯正, 第110回日本眼科学会総会, 大阪国際会議場, 大阪市, 2006
- ・ 神谷和孝, 相澤大輔, 清水公也, 五十嵐章史, 小松真理: LASIK後のregressionに対する眼圧下降薬の有効性, 第30回日本眼科学術学会総会, 京都国際会議場, 京都市, 2007.1
- ・ 五十嵐章史, 小松真理, 相澤大輔 他: LASIK後照射方式による術後高次収差, コントラストの比較, 第30回日本眼科学術学会総会, 京都国際会議場, 京都市, 2007.1
- ・ 須藤英一, 北出弘昭, 北川恒実 他1名: 呼吸教室開催による慢性呼吸器疾患患者への影響～心理面の評価を中心に～, 第48回日本老年医学会学術集会, 石川県立音楽堂, 金沢, 2006.6.8
- ・ 須藤英一 (座長): 呼吸器①, 第48回日本老年医学会学術集会, 石川県立音楽堂, 金沢, 2006.6.8
- ・ 須藤英一, 北出弘昭, 北川恒実 他1名: 呼吸器専門医赴任による呼吸器疾患患者, 新病院への影響, 第16回日本呼吸管理学会学術集会, 札幌コンベンションセンター, 札幌, 2006.7.29
- ・ H Mizutani, D Destini, V Rutkunas, A Bazar, K Nakamura et al.: Comparison of retentive force of different overdenture stud attachments in various dislodgement patterns. In vitro study Part 2 Changes after fatigue test, The fifth international conference on magnetic applications in dentistry, <http://wwwsoc.nil.ac.jp/jmd/index-e.shtml>, (2006.3.1-20)
- ・ デスティネ・ダーリン, 水谷 紘, 吉野教夫, 佐々木秀隆, 松崎慎也, 中村和夫, 五十嵐順正: 磁性アタッチメントキーパーならびに歯科用合金がMRIに及ぼす影響 第1報 概説 デジタルデータによる分析, 日本磁気歯科学会第16回学術大会, 香川県歯科医師会館東館, 高松市, 2006.10.28

研究助成金 (文部科学省, 厚生労働省, 公的研究費, その他研究助成金)

- ・ 岡崎 勲: 日本とタイのNGO調査にみる国際感染症への対応およびネットワークのあり方, 厚生労働科学研究費, 国際健康危機管理ネットワーク強化研究推進事業
- ・ 岡崎 勲: 国民健康保険料滞納問題に関する研究—平成17年度全国市町村保健組合報告を中心に—, 日本医師会総合政策研究機構研究費
- ・ 岡崎 勲: がんの病理学的推移に関する疫学研究, JT奨学研究費

学位取得・研究業績に対する受賞

- ・ 横山郁夫: 日本核医学会認定 臨床PET認定医, 2006.6

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 奥田 誠: 日本大腸肛門病学会 (指導医, 専門医) (評議員), 日本外科学会 (指導医, 専門医, 認定医), 日本消化器外科学会 (指導医, 専門医), 日本大腸検査学会 (評議員), 日本消化器内視鏡学会 (指導医), 日本消化器病学会, (専門医, 認定医), 日本臨床外科医学会, 日本癌治療学会, 日本内視鏡外科学会, 日本サイコロコロジー学会, The American Society of Colon & Rectal Surgeons
- ・ 山沖和秀: 日本循環器学会 (専門医) (関東甲信越地方会 評議員), 日本内科学会 (認定医), 日本高血圧学会, 日本心臓病学会, 日本老年病学会, 日本脈管学会, Heart Journal (編集委員)
- ・ 岡崎 勲: 日本公衆衛生学会 (監事), 日本衛生学会 (評議員), 日本産業衛生学会 (代議員), 日本産業ストレス学会 (監事), 日本内科学会 (認定内科医), 日本消化器病学会 (専門医), 日本肝臓学会 (専門医)
- ・ 奥仲哲弥: 日本外科学会 (指導医, 専門医, 認定医), 日本呼吸器外科学会 (指導医, 専門医) (評議員), 日本呼

- 吸器内視鏡学会（指導医，専門医）（評議員），日本レーザー医学会（指導医，専門医）（理事），日本肺癌学会（評議員），日本臨床細胞学会（指導医），日本呼吸器病学会（専門医），日本光線力学学会（会長，理事），日本外科系連合学会（評議員），International Photodynamic Association（理事）
- ・ 川合陽子：日本内科学会（認定医），日本血液学会（指導医，認定医）（専門医認定試験委員（血液形態学），評議員），日本臨床検査医学会（認定臨床検査医）（包括医療検討委員会委員長，評議員），日本検査血液学会（会計幹事，評議員，編集委員，プログラム委員，冬季セミナー委員），日本臨床検査自動化学会（評議員，編集委員，科学技術委員），日本血栓止血学会（評議員，学術賞選考委員），日本サイトメトリー学会（日本サイトメトリー技術者），日本医師会（認定産業医）
 - ・ 菊池 潔：日本外科学会（指導医），日本乳癌学会（専門医），日本消化器外科学会（指導医）
 - ・ 保科 清：日本小児科学会（小児科専門医），日本感染症学会（感染症専門医，指導医）（評議員），日本内分泌学会（内分泌代謝（小児科）専門医）（代議員），日本小児科医会（会長）
 - ・ 柳原 泰：日本整形外科学会（専門医，認定スポーツ医，認定リウマチ医），日本リウマチ学会（専門医），日本手の外科学会（専門医）（評議員），日本医師会（認定産業医），日本リウマチ財団（リウマチ登録医）
 - ・ 鷺崎一成：日本神経学会（専門医），日本エイズ学会
 - ・ 奥澤 健：日本呼吸器内視鏡学会（指導医）
 - ・ 小松真理：日本眼科学会（眼科専門医），日本眼内レンズ屈折手術学会（学会誌IOL&RS，編集委員），日本眼光学学会，日本眼科手術学会，American Academy of Ophthalmology，American Society of Cataract and Refractive Surgery，European Society of Cataract and Refractive Surgery，International Society of Refractive Surgery，レディースサージャンの会（世話人代表）
 - ・ 須藤英一：日本内科学会（認定内科医），日本呼吸器学会（専門医），日本老年医学会（専門医，指導医）（代議員），日本リハビリテーション医学会，日本温泉気候物理医学会，日本抗加齢医学会，日本睡眠学会，日本医師会（認定産業医）
 - ・ 中村和夫：日本補綴歯科学会（指導医，専門医），日本磁気歯科学会（認定医）（理事（認定審議委員長，編集委員）），日本歯科理工学会，口腔病学会，日本顎関節学会，日本歯科心身医学会，International Association for Dental Research
 - ・ 横山郁夫：日本心臓核医学会（評議員），日本循環器病学会，日本内科学会，日本糖尿病学会，米国糖尿病学会，日本核医学会，米国核医学会，ヨーロッパ核医学会，米国心臓核医学会，米国糖尿病学会
 - ・ 倉島一浩：日本耳鼻咽喉科学会（認定専門医），日本耳科学会，日本めまい平衡医学会，日本顔面神経研究会

臨床医学研究センター

国際医療福祉大学東京ボイスセンター

著書

- ・ 福田宏之，神崎 仁（編集）：癒痕性声帯病変に対するアプローチ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療のコツと落とし穴，中山書店，2006.8
- ・ 楠山敏行（分担執筆）：耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療のコツと落とし穴3喉頭・咽頭疾患，声帯嚢胞の手術におけるコツ，116，中山書店，2006.8.

原著論文

- ・ 福田宏之：日本のプライマリケア 4 のどの症状，総合臨床，2006増刊号，78-83，2006.4.1
- ・ 福田宏之：喉頭狭窄の対応－司会者の言葉，日気食会報，57，159-160，2006
- ・ 田村悦代，福田宏之：音声形成のメカニズム－声帯以外での原音形成－，JOHNS，22，513-516，2006
- ・ 福田宏之：のどの症状，総合臨床 増刊，55，78-83，2006
- ・ 田村悦代，楠山敏行，福田宏之 他：頬部脂肪体を用いた声帯内自家脂肪注入術の一例，喉頭，18，124-126，2006
- ・ Nakagawa H, Kusuyama T, Fukuda H et al. : A case of glossopharyngeal zoster diagnosed by detecting viral specific antigen in the pharyngeal mucous membrane, The Journal of Laryngology & Otology, 121, 163-165, 2007

総説

- ・ 楠山敏行：内分泌異常と嗄声・失声，JOHNS，22(4)，550-552，2006

講演（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）

- ・ 福田宏之：喉頭癌診断のコツとピットフォール，第1回音声・嚥下・呼吸の談話会 城東ブロック耳鼻咽喉科医会，東京，2006.4.27
- ・ 楠山敏行，福田宏之：気管食道領域における内視鏡のシンポ 喉頭領域の内視鏡診断，第58会日本気管食道科学会，ロイトン札幌，札幌，2006.10.5-6
- ・ 福田宏之：声帯内注入術の現状と将来声帯内注入術－その温故知新－，第51回日本音声言語医学会総会，京都リサーチパーク，京都，2006.10.26
- ・ Nakagawa N, Fukuda H et al. : Usefulness of laryngeal cold snare for space occupying lesions of the glottis, 5th East Asian Conference on Phonosurgery, Seoul Korea, 2006.12.2
- ・ Kusuyama T, Fukuda H et al. : A Clinical Study of Cases with Voice Disorders in Tokyo Voice Center, 5th East Asian Conference on Phonosurgery, Seoul Korea, 2006.12.2
- ・ Tamura E, Fukuda H et al. : Buccal Fat Pad Tissue Utilized in Vocal Fold Injection, 5th East Asian Conference on Phonosurgery, Seoul Korea, 2006.12.2
- ・ Mori Y, Fukuda H et al. : Surgical treatment for laryngeal stenosis using hard palate mucosa grafting combined with a muscle-
pedicle hyoid bone flap, 5th East Asian Conference on Phonosurgery, Seoul Korea, 2006.12.2
- ・ 楠山敏行，福田宏之：シンポジウム 気管食道領域における内視鏡の進歩 喉頭領域の内視鏡診断－「超」接近撮影法による電子内視鏡を用いた喉頭観察－，第58回日本気管食道科学会，ロイトン札幌，北海道，札幌，2006.10.6
- ・ 楠山敏行，渡邊雄介（司会，企画）：シンポジウム いわゆる機能性音声障害の診断と治療，第19回日本喉頭科学会総会，神戸国際会議場，神戸，2007.3.8-9

学会発表

- ・ 楠山敏行，福田宏之 他：東京ボイスセンターにおける音声障害の統計的観察，第107回日本耳鼻咽喉科学会，新高輪プリンスホテル，東京，2006.5.11-13
- ・ 田村悦代，福田宏之，楠山敏行 他：Buccal Fatを用いた声帯内自家脂肪注入術，第107回日本耳鼻咽喉科学会，新高輪プリンスホテル，東京，2006.5.11-13
- ・ 磯貝 豊，福田宏之，楠山敏行 他：ビデオ電子スコープ下手術，第107回日本耳鼻咽喉科学会，新高輪プリンスホテル，東京，2006.5.11-13
- ・ 森 有子，福田宏之，楠山敏行 他：気管食道瘻の閉鎖に胸鎖乳突筋弁を用いた1例，第58会日本気管食道科学会，

ロイトン札幌, 札幌, 2006.10.5-6

- ・ 磯貝 豊, 楠山敏行, 福田宏之 他: フードと持続送気を併用した下咽頭スコープの症例その1 漁骨異物, 第58回日本気管食道科学会, ロイトン札幌, 札幌, 2006.10.5-6
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 他: 声帯ポリープ消退例の検討, 第18回日本喉頭科学会学術講演会, 熊本テルサ, 熊本, 2006.4.13-14
- ・ 磯貝 豊, 福田宏之, 楠山敏行 他: ビデオ電子スコープ下喉頭手術の検討, 第18回日本喉頭科学会学術講演会, 熊本テルサ, 熊本, 2006.4.13-14
- ・ 磯貝 豊, 福田宏之, 楠山敏行 他: 注入剤の微細注入術に対し考案した手動回転押し式注射器用アダプター, 第18回日本喉頭科学会学術講演会, 熊本テルサ, 熊本, 2006.4.13-14
- ・ 田村悦代, 福田宏之, 楠山敏行 他: Buccal Fatを用いた声帯内自家脂肪注入術の試み, 第18回日本喉頭科学会学術講演会, 熊本テルサ, 熊本, 2006.4.13-14
- ・ 大久保啓介, 福田宏之 他: 試作注入器を用いた声帯内BIOPEX注入術, 第18回日本喉頭科学会学術講演会, 熊本テルサ, 熊本, 2006.4.13-14
- ・ 磯貝 豊, 福田宏之, 楠山敏行 他: 慢性甲状腺炎の発病を契機に発症した竹の節声帯結節の一例, 第51回日本音声言語医学会総会, 京都リサーチパーク, 京都, 2006.10.26-27
- ・ 田村悦代, 福田宏之, 楠山敏行 他: Buccal Fatを用いた声帯内自家脂肪注入術の実際, 第51回日本音声言語医学会総会, 京都リサーチパーク, 京都, 2006.10.26-27
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 他: 声帯結節症例の検討—声の職業性の観点から—, 第51回日本音声言語医学会総会, 京都リサーチパーク, 京都, 2006.10.26-27
- ・ 佐藤麻美, 福田宏之, 楠山敏行 他: 喉頭麻痺に対する音声治療法の検討—話し方へのアプローチ, 第51回日本音声言語医学会総会, 京都リサーチパーク, 京都, 2006.10.26-27
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 他: 分光内視鏡Fuji Intelligent Color Enhancement (FICE)による喉頭観察の検討, 第19回日本喉頭科学会総会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.3.8-9
- ・ 森 有子, 福田宏之, 楠山敏行 他: 診断に苦慮した喉頭癌の一症例, 第19回日本喉頭科学会総会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.3.8-9
- ・ 田村悦代, 福田宏之, 楠山敏行 他: 声帯内脂肪注入術に用いる脂肪組織に関する考察, 第19回日本喉頭科学会総会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.3.8-9
- ・ 福田宏之 (司会): シンポジウム 喉頭癌における音声保存再建, 第15回日本気管食道科学会認定医大会, 六本木ヒルズ, 東京, (2006.2.18-19)
- ・ 福田宏之 (座長): 第3群 ビデオ 喉頭, 第107回日本耳鼻咽喉科学会, 新高輪プリンスホテル, 東京, 2006.5.11-13
- ・ 福田宏之 (司会): シンポジウム 気管食道領域の内視鏡の進歩, 第58回日本気管食道科学会, ロイトン札幌, 札幌, 2006.10.5-6
- ・ 福田宏之 (座長): 第14郡 喉頭観察2, 第19回日本喉頭科学会総会・学術講演会, 神戸国際会議場, 神戸, 2007.3.8-9
- ・ 楠山敏行 (座長): 第一群, 第28回東日本音声外科学研究会, グリーンコート, 東京, 2006.4.8
- ・ 楠山敏行, 福田宏之 他: 声帯結節における治療指針の検討, 第4回アジア頭頸部外科学研究会, 東京ヒルトンホテル, 東京, 2006.7.8
- ・ 楠山敏行 (座長): 第二群「ビデオ2」, 第51回日本音声言語医学会総会, 京都リサーチパーク, 京都, 2006.10.26-27
- ・ Kusuyama T, Fukuda H et al.: A Clinical Study of Cases with Voice Disorders in Tokyo Voice Center, 5th East Asian Conference on Phonosurgery, Grand Hilton Seoul Hotel, Seoul Korea, 2006.12.2
- ・ 中川秀樹, 楠山敏行, 福田宏之 他: 単純ヘルペスウイルスによる咽喉頭炎, 第58回日本気管食道科学会, ロイトン

札幌, 札幌, 2006.10.5-6

- Nakagawa H, Kusuyama T, Fukuda H et al. : Usefulness of laryngeal cold snare for space occupying lesions of the glottis, 5th East Asian Conference on Phonosurgery, Grand Hilton Seoul Hotel, Seoul Korea, 2006.12.2
- Tamura E, Kusuyama T, Fukuda H et al. : Buccal Fat Pad Tissue Utilized in Vocal Fold Injection, 5th East Asian Conference on Phonosurgery, Grand Hilton Seoul Hotel, Seoul Korea, 2006.12.2
- Mori Y, Kusuyama T, Fukuda H et al. : Surgical treatment for laryngeal stenosis using hard palate mucosa grafting combined with a muscle-pedicle hyoid bone flap, 5th East Asian Conference on Phonosurgery, Grand Hilton Seoul Hotel, Seoul Korea, 2006.12.2

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- 楠山敏行 : 日本気管食道科学会 (専門医) (評議員, 診療ガイドライン委員会委員, 定款改訂委員会委員, 専門医制度委員会委員), 日本音声言語医学会 (評議員, 幹事), 日本喉頭科学会 (幹事), 東日本音声外科研究会 (世話人, 総務担当), 日本耳鼻咽喉科学会 (専門医)

臨床医学研究センター
化学療法研究所附属病院

原著論文

- 国枝武義 : 新春特集 炉辺閑話 ERAとARB, 日本医事新報, 4264, 29-30, 2006
- 国枝武義 : 開会の辞 第4回フローラン治療研究会, Progress in Medicine, 26(1), 267-267, 2006
- 国枝武義, 京谷晋吾 : フローラン使用指針 (仮) の提案, Progress in Medicine, 26(1), 338-348, 2006
- 国枝武義 : 疫学からみた急性肺血栓塞栓症, Heart View, 10(7), 775-779, 2006
- Nakamura M, Sakuma M, Yamada N, Tanabe N, Nakanishi N, Miyahara Y, Kuriyama T, Kunieda T, Shirato K, Sugimoto T, Nakano T : Risk factors in Japanese patients hospitalized for medical illness: results of a multicenter registry in the Japanese society of pulmonary embolism research, J Thromb Thrombolysis, 21, 131-135, 2006
- 国枝武義 (翻訳総監修) : 肺高血圧症 患者の生活の手引き 第3版, PPHの会発行, 1-308, 2006.6
- 国枝武義 : 航空機による旅行と血栓症, Mainichi Medical Journal, 2(7), 596-597, 2006
- 佐久間聖任, 中村真潮, 中野 赴, 中西宣文, 宮原嘉之, 田辺信宏, 山田典一, 栗山喬之, 国枝武義, 杉本恒明, 白土邦男, 榛沢和彦, 小林隆夫, 黒岩政之 : 新潟中越地震後に発生した肺塞栓症, Therapeutic Research, 27(6), 969-970, 2006
- 国枝武義 : 第7回肺高血圧症治療研究会を迎えて, Therapeutic Research, 27(10), 1915-1916, 2006
- Sakuma M, Nakamura M, Hanzawa K, Kobayashi T, Kuroiwa M, Nakanishi N, Miyahara Y, Tanabe N, Yamada N, Kuriyama T, Kunieda T, Sugimoto T, Nakano T, Shirato K : Acute pulmonary embolism after an earthquake in Japan, Seminars in Thrombosis Hemostasis, 32, 856-760, 2006
- 国枝武義, 篠山重威, 原まさ子, 吉田俊治 (編集) : 肺高血圧症 定義 概念 分類, In.循環器診療メモ2007, メディカルレビュー社, 7-13, 2006.12
- 国枝武義, 篠山重威, 原まさ子, 吉田俊治 (編集) : 肺高血圧症 病態 検査 治療, In.循環器診療メモ2007, メディカルレビュー社, 14-20, 2006.12

- ・ 国枝武義, 篠山重威 (編著) : 臨床検査基準値一覧, In.循環器診療メモ2007, メディカルレビュー社, 53-63, 2006.12
- ・ 国枝武義 : 新春特集 炉辺閑話 肺塞栓症と肺梗塞症, 日本医事新報, 4315, 110, 2007
- ・ 国枝武義 : 高齢者肺血栓塞栓症の診断と治療, 循環器科, 61(1), 61-67, 2007
- ・ 林 博樹 : 進行肺腺癌に対しTS-1が奏効したと思われる1例, 癌と化学療法, 33, 1619-1621, 2006

総説

- ・ 小中千守, 藤岡 薫, 林 博樹 : 小細胞肺癌における2次発癌と予防, 化学療法研究所紀要, 36, 7-11, 2006
- ・ 馬島 徹 : 気管支喘息の今日の治療, 化学療法研究所紀要, 36, 19-27, 2006
- ・ 馬島 徹 : 喘息日常管理のコツ「病理・病態生理:運動の影響は?」, Q&Aでわかるアレルギー疾患, 4, 355-357, 2006

研究報告

- ・ 服部知洋, 小林朋子, 高橋典明, 辻野一郎, 大城玲子, 津田香織, 赤星俊樹, 馬島 徹, 橋本 修, 赤柴恒人 : 交通外傷を契機に発見された特発性肺胞蛋白症の1例, 呼吸, 25, 530-531, 2006

講演 (学会, 研究会, 分科会, シンポジウム等の講演)

- ・ 税所宏光 : 膝疾患における内視鏡診療の進歩, 第30回岐阜県消化器内視鏡フォーラム, 岐阜都ホテル, 岐阜市, 2006.7.13
- ・ 税所宏光 : 膝癌治療の現状と展望, 第87回静岡胆膵疾患研究会, 静岡市, 2006.10.7
- ・ 税所宏光 : 膝癌診療の現状と展望, 市原消化器研究会, 五井グランドホテル, 市原市, 2006.9.28
- ・ 小中千守 : 呼吸器細胞診, 第4回細胞診断セミナー, 全共連ビル, 東京, 2006.8.11
- ・ 国枝武義, 重政千秋 (司会) : 特別講演 高血圧症の新しい治療と心臓血管リモデリング, 第1回STEM循環器研究会, 米子ワシントンホテルプラザ, 米子市, 2006.4.27
- ・ Kunieda T : Theoretical interpretation of the newly developed treatment for pulmonary hypertension-the "in whole body" effect of various drugs for chronic inherent progressive disease caused by endothelial dysfunction evidenced by recent pulmonary and cardiovascular multicenter clinical trials, Session 1: Innovation in Endothelin Science chaired by Goto K, Naeije R, "3rd Endothelin Scientific Symposium. The Application of Innovation: Dual Endothelin Receptor Antagonim (ERA)", Century Hyatt Tokyo, Tokyo Japan, 2006.6.17
- ・ 国枝武義 : 開会の辞 第7回肺高血圧症治療研究会を迎えて, 第7回肺高血圧症治療研究会, 経団連会館9階クリスタルルーム, 東京, 2006.7.1
- ・ 国枝武義, 小林直樹 (司会) : ランチョンセミナー 肺高血圧症の新しい治療とは何かー従来型治療法との違いについてー, 肺高血圧症の患者・患者家族と専門医の集い, 慶應義塾大学病院新棟11階大会議室, 東京, 2006.10.29
- ・ 馬島 徹 : シックハウス症候群と気管支喘息, 第27回埼玉喘息・アレルギー研究会, さいたま市, (2006.2.4)
- ・ 馬島 徹 : 化学物質過敏症, 日本大学総合生涯学習春期公開講座, 東京, 2006.6.12
- ・ 馬島 徹 : インフルエンザの予防, 駿河台日本大学病院市民公開講座, 東京, 2006.10.21
- ・ 馬島 徹 : インフルエンザの予防, 第1回化研セミナー, 市川市, 2006.11.25

学会発表

- ・ 税所宏光 (司会) : がん治療のコンセンサス2006 (1) 胆道癌の早期診断と治療法の選択, 第92回日本消化器病学

会総会，北九州国際会議場，北九州市，2006.4.20

- ・ 税所宏光 (司会) : ランチョンセミナー1 進行膵癌に対する治療戦略，第37回日本膵臓学会，パシフィコ横浜会議センター，横浜，2006.6.29
- ・ 税所宏光 (司会) : シンポジウム 膵癌診療におけるトランスリレーショナルリサーチの現状と展望，DDW-Japan 2006，札幌コンベンションセンター，札幌，2006.10.12
- ・ 税所宏光 (司会) : 宿題講演 膵癌と内視鏡—現在と未来，DDW-Japan 2006，札幌コンベンションセンター，札幌，2006.10.13
- ・ 税所宏光 (司会) : 教育講演 胆道感染症，DDW-Japan 2006，札幌コンベンションセンター，札幌，2006.10.14
- ・ 小中千守 (座長) : 診断 I，第13回日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医大会，大阪国際交流センター，大阪，(2006.2.18)
- ・ 小中千守 (座長) : リンパ腫，第23回日本呼吸器外科学会総会，東京プリンスホテル，東京，2006.5.26
- ・ 小中千守 (座長) : 気管支鏡による早期診断の現状，第29回日本呼吸器内視鏡学会，つくば国際会議場，茨城，2006.6.9
- ・ 小中千守 (座長) : 呼吸器感染症，湾岸呼吸器感染症勉強会，浦安プリンスホテル，浦安，2006.10.31
- ・ 小中千守 (座長) : PDT，第27回日本レーザー医学会総会，幕張メッセ，千葉，2006.11.2
- ・ 小中千守 (座長) : 呼吸器，第45回日本臨床細胞学会秋期大会，東京ビックサイト，東京，2006.11.11
- ・ 佐久間聖仁，中村真潮，中西宣文，宮原嘉之，田邊信宏，山田典一，栗山喬之，国枝武義，杉本恒明，中野 赳，白土邦男 : シンポジウム 下大静脈フィルター S-1. 下大静脈フィルターによる急性肺塞栓症治療の現況，第13回肺塞栓症研究会・学術集会，パシフィコ横浜，横浜市，2006.12.2
- ・ 佐久間聖仁，中村真潮，中西宣文，宮原嘉之，田邊信宏，山田典一，栗山喬之，国枝武義，杉本恒明，中野 赳，白土邦男 : 急性肺塞栓症の診断と治療 第4回症例登録データから，第13回肺塞栓症研究会・学術集会，パシフィコ横浜，横浜市，2006.12.2
- ・ Sakuma M, Nakamura M, Nakanishi N, Miyahara Y, Tanabe N, Yamada N, Kuriyama T, Kunieda T, Sugimoto T, Nakano T, Shirato K : Inferior vena cava filters reduce incidence of acute pulmonary embolism, 71st Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Kobe, 2007.3.17
- ・ 津田香織，馬島 徹，福田理子，大城玲子，服部知洋，野村奈津子，赤柴恒人 : モルモットの過換気 (HV) 誘発気道収縮モデルにおけるタキキニンの関与，第46回日本呼吸器学会，東京，2006.6.3
- ・ 岡本直樹，川原誠司，赤星俊樹，永岡賢一，植松昭仁，野村奈津子，桂 一仁，馬島 徹，赤柴恒人 : 閉塞型睡眠時無呼吸症候群 (OSAS) 患者におけるCPAP適正圧の予測因子の検討，第46回日本呼吸器学会，東京，2006.6.3
- ・ 馬島 徹 (座長) : 気管支喘息2，第46回日本呼吸器学会，東京，2006.6.3
- ・ 馬島 徹 (座長) : 臨床環境医学センターにおける客観的検査の現状について，第10回東京シックハウス症候群・化学物質過敏症研究会，東京，2006.9.15
- ・ 馬島 徹 (座長) : 慢性咳嗽診療の実態調査，第10回慢性咳嗽懇話会，東京，2006.11.2

所属学会・学会認定資格・学会役員等

- ・ 税所宏光 : 日本内科学会 (認定内科医)，日本消化器病学会 (消化器病専門医) (理事)，日本消化器内視鏡学会 (消化器内視鏡専門医) (監事)，日本高齢者消化器病学会 (理事，Editor in Chief: Digestive Endoscopy)，日本癌治療学会 (評議員)，日本膵臓学会 (功労会員)，日本胆道学会 (名誉会員)，日本超音波医学会 (超音波専門医) (功労会員)，日本画像医学会 (名誉会員)，日本成人病学会 (評議員)，日本消化器関連学会機構 (学術集会幹事)，日本肝臓学会 (肝臓専門医) (評議員)

- 小中千守：日本外科学会（指導医，専門医），日本胸部外科学会（指導医）（評議員），日本呼吸器外科学会（専門医）（評議員），日本呼吸器内視鏡学会（専門医，指導医）（評議員），日本呼吸器学会（専門医，指導医），日本臨床細胞学会（専門医，指導医）（評議員），日本レーザー医学会（指導医）（理事），日本肺癌学会（理事），日本気管食道科学会（評議員），日本臨床外科学会，日本癌治療学会，日本外科系連合学会（評議員），日本癌学会，日本内視鏡外科学会，日本乳癌学会（認定医），日本サイトメトリー学会（評議員），米国胸部疾患学会（FCCP），国際臨床細胞学会（Cytopathologist）（FIAC），世界肺癌学会，国際気管支学会，国際レーザー医学会，国際光線力学学会
- 馬島 徹：日本内科学会（認定医），日本呼吸器学会（専門医，指導医）（評議員），日本アレルギー学会（専門医，指導医）（評議員），日本気管食道科学会（認定医）（理事），日本結核病学会
- 中島年人：日本麻酔科学会（専門医）